

---

四万十市  
市民意識等基礎調査・分析業務

アンケート調査報告書

令和6年3月

四 万 十 市

---

---

## 目 次

1. アンケート調査概要.....	1
(1) 調査概要.....	1
(2) 調査項目.....	1
(3) アンケート設問と回答方法及び集計方法.....	1
2. アンケート集計結果.....	2
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）.....	2
(2) 四万十市での生活について.....	10
(3) あなたと市政との関わりについて.....	46
(4) 今後の市政運営について.....	51
(5) 地震及び防災対策について.....	67
(6) デジタル化について.....	72
(7) 多文化共生社会について.....	82
(8) SDGs（エスディーゼーズ）について.....	84
(9) 属性別クロス集計.....	87
3. 四万十市のまちづくりに関する自由意見.....	165

---

# まちづくりに関する市民アンケート調査

---

## 1. アンケート調査概要

平成 27 年 3 月に策定した四万十市まちづくりの指針である「四万十市総合計画」の計画期間終了を見据え、市政全般に対する市民の満足度やニーズ等を調査及び分析し、現行総合計画の成果や課題整理、更には次期総合計画において重点的に取り組むべき施策を洗い出し、今後の市政運営に必要な中長期ビジョン（計画）策定に活用する基礎資料づくりを目的として実施しました。

### (1) 調査概要

- ① 調査対象：四万十市在住の 18 歳以上
- ② 調査期間：令和 5 年 12 月
- ③ 調査方法：郵送による配布・回収及び Web による回答
- ④ 配布数：2,000 通
- ⑤ 回収数：862 通（郵送：731 人、Web：131 人） 有効回収率 43.1%

### (2) 調査項目

- ① あなたご自身のことについて（回答者の属性）
- ② 四万十市での生活について
- ③ あなたと市政との関わりについて
- ④ 今後の市政運営について
- ⑤ 地震及び防災対策について
- ⑥ デジタル化について
- ⑦ 多文化共生社会について
- ⑧ SDGs（エスディーゼーズ）について

### (3) アンケート設問と回答方法及び集計方法

アンケート各設問に対し、単純集計を行い、さらにクロス集計（性別・年齢別・地区別・職業別・家族構成別・勤務（就学）地別・居住年数別）を行い、グラフ等を用いて分析しました。

集計図表等を読む際の留意点は次のとおりです。

- ・比率（％）はすべて百分率で表し、表示単位未満を四捨五入しているため、比率の数値の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・無回答は省いています。
- ・複数選択の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・図表中の選択肢表記について、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ・本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりです。
- ・N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

また、各設問は次のとおりです。

# まちづくりに関する市民アンケート調査

～皆さまのご協力をお願いします～

市民の皆さまには、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

四万十市では、人口減少をはじめとした様々な課題や社会情勢の変化に対応するため、新たなまちづくりの指針となる次期「四万十市総合計画」策定の準備を進めているところです。

本調査は、皆さまの市政に対する考えやご意見をお聞きし、今後のまちづくりの方向性や重点的に取り組むべき施策などを検討する際の基礎資料とするために実施するものです。

なお、本調査は、18歳以上の市民の皆さまの中から2,000人を無作為（地区、年代、性別を考慮）に抽出し、ご協力をお願いしています。ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

令和5年12月 四万十市長 **中平正宏**

## 《ご回答・ご返送にあたってのお願い》

- ◆ご回答は、封筒のあて名のご本人様をご記入ください。  
※ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが本人の意思を反映してご記入ください。
- ◆本調査は無記名ですので、お名前を記入する必要はありません。
- ◆設問ごとの説明にしたがって、あてはまる番号に○印をつけてください。  
※「その他」と回答された場合や自由記述の設問は、具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。
- ◆ご回答の期限は、12月25日（月）です。ご協力をお願いいたします。

## インターネットからも回答できます

インターネット回答をした場合、紙の調査票の記入・提出は不要です。

- ◆右のQRコードを読み込むか、下のURLにアクセスしてご回答ください。

[https://gpmo.qualtrics.com/jfe/form/SV\\_8A0jm1SJ8ot7MHk](https://gpmo.qualtrics.com/jfe/form/SV_8A0jm1SJ8ot7MHk)

このアンケート調査についてのお問合せは、下記までお願いします。



## 【お問合せ先】

〒787-8501 四万十市中村大橋通4丁目10番地  
四万十市企画広報課 企画調整係  
TEL: 34-1129(直通) FAX: 35-0007  
E-mail: mirai@city.shimanto.lg.jp



# 1. あなたご自身のことについておたずねします。

## 問1 あなたの性別は。(○は1つ)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

## 問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代  | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 |         |

## 問3 あなたのお住まいの地区は。(○は1つ)

- |           |           |          |          |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 1. 中村地区   | 2. 東山地区   | 3. 具同地区  | 4. 東中筋地区 |
| 5. 中筋地区   | 6. 八束地区   | 7. 下田地区  | 8. 蕨岡地区  |
| 9. 後川地区   | 10. 大川筋地区 | 11. 富山地区 | 12. 津大地区 |
| 13. 江川崎地区 |           |          |          |

## 問4 あなたの主なお仕事は。(○は1つ)

- |          |         |              |        |
|----------|---------|--------------|--------|
| 1. 農林畜産業 | 2. 水産業  | 3. 会社員       | 4. 自営業 |
| 5. 公務員   | 6. 団体職員 | 7. アルバイト・パート | 8. 学生  |
| 9. 家事専業  | 10. 無職  | 11. その他 ( )  |        |

## 問5 あなたの家族構成は。(○は1つ)

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし    | 2. 夫婦のみ        |
| 3. 親と子(二世家族) | 4. 親と子と孫(三世家族) |
| 5. その他 ( )   |                |

## 問6 あなたの勤務(就学)地は。(○は1つ。「四万十市内」の場合のみ地区を記入)

- |          |                           |        |        |
|----------|---------------------------|--------|--------|
| 1. 四万十市内 | ➡ [上記の問3の地区をご記入ください( )地区] |        |        |
| 2. 宿毛市   | 3. 土佐清水市                  | 4. 黒潮町 | 5. 大月町 |
| 6. 三原村   | 7. その他 ( )                |        |        |

## 問7 四万十市内に、通算して何年くらい住んでいますか。(旧中村市・旧西土佐村時代を含みます)(○は1つ)

- |         |            |             |          |
|---------|------------|-------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5~10年未満 | 3. 10~20年未満 | 4. 20年以上 |
|---------|------------|-------------|----------|

## 2. 四万十市での生活についておたずねします。

問8 四万十市の住みやすさについて、感想をお答えください。(○は1つ)

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい     | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい     |                  |

問9 あなたは、これからも四万十市に住み続けたいと思いますか。また、それを選択した理由について教えてください。

(3つの項目から1つ選んで○で囲み、その理由に1つ○をしてください)

- |                      |                     |                |
|----------------------|---------------------|----------------|
| 1. これからも現在の地区に住み続けたい | 2. いずれは市内の別の地区に住みたい | 3. いずれは市外に住みたい |
|----------------------|---------------------|----------------|

<理由>

1. 生活するのに便利(買物・交通等)だから
2. 生まれ育ったところで故郷を大切に思うから
3. 自分の勤め先があるから
4. 子どもの保育・教育の都合から
5. 住んでいる環境が良いから
6. 親や家族の都合から
7. 結婚したから
8. 環境が魅力で移住したから
9. その他  
( )

<理由>

1. 生活するのに不便(買物・交通等)だから
2. 子どもの保育・教育環境が良くないから
3. 地区に活気がないから
4. 働く場所がないから
5. 家賃が高いから
6. いずれは生まれ育った地区に戻りたいから
7. その他  
( )

<理由>

1. 生活するのに不便(買物・交通等)だから
2. 子どもの保育・教育環境が良くないから
3. まちに活気がないから
4. 働く場所がないから
5. 仕事の関係から
6. 住宅取得が困難だから
7. 家賃が高いから
8. 都会で暮らしたいから
9. 専門学校、大学がないから
10. その他  
( )

問10 あなたにとって住みよさとは何ですか。(○は3つまで)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 自然環境に恵まれている      | 2. 働く場所がある        |
| 3. 居住環境が良い          | 4. 住宅事情が良い        |
| 5. 交通事情が良い          | 6. 娯楽や文化施設に恵まれている |
| 7. 医療・福祉施設が整っている    | 8. 子どもの教育がしやすい    |
| 9. 買物の便利が良い         | 10. 物価が安い         |
| 11. 静かな生活ができる       | 12. 人情が豊かである      |
| 13. さまざまな新しい情報が得やすい | 14. その他 ( )       |

問 11 あなたは家族や親しい友人に、現在、お住いの地域に移住することをお勧めしますか。強く勧める場合には「10」、まったく勧めない場合には「0」として11段階で評価してください。(○は1つ)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問 12 問 11 の評価に影響した項目の満足度について教えてください。(それぞれ○は1つ)

項 目	現在の満足度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	
暮らしの安全	地震や津波からの安全性	1	2	3	4	5
	台風・豪雨災害からの安全性	1	2	3	4	5
	災害時の避難路及び避難場所の整備	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪が少ないこと	1	2	3	4	5
	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	1	2	3	4	5
	消費者保護のための相談体制と情報提供	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

暮らしの安心	健康診断、健康相談や健康増進活動のサービスの機会が多い	1	2	3	4	5
	病院・医院・診療所等が身近で充実している	1	2	3	4	5
	介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している	1	2	3	4	5
	高齢者の憩いの場や集まる機会が多い	1	2	3	4	5
	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	1	2	3	4	5
	保育内容や子育て相談サービスが充実している	1	2	3	4	5
	雇用の場が確保されている	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

暮らしの利便	日用品・食料品などの買物の便利さ	1	2	3	4	5
	通勤・通学・通院の便利さ	1	2	3	4	5
	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	1	2	3	4	5
	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	1	2	3	4	5
	身近な地域での道路の使いやすさ	1	2	3	4	5
	国道などの幹線道路の使いやすさ	1	2	3	4	5
	市役所や総合支所の身近さ	1	2	3	4	5
	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

項 目		現在の満足度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満
暮らしの快適	緑、水や自然の豊かさ	1	2	3	4	5
	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ	1	2	3	4	5
	まちの美観や周囲の景観	1	2	3	4	5
	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	1	2	3	4	5
	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	1	2	3	4	5
	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み	1	2	3	4	5
	快適な住環境（宅地）の購入環境	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

教育・文化	学校教育の充実	1	2	3	4	5
	誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会	1	2	3	4	5
	こどもたちが健全に成長できる環境	1	2	3	4	5
	芸術・文化に親しむ機会が多い	1	2	3	4	5
	スポーツを楽しむ機会が多い	1	2	3	4	5
	伝統文化の保存・継承がされている	1	2	3	4	5
	学校教育の充実	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

産業振興	農業の振興	1	2	3	4	5
	林業の振興	1	2	3	4	5
	水産業の振興	1	2	3	4	5
	商業の振興や中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
	工業の振興	1	2	3	4	5
	企業誘致	1	2	3	4	5
	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	1	2	3	4	5
	地域資源の掘り起こし・活用	1	2	3	4	5
	※「不満」とお答えの方は、よろしければ、その理由をお書きください。					

### 3. あなたと市政との関わりについておたずねします。

問 13 あなたは、市政について関心をお持ちですか。(○は1つ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 非常に関心を持っている | 2. まあまあ関心を持っている |
| 3. あまり関心がない    | 4. どちらとも言えない    |

問 14 あなたは、市政の動きや行政情報を主に何で知りますか。(それぞれ○は1つ)

	よくする	たまにする	しない
市の広報誌を読む	1	2	3
市の公式ホームページを見る	1	2	3
市の公式SNSを見る(LINE、Facebook、Instagram)	1	2	3
新聞を読む	1	2	3
テレビ・ラジオで見たり・聴いたりする	1	2	3
回覧板を見る	1	2	3
地区別懇談会など地域での集会に参加する	1	2	3
家族・知人などから聞く	1	2	3

問 15 あなたは、広報「しまんと」にどのような情報を掲載してほしいですか。(○は1つ)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 市の主要施策・事業の動き    | 2. 市の補助金・助成事業の情報 |
| 3. 身近な地域の情報        | 4. 国、県、他市町村の情報   |
| 5. 暮らしに関する各種手続きの方法 | 6. イベント等催しの情報    |
| 7. 防災情報            | 8. 人物を紹介する内容     |
| 9. 歴史・文化など教養的内容    | 10. その他 ( )      |

問 16 あなたは、市政に対して不満やわからないことがあるときはどうしていますか。

(○は1つ)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 区長に相談する            | 2. 市議会議員に相談する      |
| 3. 市役所(担当課)に出向く       | 4. 市役所に電話もしくは手紙を書く |
| 5. 広聴ファックス、広聴メールを利用する | 6. 何もしない           |
| 7. その他 ( )            |                    |

問 17 現在の四万十市は、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。

(○は1つ)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 思う        | 2. 少し思う    |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり思わない |
| 5. 思わない      | 6. わからない   |



## 5. 地震及び防災対策についておたずねします。

問 19 現在お住まいの地域で、地震災害の発生について不安を感じることがありますか。  
(○は1つ)

- |          |         |          |           |
|----------|---------|----------|-----------|
| 1. 非常にある | 2. 多少ある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|----------|---------|----------|-----------|

問 20 地震や津波から命を守るため必要と感じることは何ですか。(○は2つまで)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 住宅の耐震化  | 2. 防災意識の向上     |
| 3. 避難訓練    | 4. 地域内の住民のつながり |
| 5. 情報伝達手段  | 6. 施設などの整備     |
| 7. その他 ( ) |                |

問 21 大地震発生時の避難後に最も不安に感じることは何ですか。(○は3つまで)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 避難後の生活     | 2. 医療体制の確保    |
| 3. 食糧・飲料水の確保  | 4. 宿泊・避難場所の確保 |
| 5. ライフライン※の寸断 | 6. 交通手段の寸断    |
| 7. 通信手段の寸断    | 8. 衣料・日用品の不足  |
| 9. その他 ( )    |               |

※ライフライン：電気・水道・ガス・電話などの、日常生活に必要な設備のこと。

問 22 大地震に備えて、家庭で対策していることは何ですか。(○はいくつでも)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. 消火器       | 2. 家具、テレビ等の転倒防止 |
| 3. 飲料水、食糧の備蓄 | 4. 懐中電灯、ラジオ、薬   |
| 5. 持ち出し用貴重品  | 6. 住宅の耐震の強化（補強） |
| 7. 避難場所の確認   | 8. 家族間の連絡方法     |
| 9. 携帯トイレ     | 10. その他 ( )     |

問 23 災害時には、どの情報が頼りになると思いますか。(○は3つまで)

- |                                     |             |
|-------------------------------------|-------------|
| 1. 市の防災無線・IP告知放送                    | 2. テレビ      |
| 3. ラジオ                              | 4. インターネット  |
| 5. 携帯メール                            | 6. 自治会等地域から |
| 7. SNS (LINE、Facebook、Instagram など) | 8. その他 ( )  |

## 6. デジタル化についておたずねします。

問 24 あなたは、スマートフォンを所有していますか。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

(この設問は、スマートフォンをお持ちの方にお聞きします)

問 25 スマートフォンをどのようなことに利用していますか。(○はいくつでも)

- |                                         |                     |
|-----------------------------------------|---------------------|
| 1. 電話                                   | 2. インターネット (情報検索など) |
| 3. SNSサービス (LINE、Facebook、Instagram など) | 4. オンラインでの各種手続き     |
| 5. ショッピング                               | 6. キャッシュレス決済        |
| 7. ゲーム                                  | 8. その他 ( )          |

(この設問は、スマートフォンをお持ちの方にお聞きします)

問 26 スマートフォンについてもっと知りたいことはありますか。(○はいくつでも)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 携帯電話 (ガラケー) との違い | 2. 基本的な操作方法       |
| 3. インターネットの使い方      | 4. SNSサービスの活用方法   |
| 5. アプリの活用方法         | 6. キャッシュレス決済の活用方法 |
| 7. オンラインでの各種手続きの方法  | 8. セキュリティ対策       |
| 9. 特にない             | 10. その他 ( )       |

(この設問は、スマートフォンをお持ちでない方にお聞きします)

問 27 スマートフォンをお持ちでない理由をお答えください。(○はいくつでも)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1. メリットがわからない (ガラケーの機能で十分) | 2. 操作がむずかしそう  |
| 3. 料金が高い                   | 4. セキュリティ面が不安 |
| 5. 今後、持ちたいと考えている           | 6. その他 ( )    |

(この設問以降は、全ての方にお聞きします)

問 28 普段、どのような方法でキャッシュレス決済を行っていますか。(○はいくつでも)

- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. クレジットカード                      | 2. 流通系電子マネー (WAON、nanaco 等) |
| 3. スマホ決済アプリ (PayPay、楽天ペイ、d 払いなど) | 4. キャッシュレス決済は利用していない        |

問 29 四万十市のデジタル行政サービスについて、利用したことがあるものをお答えください。(〇はいくつでも)

1. オンライン申請（子育て・介護・引っ越しワンストップに係る手続き）
2. コンビニ交付（住民票、印鑑登録証明書の交付）
3. 子育て応援アプリ「おやっこ」
4. 図書貸出予約
5. 四万十市公式ホームページ
6. 四万十市公式SNS（LINE、Facebook、Instagram）
7. 議会中継・会議録検索

問 30 今後、四万十市でデジタル化を期待する手続きやサービスは何ですか。(〇は2つまで)

1. オンラインでの申請・届出等の拡充
2. オンラインでの各種相談（健康相談など）
3. オンラインでの公共施設等の予約
4. デジタル技術の活用による行政事務の効率化
5. 窓口でのタブレット端末等の導入（申請書等の記入を不要にする）
6. 電子地域通貨の導入
7. その他（ )

問 31 今後、四万十市ではどういった分野でデジタル化を進めるべきとお考えですか。

(〇は3つまで)

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. 子ども・子育て                | 2. 観光・商工業     |
| 3. 一次産業（農畜林水産業）           | 4. 防災・消防      |
| 5. 保健・医療・健康               | 6. 高齢者・障がい者福祉 |
| 7. 公共交通                   | 8. 学校教育       |
| 9. 生涯学習・社会教育              | 10. スポーツ・文化振興 |
| 11. 都市インフラ（道路・上下水道・情報基盤等） | 12. 環境保全      |
| 13. 税務                    | 14. その他（ )    |

問 32 今後、四万十市で取り組むべきとお考えのデジタル化の施策や事業があれば、ご自由にお答えください。

例：健康アプリを導入して欲しい

## 7. 多文化共生社会についておたずねします。

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し合い、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会のことです。

県下では、各産業分野で人手不足が深刻化する中、それを補う形で外国人労働者が年々増加しています。人口減少が進む本市においても、今後ますます、外国人材は欠かすことのできない貴重な存在になってくることから地域社会の一員として受入れ、育成・定着を図っていくことが重要となります。

**問 33 あなたは、外国人の方と身近に関わる機会がありますか。(○はいくつでも)**

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 1. 近所に住んでいる        | 2. 仕事や職場で   |
| 3. 自分や家族が通う保育園や学校で | 4. 地域の活動で   |
| 5. 友だち・知り合いにいる     | 6. 親類や家族にいる |
| 7. まったくない          | 8. その他 ( )  |

**問 34 日本人と外国人が共に安心して暮らすためには、行政はどのようなことに取り組むべきと思いますか。(○はいくつでも)**

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 多言語による情報提供の充実     | 2. 日本人への外国語教室        |
| 3. 外国人への日本語教室        | 4. 外国人が相談できる窓口の充実    |
| 5. 外国人への生活ルールの周知     | 6. 外国人が意見を言いやすい環境づくり |
| 7. 外国人が参加しやすいイベントづくり | 8. 自治会など地域社会への参画支援   |
| 9. 多文化共生社会への啓発、理解促進  | 10. その他 ( )          |

## 8. SDGs (エスディージーズ) についておたずねします。

SDGs (持続可能な開発目標=Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」という理念のもと、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ことを目指した17のゴール、169のターゲットから構成される国際目標です。

**問 35 あなたは、SDGsについて知っていますか。(○は1つ)**

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 内容も含めて詳しく知っている     | 2. 内容をある程度、知っている |
| 3. 内容はわからないが、聞いたことはある | 4. まったく知らない      |

(この設問は、問 35 で 1～3 と回答した方にお聞きします)

**問 36 あなたは、SDGsを何で知りましたか。(○はいくつでも)**

- |                                         |                   |
|-----------------------------------------|-------------------|
| 1. テレビ・ラジオ・新聞                           | 2. ホームページやインターネット |
| 3. SNSサービス (LINE、Facebook、Instagram など) | 4. 雑誌・書籍          |
| 5. 仕事・職場・学校                             | 6. 家族・知人・友人       |
| 7. その他 ( )                              |                   |

(この設問は、問 35 で 1～3 と回答した方にお聞きします)

問 37 あなたは、SDGs を意識して取り組んでいることはありますか。(○は1つ)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 既に取り組んでいることがある        | 2. 今後、取り組む予定である          |
| 3. 取り組みたいが、何をすればよいかわからない | 4. 取り組んでいない(今後取り組む予定もない) |

## 9. まちづくりについてのご意見・ご提案

■今後の四万十市のまちづくりに関するご意見等がありましたらご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

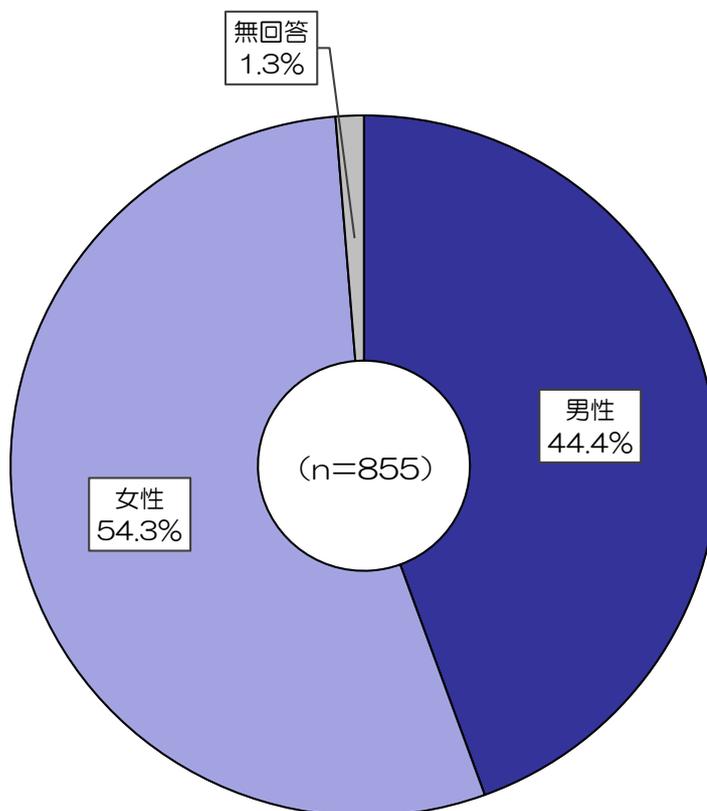
恐れ入りますが、記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、12月25日(月曜日)までにポストに投函をお願いします。

## 2. アンケート集計結果

### (1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）

#### 【問1】あなたの性別は。（〇は1つ）

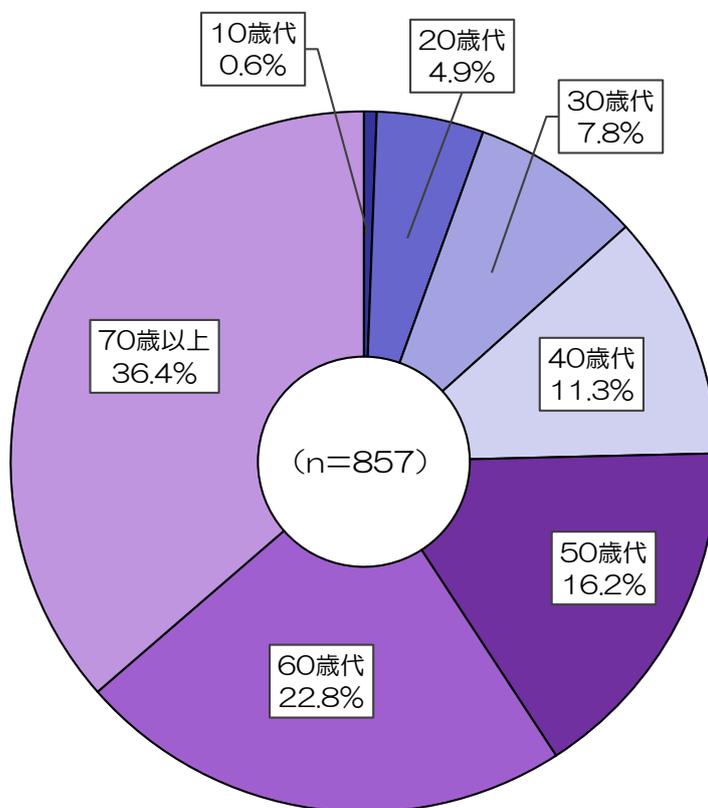
性別についてたずねたところ、「男性」が44.4%、「女性」が54.3%、「無回答」が1.3%となっています。



設問番号	項目	n	%
1	男性	380	44.4%
2	女性	464	54.3%
3	無回答	11	1.3%
有効回答-計		855	100.0%
無回答・無効票		7	
総合計		862	

【問 2】 あなたの年齢は。(〇は1つ)

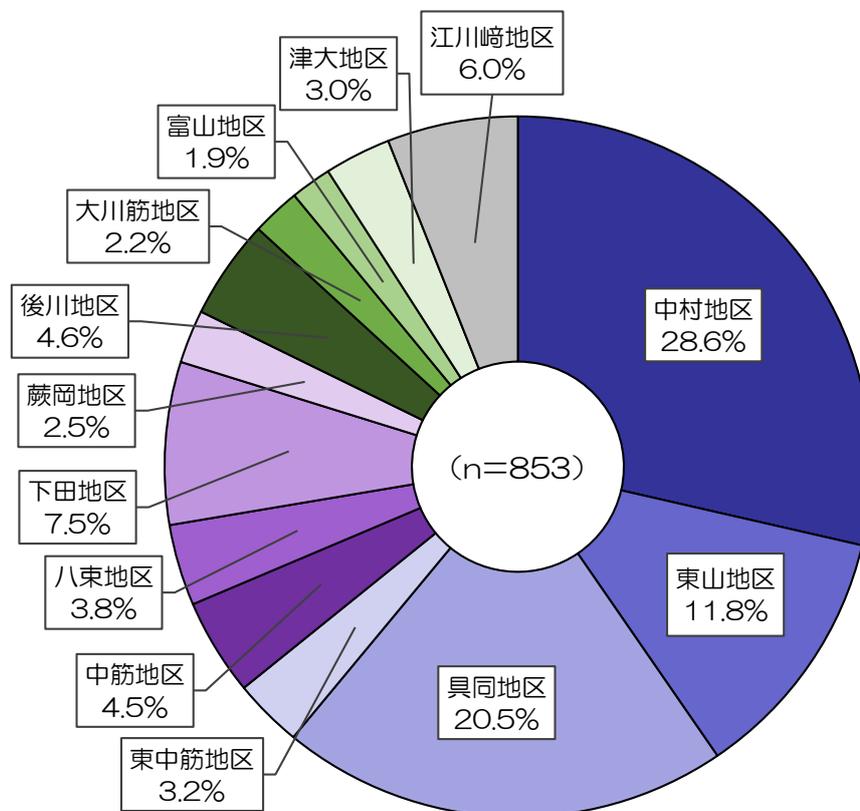
年齢についてたずねたところ、「70歳以上」が36.4%で最も多く、次いで「60歳代」(22.8%)、「50歳代」(16.2%)の順となっています。



設問番号	項目	n	%
1	10歳代	5	0.6%
2	20歳代	42	4.9%
3	30歳代	67	7.8%
4	40歳代	97	11.3%
5	50歳代	139	16.2%
6	60歳代	195	22.8%
7	70歳以上	312	36.4%
有効回答-計		857	100.0%
無回答・無効票		5	
総合計		862	

【問 3】あなたのお住まいの地区は。（〇は1つ）

住まいの地区についてたずねたところ、「中村地区」が28.6%で最も多く、次いで「具同地区」（20.5%）、「東山地区」（11.8%）の順となっています。

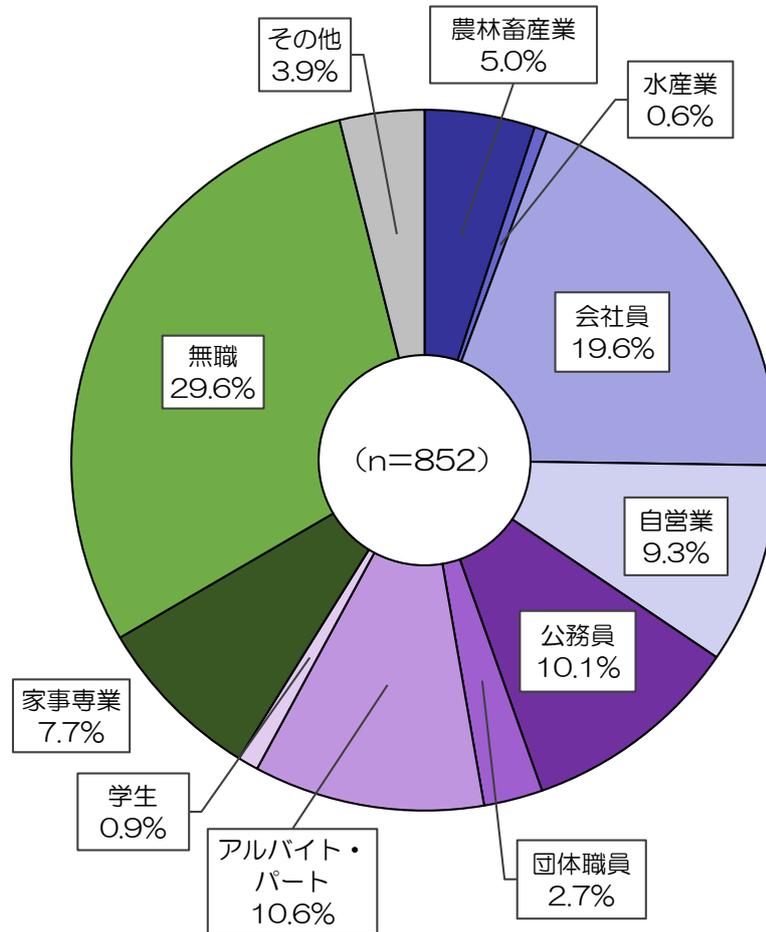


設問 番号	項目	n	%
1	中村地区	244	28.6%
2	東山地区	101	11.8%
3	具同地区	175	20.5%
4	東中筋地区	27	3.2%
5	中筋地区	38	4.5%
6	八束地区	32	3.8%
7	下田地区	64	7.5%
8	蕨岡地区	21	2.5%
9	後川地区	39	4.6%
10	大川筋地区	19	2.2%
11	富山地区	16	1.9%
12	津大地区	26	3.0%
13	江川崎地区	51	6.0%
有効回答-計		853	100.0%
無回答・無効票		9	
総合計		862	

【問 4】あなたの主なお仕事は。（〇は1つ）

職業等についてたずねたところ、「無職」が 29.6%で最も多く、次いで「会社員」（19.6%）、「アルバイト・パート」（10.6%）の順となっています。

その他の意見としては、「会社役員」「介護職」「医療従事」「会計年度任用職員」等です。

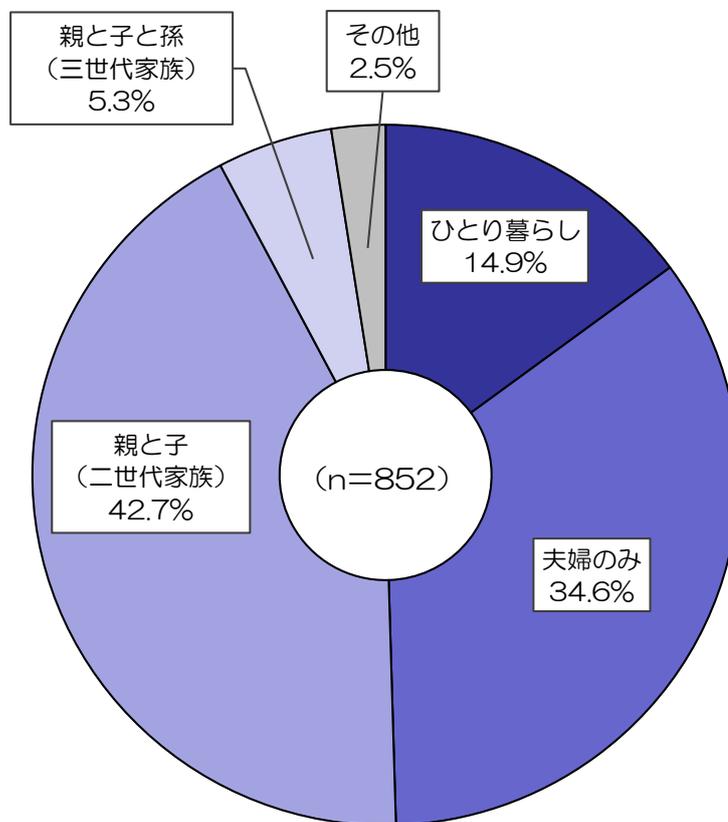


設問番号	項目	n	%
1	農林畜産業	43	5.0%
2	水産業	5	0.6%
3	会社員	167	19.6%
4	自営業	79	9.3%
5	公務員	86	10.1%
6	団体職員	23	2.7%
7	アルバイト・パート	90	10.6%
8	学生	8	0.9%
9	家事専業	66	7.7%
10	無職	252	29.6%
11	その他	33	3.9%
有効回答-計		852	100.0%
無回答・無効票		10	
総合計		862	

【問 5】 あなたの家族構成は。（〇は1つ）

家族構成についてたずねたところ、「親と子（二世代家族）」が 42.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」（34.6%）、「ひとり暮らし」（14.9%）の順となっています。

その他の意見としては、「兄弟」「姉妹」「パートナー」等です。



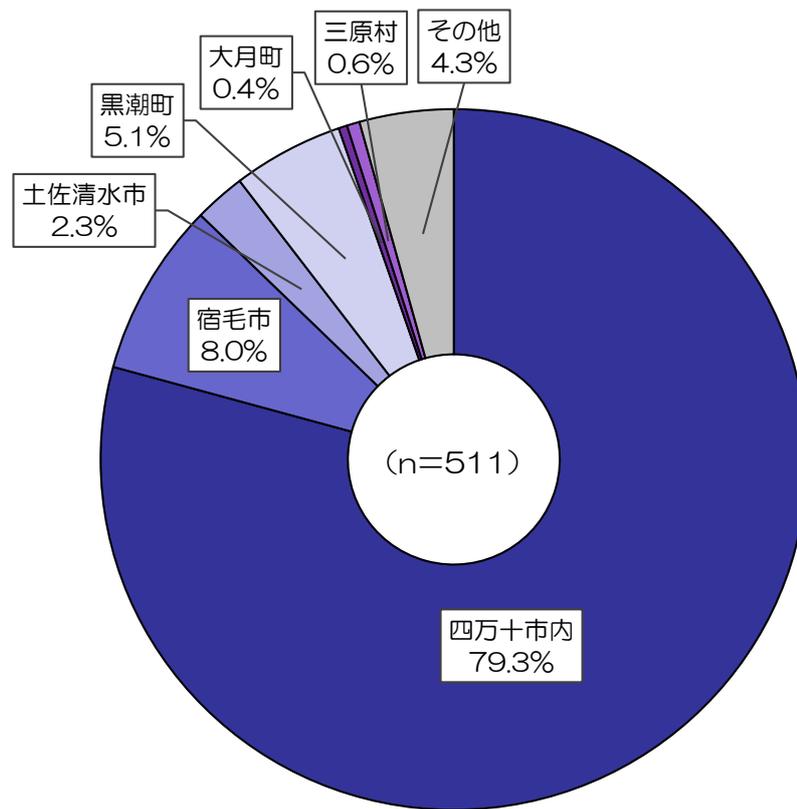
設問番号	項目	n	%
1	ひとり暮らし	127	14.9%
2	夫婦のみ	295	34.6%
3	親と子 (二世代家族)	364	42.7%
4	親と子と孫 (三世代家族)	45	5.3%
5	その他	21	2.5%
有効回答-計		852	100.0%
無回答・無効票		10	
総合計		862	

【問 6-1】 あなたの勤務（就学）地は。

【問 4：主なお仕事】で「農林畜産業」「水産業」「会社員」「自営業」「公務員」「団体職員」「アルバイト・パート」「学生」「その他」と回答した人が対象

勤務（就学）地についてたずねたところ、「四万十市内」が 79.3%で最も多く、次いで「宿毛市」（8.0%）、「黒潮町」（5.1%）の順となっています。

その他の意見としては、「高知市」「四万十町」「愛媛県」等です。

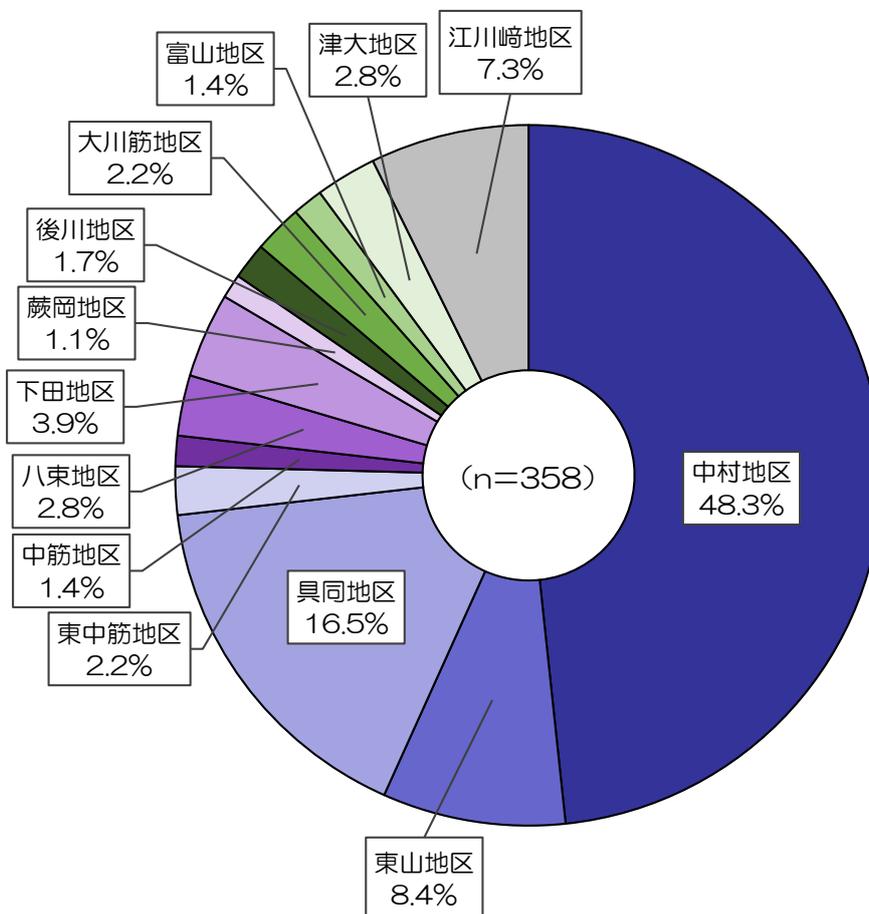


設問番号	項目	n	%
1	四万十市内	405	79.3%
2	宿毛市	41	8.0%
3	土佐清水市	12	2.3%
4	黒潮町	26	5.1%
5	大月町	2	0.4%
6	三原村	3	0.6%
7	その他	22	4.3%
有効回答-計		511	100.0%
無回答・無効票		23	
総合計		534	

【問 6-2】勤務（就学）地が「四万十市内」の場合、地区はどこですか。

【問 6-1：勤務（就学）地】で「四万十市内」と回答した人が対象

勤務（就学）地（四万十市内の地区）についてたずねたところ、「中村地区」が 48.3%で最も多く、次いで「具同地区」（16.5%）、「東山地区」（8.4%）の順となっています。

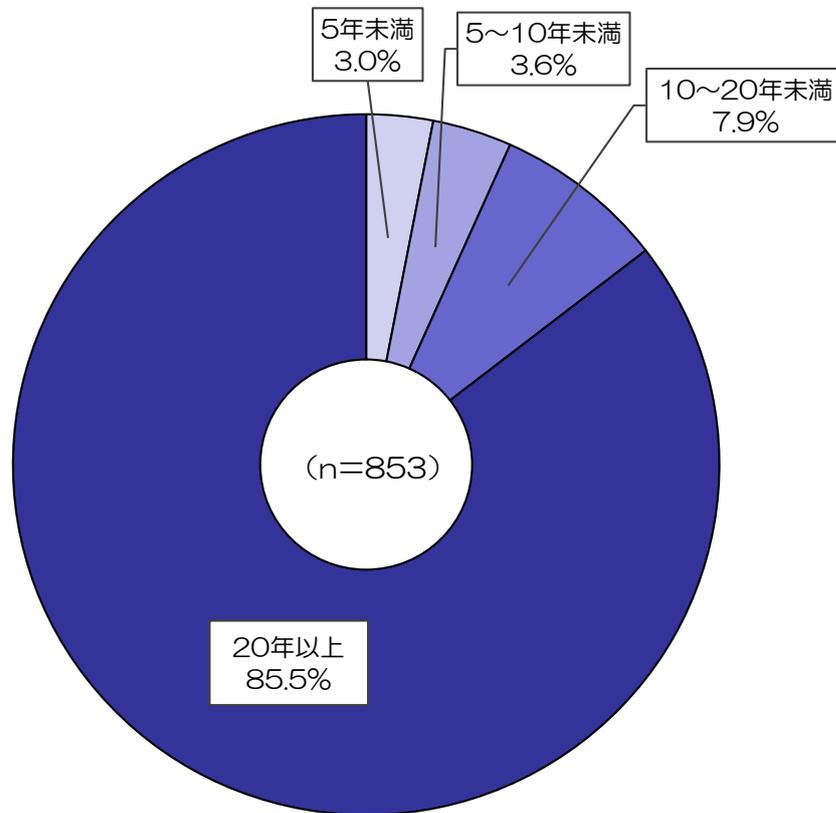


設問番号	項目	n	%
1	中村地区	173	48.3%
2	東山地区	30	8.4%
3	具同地区	59	16.5%
4	東中筋地区	8	2.2%
5	中筋地区	5	1.4%
6	八束地区	10	2.8%
7	下田地区	14	3.9%
8	蕨岡地区	4	1.1%
9	後川地区	6	1.7%
10	大川筋地区	8	2.2%
11	富山地区	5	1.4%
12	津大地区	10	2.8%
13	江川崎地区	26	7.3%
有効回答-計		358	100.0%
無回答・無効票		47	
総合計		405	

【問 7】 四万十市内に、通算して何年くらい住んでいますか。

(旧中村市・旧西土佐村時代を含みます) (〇は1つ)

居住年数についてたずねたところ、「20年以上」が85.5%で最も多く、次いで「10～20年未満」(7.9%)、「5～10年未満」(3.6%)の順となっています。

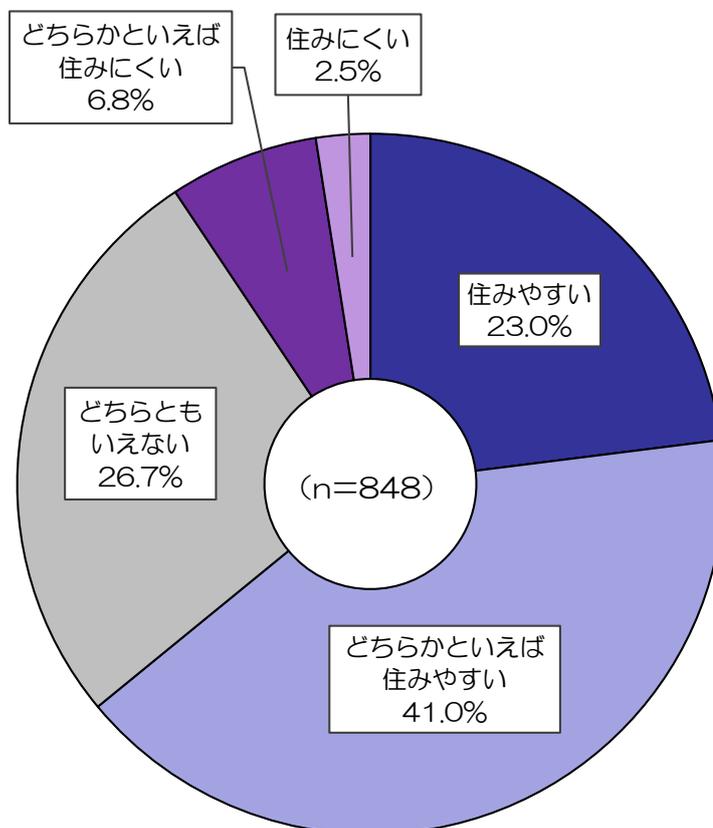


設問番号	項目	n	%
1	5年未満	26	3.0%
2	5～10年未満	31	3.6%
3	10～20年未満	67	7.9%
4	20年以上	729	85.5%
有効回答-計		853	100.0%
無回答・無効票		9	
総合計		862	

## (2) 四万十市での生活について

【問8】四万十市の住みやすさについて、感想をお答えください。（〇は1つ）

四万十市の住みやすさについてたずねたところ、「どちらかといえば住みやすい」が41.0%で最も多く、次いで「どちらともいえない」（26.7%）、「住みやすい」（23.0%）の順となっています。



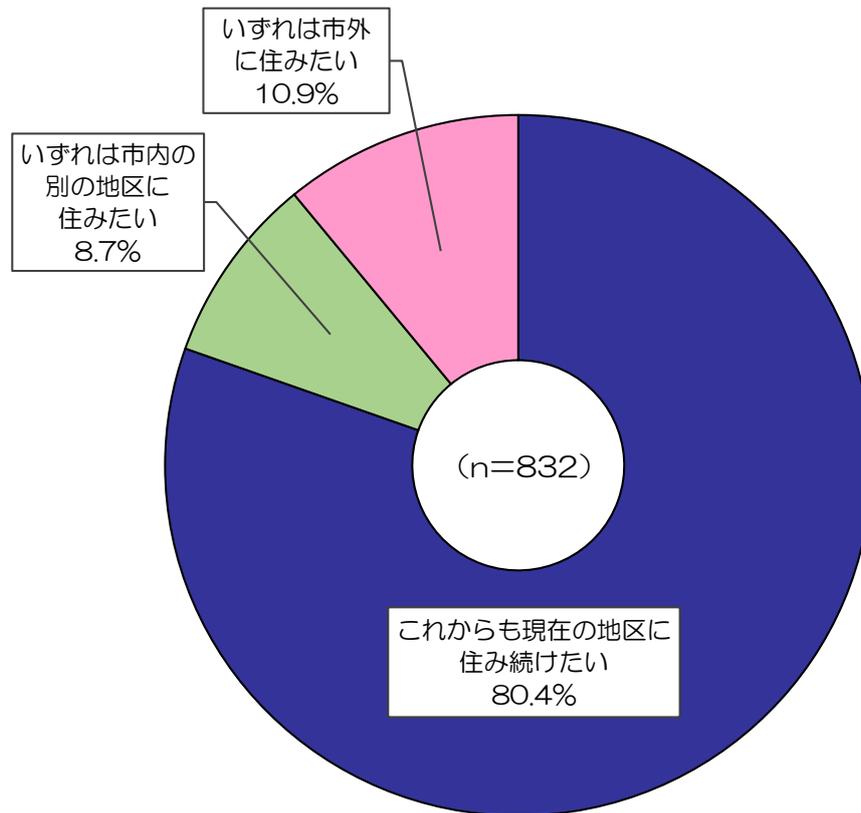
設問番号	項目	n	%
1	住みやすい	195	23.0%
2	どちらかといえば住みやすい	348	41.0%
3	どちらともいえない	226	26.7%
4	どちらかといえば住みにくい	58	6.8%
5	住みにくい	21	2.5%
有効回答-計		848	100.0%
無回答・無効票		14	
総合計		862	

【問 9-1】あなたは、これからも四万十市に住み続けたいと思いますか。

また、それを選択した理由について教えてください。

(3つの項目から1つ選んで○で囲み、その理由に1つ○をしてください)

これからも四万十市に住み続けたいかたずねたところ、「これからも現在の地区に住み続けたい」が80.4%で最も多く、次いで「いずれは市外に住みたい」(10.9%)、「いずれは市内の別の地区に住みたい」(8.7%)の順となっています。



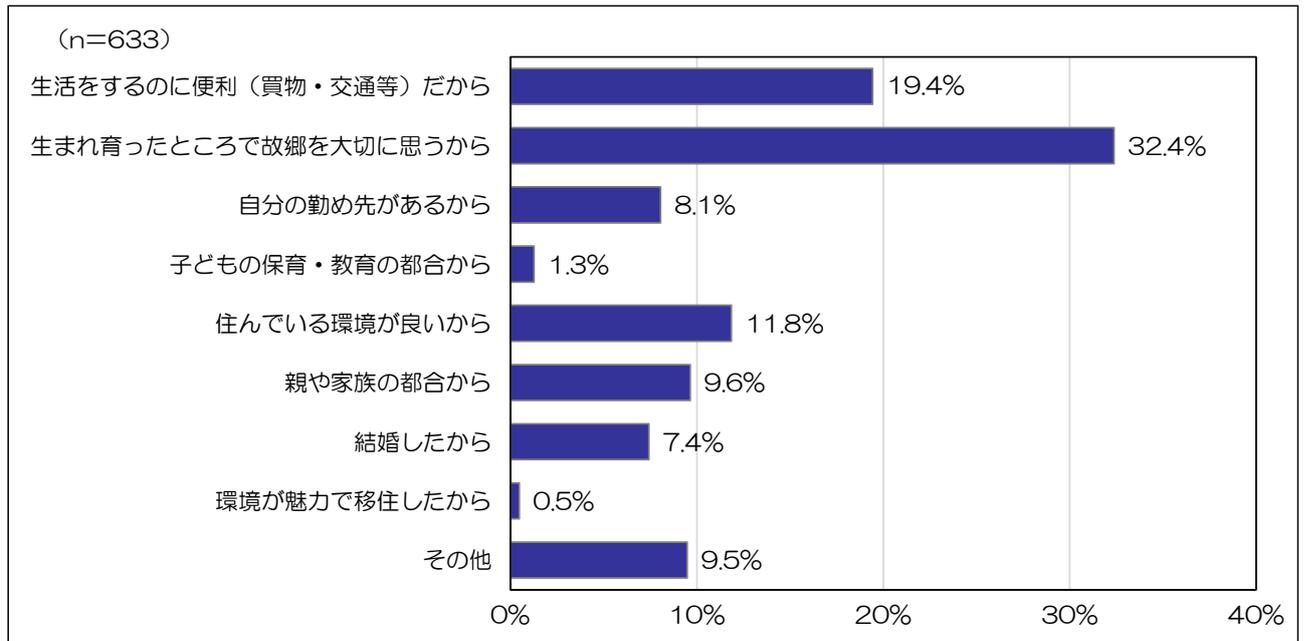
設問番号	項目	n	%
1	これからも現在の地区に住み続けたい	669	80.4%
2	いずれは市内の別の地区に住みたい	72	8.7%
3	いずれは市外に住みたい	91	10.9%
有効回答-計		832	100.0%
無回答・無効票		30	
総合計		862	

【問 9-2】 これからも現在の地区に住み続けたい理由は何ですか。

【問 9-1】 で「これからも現在の地区に住み続けたい」と回答した人が対象

これからも現在の地区に住み続けたい理由についてたずねたところ、「生まれ育ったところで故郷を大切に思うから」が32.4%で最も多く、次いで「生活するのに便利（買物・交通等）だから」（19.4%）、「住んでいる環境が良いから」（11.8%）の順となっています。

その他の意見としては、「持ち家や土地があるため」「長年住んでいるため」「高齢のため」「金銭的な余裕がないため」「仕方がなく」「特に理由はない」等です。



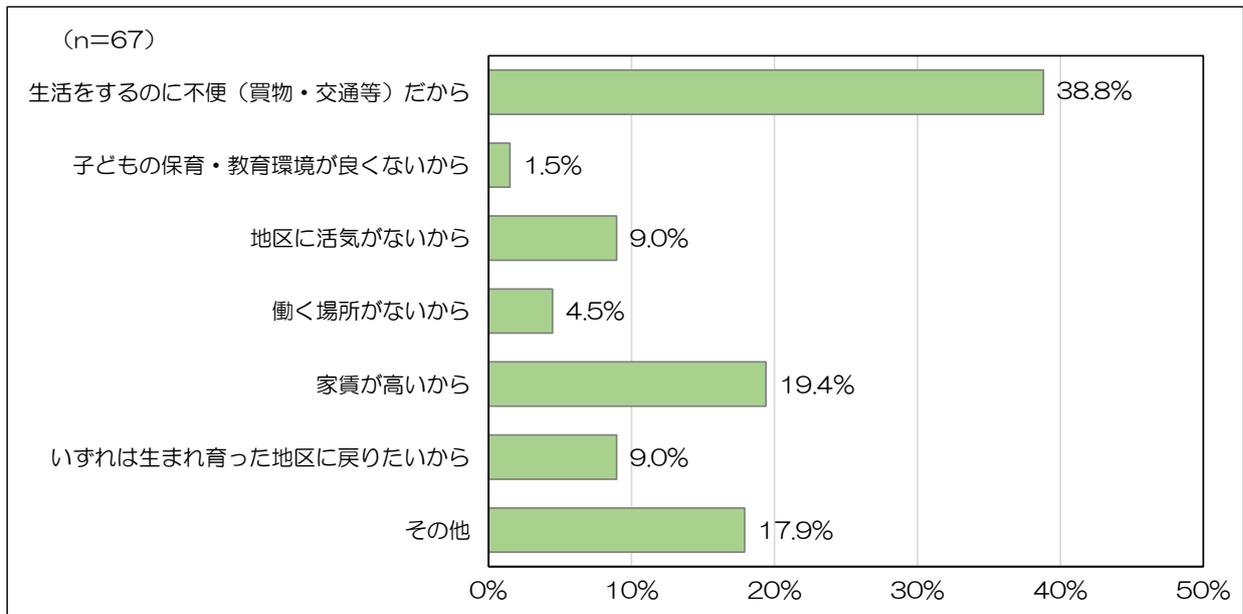
設問番号	項目	n	%
1	生活するのに便利（買物・交通等）だから	123	19.4%
2	生まれ育ったところで故郷を大切に思うから	205	32.4%
3	自分の勤め先があるから	51	8.1%
4	子どもの保育・教育の都合から	8	1.3%
5	住んでいる環境が良いから	75	11.8%
6	親や家族の都合から	61	9.6%
7	結婚したから	47	7.4%
8	環境が魅力で移住したから	3	0.5%
9	その他	60	9.5%
有効回答-計		633	100.0%
無回答・無効票		36	
総合計		669	

【問 9-3】 いずれは市内の別の地区に住みたい理由は何ですか。

【問 9-1】 で「いずれは市内の別の地区に住みたい」と回答した人が対象

いずれは市内の別の地区に住みたい理由についてたずねたところ、「生活をするのに不便(買物・交通等)だから」が38.8%で最も多く、次いで「家賃が高いから」(19.4%)、「その他」(17.9%)の順となっています。

その他の意見としては、「一人暮らしを望んでいるため」「災害に対する不安があるため」「隣近所の付き合いに不満があるため」等です。



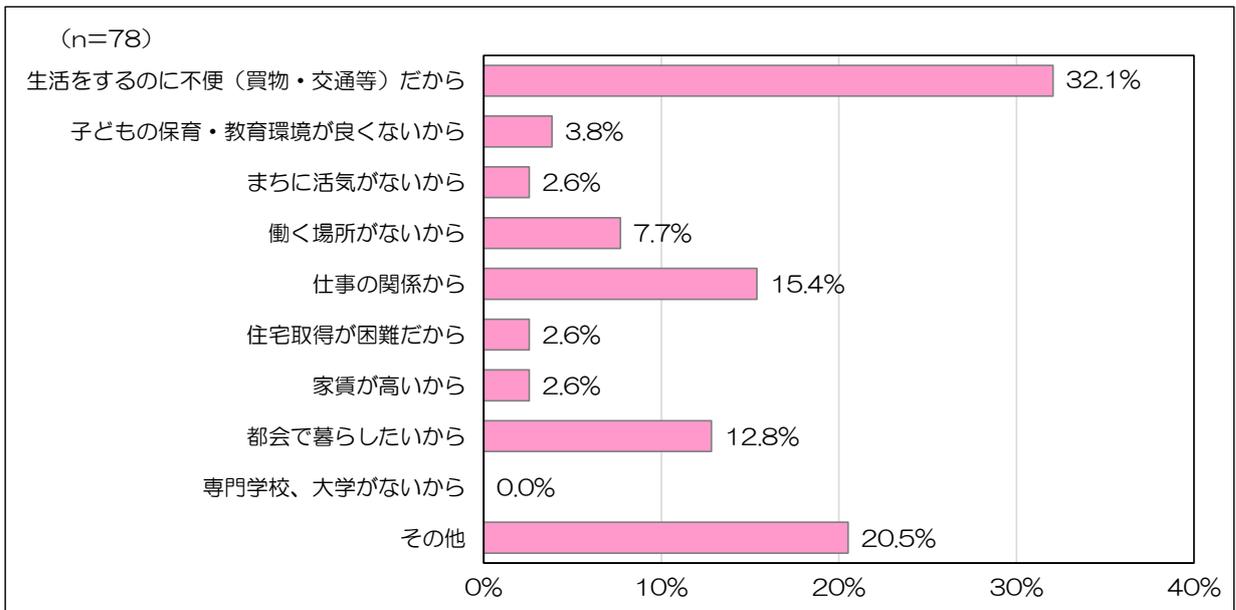
設問番号	項目	n	%
1	生活をするのに不便(買物・交通等)だから	26	38.8%
2	子どもの保育・教育環境が良くないから	1	1.5%
3	地区に活気がないから	6	9.0%
4	働く場所がないから	3	4.5%
5	家賃が高いから	13	19.4%
6	いずれは生まれ育った地区に戻りたいから	6	9.0%
7	その他	12	17.9%
有効回答-計		67	100.0%
無回答・無効票		5	
総合計		72	

【問 9-4】 いずれは市外に住みたい理由は何ですか。

【問 9-1】 で「いずれは市外に住みたい」と回答した人が対象

いずれは市外に住みたい理由についてたずねたところ、「生活をするのに不便（買物・交通等）だから」が 32.1%で最も多く、次いで「その他」（20.5%）、「仕事の関係から」（15.4%）の順となっています。

その他の意見としては、「親の介護のため」「南海トラフ地震の影響が少ない所へ転居したため」「実家の近くで子育てしたいため」「県外に住んでみたいため」等です。

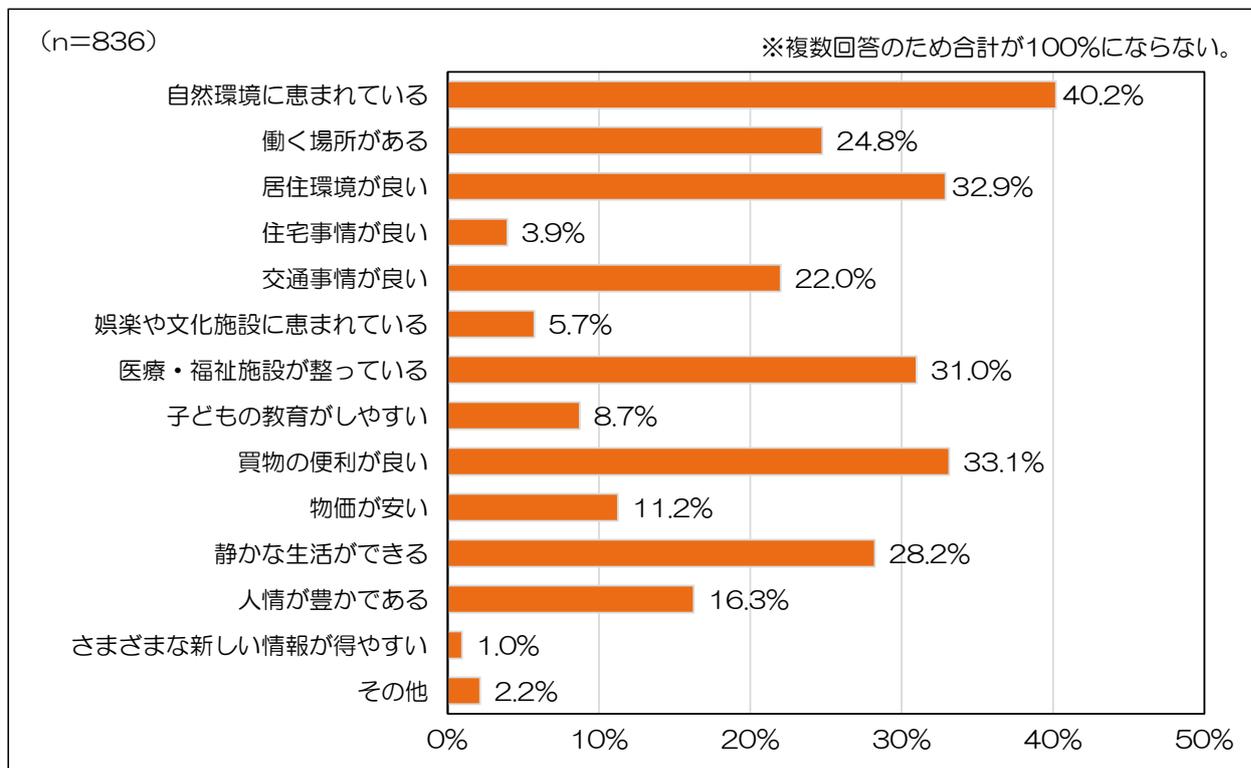


設問番号	項目	n	%
1	生活をするのに不便（買物・交通等）だから	25	32.1%
2	子どもの保育・教育環境が良くないから	3	3.8%
3	まちに活気がないから	2	2.6%
4	働く場所がないから	6	7.7%
5	仕事の関係から	12	15.4%
6	住宅取得が困難だから	2	2.6%
7	家賃が高いから	2	2.6%
8	都会で暮らしたいから	10	12.8%
9	専門学校、大学がないから	0	0.0%
10	その他	16	20.5%
有効回答-計		78	100.0%
無回答・無効票		13	
総合計		91	

【問 10】あなたにとって住みよさとは何ですか。（〇は3つまで）

四万十市の住みやすさについてたずねたところ、「自然環境に恵まれている」が40.2%で最も多く、次いで「買物の便利が良い」（33.1%）、「居住環境が良い」（32.9%）の順となっています。

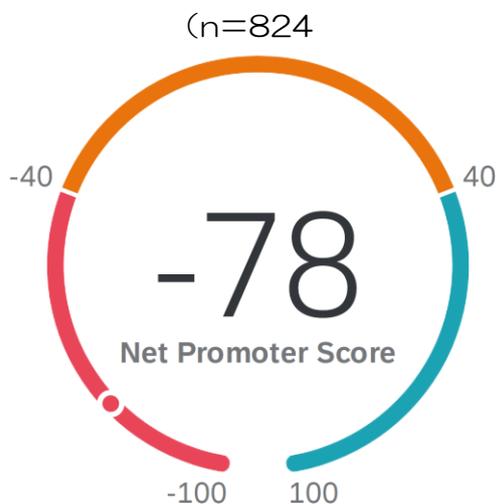
その他の意見としては、「家族が近くにいること」「自分の家があること」「災害の心配がないこと」等です。



設問番号	項目	n	%
1	自然環境に恵まれている	336	40.2%
2	働く場所がある	207	24.8%
3	居住環境が良い	275	32.9%
4	住宅事情が良い	33	3.9%
5	交通事情が良い	184	22.0%
6	娯楽や文化施設に恵まれている	48	5.7%
7	医療・福祉施設が整っている	259	31.0%
8	子どもの教育がしやすい	73	8.7%
9	買物の便利が良い	277	33.1%
10	物価が安い	94	11.2%
11	静かな生活ができる	236	28.2%
12	人情が豊かである	136	16.3%
13	さまざまな新しい情報が得やすい	8	1.0%
14	その他	18	2.2%
計		2,184	261.2%
回答者数		836	100.0%
無回答・無効票		26	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

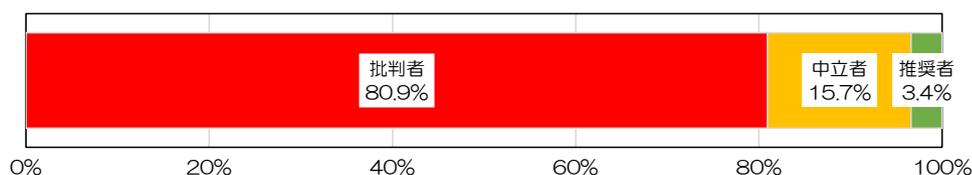
【問 11】あなたは家族や親しい友人に、現在、お住いの地域に移住することをお勧めしますか。強く勧める場合には「10」、まったく勧めない場合には「0」として11段階で評価してください。（〇は1つ）



●NPS（Net Promoter Score）分析の結果

NPSスコアが「-78」であることは、回答者の大多数が自分の住む地域に対して不満を持っており、家族や親しい友人にその地域への移住をお勧めしないことを示しています。

このようなスコアは、地域やコミュニティに対する満足度や、暮らしの安全・安心・利便性、暮らしの快適性、教育・文化の充実、産業振興面など、住民の生活の質に直接影響する多くの要因が考えられ、NPSスコア（顧客ロイヤルティ）を高めるための改善策が必要であることを示唆しています。



設問番号	項目	n	%	分類	n	%
0	0点（まったく勧めない）	116	14.1%	批判者	667	80.9%
1	1点	28	3.4%			
2	2点	38	4.6%			
3	3点	98	11.9%			
4	4点	42	5.1%			
5	5点	290	35.2%	中立者	129	15.7%
6	6点	55	6.7%			
7	7点	70	8.5%			
8	8点	59	7.2%	推奨者	28	3.4%
9	9点	7	0.8%			
10	10点（強く勧める）	21	2.5%			
有効回答-計		824	100.0%	計	824	100.0%
無回答・無効票		38				
総合計		862				

## 【NPS（Net Promoter Score）とは】

NPS は顧客ロイヤルティ（企業に対する信頼や愛着の大きさ）や推奨の意向を測るための指標です。

顧客に「あなたはこの商品・サービスをどの程度、友人や同僚に勧めますか？」というアンケート項目（質問）を投げかけます。

この質問に0～10の11段階で答えてもらった結果を数値化して求めます。

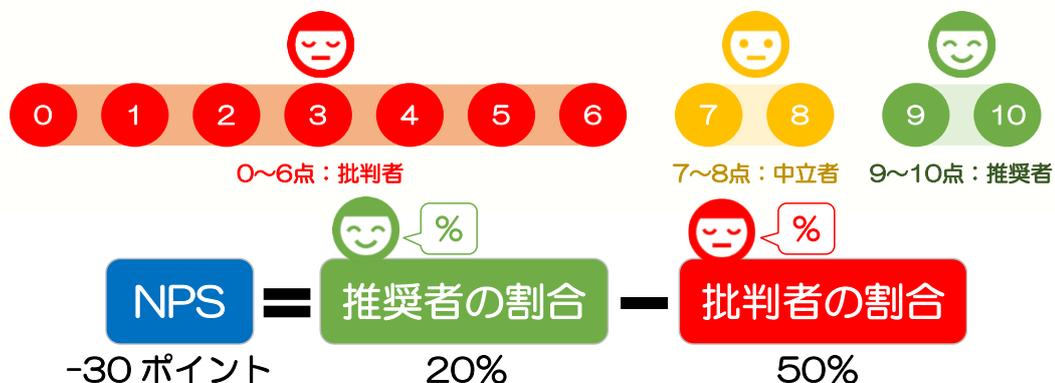
回答された数値によって、顧客を3グループ（批判者、中立者、推奨者）に分けます。

- 推奨者：9～10点の数値を答えた顧客。商品・サービスを愛用してくれ、周囲にも勧めてくれる層です。
- 中立者：7～8点の数値を答えた顧客。特に商品・サービスを周囲に勧めることもない代わりに、悪い口コミも広げませんが、何かのきっかけで競合の商品・サービスへ移りやすい層です。（NPSスコア計算には含めません。）
- 批判者：0～6点の数値を答えた顧客。商品・サービスに対する悪い口コミを広げる可能性の高い層です。

回答者全体に占める「推奨者」「中立者」「批判者」の割合を算出し、推奨者の割合（%）から批判者の割合（%）を引いた数値がNPSの値となり、-100～100の間で表されます。

例えば、100人中、「9～10点」の数値を答えた推奨者が20人、「0～6点」の数値を答えた批判者が50人だとすれば、NPS値は（推奨者20%－批判者50%＝-30ポイント）になります。

例：回答者（100人）、批判者（50人）、中立者（30人）、推奨者（20人）



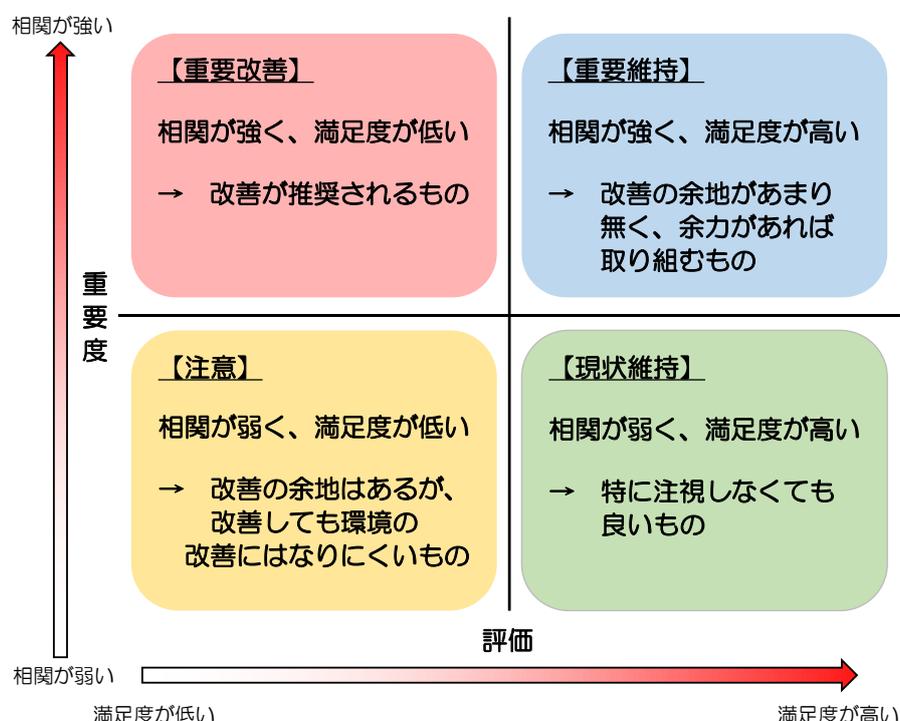
NPS調査において批判者が0～6点と広いのに対し、推奨者が9～10点に限られることに加え、日本人は、評価を行うようなアンケート調査で複数の選択肢がある場合、中間の選択肢を選ぶ傾向が見られます。これを「回答中心化傾向」といい、自分の意見を簡潔・率直に伝えるよりも、曖昧にぼかして伝えることで、相手に嫌われたり集団の中で浮いたりするのを避けようとするためだと考えられます。このため、日本の消費者を対象に調査したNPSはマイナスになることが多くなっています。

（参考：NPS業界別ランキングトップ企業2023 NTTコムオンラインによる）

- ・電力（西日本）部門（第1位 NPS -39.9pt 業界平均：-53.1pt）
- ・都市ガス部門（第1位 NPS -30.5pt 業界平均：-42.3pt）
- ・銀行部門（第1位 NPS -16.7pt 業界平均：-42.7pt）

#### 【4象限分析（キードライバー分析）について】

アンケートで答えていただいた各要素（暮らしの安全、安心、利便性等）の満足度と、推奨度（NPS）との相関値を算出し、散布図を作成します。縦軸を重要度（推奨度）、横軸を満足度とし、散布図内は「重要維持項目（右上）」「重要改善項目（左上）」「現状維持項目（右下）」「注意観察項目（左下）」に分類します。



#### 【重要維持】：右上部分

この項目は、強みを表しています。強みは、満足度と推奨度に大きく影響するものです。

今現在、支持を得ており、さらにそれがリピートや、口コミ、友人や家族に勧める動機にもなっていることを示します。つまり、他と比較した場合に、選ばれている理由、強みがわかる項目といえます。今後も、この項目については重点的な維持が必要です。

#### 【重要改善】：左上部分

推奨度との相関値は高いものの、与えている実際の満足度は低い部分、すなわち弱みに該当します。チャートのなかで、位置が左上に寄っているほど、緊急性が高い項目であるともいえます。少しの改善で、満足度が上がるポイントでもあるため、優先的な対策が必要です。

#### 【注 意】：左下部分

満足度への影響は小さいが、推奨度が低い項目です。優先度は下がりますが改善に努める必要がある項目です。

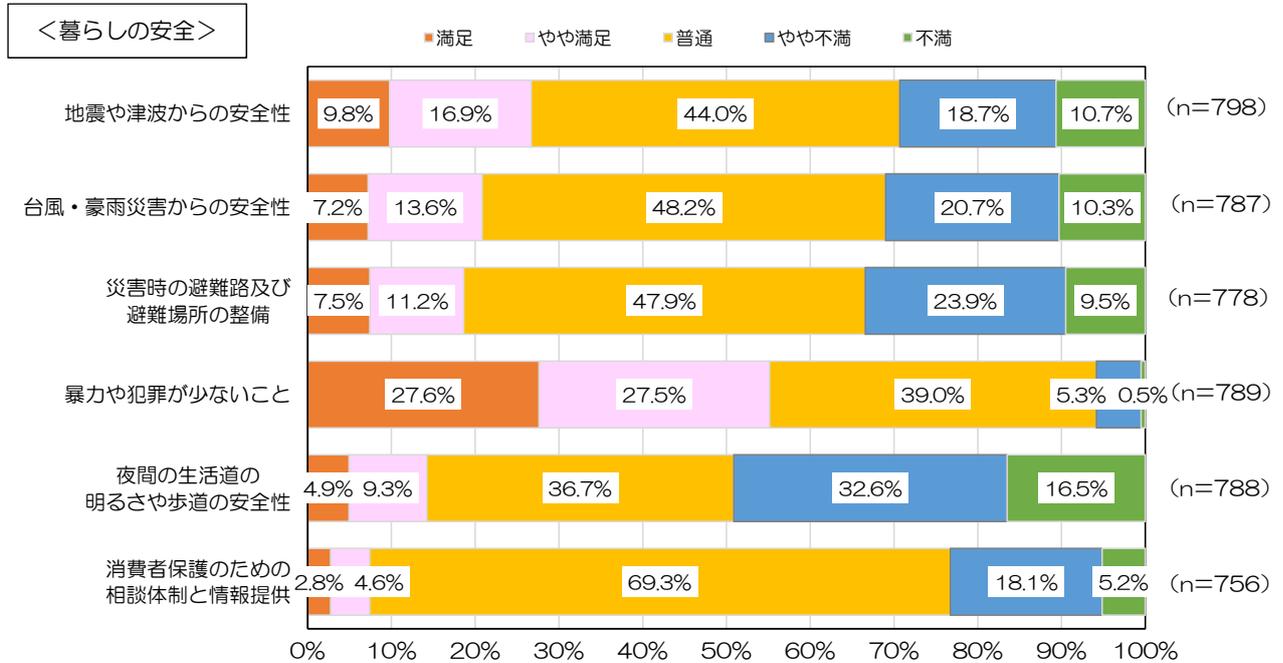
#### 【現状維持】：右下部分

満足度は高いが、推奨度は高くない項目です。ただし、「満足できて当たり前」と認識している可能性もあります。優先度を下げた結果、満足度が落ちてしまうおそれもあるため、質を落とさないように維持することが必要です。

【問 12-1】 問 11 の評価に影響した項目<暮らしの安全>の満足度について教えてください。（それぞれ〇は1つ）

【問 11】 を回答した人が対象

<暮らしの安全>の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「暴力や犯罪が少ないこと」で55.1%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「夜間の生活道の明るさや歩道の安全性」で49.1%となっています。



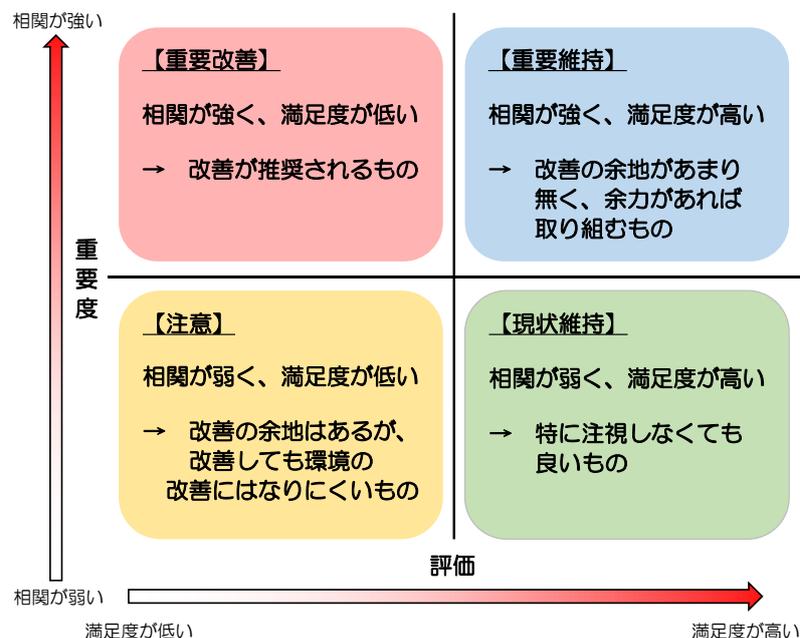
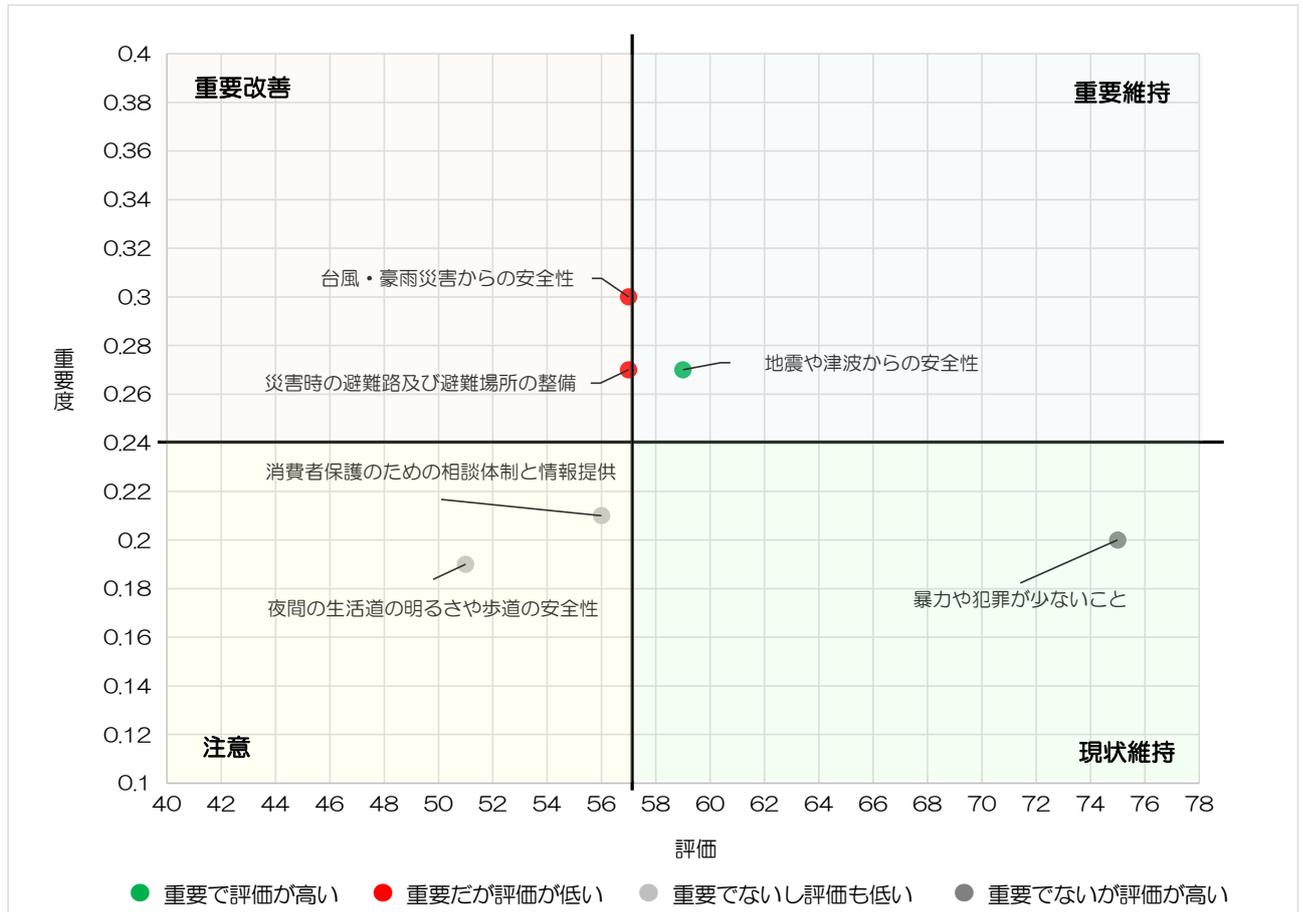
設問番号	項目	地震や津波からの安全性		台風・豪雨災害からの安全性		災害時の避難路及び避難場所の整備	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	78	9.8%	57	7.2%	58	7.5%
2	やや満足	135	16.9%	107	13.6%	87	11.2%
3	普通	351	44.0%	379	48.2%	373	47.9%
4	やや不満	149	18.7%	163	20.7%	186	23.9%
5	不満	85	10.7%	81	10.3%	74	9.5%
有効回答-計		798	100.0%	787	100.0%	778	100.0%
無回答・無効票		26		37		46	

設問番号	項目	暴力や犯罪が少ないこと		夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		消費者保護のための相談体制と情報提供	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	218	27.6%	39	4.9%	21	2.8%
2	やや満足	217	27.5%	73	9.3%	35	4.6%
3	普通	308	39.0%	289	36.7%	524	69.3%
4	やや不満	42	5.3%	257	32.6%	137	18.1%
5	不満	4	0.5%	130	16.5%	39	5.2%
有効回答-計		789	100.0%	788	100.0%	756	100.0%
無回答・無効票		35		36		68	

■問 11（NPS 結果）問 12-1<暮らしの安全>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは「地震や津波からの安全性」となり、「重要だが評価が低い」のは「台風・豪雨災害からの安全性」と「災害時の避難路及び避難場所の整備」となっています。

この結果より、「台風・豪雨災害からの安全性」と「災害時の避難路及び避難場所の整備」の評価を上げることが重要であることがわかります。



## ■「不満」と答えた理由

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
ハザードマップが数年見直しされていない。絶対にくるといわれている南海大地震への対策が、黒潮町などと比較し、災害意識が低く感じる。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備
下田に住む以上津波は一番怖い。どうしようもない。逃げるのみ。避難路、タワー整備されているのがうれしい。	地震や津波からの安全性		
街灯が少ない。暗いので危険を感じる。犯罪に繋がりがやすい。指定避難場所が明確にされているか分からない。	地震や津波からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
街灯も少なく歩道の整備もよいとはいえない。災害時などの避難タワーはあるが吹きさらし状態で雨・風・寒さ対策をもっと配慮してくれるといいと思う。	地震や津波からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
山や川海が近い立地の為。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	
四万十川岸に住む者です。堤防は無く大雨時には県道も大水に浸かり、避難道路も無く山崩れもあり不安の時を過ごしている。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備
川から近く増水による災害のリスク有り。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	
大地震の不安、津波が来やすいところに住んでいる。	地震や津波からの安全性		
地すべり地区であるという情報をもらったが支援はないとのこと。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	
地震や津波は、地理的に避けられないため。	地震や津波からの安全性		
地震時津波の浸水が予想されるため。	地震や津波からの安全性		
地盤が弱く南海地震の時も家が倒れたそうである。避難場所への通路が急で老人には無理である。	地震や津波からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
津波が来るので危ない。	地震や津波からの安全性		
津波が来る地域に住んでいるため。	地震や津波からの安全性		
堤防や水門がない。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	
都市部以外では十分な市政サービスがあるとは言えない。	地震や津波からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
避難タワーがあるが海から一番先に津波が到着する夜間は夏冬でも寒く女性はトイレなど不便で使うつもりはない。台風時や豪雨時もしっかり強風、越波、川の増水すべて不安だ。避難路はガケ崩れの恐れのある場所に作られ避難場所が指定避難されているところは30人程度しか入れず早く旧下田中の体育館を元の通りに指定して欲しい。食料備蓄も1日分とのこと、もっと地区民の立場に立って命をどう守れるか考えてほしい。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備
避難場所。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備
防災全般について周りの自治体がやっていることの二番煎じで自分たちで考えて住民の安全を考えているとは到底思えない。生活道の明るさも中心から少し外れるだけで暗闇。消費生活もセンターがあるだけで相談方法もまるで周知されていない。	全ての項目		
夜道が暗い。街中以外こわい。南海トラフ地震がきたら、本州などからの助けは3ヶ月後とかになるのではと思っている。	地震や津波からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
裏山が高い。限界集落のため、将来に不安を感じている。	地震や津波からの安全性	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備
裏山が怖い（台風時など）。	台風・豪雨災害からの安全性		
両側に川が有り、家の前が山、山の地滑りを指摘されており不安。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
がけ崩れと河川の氾濫。	台風・豪雨災害からの安全性		
異常気象と言われる豪雨災害は毎年あるが、四万十市は充分なのか不安。避難場所も日数を重ねて居られるほど充分ではないと思える。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
豪雨の時も避難する施設が近くにあればよい、洪水が怖い。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
豪雨の時自宅前の道が増水し孤立すること。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
水没多い。道が暗い。道が狭い。	台風・豪雨災害からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
全国的に見て遅れている。	台風・豪雨災害からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
台風など水が出ると道路が浸かって仕事も休まなければいけない。街灯もなく夜道は危険。	台風・豪雨災害からの安全性	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
大雨による道路の水没。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
大雨時の道路の冠水、排水路の未整備。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
道路が水害に会う。	台風・豪雨災害からの安全性	災害時の避難路及び避難場所の整備	
大雨の場合、水路から水がオーバーフローしてしまい道路にあふれてしまう。	台風・豪雨災害からの安全性		
道路の悪さ、夜間外灯少なさ。	災害時の避難路及び避難場所の整備	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
夜道が暗い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
山と田で夜暗いので夜の1人歩きは不安なので街灯をつけてもらいたい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
住所が一条通5丁目なのだが、年老いた両親の足で災害等で避難出来る場所がない(遠すぎて行けない)。	災害時の避難路及び避難場所の整備	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
他の市町村に比べると意識も設備も低いと思う。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
電気が蓄電されていない。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
道路の整備が悪い。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難場所が集落内に整備されていない。現在の指定場所は遠い、地震では通行不能となる可能性大。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難場所の学校なども高い場所にあるわけではない。高齢者も多い中、避難する場所が遠かったり、そこまで行くのが困難なのではないかと考える。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難場所までの道路が寸断されることが予想されるので近場に避難場所を設置してほしい。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難場所まで行くのが大変。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
津波よりも山が崩れて孤立する方が私が住んでいるところは多く、それの対策は出来てないと思う。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難場所の整備不足(トイレ睡眠場所食料備蓄)。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
国道は改良が進んでいるが、県道以下は昔のままの所が多く、限界にきている。	災害時の避難路及び避難場所の整備	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	
堤防が崩れたら具同地区が水につかるから。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
避難路が水沈しやすい。避難場所までの坂道が不安。	災害時の避難路及び避難場所の整備		
自分の周りでは聞いたことが無い。	災害時の避難路及び避難場所の整備	消費者保護のための相談体制と情報提供	
通学路に外灯が少ない。早朝や夕方に散歩している方が蛍光の物をつけていなくて見づらく危険。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
安並運動公園から奥の道は街灯がなくて大変暗く、孫達の通学路でもあるので心配。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
外灯がなく夜は真っ暗。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が暗い所があり夜危険。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が無く暗い所が多い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が少ない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が少ないので暗い。歩道もがたがただったり道が傾いていたりする。街中は良くても少し外れると整備が行き届いてない所もある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が少なく暗い道が多くある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯が無いので夜間が暗いので不便。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯の取り換えや電気代は市が負担すべき。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		

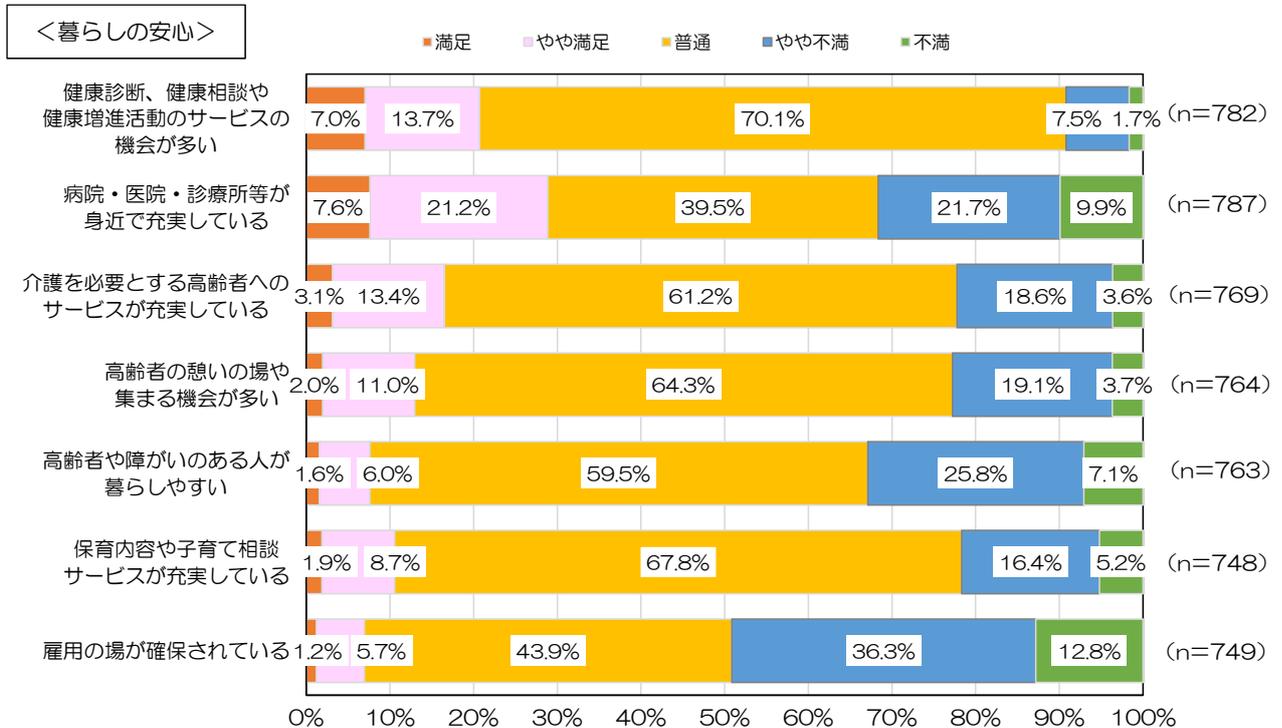
不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
学生の通学路になっている歩道に全く街灯がない。私もいずれ高齢者になるがお年寄りが安心して通れる歩道、赤鉄橋からフジグランに下っていく道路など、歩道が欲しい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
空き家が増えて夜間歩くのに怖い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
国道に出入りする時、見通しが悪く危ない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
自由が丘団地の歩道の整備をお願いしたい。(折角の歩道が雑草や植木の枝で半分も歩けない状態なので小学生が車道を歩いてひやっとする)	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
車で通ると普段分らないが、歩いてみると道路がガタガタしていて歩きづらかったり上がったり下がったりして疲れる。人気のない道に限って街灯が少ない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
大通り以外の道が暗すぎるから。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
中筋地区に勤務しているが、宿毛工業の生徒さんが自転車で登下校する際、明かりが乏しく危険ではないかいつも思う。外灯の設置数を増やして欲しい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
田舎なので外灯(橙)がない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
東山地区の道路がくらい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
道のガタガタ、車が来るのでサイドを自転車、歩きで通ると穴があったり、ガタガタと怖い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
南小の通学路が危険。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
普段使用している道の修繕がされていない 街灯が少なく夜間は不安がある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
歩道に夜間の街灯を要請したが可能にならなかった。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
歩道の整備等就学児の登下校が危ない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
夜間暗いので散歩もやめた。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	消費者保護のための相談体制と情報提供	
歩道が狭い場所が多く、人が車と近い距離になり、事故の心配がある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
夜間は街灯もなくまっくら。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
家の周辺の灯りがすくない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
歩道上に草がおいしげっていてあふない。(中村高校グラウンド横の県住前)	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
赤鉄橋よりフジグランの間の歩道が整備されていないし、電柱が邪魔をしている。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
夜間道を歩くのに照明が無くて暗い。過疎地で地域から離れたことが無く、自分からの情報が得られにくい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	消費者保護のための相談体制と情報提供	
夜の商店辺は整備され歩道部分を含め、場所により、気にかけていない場が多い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
夜道が暗くてこわい。街灯が無い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
夜間外出する時は懐中電灯が必要。もう少し、明るいて欲しいとも思う。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
国道でありながら街灯が少なく通学時などに不安がある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
中村地域(街)の方は灯りがよくあるが、市内を離れた所は灯りの設置が進んでいない。部活終わり、暗い道を自転車で帰るときに怖い思いをしたことがある。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
どこへ相談していいか良く分からない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性	消費者保護のための相談体制と情報提供	
歩道のない道が多く、街灯も少ないが細い道でも交通量が多い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
生活道の街灯が少な過ぎて夜こわい。(東町3丁目辺り特に)	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
仕事終わりに日課にしている散歩をするが、冬はどうしても暗くなってからのスタートで、道には街灯もない。暗い。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
あかるすぎる。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
外灯が欲しい。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
街灯、窓が少ない。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
冬場、学校が終わって帰ってくる時間帯は真っ暗でもっと街灯があればと思う。	夜間の生活道の明るさや歩道の安全性		
行政との話し合いの時間が少ないのではないか。	消費者保護のための相談体制と情報提供		
どこに相談すればよいのか、何を相談すればよいのか、結果を出してくれるのか、消費者センターのみなのか、情報が少ない。	消費者保護のための相談体制と情報提供		
相談場所がわからない	消費者保護のための相談体制と情報提供		
物価が高いのにそれに対して相談しても何も変わらない。	消費者保護のための相談体制と情報提供		

【問 12-2】 問 11 の評価に影響した項目〈暮らしの安心〉の満足度について教えてください。（それぞれ〇は1つ）

【問 11】 を回答した人が対象

〈暮らしの安心〉の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「病院・医院・診療所等が身近で充実している」で28.8%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「雇用の場が確保されている」で49.1%となっています。



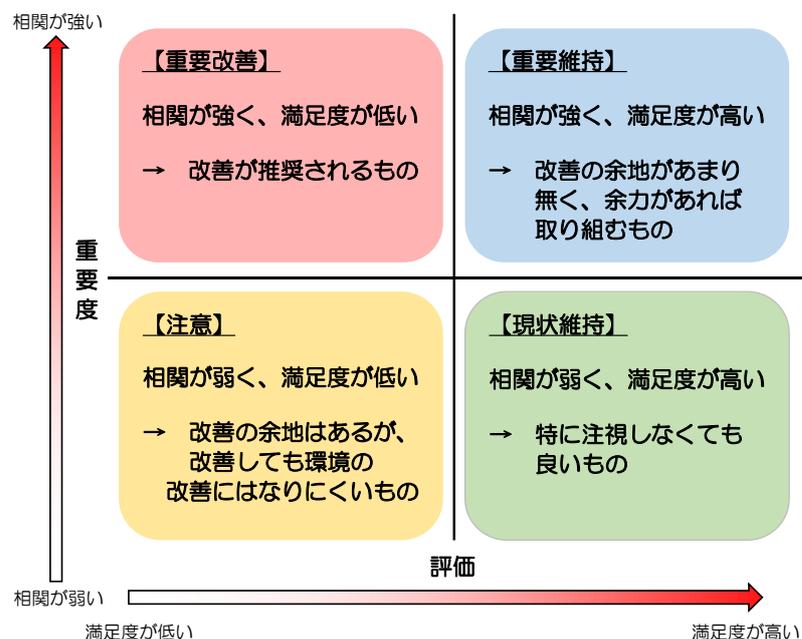
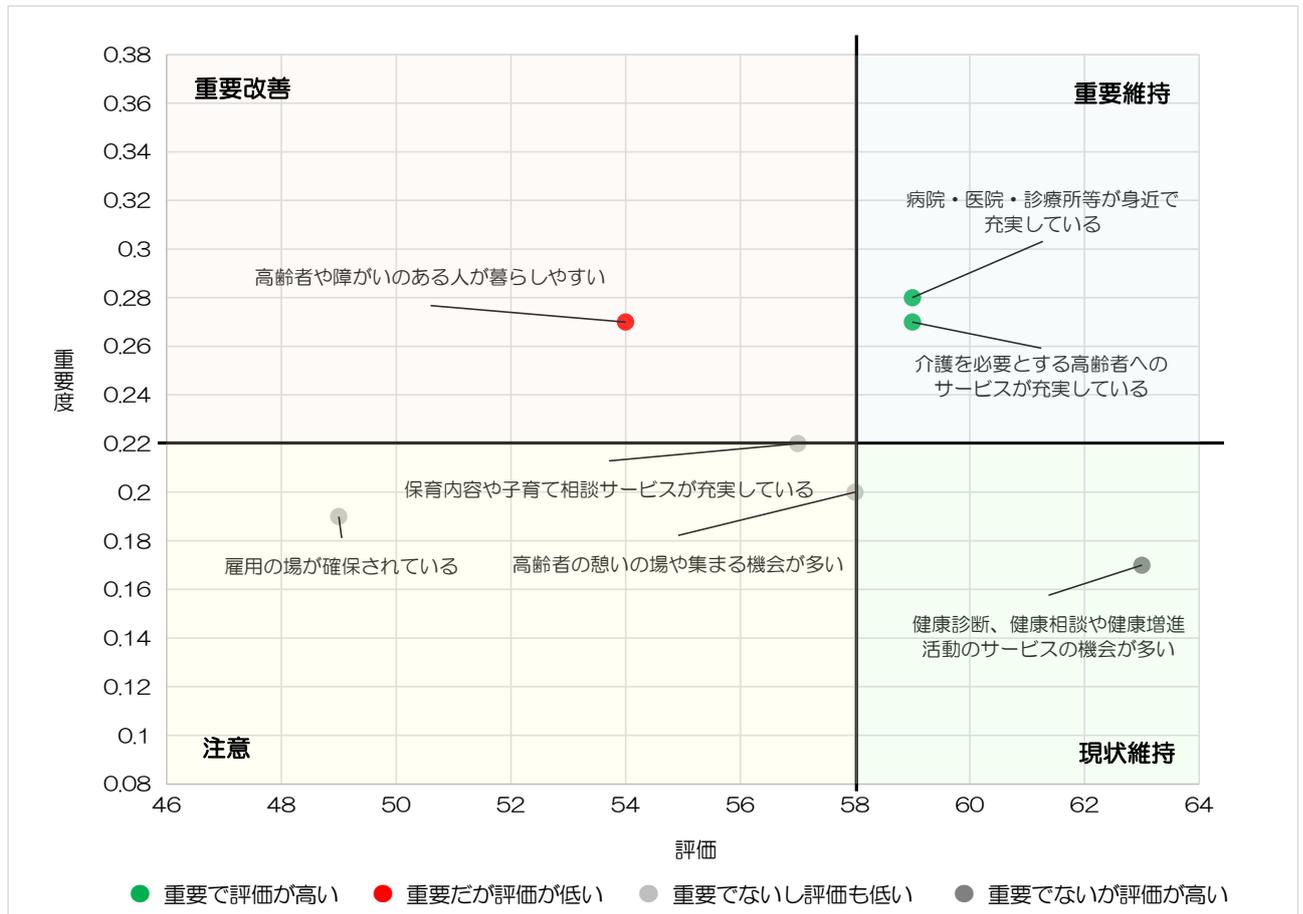
設問番号	項目	健康診断、健康相談や健康増進活動のサービスの機会が多い		病院・医院・診療所等が身近で充実している		介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している		高齢者の憩いの場や集まる機会が多い	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	55	7.0%	60	7.6%	24	3.1%	15	2.0%
2	やや満足	107	13.7%	167	21.2%	103	13.4%	84	11.0%
3	普通	548	70.1%	311	39.5%	471	61.2%	491	64.3%
4	やや不満	59	7.5%	171	21.7%	143	18.6%	146	19.1%
5	不満	13	1.7%	78	9.9%	28	3.6%	28	3.7%
有効回答-計		782	100.0%	787	100.0%	769	100.0%	764	100.0%
無回答・無効票		42		37		55		60	

設問番号	項目	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい		保育内容や子育て相談サービスが充実している		雇用の場が確保されている	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	12	1.6%	14	1.9%	9	1.2%
2	やや満足	46	6.0%	65	8.7%	43	5.7%
3	普通	454	59.5%	507	67.8%	329	43.9%
4	やや不満	197	25.8%	123	16.4%	272	36.3%
5	不満	54	7.1%	39	5.2%	96	12.8%
有効回答-計		763	100.0%	748	100.0%	749	100.0%
無回答・無効票		61		76		75	

### ■問 11 (NPS 結果) 問 12-2<暮らしの安心>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは「介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している」と「病院・医院・診療所等が身近で充実している」となり、「重要だが評価が低い」のは「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」となっています。

この結果より、「高齢者や障がいのある人が暮らしやすい」の評価を上げることが重要であることがわかります。



## ■「不満」と答えた理由

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
健康診断などの必要な情報が得られない。健康増進施策もやっているかどうかすらわからない。病院は基本は幡多けんみん病院と民間の専門医以外利用する気にならない。介護施設だけは高齢者が多いため必要十分にある。ただし費用が高すぎて結局裕福な人しか十分に利用できない。子育て関係は下田の問題をはじめ悪手のイメージしかない。雇用の場はあればいいというものではなく労働者が働きがいのある労働条件である必要がある。募集だけ増えても意味がない。	健康診断、健康相談や健康増進活動のサービスの機会が多い	病院・医院・診療所等が身近で充実している	保育内容や子育て相談サービスが充実している	雇用の場が確保されている
健康増進サービスが少ない。	健康診断、健康相談や健康増進活動のサービスの機会が多い			
四万十市の中核病院である市民病院が、もう少し機能してくれたらと思う。祝日や休日に、子どもが熱が出て解熱剤（坐薬）が欲しくて、当番医の市民病院に連絡すると、『子ども用の薬はおいてません』と言われて電話を切られた。大人でも内服が難しいときには、坐薬を使ったりすることがあるので、アルビニーくらいは病院に置いてと思うが。家族が市民病院に受診して身体のしんどさを医師に訴えても、『年のせいだから、あんまり体力仕事はしないで』という反応だけ。結局、精査はしてくれず、他の病院に行くこと末期の癌だった。	病院・医院・診療所等が身近で充実している	介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している		
（総合）病院の数が少ない。手術などは幡多けんみん病院や市外、県外に通院しなければならない。病院の選択ができない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
この1年以内で90代の高齢者が深夜ケガをして救急車を呼んだが自宅到着し確認後「こんなケガで」「タクシーで行くように」と言われ教えられた病院に行ったが救急対応しておらず守衛に怒られ困り果てて自宅へ戻り結局隣市病院へ行き縫ってもらい深夜2時に帰宅した事例有り。別件で隣市病院の診断についても「〇〇先生の診断にケチつける訳にはいかんから」と救急連携が幡多地域の四万十市民病院に悪影響を及ぼしている面がある。	病院・医院・診療所等が身近で充実している	介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している		
ささいな怪我、疾患、病気であれば病院（四万十市内で）で困る事はないと思う。しかし、交通事故等で急な手術が必要になった場合、高知県西部で対応できてないようで心配。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
医療が必要な人が適切な医療を受ける事ができない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
患者の心を傷つける看護師が多すぎる。看護師の心無い態度で病院通いが苦痛になる事多々あり。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
休日当番医（今年正月市民病院で10歳未満の治療を断られた。）	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
市民病院の診療科が少なすぎるため科目が揃っていないけんみん病院に行くしかないという状況になる。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
高知県の人口割合でも上位の市町村でありながら、公立病院としての役割を果たせていない四万十市民病院。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
市民病院でコロナ対策などもっときちんとするべき。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
市民病院としての役割（県民病院とは異なる）脳外科、小児科を。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
市民病院にない科（脳外科等）があるし間に合わない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
市民病院の充実。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
歯科医院が無くなり、通院治療が大変になった。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
信頼できるDr.の病院には設備がなく、設備のととのっている病院には信頼できるDr.がいない。仕事をしているので地域のかかわりがなくわからない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
必要な診療科が整っていない市民病院は県民病院に頼りすぎ。合併したらどうか。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
専門の病院が少なく、他の市町村にいかなくてはいけない。雇用の場が少ないので息子も都会から帰ってきてほしいと言っても賛成できない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している	雇用の場が確保されている		
専門医療機関が少ない。（皮膚科・耳鼻科など）若い人が出ていく。大学がない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している	雇用の場が確保されている		
大きい病院がない。（県民病院クラスの）	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
大きな病院に行くと6～7時間待たされ、受診する気になれない。個人病院はどこも評判がよくないので信用できない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
中心部から遠く何をしてもサービスはない。（少ない）	病院・医院・診療所等が身近で充実している	雇用の場が確保されている		
病院が充実しているとは言えないと思う。いざとなれば大体が幡多けんみん病院（宿毛市）に搬送されることが多いと思う。四万十市内にはなかなか頼れる病院というのは少ないのではないかと。雇用の場でいうと介護系が多く（求人）他の職種が少ないように思う。	病院・医院・診療所等が身近で充実している	雇用の場が確保されている		
病院はあるが人が多く、予約制もない所では待ち時間が長いので結果として病院に行きたくなくなり、頼れない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			
車の免許が書があり、乗っている間は良いが乗れなくなれば通院もできない、決まった時間に通院できない。	病院・医院・診療所等が身近で充実している			

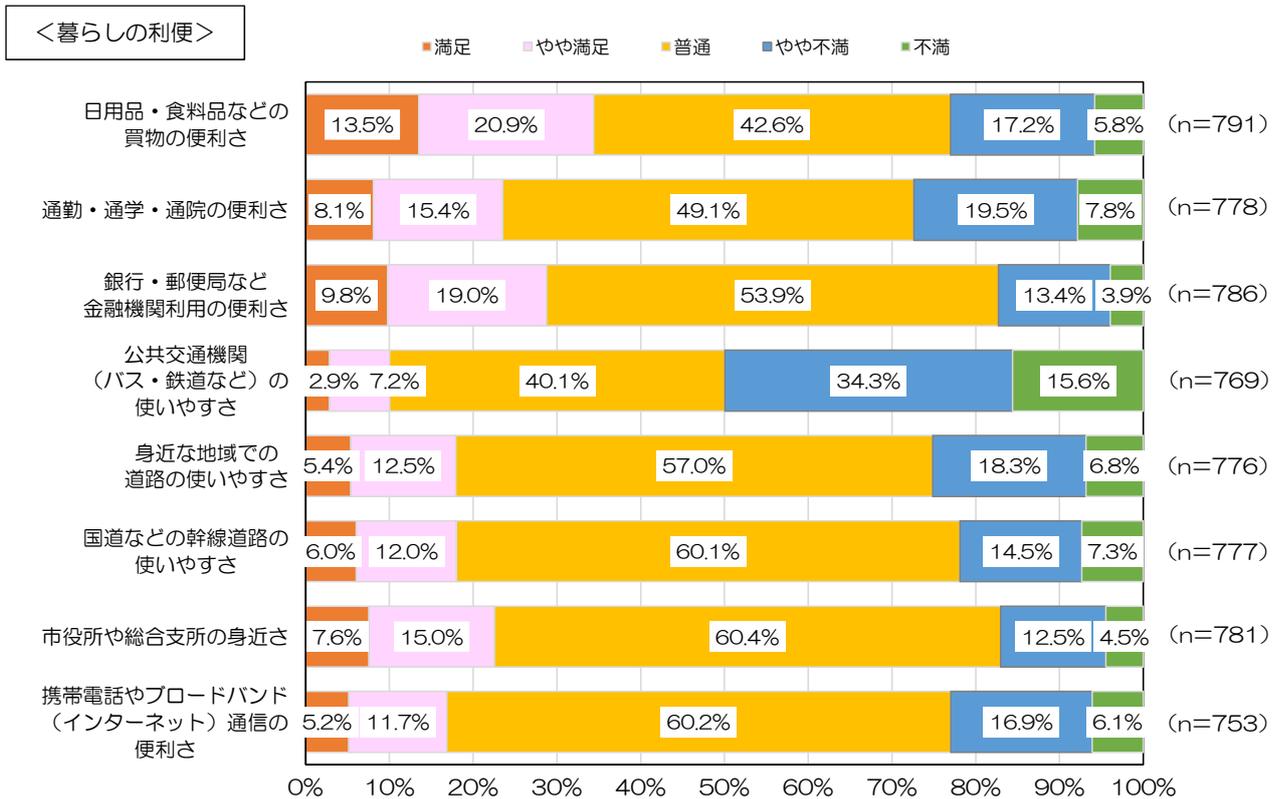
不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
これからは介護士不足などで介護難民がでるといわれているので不安。	介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している			
独居老人への見守りサービスを充実してほしい。	介護を必要とする高齢者へのサービスが充実している			
街中に集会所がない。	高齢者の憩いの場や集まる機会が多い			
独居老人が行くあてもなく一日中テレビと共に生活している。わずかな年金で生活しなければいけないので外に乗り物に乗って出かけることが少ない。ほとんどない。災害時にはなかなか大変である。老人や障害のある人を避難させる為、命についてもっと基本的なことを考えてほしい。障がい者や老人が高台ですごせる工夫が欲しい。	高齢者の憩いの場や集まる機会が多い	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい		
地域に集会所がなく高齢者が集まる場所が無い。文化センターの後に作っていただけませんか。災害時の避難場所としても利用したい。	高齢者の憩いの場や集まる機会が多い			
そもそも暮らしやすさをどの程度と行政は考えているのか、高齢者でも家族あり無し、一人暮らしとしては十分な住宅設備に違いもあるし、保育にしても中まで踏み込んだ指導をしているか疑問である。	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	保育内容や子育て相談サービスが充実している		
高齢者の施設、障がい者が市内で入所出来る所を増やしてもらいたい。(親が仕事が出来ないからです)	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	雇用の場が確保されている		
車が無いと街にいけない。…病院など・若い人に仕事が無い	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	雇用の場が確保されている		
障害のある人への偏見。差別的な発言をする人が一定数いる。	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい			
数年前までは保育園もあったが今はなくなってしまった。市内までも15分から20分程かかってしまうため自分などは運転できるため何とかなるが高齢者はかなり苦労すると思う	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	保育内容や子育て相談サービスが充実している	雇用の場が確保されている	
母子家庭の者としては障がいのある子を一人で育てているのに何の保障もなく安い給料で高い施設費を払うのは大変	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい	雇用の場が確保されている		
限界集落のため、将来どちらかが1人世帯になるため不安を感じている。	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい			
障害のある人が住みにくい。外とのコミュニケーションの場所が少なすぎる。NPO法人での援助が欲しいと思う。	高齢者や障がいのある人が暮らしやすい			
0歳児保育病児保育の不足。学童保育の不足土日祝働く所が無いと働けない。	保育内容や子育て相談サービスが充実している	雇用の場が確保されている		
園児、児童に対して複式はいいイメージがない。	保育内容や子育て相談サービスが充実している			
保育士として働くうえで給料が低い。人手不足により職員の休日が保証されていない。	保育内容や子育て相談サービスが充実している	雇用の場が確保されている		
若い者は暮らしていけない。(賃金低すぎ)高齢者は70歳でも80歳でも仕事をする。若いものもアルバイト年収200万円もいかない。	雇用の場が確保されている			
コネがなければいい仕事にはつけない。	雇用の場が確保されている			
雇用の場が確保されているなら若者流出は多少なり抑えられると思う。	雇用の場が確保されている			
職種がかぎられたり、賃金の安さ。	雇用の場が確保されている			
職種が少なく、選ぶ事が出来ない。賃金が安い。	雇用の場が確保されている			
転入してくる人がいなく志望者のみ増えて人口減少に至っている。	雇用の場が確保されている			
昨今の最低賃金の見直しもあり、雇用を維持できる体力のある会社が少ない。	雇用の場が確保されている			
パートやアルバイトはあるが正規雇用が無いに等しい。選べない。	雇用の場が確保されている			
移住しても働く場所がない。	雇用の場が確保されている			
給料が安すぎる。	雇用の場が確保されている			
給料面。	雇用の場が確保されている			
元々人口が少ないので仕方ないが、この町に定住、通勤の意味で減点。	雇用の場が確保されている			
雇用の場が少ない。	雇用の場が確保されている			
雇用の場が少なく選択できない。	雇用の場が確保されている			
雇用所が少なく介護関係以外の事業所が少なく若者のニーズを応えていない。	雇用の場が確保されている			
産業がない。	雇用の場が確保されている			

不満の理由	「不満」と答えた 項目1	「不満」と答えた 項目2	「不満」と答えた 項目3	「不満」と答えた 項目4
若い人の県外（市外）への流出がある。若い人が将来を見据えての安心して働ける場所・環境・生活・子育てができにくい。	雇用の場が確保されている			
若い人の雇用先が無いので皆県外へ出てしまう。若い人が少なく、子どもが少なくなり人口減になっていく。お年寄りばかりになり過疎化が進む。	雇用の場が確保されている			
若者の就業先が少なく限定的。人口減なのではないのかもしれないが。	雇用の場が確保されている			
若者の地域住居を目指している割に雇用口が少なく仕事（就職）面での不安がある。介護施設はあるのに介護士が少ないので給与の保証をすべきだと思う。	雇用の場が確保されている			
独立した子どもが、仕事がないという理由で、帰ってこない。	雇用の場が確保されている			
必要な金額を稼げる場所がない。	雇用の場が確保されている			
福祉医療など資格が必要な仕事はあるが一般的な仕事は少ない。	雇用の場が確保されている			

【問 12-3】 問 11 の評価に影響した項目〈暮らしの利便〉の満足度について教えてください。（それぞれ〇は1つ）

【問 11】 を回答した人が対象

〈暮らしの利便〉の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「日用品・食料品などの買物の便利さ」で34.4%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ」で49.9%となっています。



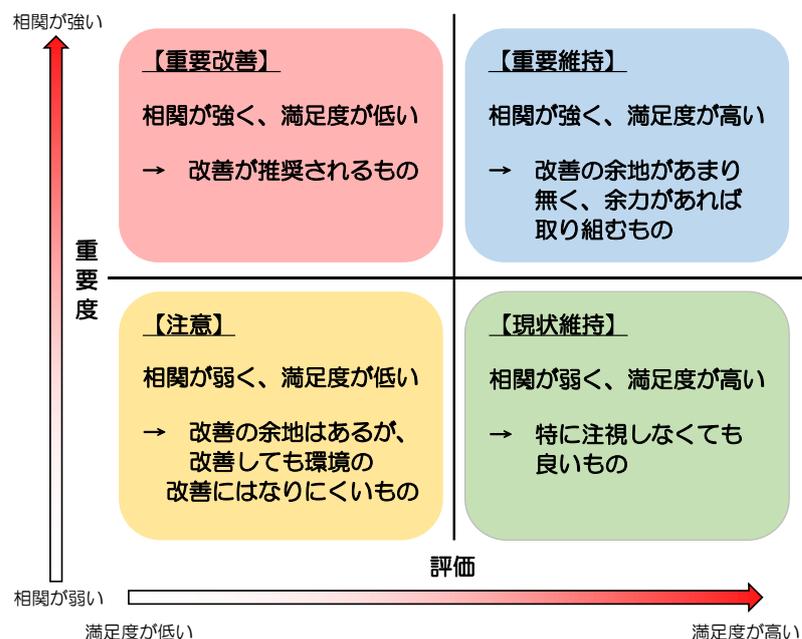
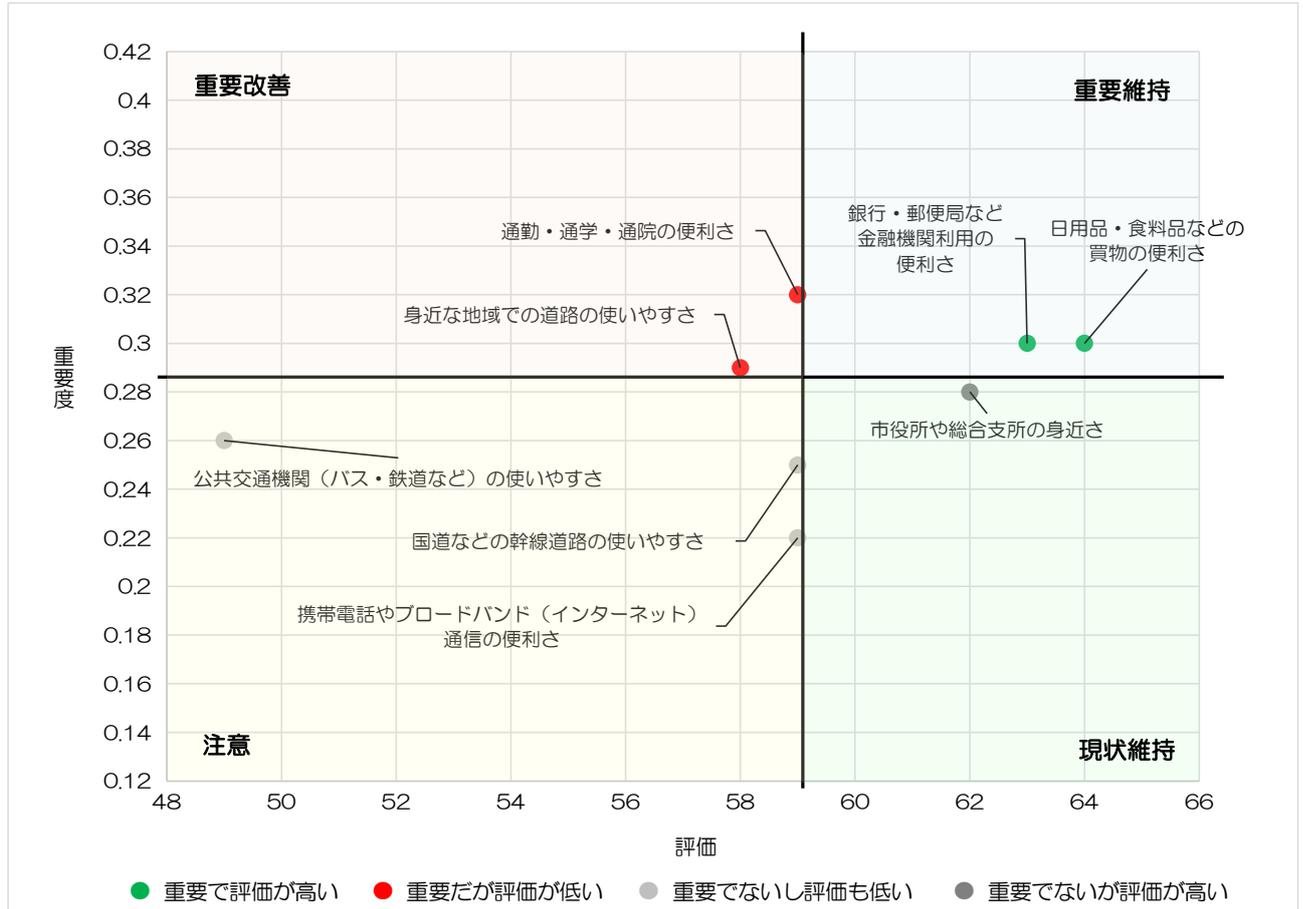
設問番号	項目	日用品・食料品などの買物の便利さ		通勤・通学・通院の便利さ		銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ		公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	107	13.5%	63	8.1%	77	9.8%	22	2.9%
2	やや満足	165	20.9%	120	15.4%	149	19.0%	55	7.2%
3	普通	337	42.6%	382	49.1%	424	53.9%	308	40.1%
4	やや不満	136	17.2%	152	19.5%	105	13.4%	264	34.3%
5	不満	46	5.8%	61	7.8%	31	3.9%	120	15.6%
有効回答-計		791	100.0%	778	100.0%	786	100.0%	769	100.0%
無回答・無効票		33		46		38		55	

設問番号	項目	身近な地域での道路の使いやすさ		国道などの幹線道路の使いやすさ		市役所や総合支所の身近さ		携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	42	5.4%	47	6.0%	59	7.6%	39	5.2%
2	やや満足	97	12.5%	93	12.0%	117	15.0%	88	11.7%
3	普通	442	57.0%	467	60.1%	472	60.4%	453	60.2%
4	やや不満	142	18.3%	113	14.5%	98	12.5%	127	16.9%
5	不満	53	6.8%	57	7.3%	35	4.5%	46	6.1%
有効回答-計		776	100.0%	777	100.0%	781	100.0%	753	100.0%
無回答・無効票		48		47		43		71	

### ■問 11 (NPS 結果) 問 12-3<暮らしの利便>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは「日用品・食料品などの買物の便利さ」と「銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ」となり、「重要だが評価が低い」のは「通勤・通学・通院の便利さ」と「身近な地域での道路の使いやすさ」となっています。

この結果より、「通勤・通学・通院の便利さ」と「身近な地域での道路の使いやすさ」の評価を上げることが重要であることがわかります。



## ■「不満」と答えた理由

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
運転できなくなると買い物に不安。	日用品・食料品などの買物の便利さ			
交通の便が悪いと病院、銀行、買物に不便。バスの回数が少ない。小さいバスで良いので国道だけでなく、家の近くまで来てくれるバスを利用できるようにしてほしい。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ
行きたいときに行きたい所へは車が無いといけない。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ		
高齢になると車などにも乗れなくなり、交通機関も充実してなく医療や買い物に不安。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	
今78才だが、免許証を返納した場合買い物が行けないこと。	日用品・食料品などの買物の便利さ			
四万十市民になって11年目になるが、2か所スーパーが閉店した。今は車で買い物に行くが、スーパー（天神橋）の復活をお願いしたい。	日用品・食料品などの買物の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ		
市内にスーパーが無い。とても不便。	日用品・食料品などの買物の便利さ			
車の運転できなくなると地区に店がないので不便である。	日用品・食料品などの買物の便利さ			
車に乗らない人は不便だらけだと思う。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ		
食料品の価格が高い。	日用品・食料品などの買物の便利さ			
生活自体自分が高齢化になりつつあるので車に乗れなくなったら不便。もっとはしばしの地域に目を行政が見てほしい。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ
中心部から離れたへき地なので、仕方がないという思いもある。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ
店が少ない、駐車場（特に郵便局など）少ない。故に混む。待ち時間が長くなる。	日用品・食料品などの買物の便利さ	通勤・通学・通院の便利さ	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ
もう少し1時間にバス、鉄道も1本あってほしい。中村地区にドラッグストアを増やしてほしい。「マルナカ店」の跡地に。	日用品・食料品などの買物の便利さ		公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	
まちバス等の整備もしてくれてはいるが、道路交通法の整備の早さと比べ、公共交通網の整備が遅れていると感じるから。今のままでは、運転免許証を返納する年齢になったとしても、安心して返納することができないと思うから。	通勤・通学・通院の便利さ	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	身近な地域での道路の使いやすさ
441号がまだまだ道幅が狭く、運転しにくい。市外の通院に不便。	通勤・通学・通院の便利さ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
雨の日の学校周辺には、車が混み合っただけで道路にまで停まっていることがあるので、駐車場の確保をしてもらえたらと思う。	通勤・通学・通院の便利さ			
公共交通機関に関しては本数も少ないタクシーを使おうにも高いし、ただでさえ物価高の中なので余計に家計が圧迫されていると思う。バスの料金も高い。デマンドタクシーや街バスは安価なのでとてもいいと思う。	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ		
歯科への通院。	通勤・通学・通院の便利さ			
渋滞が多い。	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ	
点在する集落が多い。現状の公共交通機関ではカバー出来ない。	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ		
道は狭くて交通量は多い。	通勤・通学・通院の便利さ			
道幅を広げてもらいたい。道沿いの木及び草を除去。	通勤・通学・通院の便利さ	身近な地域での道路の使いやすさ		
利用数の問題もあると思うので、一概には言えないが、公共交通機関の金額が高い、利用しづらいと感じる。高校生もバイク通学といった、非常にリスクのある手段を選ばざるを得ない状況は、市として整備が必要なのではないか。	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ		
高齢者が免許返納した後の買い物や通院の交通機関が不便である。もっと市の取り組みで方法を改善すべきだと思う。	通勤・通学・通院の便利さ	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ	
国道441号線の板ノ川地区の区間が狭く危険と感じる事が多い。同じく板ノ川地区は冬季の日当たりが非常に悪いので、木の伐採などしてほしい。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
まだまだ未整備の箇所があり、離合難所がある。	身近な地域での道路の使いやすさ			
家の前の道路がボコボコ。（市道）	身近な地域での道路の使いやすさ			
具同346号線道幅狭く、歩道や自転車道もなく事故が多くて危険。なんとかして欲しい。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
見通しが悪い所が多い。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
高知市の一極集中が目立つ。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
国道の整備完成が遅い。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
国道の中央線や道路の端の線が薄かったり消えていたりする。歩道の幅が通れない程の幅しかなかったり、途中で無くなっていたりしてお通路さん達も通りにくいと思う。	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
道幅が狭い。特に西土佐方面への道路の整備に力を入れてもらいたい。	身近な地域での道路の使いやすさ			
道路幅が狭い。	身近な地域での道路の使いやすさ			
放置駐車が多い。	身近な地域での道路の使いやすさ			
不親切。(対応が)	市役所や総合支所の身近さ			
江川崎～中村間の早期の二車線化を望む。	国道などの幹線道路の使いやすさ			
高速道路の整備遅れ。	国道などの幹線道路の使いやすさ			
高速道路を早く中村まで通して欲しい。	国道などの幹線道路の使いやすさ			
車の運転が苦手なので国道441号線を通るのは勇気がいる。	国道などの幹線道路の使いやすさ	市役所や総合支所の身近さ		
バス、鉄道の本数が少なく時間を合わせにくい。国道は片側一車線が多くまた自動車専用道路が少ない。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスの本数が少なく利用しづらい。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスはほとんど来ない。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスは金額が高い。鉄道は不要。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスは便数も少なく使えない。国道は狭い。まちバスは使い勝手がわからない。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスも走る時間帯も少なく不便。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
交通の悪さ。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
バスの停留所が近所に無い。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
工事をする度に段差が出来たりガタガタ、仕上がりがよろしくない。もっと車の走りやすい道路をお願いしたい。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ	
山間に住んでいて道も一本しかなく、公共交通もなく通信(電波)も入りづらく、その点では住みづらい。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ	身近な地域での道路の使いやすさ	携帯電話やブロードバンド(インターネット)通信の利便さ	
仕方がないが、公共交通機関の使い勝手が悪く、自家用車に頼り、その結果ますます利用者が減り悪循環となっている。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
市内は買い物や交通は不便な感じはないと思うが、少し地方に行くとバスは良くても1時間に1本、買い物は車販売が週に2回、便利というにはほど遠い。40年地元に住んでいるが、道も広くはならず、土砂崩れや路肩崩壊で危険。最近は観光客ばかり増えて、交通の便は悪くなる一方。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ	身近な地域での道路の使いやすさ	国道などの幹線道路の使いやすさ	
自家用車の移動のみの生活。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
車が無いと不便。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ	市役所や総合支所の身近さ		
少数集落のインフラ整備を後回しにするのはかえって孤立化や流出に繋がるため、力を入れるべき。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
乗客が少ないので仕方ないとは思っているが、便数が少な過ぎて余計に使えない。息子が宿毛工業への通学に少し使っていたが不便すぎて利用をやめてしまった。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
数時間に一本の便しかない為。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
地区に公共交通機関は無い。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
鉄道はほぼ使わない。もし使うにしてもそこまで行くのに車を使いたい。駐車場が無いので不便。自動車も高いので遠方に行くのもつい車を使用する。汽車の時間も本数が少ないので不便。街バスもどうやって使用したらよいかよくわからない。どこで乗るのかわからない。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
鉄道も減便されている。乗って残そうという気持ちが市民にない。R56 佐賀～大方向がこわい。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
鉄道運賃が高すぎる。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ			
道がせまくて不便。	公共交通機関(バス・鉄道など)の使いやすさ	身近な地域での道路の使いやすさ		

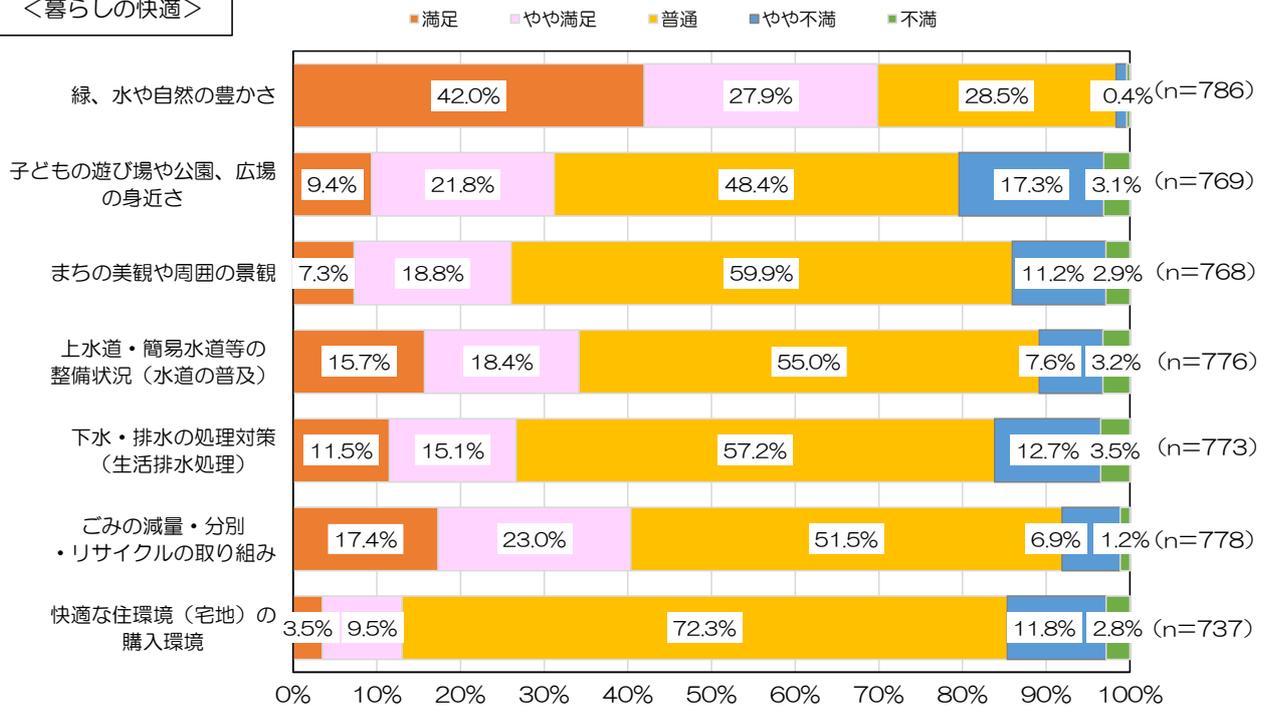
不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
便が少な過ぎて使えない。	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ			
便数が少ない。	公共交通機関（バス・鉄道など）の使いやすさ			
街中でのフリーwifiを希望。5Gの通信を希望。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
電波がない。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
スマホを使っていると回線が悪くなったり、授業でChromeを使うと通信が悪くなるから。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
フリーWiFi環境が不十分。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
電波がない。（ドコモ）	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
自宅エリアがつかまらない。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
FreeWi-Fiの施設が少ない。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
Wi-Fiが入らない。一つのマンションでの台数制限がある。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
Wi-Fiをつなげてほしい。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
いまだに携帯の電波が入りにくい所がある。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
インターネットは光回線が配備され、便利になったがスマホは圏外。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
光インターネットのプロバイダーが関西ブロードバンドのみであり、楽天等のブロードバンドには契約ができない。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
光回線の利用ができない。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
場所によって電波の良しあしがある。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
電波が届きにくい。速度が遅い。選択する会社が少なく高い。	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
電波が無い場所がある。（道路の通信において）	携帯電話やブロードバンド（インターネット）通信の便利さ			
なにも整備されない。	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ	国道などの幹線道路の使いやすさ		
銀行、郵便局については土日が利用できない。	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ			
唯一ある信用金庫がR24.3末で閉鎖される。仕事上とても不安だ。何とかならないか。なんでもかんでもどんどん不便になりつつある。このままではこの地域で生活出来ない。今はまだ車で動けるが、いずれ買い物難民になる。	銀行・郵便局など金融機関利用の便利さ			

【問 12-4】 問 11 の評価に影響した項目〈暮らしの快適〉の満足度について教えてください。（それぞれ〇は1つ）

【問 11】 を回答した人が対象

〈暮らしの快適〉の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「緑、水や自然の豊かさ」で69.9%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「子どもの遊び場や公園、広場の身近さ」で20.4%となっています。

〈暮らしの快適〉



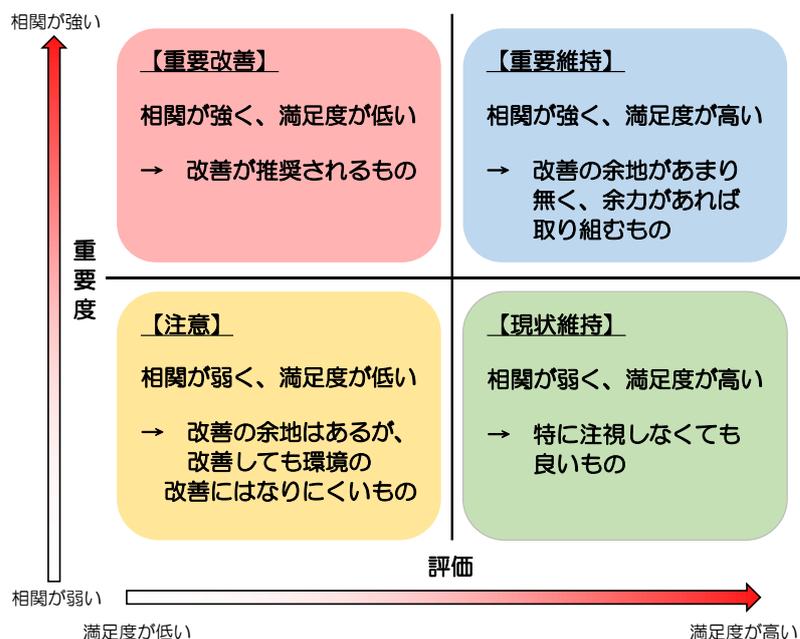
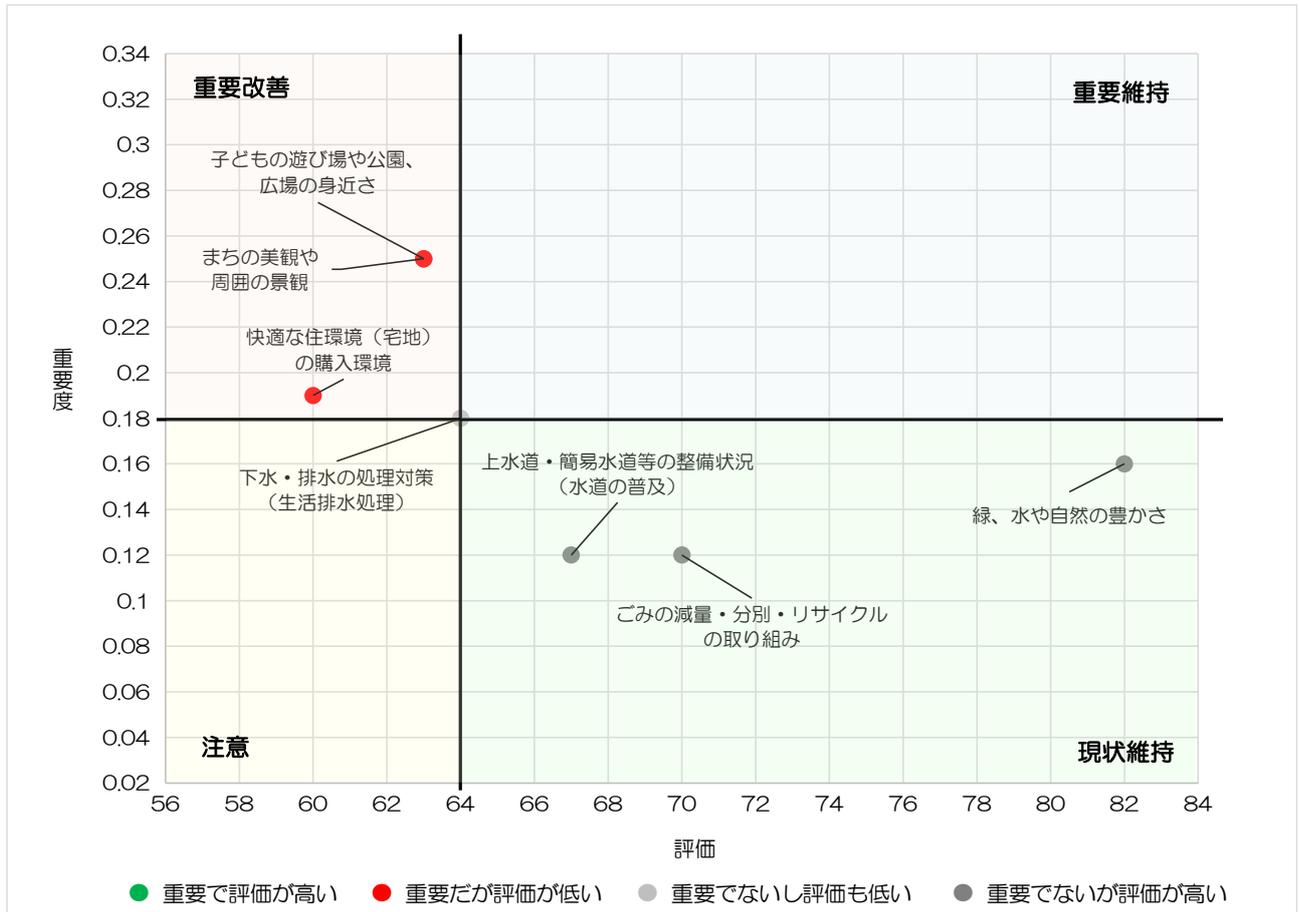
設問番号	項目	緑、水や自然の豊かさ		子どもの遊び場や公園、広場の身近さ		まちの美観や周囲の景観		上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	330	42.0%	72	9.4%	56	7.3%	122	15.7%
2	やや満足	219	27.9%	168	21.8%	144	18.8%	143	18.4%
3	普通	224	28.5%	372	48.4%	460	59.9%	427	55.0%
4	やや不満	10	1.3%	133	17.3%	86	11.2%	59	7.6%
5	不満	3	0.4%	24	3.1%	22	2.9%	25	3.2%
有効回答-計		786	100.0%	769	100.0%	768	100.0%	776	100.0%
無回答・無効票		38		55		56		48	

設問番号	項目	下水・排水の処理対策（生活排水処理）		ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		快適な住環境（宅地）の購入環境	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	89	11.5%	135	17.4%	26	3.5%
2	やや満足	117	15.1%	179	23.0%	70	9.5%
3	普通	442	57.2%	401	51.5%	533	72.3%
4	やや不満	98	12.7%	54	6.9%	87	11.8%
5	不満	27	3.5%	9	1.2%	21	2.8%
有効回答-計		773	100.0%	778	100.0%	737	100.0%
無回答・無効票		51		46		87	

### ■問 11 (NPS 結果) 問 12-4<暮らしの快適>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは該当無しとなり、「重要だが評価が低い」のは「まちの美観や周囲の景観」と「子どもの遊び場や公園、広場の身近さ」と「快適な住環境（宅地）の購入環境」となっています。

この結果より、「まちの美観や周囲の景観」と「子どもの遊び場や公園、広場の身近さ」と「快適な住環境（宅地）の購入環境」の評価を上げることが重要であることがわかります。



## ■「不満」と答えた理由

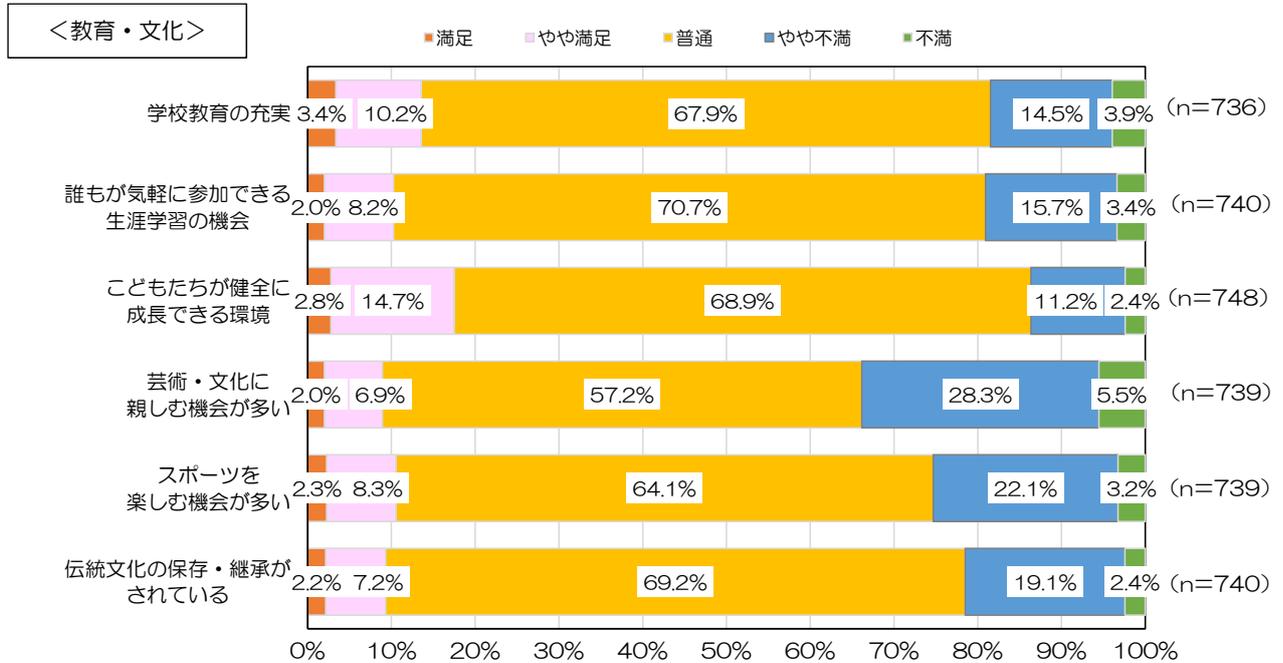
不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
清流四万十川というが、川の石も以前に比べ小さいのだけになり汚れも目立つ。もっと環境保全に力を入れて欲しい。	緑、水や自然の豊かさ		
この地区では新しく来る人には水道をひかせてくれない。班長会、市役所での水道課の長等交渉したが口頭にて不可。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）		
上下水道が高い。ごみは分別が細かくなってよいが、環境センター土、日開いて欲しい。宅地については高すぎる。若者が購入をためらうと思う。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	快適な住環境（宅地）の購入環境
具同地区の水質がよくない。薬品臭い。水道管の劣化が著しい。排水が側溝に流れず溜まっており臭いや虫がわく等不衛生。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
具同地区は、水の水質が悪い。水回りの改修をこれまで何度も行った。同じ水道代を払っていて、更に余分な費用がかかっている。改善して欲しい。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）		
上水道普及してなく、昔ながらの山水で雨が降ればすぐにごる。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）		
水がくさい。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
水質が悪い、下水道の整備。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
水質が悪く蛇口がすぐダメになる。下水道の整備について不満。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
水洗トイレにしたいともできない。水路が広くないのでダメなのか。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
第一種住宅地なのに側溝がない。大雨の時道路が川の様になる。	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
近くに大きな公園が無い具同地区上水道の水質が不安。	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	
公園に子供の遊具が少ない。	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ		
子供が少ない為、ちょっとした公園がない。	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ		
子供の遊ぶところはない。緑と草はありすぎ。道のススキ等を度々刈って欲しい。子供が通っていても全然見えない。（カーブ）車の運転をしている者は怖い。環境保全の金で草刈ってもらいたい。	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ		
子供を遊ばせる公園が充実していない。（遊具がない）	子どもの遊び場や公園、広場の身近さ		
空き家の活用を移住者だけ提供されているが、低所得者などにも利用出来たら良いのではと思う。	快適な住環境（宅地）の購入環境		
高すぎる。田舎の給料に見合った金額ではない。（家賃も土地代も）	快適な住環境（宅地）の購入環境		
宅地代が高く（維持費も）選択肢が狭かった事など。	快適な住環境（宅地）の購入環境		
値段が高い。	快適な住環境（宅地）の購入環境		
裏山が怖い。	快適な住環境（宅地）の購入環境		
下水は垂れ流しになっている。	下水・排水の処理対策（生活排水処理）		

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
愛媛県のきれいさにおどろく。四万十市は草だらけ。	まちの美観や周囲の景観		
公園を作っても美観の維持ができていない。	まちの美観や周囲の景観		
溝蓋（グレーチング）の不整備舗装の不整備。市役所周辺の住環境①東側出入口～北側出入口②北側道路溝蓋の公平性（みぞ蓋と舗装）	まちの美観や周囲の景観	下水・排水の処理対策（生活排水処理）	
水が悪すぎ、具同地区くさい、水道管がさびる。	まちの美観や周囲の景観	上水道・簡易水道等の整備状況（水道の普及）	
道の脇に植木をしているが、剪定をめったにせず伸び放題でかっこ悪い。手入れができないなら無い方がまし。県道も市道も線が消えていたり、脇の草が伸び放題。	まちの美観や周囲の景観		
歩きたばこの人が多い。	まちの美観や周囲の景観		
観光を売りにする当市では仕方ないことも知れないが、観光客によるゴミの散乱やマナー違反が目につく。	まちの美観や周囲の景観		
いくら高性能の償却施設があるとはいえ、ゴミの分別。（特に生ごみは必要。生ごみ分別できるようにしたらコスト削減になる。）	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
プラスチック等すべての食品トレーの回収の処理を早く導入してくれないとスーパーの現場の引き取りはバンクしている。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
リサイクルなど、当日に決まった場所にもっていかなければいけないのが面倒。どこかヶ所、いつでももっていける場所があればもっとリサイクルに協力したい気持ちになる。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み	快適な住環境（宅地）の購入環境	
各地区の資源担当者は苦労している。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
他県、他地域の様にもっと細やかな分別（例：ビニール・紙ごみなど）が必要。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
有料ゴミ袋が高すぎる。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
クリーンセンターなど平日しかとっていけないので土日休みの時にも年に何回か持っていける日があるとよい。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		
ゴミの分別リサイクルだが他の地区から時間を守らず持ってくる人がおり、後の始末に困ることがある。もう少し行政で通知をしっかりとできないか。	ごみの減量・分別・リサイクルの取り組み		

【問 12-5】 問 11 の評価に影響した項目〈教育・文化〉の満足度について教えてください。（それぞれ〇は1つ）

【問 11】 を回答した人が対象

〈教育・文化〉の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「子どもたちが健全に成長できる環境」で17.5%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「芸術・文化に親しむ機会が多い」で33.8%となっています。

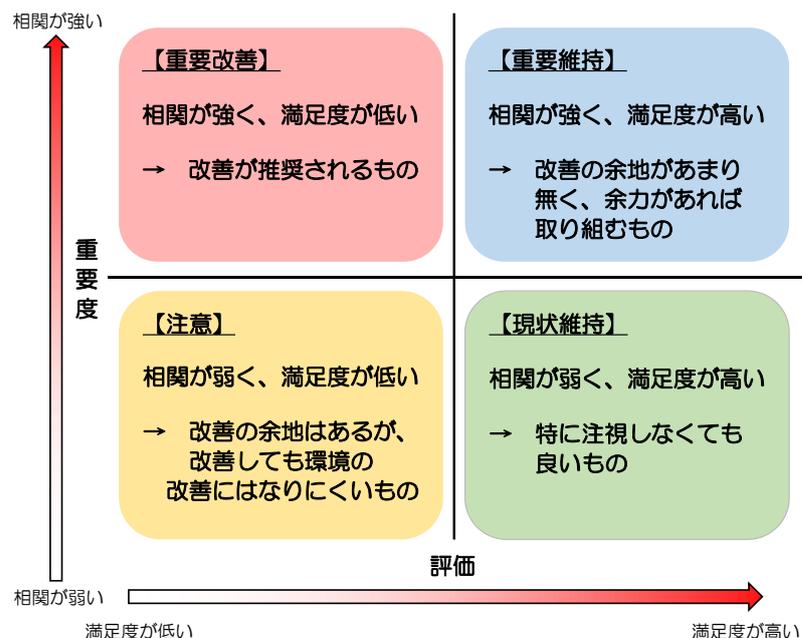
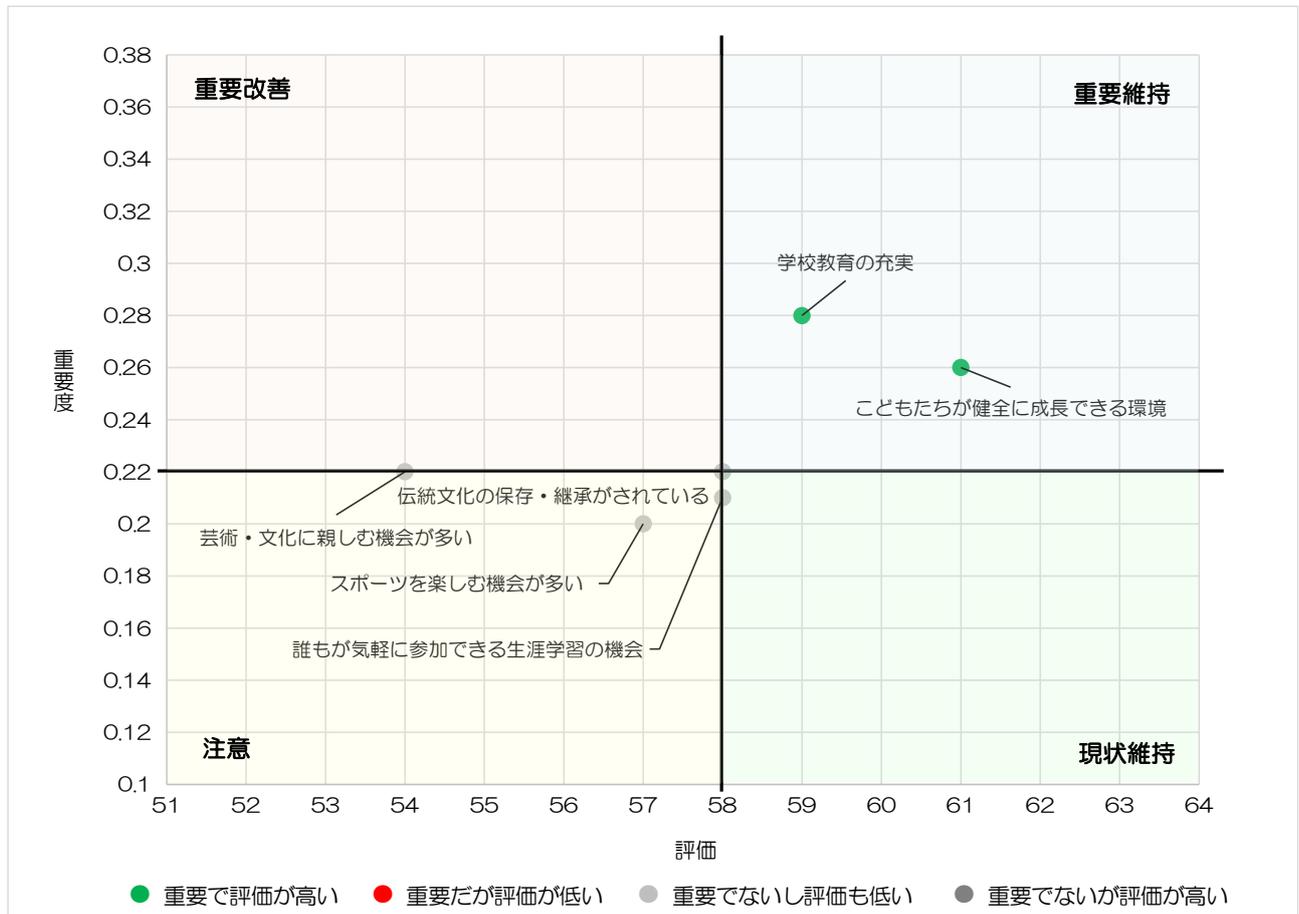


設問番号	項目	学校教育の充実		誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会		子どもたちが健全に成長できる環境	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	25	3.4%	15	2.0%	21	2.8%
2	やや満足	75	10.2%	61	8.2%	110	14.7%
3	普通	500	67.9%	523	70.7%	515	68.9%
4	やや不満	107	14.5%	116	15.7%	84	11.2%
5	不満	29	3.9%	25	3.4%	18	2.4%
有効回答-計		736	100.0%	740	100.0%	748	100.0%
無回答・無効票		88		84		76	

設問番号	項目	芸術・文化に親しむ機会が多い		スポーツを楽しむ機会が多い		伝統文化の保存・継承がされている	
		n	%	n	%	n	%
1	満足	15	2.0%	17	2.3%	16	2.2%
2	やや満足	51	6.9%	61	8.3%	53	7.2%
3	普通	423	57.2%	474	64.1%	512	69.2%
4	やや不満	209	28.3%	163	22.1%	141	19.1%
5	不満	41	5.5%	24	3.2%	18	2.4%
有効回答-計		739	100.0%	739	100.0%	740	100.0%
無回答・無効票		85		85		84	

■問 11 (NPS 結果) 問 12-5<教育・文化>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは「こどもたちが健全に成長できる環境」と「学校教育の充実」となり、「重要だが評価が低い」のは該当無しとなっています。



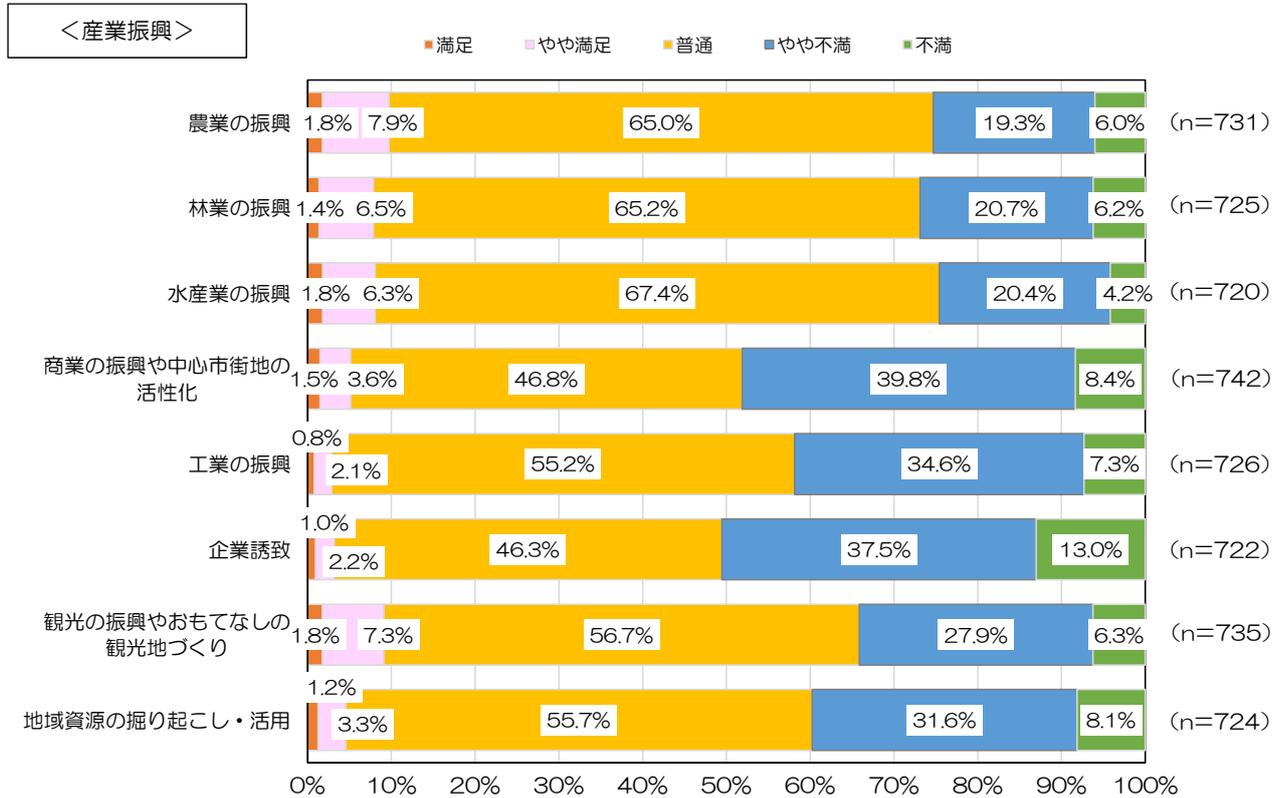
## ■「不満」と答えた理由

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3
子育て支援が無さすぎる。	子どもたちが健全に成長できる環境		
新しい取組みが少ない。昔からある決まったイベントしかない。(消極的)	子どもたちが健全に成長できる環境	芸術・文化に親しむ機会が多い	伝統文化の保存・継承がされている
不登校の子が安心して過ごせる場所が少ない。(学校か、ふれあい学級か) 不登校への理解がない。	子どもたちが健全に成長できる環境		
そもそも学校等がなくなったので、その代わりに夏合宿などで川登小や大川筋中の体育館を使って合宿なども誘致してはどうか。	学校教育の充実		
下田中学校の統合が地区の意見が無視され保護者と教育委員会だけで決められた。地区民にも都度説明すべき。勝手に看護大学を呼び込むのも一方的でただ一度きりの説明のみ、拳句の果てに文化省からの認可が下りずそのままに。市長からの謝罪もなく下田地域の大勢の地区民は怒っている。保、小、中の子供たちをせめて高台に上げて安心して勉強できるようにしてほしい。下田から来年4月から中学校が無くなる。ますます下田地域はさびれていく。小中一貫校の要望が出されているが、是非実践させてほしい。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
学校の統廃合が強引。	学校教育の充実		
高等教育を受けさせようと思ったら高知市内に行かせないと地元の高校では学力が劣る。	学校教育の充実	誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会	
高齢化や少子化のため仕方ない事とは思っている。	学校教育の充実		
集団教育ではなく、個別に対応してほしい。例えば自閉症スペクトラム障がい者の学習に寄り添ってくれるマンツーマン体制など。	学校教育の充実	誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会	
大学などが遠い。	学校教育の充実	芸術・文化に親しむ機会が多い	スポーツを楽しむ機会が多い
中学校も無くなり、その為伝統文化の保存も危ういと思う。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	伝統文化の保存・継承がされている
市内に短大や専門学校が充実していれば市外に進学する人も多くなり、若い人の流出も少なくなるのでは。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
田舎の学校が無くなり市内の学校が生徒の数が多くなりすぎている。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
地域に中学校が無くなり、子供たちの教育環境は最悪になっている。自分たちの子育ての時代はとても育てやすい環境だった。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
進学校が少なく、また私立・国立の中学校がない。大学もないため勉強する環境が不足している	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
中学校の生徒の減少により部活がへったと聞いている。指導者が少ないと思う。	学校教育の充実	子どもたちが健全に成長できる環境	
芸術文化に親しむ機会は(イベント誘致等) スポーツを楽しむ機会に比べ四万十市はかなり少ない印象。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
四万十びあはは期待する。芸術文化(講演等) 少なすぎる。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
市の生涯学習で勉強している。その点は大いに感謝しているが、映画館が一か所もないのがすごく残念。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
人口減となる中、経済より文化スポーツの振興を優先すべき。	芸術・文化に親しむ機会が多い	スポーツを楽しむ機会が多い	
幡多地区の四万十市以外の市町村に比べて文化的なコンサートや催し物が少ない。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
美術館がない。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
イベント(催し)を増やしてほしい。芸術、体験など。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
芸術に関して不備である。美術館、美術展が少なすぎる。	芸術・文化に親しむ機会が多い		
教師以外の教育関係者のレベルが低い。	誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会		
社会教育の指導体制不十分。ふれあいホールの催し物が少ない。	誰もが気軽に参加できる生涯学習の機会		
古きよきものに興味を持つ体制が市政から感じられない。	伝統文化の保存・継承がされている		
周辺集落の人口減少でしかたがないと思うが、何か一つでも残すつもりがあるという取り組みが伝わらない。	伝統文化の保存・継承がされている		
人口が減ってきているのでみんなが集まれる場や伝統を継承していく人が少なくなっていると思う。	伝統文化の保存・継承がされている		

【問 12-6】問 11 の評価に影響した項目〈産業振興〉の満足度について教えてください。  
(それぞれ〇は1つ)

【問 11】を回答した人が対象

〈産業振興〉の満足度についてたずねたところ、「満足」「やや満足」と答えた人が最も多いのは「農業の振興」で9.7%、「やや不満」「不満」と答えた人が最も多いのは「企業誘致」で50.5%となっています。



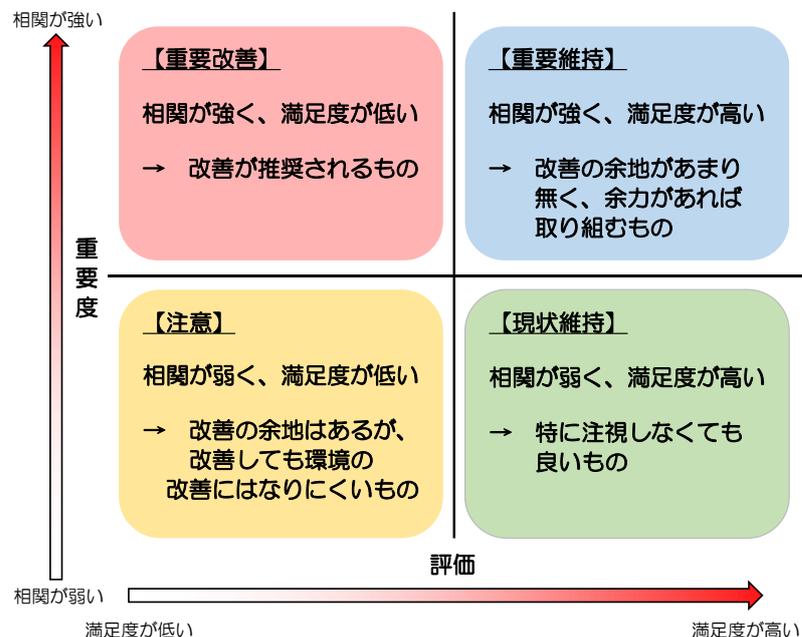
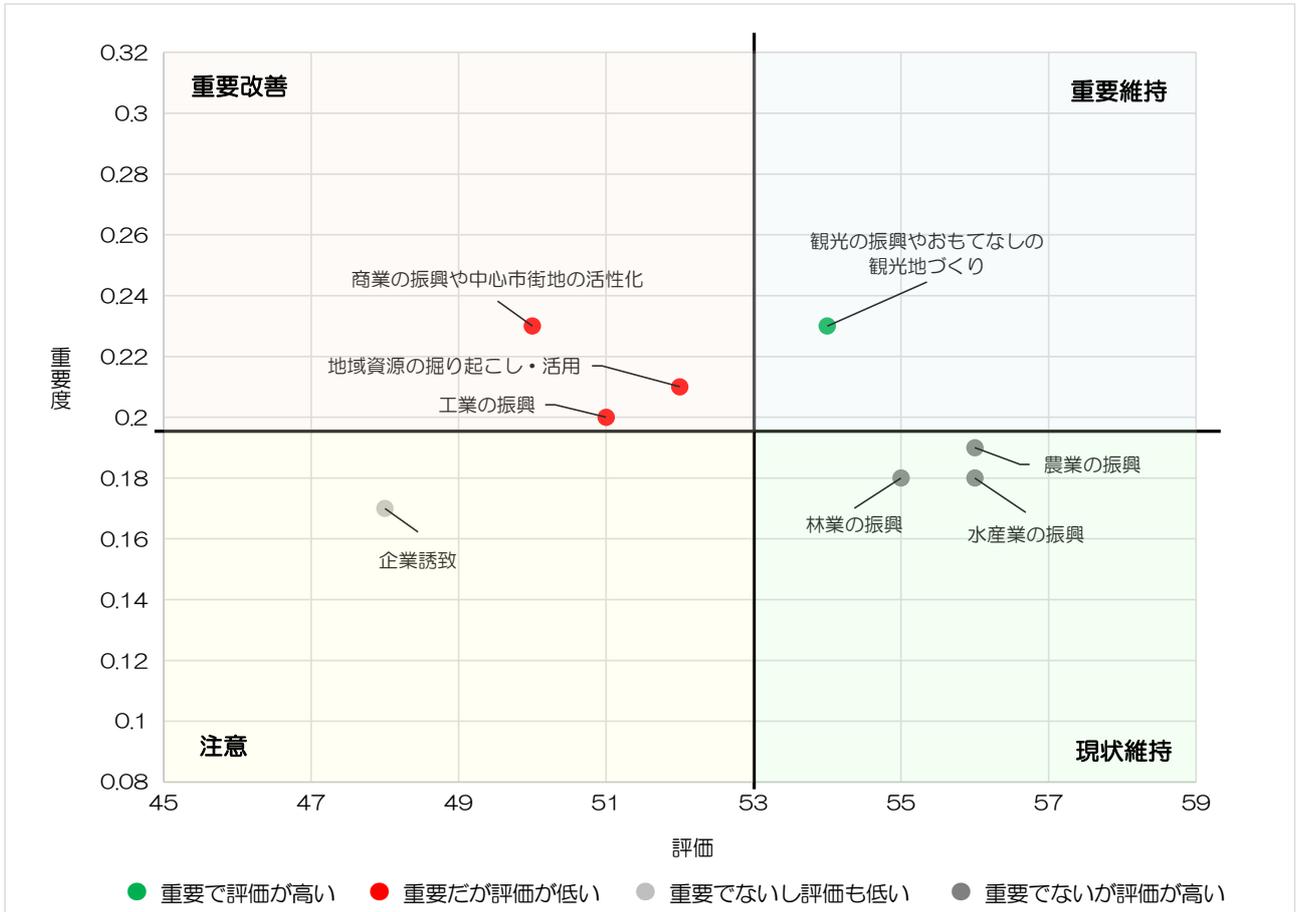
設問番号	項目	農業の振興		林業の振興		水産業の振興		商業の振興や中心市街地の活性化	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	13	1.8%	10	1.4%	13	1.8%	11	1.5%
2	やや満足	58	7.9%	47	6.5%	45	6.3%	27	3.6%
3	普通	475	65.0%	473	65.2%	485	67.4%	347	46.8%
4	やや不満	141	19.3%	150	20.7%	147	20.4%	295	39.8%
5	不満	44	6.0%	45	6.2%	30	4.2%	62	8.4%
有効回答計		731	100.0%	725	100.0%	720	100.0%	742	100.0%
無回答・無効票		93		99		104		82	

設問番号	項目	工業の振興		企業誘致		観光の振興やおもてなしの観光地づくり		地域資源の掘り起こし・活用	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	満足	6	0.8%	7	1.0%	13	1.8%	9	1.2%
2	やや満足	15	2.1%	16	2.2%	54	7.3%	24	3.3%
3	普通	401	55.2%	334	46.3%	417	56.7%	403	55.7%
4	やや不満	251	34.6%	271	37.5%	205	27.9%	229	31.6%
5	不満	53	7.3%	94	13.0%	46	6.3%	59	8.1%
有効回答計		726	100.0%	722	100.0%	735	100.0%	724	100.0%
無回答・無効票		98		102		89		100	

### ■問 11 (NPS 結果) 問 12-6<産業振興>の回答結果より重要度と評価の分析

「重要で評価が高い」のは「観光の振興やおもてなしの観光地づくり」となり、「重要だが評価が低い」のは「工業の振興」と「商業の振興や中心市街地の活性化」と「地域資源の掘り起こし・活用」となっています。

この結果より、「工業の振興」と「商業の振興や中心市街地の活性化」と「地域資源の掘り起こし・活用」の評価を上げることが重要であることがわかります。



## ■「不満」と答えた理由

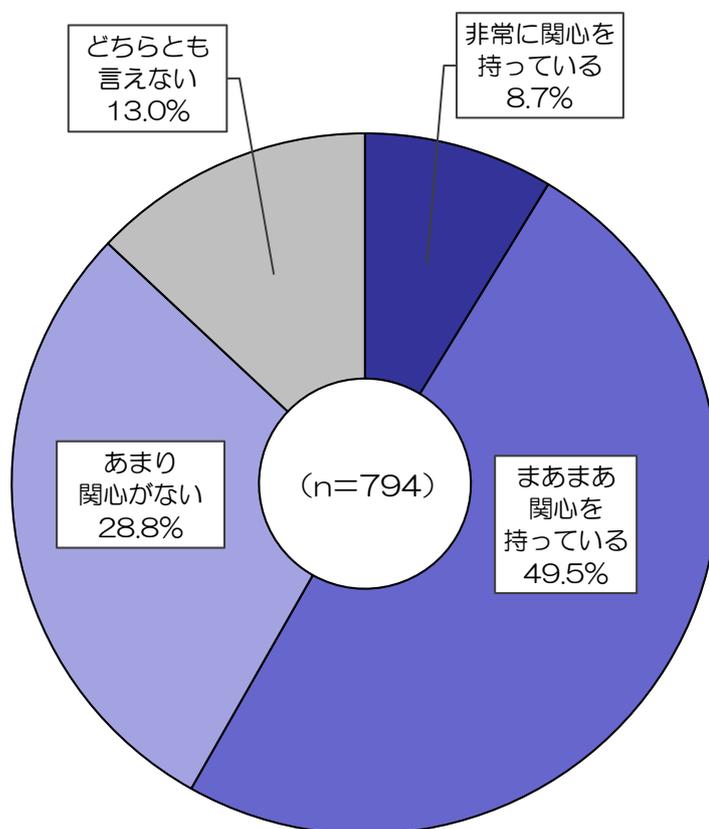
不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
一次産業の振興なくして地域活性化なしと思うため。観光行事はあるが観光地がぼっと思いつかない。	農業の振興	林業の振興	水産業の振興	
耕作放棄地が増えている。	農業の振興			
耕作放棄地の活用（自給自足）中心市街地にスーパーが無くなった。	農業の振興	商業の振興や中心市街地の活性化	工業の振興	企業誘致
耕作放棄地の増加。	農業の振興	林業の振興		
荒地が多くなり、米価が下がらず、その対策がみえない。	農業の振興			
市というより国に対してもう少し頑張ってほしい。	農業の振興	林業の振興	水産業の振興	
資源の少ない高知県では酷かも知れないが、観光だけではなく何か一押し欲しい。	農業の振興	地域資源の掘り起こし・活用		
若者が全く就農林しない。業として成り立たせる施策すらない。	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	
世界情勢の変化で悪化する。	農業の振興			
農・水・林、跡取りがいない。企業はアロエのみ。	農業の振興	林業の振興	水産業の振興	企業誘致
各分野にたずさわる人々が貧困におちいることのないようにしてほしい。それ一本だけで生活していく事が今はとても厳しい。どの分野でも高齢化しているので出来る事が若い人のように新しいツールを持っているわけでもないため昔ながらのやり方で生きていくしかない面がある	農業の振興	林業の振興	水産業の振興	
農・林・水産業で子供を育て進学させる事ができにくいと思うので。商店街が6時くらいで店を閉めていては仕事が終わって買物に行っても買物ができない	農業の振興	林業の振興	水産業の振興	商業の振興や中心市街地の活性化
山の中の赤線の復元をし誰もが山中に入りに出られる様になる事を望む。（現状は赤線が確認できないくらい荒廃している。）	林業の振興	企業誘致		
民間の林地整備が放置されているので、水質などが悪化している。	林業の振興	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用	
林業振興について情報が無い。働く場所が少ない。	林業の振興	工業の振興	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用
下田の大学の件。	工業の振興			
企業の誘致など聞かない。（話題がない）	工業の振興			
企業誘致などこれといった成功例が無いと思う。大学誘致の失敗など見通しが甘いと思う。	工業の振興	企業誘致		
水産業、水質が変わって魚が入らなくなって死活問題になっている。スーパー鮮魚。工業と言えるものがない。	工業の振興	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用	
道路の不備。	工業の振興	企業誘致		
四万十川の河原に車で進入し、河原がタイヤの跡でみにくい。	地域資源の掘り起こし・活用			
アーケードや一条通りは人通りも少なく気になれない。マルナカも無くなった。街中心地にスーパーはフジだけになり不便。企業誘致は必須。工場ではなく、若い人や移住する人には働く場所が絶対いる。今はリモートでもできる時代なので都会の大きな企業の支店にして田舎の土地を安く渡して使ってもらって人口を増やしていくといいのでは。観光もただ自然をアピールするのではなく、人を呼び寄せてお金を落としてもらう方法をかんがえてみては。休校になっている校庭や校舎を利用してイベント（産業祭り）をするなど。1か所だけでなくあちこちのを順番に利用していく等活用してみてもいい。	商業の振興や中心市街地の活性化	企業誘致	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	地域資源の掘り起こし・活用
観光に力を入れ、地元住民は迷惑。観光に力を入れたいのならもっと環境整備をして受け入れてほしい。観光客の車で渋滞したり、盆正月は1m先が見えないほど橋の上に人が集まり、通勤に利用せざるを得ない地元住民は日々ストレスを感じている。山道にはよそ見をしながら見通しの悪いカーブを自転車やバイクで並走してくる観光客もいる。本当に何とかしてほしい。	商業の振興や中心市街地の活性化	工業の振興	企業誘致	観光の振興やおもてなしの観光地づくり
企業の誘致に成果が出ているとは思えないから。	商業の振興や中心市街地の活性化	企業誘致		
四万十市の中心地にスーパーマーケットが無く、高齢者（車に乗れない）が困っている。市は何とかすべきではないかと思うが、それは無理なのか。	商業の振興や中心市街地の活性化			
市街地の活性も天神橋ばかり。それもほとんど活性はしていない。観光も何があるか。地域資源の掘り起こし、何をしているのか。活用なんて何も解らない。	商業の振興や中心市街地の活性化	企業誘致	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	地域資源の掘り起こし・活用
市街中心地の空洞化、働ける場所・企業がない。観光面は四万十川頼りのみ。	商業の振興や中心市街地の活性化	企業誘致	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	
積極的な活動に乏しい。	商業の振興や中心市街地の活性化	工業の振興	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用
大企業がない。職種が少ない。工業地域ではないので工業設備が少ない。商店街がさびれていて暗い。	商業の振興や中心市街地の活性化	工業の振興	企業誘致	

不満の理由	「不満」と答えた項目1	「不満」と答えた項目2	「不満」と答えた項目3	「不満」と答えた項目4
大型店舗の進出は便利さもあるが、中心市街地の元気のなさが気になる。町中の老人にとっては不便の毎日。	商業の振興や中心市街地の活性化			
中心市街地がさびれてる。	商業の振興や中心市街地の活性化			
歩いて楽しめる道路の美観。(中心市街地～市役所周辺)市役所を拠点に商業施設観光資源の道路の美観。休憩場所の確保。	商業の振興や中心市街地の活性化			
若者が地元から離れ都会へ出ていくので衰退する一方になっていると思う。中心市街地がどこを指しているかわからないが、アーケード内に店も少なくなり、さみしくなってきたと思う。	商業の振興や中心市街地の活性化			
町の中にスーパーや食料品をあつかう店があると老人がたすかるのでは。	商業の振興や中心市街地の活性化			
そもそも今日の皆様の生活レベルが低下してきたのは、企業の労働者に対する要求水準が高過ぎるから。従って企業誘致そのものに懐疑的。	企業誘致			
もっと積極的に企業誘致しないと街がなくなる危機的状況であると思う。	企業誘致			
観光施設が少なくアピール度も低いと感じる。市長は大学誘致の件等に無駄なお金を使わず、もっと税金を納めている市民に還元できることに税金を使って欲しい。	企業誘致			
今の若者にマッチした誘致なのだろうかと思えない。	企業誘致			
産業全体に言えることだと思うが行政の柔軟さを求める。新規事業、民間に頼るのではなく、例えば四万十市のシンボルタワーなど、マルナカ跡地に複合施設を作って観光客も地元民も楽しめる場所が欲しいと思う。天神橋では買い物をする場所やお土産もなければ、食事する場所もないと県外客もいっている。	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用		
私の近くで(大学は他県)大学卒業しても務める所が無く他県に出ていく。	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用		
大学誘致の失敗の件。	企業誘致			
大手企業が誘致できれば就職先もあるのと思う。地域資源は何かあるのかわからない。四万十川だけではダメだと思う。	企業誘致	地域資源の掘り起こし・活用		
農業後継者がなくなり田畑があれている所がたくさん目につく。企業誘致をして仕事が増えれば子供も市外へ出ていかないと思う。子供達が働ける場所を考えてほしい。	企業誘致			
最後の清流、四万十川と言うコピーに添った保全活動が成されていない。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	地域資源の掘り起こし・活用		
安並の紫陽花。高山寺の藤、入田の桜提公園の桜等、花や木の管理を樹木医の方や専門医(専門家)にまかせて綺麗に咲かせるように力を入れてほしい。観光地として誇れるようにしてほしい。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
観光が楽しめない。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
四万十川がながれて沈下橋があるだけの所。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	地域資源の掘り起こし・活用		
四万十川の価値を認識していないように思う。この川は全国的にも財産と言っても良い。SDGSをすでに実践しているという事では。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり	地域資源の掘り起こし・活用		
宿毛や大方など、魅力的な観光地づくりをしているように思う。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
日本最後の清流といったキャッチフレーズや様々な観光はいいが、シーズンや天気に左右されてしまう。雨の多いとされる高知でその気候を生かし年中雨だとしても楽しめる何かがもう少し必要では。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
観光も通り過ぎるのみでなく、水産業や農業などと結びつけることを考えてもいいのでは。	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
観光地づくりなど感じられない。地域への広がりが無い。(天神橋等一部だけの盛り上がり)	観光の振興やおもてなしの観光地づくり			
何も行政は見えていない。	全ての項目			
四万十市は何をしても駄目、終わっている。	全ての項目			
市の職員が本気でやってほしい	全ての項目			
人口が減っては何もできないと思う。	全ての項目			
西土佐は人口減の為、行政も見捨てているのではと思うことが多々ある。中心だけよくなっても私たちも生活しているのだと強く思う。とにかくお金を稼げる体制として欲しい。生活苦の人がたくさんいると思う。仕事をすすめる場所が無さすぎる。	全ての項目			
全てに遅れている。	全ての項目			
全体的に人口が減り。畑・山・町荒れはてている。グループ活動が良いと思う。	全ての項目			
色々なことをやっているようだが市民の目に見えない。	全ての項目			

### (3) あなたと市政との関わりについて

【問 13】あなたは、市政について関心をお持ちですか。（〇は1つ）

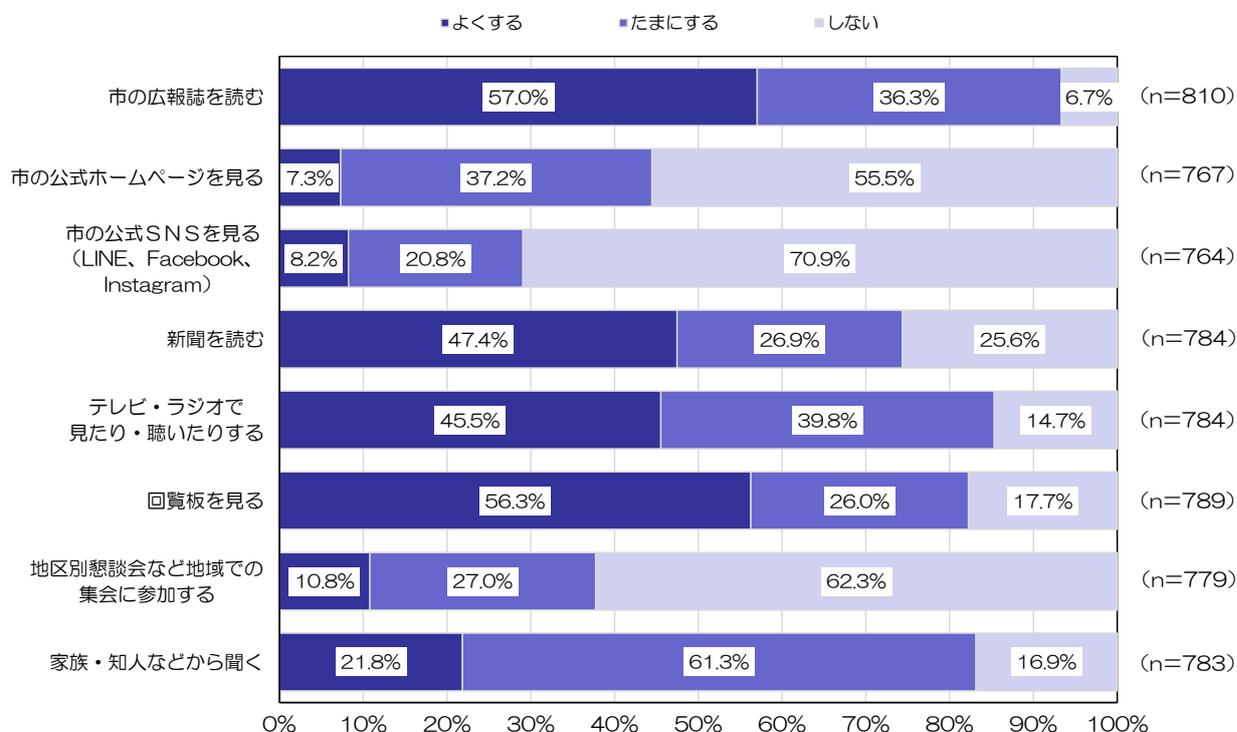
市政について関心をお持ちかたずねたところ、「まあまあ関心を持っている」が49.5%で最も多く、次いで「あまり関心がない」（28.8%）、「どちらとも言えない」（13.0%）の順となっています。



設問番号	項目	n	%
1	非常に関心を持っている	69	8.7%
2	まあまあ関心を持っている	393	49.5%
3	あまり関心がない	229	28.8%
4	どちらとも言えない	103	13.0%
有効回答-計		794	100.0%
無回答・無効票		68	
総合計		862	

【問 14】あなたは、市政の動きや行政情報を主に何で知りますか。（それぞれ〇は1つ）

市政の動きや行政情報を主に何で知るかについてたずねたところ、「よくする」と答えた人が最も多いのは「市の広報誌を読む」で57.0%、「しない」と答えた人が最も多いのは「市の公式SNSを見る（LINE、Facebook、Instagram）」で70.9%となっています。



設問番号	項目	市の広報誌を読む		市の公式ホームページを見る		市の公式SNSを見る (LINE、Facebook、Instagram)		新聞を読む	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	よくする	462	57.0%	56	7.3%	63	8.2%	372	47.4%
2	たまにする	294	36.3%	285	37.2%	159	20.8%	211	26.9%
3	しない	54	6.7%	426	55.5%	542	70.9%	201	25.6%
有効回答-計		810	100.0%	767	100.0%	764	100.0%	784	100.0%
無回答・無効票		52		95		98		78	

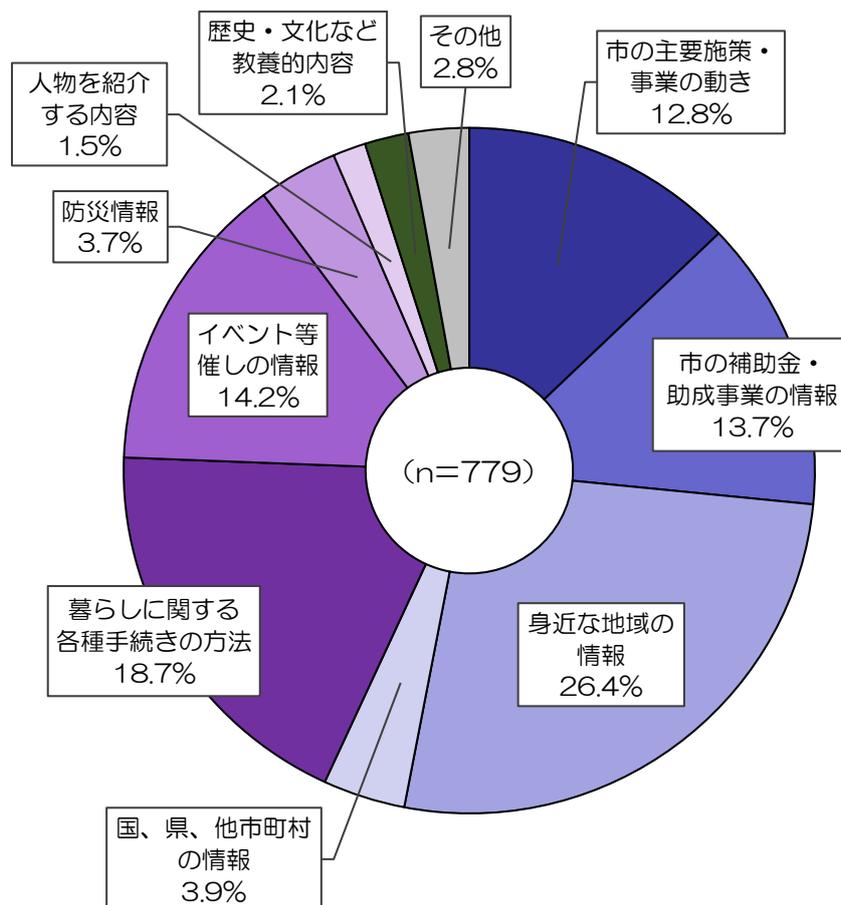
設問番号	項目	テレビ・ラジオで見たり・聴いたりする		回覧板を見る		地区別懇談会など地域での集會に参加する		家族・知人などから聞く	
		n	%	n	%	n	%	n	%
1	よくする	357	45.5%	444	56.3%	84	10.8%	171	21.8%
2	たまにする	312	39.8%	205	26.0%	210	27.0%	480	61.3%
3	しない	115	14.7%	140	17.7%	485	62.3%	132	16.9%
有効回答-計		784	100.0%	789	100.0%	779	100.0%	783	100.0%
無回答・無効票		78		73		83		79	

【問 15】あなたは、広報「しまんと」にどのような情報を掲載してほしいですか。

(〇は1つ)

広報「しまんと」に掲載してほしい情報についてたずねたところ、「身近な地域の情報」が26.4%で最も多く、次いで「暮らしに関する各種手続きの方法」(18.7%)、「イベント等催しの情報」(14.2%)の順となっています。

その他の意見としては、「子育て支援関係」「個人での奉仕作業内容」「現状で良い」等です。



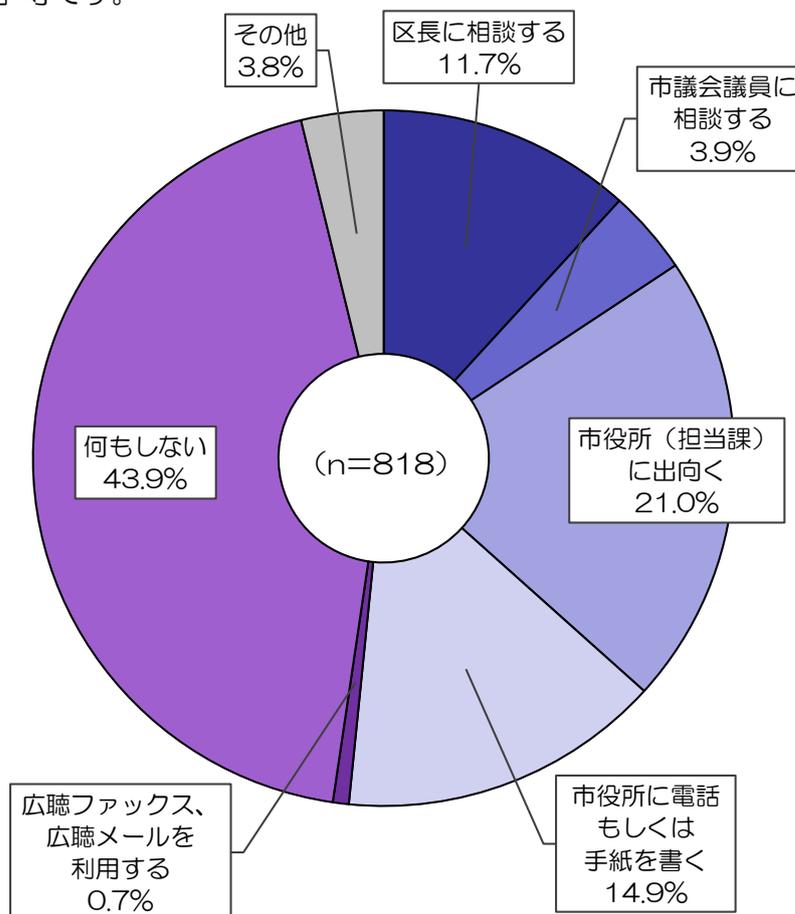
設問番号	項目	n	%
1	市の主要施策・事業の動き	100	12.8%
2	市の補助金・助成事業の情報	107	13.7%
3	身近な地域の情報	206	26.4%
4	国、県、他市町村の情報	30	3.9%
5	暮らしに関する各種手続きの方法	146	18.7%
6	イベント等催しの情報	111	14.2%
7	防災情報	29	3.7%
8	人物を紹介する内容	12	1.5%
9	歴史・文化など教養的内容	16	2.1%
10	その他	22	2.8%
有効回答-計		779	100.0%
無回答・無効票		83	
総合計		862	

【問 16】あなたは、市政に対して不満やわからないことがあるときはどうしていますか。

(〇は1つ)

市政に対して不満やわからないことがあるときについてたずねたところ、「何もしない」が43.9%で最も多く、次いで「市役所（担当課）に出向く」（21.0%）、「市役所に電話もしくは手紙を書く」（14.9%）の順となっています。

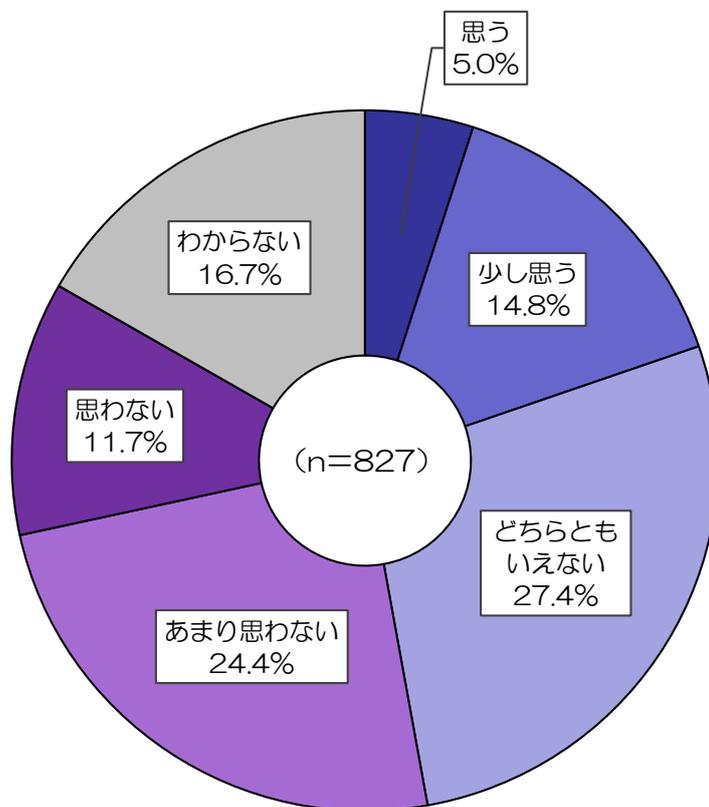
その他の意見としては、「家族や友人に聞く」「インターネットで調べる」「どうしたら良かわからない」等です。



設問番号	項目	n	%
1	区長に相談する	96	11.7%
2	市議会議員に相談する	32	3.9%
3	市役所（担当課）に出向く	172	21.0%
4	市役所に電話もしくは手紙を書く	122	14.9%
5	広聴ファックス、広聴メールを利用する	6	0.7%
6	何もしない	359	43.9%
7	その他	31	3.8%
有効回答-計		818	100.0%
無回答・無効票		44	
総合計		862	

【問 17】現在の四万十市は、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。（〇は1つ）

現在の四万十市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるかについてたずねたところ、「どちらともいえない」が27.4%で最も多く、次いで「あまり思わない」（24.4%）、「わからない」（16.7%）の順となっています。

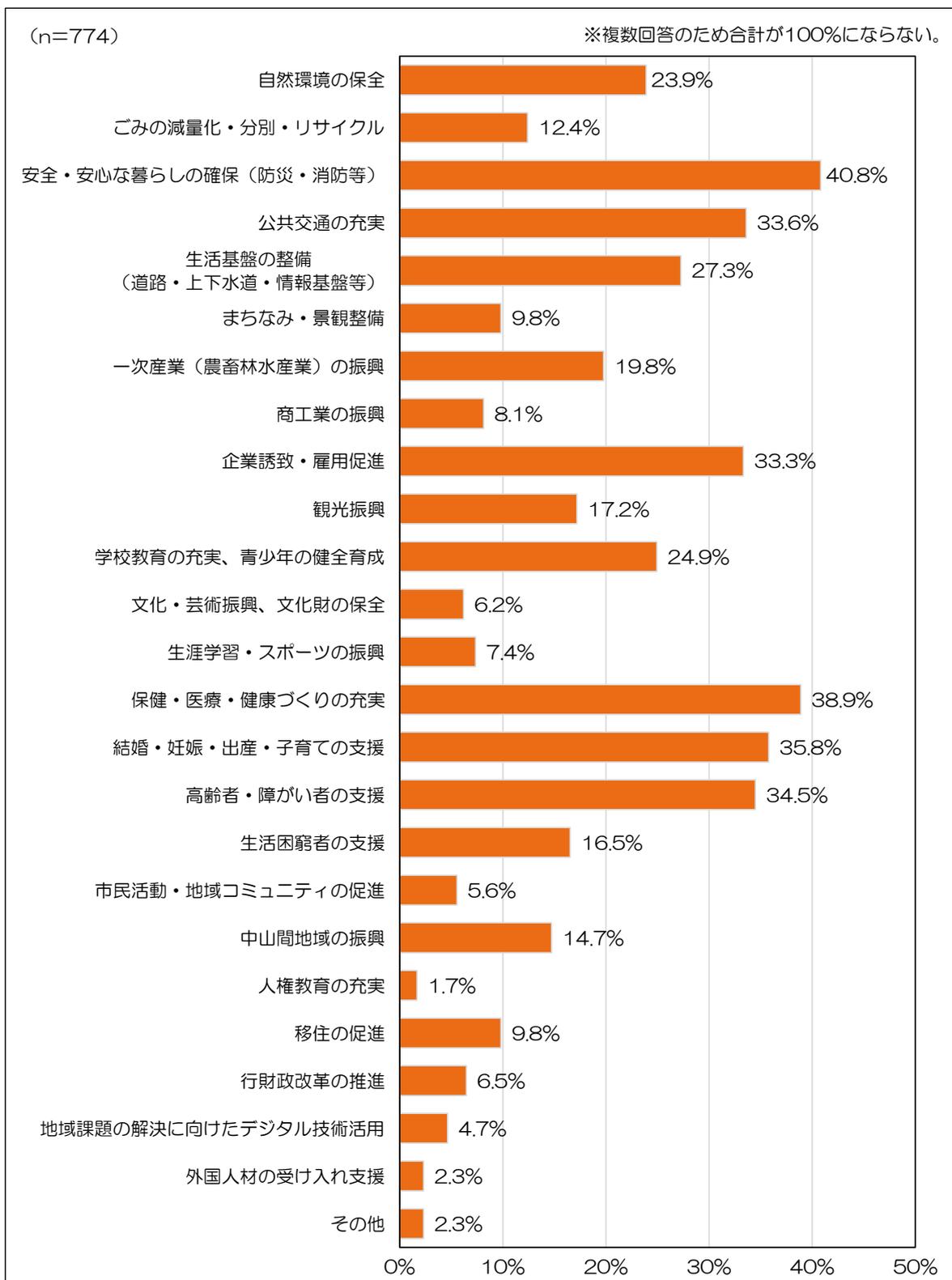


設問番号	項目	n	%
1	思う	41	5.0%
2	少し思う	122	14.8%
3	どちらともいえない	227	27.4%
4	あまり思わない	202	24.4%
5	思わない	97	11.7%
6	わからない	138	16.7%
有効回答-計		827	100.0%
無回答・無効票		35	
総合計		862	

#### (4) 今後の市政運営について

【問 18】あなたは、今後、四万十市がどのようなことに重点的に取り組むべきとお考えですか。（5つ選んで○で囲む） ※具体的な取り組みがあれば記入してください

今後、四万十市が重点的に取り組むべきことについてたずねたところ、「安全・安心な暮らしの確保（防災・消防等）」が40.8%で最も多く、次いで「保健・医療・健康づくりの充実」（38.9%）、「結婚・妊娠・出産・子育ての支援」（35.8%）の順となっています。



設問 番号	項目	n	%
1	自然環境の保全	185	23.9%
2	ごみの減量化・分別・リサイクル	96	12.4%
3	安全・安心な暮らしの確保（防災・消防等）	316	40.8%
4	公共交通の充実	260	33.6%
5	生活基盤の整備（道路・上下水道・情報基盤等）	211	27.3%
6	まちなみ・景観整備	76	9.8%
7	一次産業（農畜林水産業）の振興	153	19.8%
8	商工業の振興	63	8.1%
9	企業誘致・雇用促進	258	33.3%
10	観光振興	133	17.2%
11	学校教育の充実、青少年の健全育成	193	24.9%
12	文化・芸術振興、文化財の保全	48	6.2%
13	生涯学習・スポーツの振興	57	7.4%
14	保健・医療・健康づくりの充実	301	38.9%
15	結婚・妊娠・出産・子育ての支援	277	35.8%
16	高齢者・障がい者の支援	267	34.5%
17	生活困窮者の支援	128	16.5%
18	市民活動・地域コミュニティの促進	43	5.6%
19	中山間地域の振興	114	14.7%
20	人権教育の充実	13	1.7%
21	移住の促進	76	9.8%
22	行財政改革の推進	50	6.5%
23	地域課題の解決に向けたデジタル技術活用	36	4.7%
24	外国人材の受け入れ支援	18	2.3%
25	その他	18	2.3%
計		3,390	438.0%
回答者数		774	100.0%
無回答・無効票		88	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

## ■具体的な取り組み内容

分類	具体的な取り組み
自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 3つの河川を守る運動</li> <li>• 40年前の四万十川の再生</li> <li>• 田舎の部分のをこす</li> <li>• ポイ捨て禁止活動</li> <li>• 山を整える。自然を守るには人の手が不可欠。それにともない川、海の資源が守られる。時間はかかるが、災害にも強い環境に近づくと思う</li> <li>• 河川などの工事関係</li> <li>• 観光資源としての保全</li> <li>• 空き家などが多いので片付けてきれいにする</li> <li>• 最後の清流四万十川を守る為に森林の整理、河原の整備が必要 それに伴う国道441号のオール2車線化の早期実現</li> <li>• 山の整備が川、海の保全につながる</li> <li>• 四万十川の水質改善</li> <li>• 四万十川の整備に淀ブルーみたいになれば</li> <li>• 四万十川の保全</li> <li>• 四万十川や山林の整備と保全等の人材育成・確保</li> <li>• 四万十川をきれいに</li> <li>• 四万十川を活用した更なる取り組みへ</li> <li>• 四万十川河原の車進入禁止</li> <li>• 四万十川流域の保全支援</li> <li>• 市がもっと市民にうったえる</li> <li>• 事業、施設管理などを他県の企業に極力任せきりにするべきではない 限られた資金をより多く市に落とすか残すかもっと考えるべき</li> <li>• 秋田の前の川に公園の様な所があるが、川で泳ぐのに道が無いので 川に降りる道を付けて欲しい</li> <li>• 杉、ひのきの伐採の補助</li> <li>• 清掃活動</li> <li>• 脱プラスチック運動の推進</li> <li>• 不必要な河川工事をしない</li> <li>• 放置状態の植林や整備</li> <li>• 野生動物が上手く生存できるように人間が暮らす場所と分ける土地を作る</li> <li>• 里山の保全</li> <li>• 四万十川が全国一位からほど遠くなってきている。美しい川を保全し、 もとに戻すことが大切では</li> <li>• もっと樺などの価値のある木を植える</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p>ごみの減量化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分別</li> <li>・リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsを語るなら、まず分別から</li> <li>・ゼロカーボン補助金を続けてほしい</li> <li>・プラスチックを減らし紙を作る</li> <li>・ペットボトルのキャップはテレビで無駄というのを見た</li> <li>・ペットボトルはつぶしたらいけないのか。つぶしたら量も減る</li> <li>・リサイクルの場所を一ヶ所にまとめてほしい</li> <li>・家庭ごみ分別事典を令和版に作り直して欲しい</li> <li>平成27年3月発行版から改訂版を目にしたことがない</li> <li>・空き缶やペットボトルのデポジット制（機械に入れたらポイント付与される等）</li> <li>・現在の取組みを継続してほしい</li> <li>・細分しすぎてついゴミ袋に入れる</li> <li>・使えるものは修理したりリメイクして教えるひとと教わる人がリサイクルする施設を市民の触れ合う場としてもうけたり、使えるものは選別しバザーやフリーマーケットで格安で販売し、その収益で子供食堂の運営に役立てて欲しい</li> <li>・資源ごみの正しい出し方と管理、地区ごとのリサイクルガーデン店のイベント化、フリーマーケットの計画</li> <li>・資源ごみを出す場所が遠い</li> <li>・資源ごみを普通ゴミに出さない</li> <li>・粗大ごみを一括で捨てる場所</li> <li>・大型ゴミを捨てる方法がわからない。軽トラを持っていること前提か</li> <li>高知市から転入してきて、ゴミ袋代の高さに驚いた</li> <li>・非常識な住民を教育</li> <li>・不法にゴミを捨てることをやめる</li> <li>・普通ゴミの範囲が広い。もう少し分別ができないか</li> <li>・分別ゴミの収集場所を常設して欲しい</li> <li>・分別の内容が分からない物がある</li> <li>・分別を良くすれば資源物が増えるのでは</li> <li>・老人はすぐに動けない、前もって出せる場所があればよい</li> <li>リサイクルは時間的余裕が欲しい</li> </ul>
<p>安全・安心な暮らしの確保 (防災・消防等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域毎の防災対策、施設訓練重要。意見交換</li> <li>・ハード・ソフトの強化</li> <li>・パトロール</li> <li>・ヘリポートを作る</li> <li>・もう少し避難路の訓練をした方がよい</li> <li>・ラジオが入る様にしてほしい</li> <li>・安全・安心な暮らしの確保</li> <li>・火災をなくしてほしい</li> <li>・高台に公園、大駐車場確保</li> <li>・高齢化が進むことを考えると充実すべき</li> <li>・高齢者が歩ける範囲が少なくなっている</li> <li>・災害（特に地震・津波）への強固な対策</li> <li>・災害の際の対応について市役所に質問したことがあるが、実際の体験を分かっているんだなと感じた。限界はあると思うが、あまりにも知識や経験が無さ過ぎだと感じた</li> <li>・災害時の迅速な対応。停電時の通信の確保。救急車対応の場合、道の不慣れなどがあり時間がかかる場合がある。日頃からパトロールをして地域の状態を知ってほしい。カーナビ使用だけではなく、実際を見てほしい</li> <li>・災害時の老人などの手引きについて</li> <li>・市民参加率の高い避難訓練、顔の見える関係づくり</li> <li>・消防機の改築、移転</li> <li>・地区の避難路にもう少し金を出してほしい</li> <li>・堤防の設置</li> <li>・土石流対策をしっかり</li> <li>・南海トラフへの対策を確実なものに</li> <li>・南海トラフ地震対策（自衛隊などの助けはしばらく来ないと思うのでその間の食料などの備えに対して）</li> <li>・犯罪を無くしたい</li> <li>・避難場所の周知（お店・会社・病院にはる）</li> <li>・非常時の避難場所の徹底や、非常食の充実</li> <li>・歩道の段差（夜は暗くつまずく）</li> <li>・防災用の備品確保（不足している）</li> <li>・夜、国道をそれると人気もなく物騒</li> <li>・誘導標識の充実</li> <li>・遊水地の確保、小河川の整備、山の保水力。避難施設の充実。形式的ではない、実効性ある避難訓練</li> <li>・防災無線が途切れ途切れで聞きづらい</li> </ul>

分類	具体的な取組み
公共交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリを作成し、予約ができる状況をつくる。アプリを高齢者が使えないから導入しないのは衰退するため、高齢者にも勉強させる</li> <li>・オンデマンドで市街以外にも乗り入れる</li> <li>・くろしお鉄道、西南交通での通学運賃無料もしくは、格安化。維持費などは把握していないが、バスに1.2名しか乗っていないのに、燃費の悪い車両の利用を続けているため、車両の小型化など。通学での利用数が増える場合には、サイズの大きいものは通学で利用するなどの工夫が必要ではないかと思う</li> <li>・どこにいくにも遠いので道路を良くしてほしい</li> <li>・バス、くろしお鉄道の本数を増やして欲しい</li> <li>・バス、汽車の夜間利用時間の拡大</li> <li>・バスの充実</li> <li>・愛媛県へのバス誘致</li> <li>・まちバス、10分おきに回るオンデマントバスがほしい</li> <li>・まちバスなどを定期的に運営（今のままでは乗れない時がある）</li> <li>・旧町内だけでも巡回バスを走らせる</li> <li>・交通機関の充実</li> <li>・交通不便、病院、買物に不便</li> <li>・高速道路の充実、空港の建設、航路の確保</li> <li>・高速道路の整備</li> <li>・高速道路の早期開通</li> <li>・高速道路や路面整備</li> <li>・高齢者が多い為手立てを考えてほしい</li> <li>・高齢者が免許返納できない現状</li> <li>・国道整備</li> <li>・今は車に乗って買い物にも行けるが、車に乗るのをやめたとき、すごく困る</li> <li>・市外地だと一日一便とか公共の乗り物がない。車にのれなくなったときが心配</li> <li>・自家用車がなくても生活出来るような環境になってもらいたい</li> <li>・車がないとどこにも行けない。タクシーも少ない。バス停少なく、バスも少ない調べようとしても、ルートや時間などがわかりにくい。どんな交通手段があるか周知しないと、利用もできない</li> <li>・車がないと生活できない点は高齢化社会にとって死活問題と思う。また高速道路がないため移動に時間も負担もかかる</li> <li>・車が無いと買い物にも行けない。公共交通の便を増やす</li> <li>・車のない人たちが便利になるよう</li> <li>・宿毛中村間は鉄道を廃止。バスに切り替え、1時間または20～30分ごとに運行し、通学通勤又は沿線住民の利便性向上に寄与</li> <li>・小回りの利く交通・利便性</li> <li>・小型バスの運行は良いと思う</li> <li>・新幹線駅は必ず幡多に必要。東西に1つずつ新幹線は止まってほしい 利益も大事だが私たちの足。特に幡多は車頼り</li> <li>・西土佐中村地区道路の完成を急ぐ</li> <li>・税金を投入するなら鉄道をやめてバスを充実させるべき</li> <li>・足腰が悪いとバス停までもむり</li> <li>・地域単位の公共交通機関化</li> <li>・中村⇄宿毛間のバス運行便を増やす</li> <li>・電車やバスの本数を増やす</li> <li>・土佐くろしお鉄道の便数現状維持</li> <li>・土佐くろしお鉄道の利用促進</li> <li>・道の整備、街灯が少なく危ない</li> <li>・道路の整備</li> <li>・難しいと思うが市内循環的バスの充実</li> <li>・年配の方々が安く利用できる施設の開放</li> <li>・病院など急に行きたくなった時に困る</li> <li>・平日通勤時間以外車の利用のない職員の方々の通勤にバス、鉄道を利用してもらわないと公共の交通の経営は赤字のままだと思う。何故職員の方々かということ、公用車があるから。民間の社用車は会社の利益が有って所有利用できるが、県、市は予算で確保はある程度できるはず。スローガンだけで「残そう〇〇」と唱えるだけでなく、実際に利用してほしい</li> <li>・便数を増やす</li> <li>・本数が少ない</li> <li>・利用する時間帯の充実</li> <li>・田舎は車がなくては生活が出来ない。安全に乗る為には舗道の整備を。</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p>生活基盤の整備 (道路・上下水道 ・情報基盤等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R441の早期改良、2車線化</li> <li>・もっといなか道をよくする事に取り組むべき</li> <li>・悪い道路をもっと整備、草の除去</li> <li>・安全、安心して歩ける歩道空間の確保</li> <li>・一刻も早く高速道路の開通</li> <li>・下水道の整備 安定した上水の供給</li> <li>・下水道処理施設を増やしてほしい</li> <li>・環境の保護との両立、情報伝達の円滑にすることでの災害時の対策</li> <li>・古すぎる</li> <li>・光回線の範囲を広げてほしい</li> <li>・溝蓋、舗装の公平性</li> <li>・高知市内からの高速道路の早期開通を強く発信し、実現させてほしい</li> <li>高知市内からの交通の便がよくなることは、観光客だけではなく人口減少にもつながるのではないかと思う</li> <li>・国道441の2車線化</li> <li>・国道以外の脇道では、道がガタガタな所があり不便なので定期的に修復してほしい</li> <li>・山間地域の道路整備</li> <li>・四万十川にかかる赤鉄橋を早急に改善して交通渋滞解消、安全安心確保する。</li> <li>・市道の整備</li> <li>・市道の草刈りなどの作業が高齢化で地区でできない現状</li> <li>・市道管理（雨期までの側溝の清掃）</li> <li>・車の振動の住宅への影響を緩和する舗装 県庁や空港までの時短 下水道の整備されて無い地域の浄化槽補助金充実</li> <li>・上下水道の整備をもっと少し早く</li> <li>・道路整備</li> <li>・上水道が近くに来ているのに使えない</li> <li>・上水道の整備 道路の整備</li> <li>・水道管をあたらしくしてほしい。サビが出る</li> <li>・赤鉄橋の右折車による渋滞</li> <li>・赤鉄橋を新しくやり替える</li> <li>・第一種住宅地に側溝を作る</li> <li>・中央線が薄かったり無いところもあり危ない。道が悪く雨の日は水溜りができ車で通りにくい</li> <li>・中小河川の整備（川が荒廃している）</li> <li>・中村までの道路の整備</li> <li>・道路の白線（横断歩道も含む）</li> <li>・道路を良くしてもらいたい</li> <li>・高速道路や主要道路の整備</li> <li>・歩道、電灯の整備</li> <li>・歩道を整備してほしい</li> <li>・防災無線の難聴地帯の解消</li> <li>・優先順位が低い公共工事はしない。費用対効果をもっと考え必要度が低いところは行わない（財源確保）</li> <li>・各所にタンクを置いて配水する</li> </ul>
<p>まちなみ・景観整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為松公園を市民の場とし整備する</li> <li>・花いっぱい運動の促進、休憩場所の確保</li> <li>・空き家対策</li> <li>・空き家問題の解決</li> <li>・四万十市の玄関とも言える古津賀の道路の花の強化</li> <li>・四万十川しか売りが無いのに道が草だらけの所が気になる。川だけきれいにしても意味がないし、ムダだと思う</li> <li>・四万十川の景観保護の取り組みは素晴らしい。</li> <li>・市道の周りの草刈り（公園、花壇等）</li> <li>・市内中心部の活性化</li> <li>・小京都の街並みの整備。四国一美しい街並みを目指す</li> <li>・小京都の景観を取り込んで整備を</li> <li>・赤鉄橋の塗残しを仕上げる</li> <li>・太陽光発電を増やさないようにしてほしい</li> <li>・地元の子供の遊び場が少ない</li> <li>・定期的に整備をする</li> <li>・電柱をなくす</li> <li>・道を工事するなら細部までこだわる</li> <li>・道路わきの草刈り</li> <li>・美観地区、栄町などに人工川を作る</li> <li>・閉める店が多くなっている。その跡を考えるべき</li> <li>・高知から四万十市に入るとゴミが道路に多く景観がすごく悪い</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p style="text-align: center;">一次産業 (農畜林水産業) の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 荒れた土地の利用</li> <li>• もう少し力を入れてほしい</li> <li>• 一次産業で暮らしがたつよう望みたい</li> <li>• 一次産業の単価を上げる</li> <li>• 一次産業従事者への補助制度充実</li> <li>• 一本釣り漁師の生活の安定</li> <li>• 何より食は第一なので食料づくりに</li> <li>• 会社化、公務員化する</li> <li>• 各種産業への補助</li> <li>• 休耕地の活用</li> <li>• 休耕地などとまとめ大型（新田）にする。</li> <li>• 休耕地をなくす</li> <li>• 休耕地畑の活用、自然共生農業等 後継者の育成、適切な補助金</li> <li>• 空いてる農地を市民農園で貸して欲しい</li> <li>• 耕作しない田畑が多い</li> <li>• 耕地の開発、拡大、人員確保のための啓発</li> <li>• 荒れた田畑の活用を考える</li> <li>• 荒廃した土地の活用</li> <li>• 四万十ブランドの活用</li> <li>• 市の特産物育成</li> <li>• 食材は近辺で確保できる組織があれば良い</li> <li>• 世界的な食糧危機を訴え高値買取など従事者を増やす</li> <li>• 正社員の雇用</li> <li>• 生活できる価格や支援を</li> <li>• 生産者や従事者への補助金、デジタル化への支援</li> <li>• 生産者価格と購入価格（消費者）の差が大きい</li> <li>• 団体等の活性化</li> <li>• 地域性を考えた時、この項目を支援しないと若者の定住にはつながらない補助と地域の農産物のブランド化</li> <li>• 地産地消</li> <li>• 畜産の振興</li> <li>• 日本最大の課題。自然豊かなこの地域特性を生かして</li> <li>• 農業に力を入れて欲しい。地域に支援を</li> <li>• 農業の担い手は現在高齢者、これの対応策</li> <li>• 林道、作業道の整備</li> <li>• 経験の浅い就農者を育成するための指導者として、60代、70代になり生産量を減らしているの現役者の活用。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">商工業の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 商店街の活性化。観光で 来られた方は期待を肩透かしされるのは確実。あるね屋さんを誘致して道の駅のような、野菜、魚、特産物、加工品の販売、木工品の販売や地域の食材を使った食堂の誘致。その他、土産品の専門店例えば箸の専門に扱うなど個性が強く、女性うけするもの。お酒がその場で飲み比べでき同時に魚や郷土料理が提供される店など、商店街は近隣からでも気になって足を運びたくなるような動きをしないと更に寂れるのは間違い無いと思う</li> <li>• 空き家をなくす</li> <li>• 市内の小売業の充実</li> <li>• 商工会議所との連携企画</li> <li>• 商店街への支援をひろめ市場の様に</li> <li>• 商店街活性化</li> <li>• 商品価値を高める努力</li> <li>• 町中の活性を考えた方が良いのでは</li> <li>• 商店街にもっと活力を</li> <li>• 商店街の活性化、市民のたまり場</li> </ul>

分類	具体的な取組み
企業誘致・雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• どの様に取り組むのかはわからないが働く場が少ない</li> <li>• この街が限界集落とならないためにも、企業を誘致する必要がある</li> <li>• スタバや来てほしい店があるが、ミスドすらなくなった</li> <li>• ネット環境を通して、働くことができる場所の発掘、支援、育成</li> <li>• 飲食チェーン店が増えてくれればありがたい</li> <li>• 幹線道路沿いの空き店舗は痛々しく（サニーマート、フジなど）、商店街の活気もない。経済界とよく連携を保って、市が積極的に介入して個人起業等を促進して欲しい</li> <li>• 企業が工場を建設しやすいようなサポート体制の構築</li> <li>• 企業の雇用競争力を増進するため、魅力ある人材の育成。教育の範囲内での資格取得や大学誘致等</li> <li>• 企業をどんどん入れて雇用促進につなげて欲しい</li> <li>• 経済状況がよくなないと何も始まらない</li> <li>• 雇用の充実</li> <li>• 工場ではなく、一次産業の充実につながる企業の誘致等を工夫してほしい</li> <li>• 今まで以上に市が声を上げるべき</li> <li>• 佐賀～の高規格道路の早期完成が必要</li> <li>• 最近は大手チェーン店等が増えてきていて良い。少なくなった時もあったが、どんどん増やして欲しい</li> <li>• 仕事の場を増やしてほしい。働く場所が無さすぎる</li> <li>• 四万十市が発展するためには必須だと思う</li> <li>• 四万十市で生活できないので都会に若者が流れている</li> <li>• 子どもが遊べるような場所を提供してくれる企業や、ショッピングができる施設等を増やして欲しい</li> <li>• 自分がしたいと思える仕事の充実化</li> <li>• 若い者が住めるよう</li> <li>• 若い女性が働ける職場</li> <li>• 若い人たちが、大学を卒業して帰ってこられるように</li> <li>• 若者が好む職場の確保</li> <li>• 若者が働く所が無い</li> <li>• 若者の雇用促進</li> <li>• 若者の働く場所の確保</li> <li>• 若者の流出を防ぐため</li> <li>• 障害者の雇用。高齢の雇用</li> <li>• 大学誘致のような失敗が無いように</li> <li>• 大企業の誘致</li> <li>• 大企業への宣伝、啓発</li> <li>• 地元に残ろうと思える雇用促進</li> <li>• 賃金が安すぎる</li> <li>• 賃金を上げる、誘致</li> <li>• 低賃金で良いが楽しく働ける場所</li> <li>• 働く所がないと人が出ていく為</li> <li>• 働く場所がない、少ない。企業誘致を望む</li> <li>• 働けるところを作る</li> <li>• 独立し色々な技術者（土工）を税制面で優遇で招く</li> <li>• 廃校した小中学校の校舎、用地を企業誘致に活用し、雇用、地域活性化させる</li> <li>• 幡多の高校生の雇用を優遇する制度</li> <li>• 幡多地区全体で製品の移出の効率的な方法を考える必要有り</li> <li>• 目先の誘致ではなく市の先を考え真剣に取り組んでほしい</li> <li>• 量販店（ドラッグストア）が多い</li> <li>• 台湾と仲良くして、IT関係の誘致</li> </ul>

分類	具体的な取組み
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>• たくさん有る自然を活かして 観光などができればいいなと思う</li> <li>• 街並みを整える</li> <li>• インバウンドや他県人を楽しませる場所を増やす</li> <li>• ウォーキングコース等の充実化</li> <li>• ウルトラマラソンの様に四万十市に来ないとできないことや体験できない何か</li> <li>• これ以上ないくらい良い。祭りも沢山あり良い。この感じで賑やかにしてほしい</li> <li>• サーファーやサーファーの家族が喜ぶ施設の充実</li> <li>• ニーズとウォンツを一度見直した方がよい</li> <li>• わかりやすい観光案内版の設置</li> <li>• 為松公園の自然を春だけでなく秋も紅葉狩りとかで活用する</li> <li>• 街の滞在時間を長くする取組み</li> <li>• 観光ガイドの育成</li> <li>• 観光客が四万十市だけを通り過ぎて、他の場所へ向かうと聞く</li> <li>• 観光先に行って得られるインセンティブを付与する</li> <li>• 汽水域を中心とした水族館の建設に向けた用地確保及び観光振興で成功している自治体を見習い吸収するべき</li> <li>• 四万十市にしかないという何かを作る</li> <li>• 四万十市に観光に人が来るようにしてほしい</li> <li>• 四万十市は観光地がない。四万十川だけでは、観光客は望めない。もっと人が集まり家族で楽しめる観光施設を作る必要がある。</li> <li>• 四万十川、自然、うりに出す</li> <li>• 四万十川だけでなく観光の目玉を作る。銀杏の木を多量に植えたり</li> <li>• 四万十川だけではなく新しい観光資源の発掘を</li> <li>• 四万十川の価値を認識すること</li> <li>• 四万十川を生かす</li> <li>• 四万十川以外の観光を考える</li> <li>• 自然の豊かさは十分。その発信力とどう活用するかがポイントでは。体験型の観光をもっと工夫しては</li> <li>• 少しでも多く、(イベント等)観光機会を増やすことではないか。複合施設をフル活用し、イベントにも力を入れ、四万十市はもちろんのこと、幡多地域圏外からも人を呼べることを増やすこと。圏外からも「四万十市(幡多地域)に来たい」と思ってもらえることをするのが大事だと思う</li> <li>• 食の充実</li> <li>• 新しいことへの挑戦</li> <li>• 人に来てもらえる特色づくり「モノづくりの街」</li> <li>• 人の流入が無い限り資金は落ちない</li> <li>• 道路の整備、西土佐への道439号の山道</li> <li>• 道路網の整備</li> <li>• 富裕層観光実現のために関わるスタッフが日本や海外で富裕層観光をまず体験する</li> <li>• 魅力のある宿泊施設づくりへの助成</li> <li>• 目立った観光場所がない</li> <li>• 旅行して感じることは、観光地は散歩しても楽しめる景観が多いので、花や木、遊歩道などその場でまったりと過ごせるような環境づくり</li> <li>• 良くなるとおのずと教育も出産もついてくと思う</li> <li>• 安並、安吉の滝。ミニ八十八ヶ所巡りなどの整備</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p>学校教育の充実、 青少年の健全育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 0歳児病児学童保育の充実</li> <li>• いつも気になっているのは東山小学校の通学。どうしてスクールバスを出してあげないのか。交通の激しい下田分岐などとても危険に思う</li> <li>• クラスの細分化や教職員の増加</li> <li>• ここにお金使っても大学等から帰ってきてくれないのなら四万十市の活性化にはならないのでほどほどでいいのかな、とも思う</li> <li>• 下田の件がごちゃごちゃになっている</li> <li>• 下田地区に小中一貫校を作ってほしい</li> <li>• 学校統合問題</li> <li>• 学童保育の充実。時間も6時間では仕事が終わらず迎えに行けないので、せめて保育所と同じ6時半までみてほしい。受け入れ人数も、預けたくても預けられない家庭もあるので拡充できるようにしてほしい</li> <li>• 学力、思考力の充実。田舎だけど学力まで低くなったら危うい</li> <li>• 給食費、学童無償化</li> <li>• 給食費無償</li> <li>• 共働きが多く、親が余裕がない。未来の日本のためにもとても重要</li> <li>• 教育関係予算の増額</li> <li>• 教育者の賃金をあげ良い指導者を集める</li> <li>• 教育職の質の向上</li> <li>• 教員ひとりひとりの負担があまりに大きすぎるため、教員を増員すべきだと考える</li> <li>• 高校のレベルが低い。高知市内に行かせるのは経済的負担大</li> <li>• 高校生の悪い口撃を指導</li> <li>• 子どもの思いに寄り添った教育の在り方を考えてほしい。統合ありきではいけない。丈夫で学校でやれる子供は良いが、そこでは自分を出せない子供もいる小規模校もあっていい</li> <li>• 支援の充実、人員増員</li> <li>• 将来への投資として、考えてもらいたい。教員の本当の意味での働き方改革（放課後指導や時間外の保護者対応の廃止など）を行うことで、授業や休み時間での教科内外の指導を充実させる。それらを実施するには家庭での教育力の向上も必要</li> <li>• 小学校を中村、中村南、東山、具同、西土佐の5校に統合しこれに集中投資する</li> <li>• 少子化により学校活動の低下</li> <li>• 親もだが先生の質の向上</li> <li>• 進学校を目指した学校（クラスでもよい）</li> <li>• 他の自治体の先進的な取り組み事例を学び四万十市でも導入</li> <li>• 大学、専門学校</li> <li>• 大人が子供を守り育てる意識が薄い</li> <li>• 地域の学校を残して欲しい</li> <li>• 地域の人に学校で授業をしてもらう（総合の時間など）</li> <li>• 都市の魅力は人材の豊富さ。多角的な見方が必要。教員についても同じで働き方改革に公務員が準じなければ、一般企業は二の足を踏むと思う</li> <li>• 不登校の子たちの学業の手助け</li> <li>• 不登校の子供が過ごせる場所を作ったらいいと思う</li> <li>• 不登校児に対する手厚い支援。</li> <li>• 複式の廃止</li> <li>• 薬物事件に対する意識の向上</li> </ul>

分類	具体的な取組み
文化・芸術振興、 文化財の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アート（絵画や音楽）を楽しめるイベントを増やして欲しい</li> <li>• コンサートの実施</li> <li>• コンサートや展示、展覧会など（絵画他）</li> <li>• していることをテレビ・企業・学校で紹介</li> <li>• しまんとびあの有効活用</li> <li>• もっと予算をつけて活用してほしい。下田平野地区にはたくさんある</li> <li>• 映画館を作ってほしい</li> <li>• 清水市や黒潮町をみならう</li> <li>• 太刀踊りなどきえつつある文化や食文化をまともに見直した方がよい</li> <li>• 団体の支援（市民団体・サークルなど）</li> <li>• 伝統的な祭りや歴史を保全する</li> <li>• 博物館のイベントや活動を拡大 文化的イベントの開催</li> <li>• 美術館の建設。龍馬さんやジョン万次郎に関わる資料や関連する海外の作品等を展示。他にも様々な芸術を紹介する</li> <li>• 本物の芸術鑑賞ができる機会を増やす。 （高知市にいかなくても映画が見える環境）</li> <li>• 四万十市文化祭は幡多3市では一番出来が悪い</li> </ul>
生涯学習 ・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツしやすい場所の提供</li> <li>• 以前のように地域や近場でもしてほしい。同じ様に通って行けるようにしてほしい</li> <li>• 英会話教室の開設</li> <li>• 各種スポーツ指導者（著名人）の誘致</li> <li>• 各団体の活動の支援</li> <li>• 学習の場がない、少ない（生涯学習）</li> <li>• 今卓球教室に行っているが、車に乗れなくなった時どうするのかと思う</li> <li>• 四万十市だけ芝生のサッカー場がなく大方宿毛などは整備が整っているので県外から試合に來たり合宿にきたりされており、それがあれば観光収入にもつながっていくと思う。県外から來た人は土のサッカー場がっかりされていた</li> <li>• 四万十市独自の体操を発案し子供からお年寄りまで行える運動を推進できれば良いと思う</li> <li>• 市の施設（しまんとびあ）などの有効活用。優れた人材を育成、又は呼んでくる</li> <li>• 施設の整備</li> <li>• 児童には可能性がある。充実を</li> <li>• 自然スポーツの充実</li> <li>• 車の便が悪くても参加しやすいような形で</li> <li>• 土佐西南大規模公園の有効利用</li> <li>• 青少年少女のスポーツ専門のコーチが必要</li> <li>• 幡多地域一のスポーツ競技場の建設。愛媛県も含めた四国西南地域の核となる大会やイベントを開催する</li> <li>• 1月に行われる四万十旗争奪小学生野球大会はもう少し町をあげて取り組みをしてもいいと思う。冬場に四万十市に人がくるイベントだと思うので</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p>保健・医療 ・健康づくりの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院をもっと科を増やしてほしい（先生の腕の良い人を入れてほしい）</li> <li>・病院が少ない</li> <li>・医師の確保、健康づくりのための講演会</li> <li>・医療を安く</li> <li>・医療関係の充実</li> <li>・医療保険料の維持</li> <li>・形成外科など、幡多郡では見てもらえない医療の種類もあるので、まかなえるようにしてほしい。</li> <li>・高齢者が多くなるため医療費の低減</li> <li>・高齢者の体づくり、リハビリスタッフによる体操</li> <li>・高齢者への負担軽減</li> <li>・高齢者向けの体操、ゲーム</li> <li>・四万十市内の医療の充実</li> <li>・子供の医療費支援</li> <li>・市民病院が二次救急になるような支援</li> <li>・市民病院に医師を増やして24時間受け入れ可能な救急病院にしてほしい</li> <li>・脳外科も絶対必要</li> <li>・市民病院に夜間救急でいったら県民へ行ってほしい、医者が担当外と言われた救急の看板に偽りあり。看護婦のレベルも低く、説明がわからない</li> <li>・市民病院の充実、活用促進</li> <li>・市民病院の先生不足</li> <li>・歯科医院の誘致</li> <li>・集会所などで専門職種による、病気予防に関する相談会やセミナーなどの開催</li> <li>・高齢独居の見守り隊など。老老介護のサービス。オンライン診療や、看護師が自宅に出向いて病院とのオンライン診療をすすめるなどの充実（患者の診療だけではなく、大学や他の高度医療機関とその場で医師同士がオンライン相談ができる環境。紹介状をもって紹介先の病院へいだけでもかなりの負担となるため、移動しなくともある程度方向性などがわかるよう体制づくりと他医療機関への発信も必要ではないか）これらを踏まえても、やはり今の四万十市民病院を公立病院にしておく必要性やあり方など今一度考えなおす機会ではないか</li> <li>・小児科設置、歯科医の誘致</li> <li>・診療所の充実、通院への支援</li> <li>・診療所の充実。Dr.2人体制維持</li> <li>・大病のとき県民病院で対応できない</li> <li>・病院がネットで情報を出してほしい（受付時間など）産婦人科が少な。</li> <li>・婦人科系、不妊関係の医療体制がほぼ皆無であるため、充実させたほうがいい</li> <li>・保険医療健康づくりの充実</li> <li>・歩きタバコ禁止</li> <li>・夜間にも対応してくれる病院などを増やす</li> <li>・健康に良い薬草作り</li> </ul>

分類	具体的な取組み
結婚・妊娠・出産 ・子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（国・県）市の支援</li> <li>・「子育て支援」ではなく「少子化対策」が最重要。出会えない若者が集う施設を作る（ひろめ的な）</li> <li>・いろいろ無償化に取り組んで欲しい。子育てがしやすい街には人が集まる</li> <li>・子育て家庭には支援金とか</li> <li>・お金の補助。子供の遊べる施設（雨のとき）</li> <li>・これ以上の行政支援は必要ない</li> <li>・ワンストップ業務の推進</li> <li>・愛媛県の南レクのような、公園とアクティビティー施設が併設されているような公園があれば良いと感じる</li> <li>・育休制度</li> <li>・給食費無償化</li> <li>・給付金などの充実</li> <li>・具体的な支援は把握していないが、金銭的な支援以外ないのではないが</li> <li>・結婚、妊娠というけれど人への不信感が多く、人が怖いというのがある</li> <li>・結婚祝い金、〇年間子育て金等</li> <li>・結婚したい、子どもが欲しい、人が経済的理由などから諦めることが無いように共働き2人子育てでは時間的、気持ち的にも精いっぱい</li> <li>・結婚しても生活がカツカツで子供を作る気にならない</li> <li>・結婚できる様出会いの場をもうけて欲しい。出産子育てが出来る様、保育延長、病気の子供保育の充実を</li> <li>・結婚祝い金を出す</li> <li>・見合い結婚の促進</li> <li>・婚活イベント、子育て世帯への給付金</li> <li>・婚活活動が不足している</li> <li>・仕事と育児の両立のために、医療機関と連携した病児保育の場が必要</li> <li>・人口がどんどん減っているの、若者が定着して結婚できる環境が必要</li> <li>・子どもを産みやすい、育てやすい環境の支援、金銭面や環境作り</li> <li>・子育てがしやすい地域をつくるのが結果として若者の定住や他地域からの移住につながるのでは。出産の祝金、一人目10万円、二人目以降20万円等、経済的な支援を考えてみては。</li> <li>・子育てしやすい街づくり</li> <li>・子育てのしにくい市町村に住みたいとは思われないと思うので力を入れないといけないと思う</li> <li>・子育てのしやすい街をアピール</li> <li>・子育ての費用支出の支援</li> <li>・子育て活動の支援</li> <li>・子育て世代の経済的支援</li> <li>・子育て世代への手厚いサポート体制</li> <li>・子供が生まれにくい限りは、人口は増えないと思う。メリットを増やすことが必要だと思う</li> <li>・子供にかかる教育費の無償化、子育てにお金がかかりすぎる</li> <li>・子供に対する補償や補助</li> <li>・子供は宝。子育て支援はすべてにつながる</li> <li>・市のリーダーシップ</li> <li>・市内に遊園地などが本当に無い</li> <li>・持続可能は次世代の子供たち</li> <li>・若い人が住みやすい支援をする</li> <li>・若者がいない、（何とかしてほしい）</li> <li>・若者の経済状況が厳しいので安心して子どもを産める経済的支援をしてほしい</li> <li>・若者の定住できる施策</li> <li>・若者の働く場の確保と充実。働く場がないと都会へ出てしまうと、ある程度の収入がなければ家族を養う事ができない為に、結婚・出産に至らないと思う</li> <li>・出産、育児がしやすいように育休制度や補助金が充実してるといいと思う</li> <li>・出産や子育ての支援がないと人も来ない</li> <li>・少子化対策に力をいれる</li> <li>・少子高齢化は四万十市でも深刻。教育の無償化について前向きに検討すべき</li> <li>・人口減対策</li> <li>・男女の出会いの場所づくり</li> <li>・男性の育休等出生率を上げる取り組み</li> <li>・働く場所が無いと何も出来ない</li> <li>・妊娠や出産時の祝い金の拡充など、魅力ある策を打ち出す</li> <li>・発熱時など軽症な病児保育を作り、母親が安心して働ける環境</li> <li>・不妊治療に対する支援(カウンセリング等)</li> <li>・保育園料金を一律にしてほしい</li> <li>・保育施設の充実のための支援</li> <li>・孫が7人。年寄りにも支援を</li> </ul>

分類	具体的な取組み
<p>高齢者 ・障がい者の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金から引かれる金のほうが多すぎる</li> <li>・1人暮らしの人が多。障がい者にとって支援がない</li> <li>・いきいきと活動できる場の設定</li> <li>・ケアマネさんの増員認知症の方に対する支援充実</li> <li>・サービスの向上</li> <li>・シルバーの存続、支援</li> <li>・すでに健康福祉委員会で取り組んでいるが参加者の減少により維持できるか</li> <li>・街中を散歩していて、休憩出来る椅子が欲しい。歩道の段差を無くして欲しい</li> <li>・道路にはみ出して居る電柱を引っ込めて欲しい。検診場所への送迎</li> <li>・各種手続きについて、わかりやすく簡単にしてほしい。</li> <li>・市役所まで出向くことが難しい方もいる。</li> <li>・健康福祉の集まりに無駄なお金を使わないで老人に少しでも生活の足しになるようにしてほしい</li> <li>・高齢者、障がい者が自立して暮らすための支援</li> <li>・高齢者が乗り物に不便になっている</li> <li>・高齢者の厚生年金の減額</li> <li>・高齢者の支援</li> <li>・高齢者施設の充実</li> <li>・高齢者施設を増やして希望者がすぐに入居できるようにする必要あり</li> <li>・介護士不足の解消の為に、市が援助して待遇を良くする必要があるのでは</li> <li>・支援の必要なすべての人が入れる施設が少ない為に充実させてほしい</li> <li>・施設利用時の金銭面の補助</li> <li>・障がい者の働く場が少ない。賃金も安い</li> <li>・障がい者雇用</li> <li>・情報発信と周知</li> <li>・生きがいのある生活ができるよう支援を</li> <li>・税金が高い</li> <li>・相談窓口を増やしてもらいたい</li> <li>・地域の高齢の方はたくさんいる。何とか生涯現役で活用できるようにしてほしい</li> <li>・地域的に支援が違うので現場で話を聞く</li> <li>・独り暮らしの老人の見守りサービス</li> <li>・年金も少ないので安価で利用できるホームを増やす</li> <li>・老人は多くなる一方なので心配りが欲しい</li> </ul>
<p>生活困窮者の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンクなどの充実、子ども・大人食堂など</li> <li>・本当に困っていない人に支援してるとは思えないので支援はいらなと思う</li> <li>・一律給付金付与、住民税減税、物価高対策</li> <li>・介護タクシーも簡単に利用できない。運賃が高い</li> <li>・格差の是正</li> <li>・気軽な相談窓口の設置</li> <li>・給付金が欲しい</li> <li>・身体に異常がなく健康であるが、働く意欲がない方に対しての支援は必要ないが、それ以外の方に対しては商品券などでの支援や病院代無償化などの手立てがあってもよいと思う</li> <li>・税かつ保護の乱発の見直し</li> <li>・税金が高すぎる</li> <li>・得意を活かす組織化</li> <li>・年金だけでは生活できない人への手助け</li> <li>・年金者に支援を</li> <li>・年金生活で困っている人がいる</li> <li>・必要な人に生活保護などしっかりサポートしてほしい。生活保護を受けたあとの生活実態も調べてほしい</li> <li>・不正受給の排除</li> <li>・物質に加え、精神的支援</li> <li>・本当に困窮している者を精査し支援を厚くする</li> <li>・本当に困窮している方と困窮してないのに生活保護もらってる人、母子手当てをもらってる人ちゃんと見極めるべき</li> <li>・本当に生活保護を受ける必要性があるのか、しっかりみて欲しい</li> </ul>
<p>市民活動 ・地域コミュニティの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休校の学校の校舎の活用</li> <li>・市議員が区長をやれないか</li> <li>・地域活動の支援</li> <li>・地区コミュニティの参加、加入の促進</li> </ul>

分類	具体的な取組み
中山間地域の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 移動手手段確保、移動販売</li> <li>• 一次産業への支援、助成金増</li> <li>• 過疎化にともない高齢化が進む昨今 市営の老人介護施設等どうでしょう</li> <li>• 市街の人離れの現状をさぐる</li> <li>• 指導者の育成</li> <li>• 住み続けられるように支援を</li> <li>• 小さな農家、年寄り生活がいっぱい。税金など考えて欲しい</li> <li>• 西土佐江川崎間道を広くする</li> <li>• 川の周りに夏限定で店を出す</li> <li>• 地方の交通整備</li> <li>• 中山間地こそ、四万十市の未来がある</li> <li>• 中心街にばかり人が集まり、山間地域がどんどんお年寄りばかりになる</li> <li>• 町に近い所は草など刈られているが町はずれは雑草がしげっている</li> <li>• 道が無い</li> <li>• 車乗れない人は特に不便</li> <li>• 特産品の開発</li> <li>• 買い物難しい地域がいっぱいある</li> <li>• 利便性のみ集中すると市街地だけの人口増</li> <li>• 助け合い</li> </ul>
人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• LGBTQ、パワハラ、セクハラ、意識を高める</li> <li>• 安心して通わせられる学校教育</li> <li>• 学校の授業だけでは不十分。外部から講師を呼び</li> <li>• 人権は基本だからしっかり進めてほしい</li> </ul>
移住の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ケアハウス四万十のような施設を増やし県外の高齢者を呼び込む</li> <li>• サーフスポット付近にキャンプ場を作ったり、サーフポイントのシャワールームなどの整備</li> <li>• どんなに頑張っても多くの移住は望めないとは思いますが少しでも来てくれると市のためになると思う</li> <li>• ネット、テレビで紹介。まちの環境、買物施設紹介</li> <li>• もっと空き家を使って移住の人を増やす</li> <li>• 急激な人口減少に伴い、将来を見据えた町づくり</li> <li>• 旧住民との融和ができるか</li> <li>• 空き家があるので入ってもらおう</li> <li>• 空き家バンク</li> <li>• 空き家をリフォームして活用</li> <li>• 空き家を安く貸してほしい。情報が欲しい</li> <li>• 空き家を活用してほしい</li> <li>• 空家活用、地域おこし全国に</li> <li>• 県外の移住者にどう何をアピールするか具体的には言えないが移住しやすい環境整備を積極的に行ってほしい</li> <li>• 国や県民間と連携して行う</li> <li>• 子育てしやすい四万十市をPRすれば。そのためには良い改善なければいけない</li> <li>• 持続的な取り組み</li> <li>• 車がないと不便なので交通の便を良くする</li> <li>• 借家+店舗の促進を進める</li> <li>• 若い移住者の促進を進める</li> <li>• 地元の人口は頭打ち、若い人は流出している。外から呼んでくるしかない</li> <li>• 移住者のためのインフラを整えて、観光と合わせて人を呼び込まないと先はない</li> <li>• 町中の空き家をリフォームしてターンを受け入れる</li> <li>• 都会からの高齢者移住（放置住宅）</li> </ul>

分類	具体的な取組み
行財政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（市役所内の）若者のすばらしい人材を活用し慣例にとられない改革をする</li> <li>・365日開庁</li> <li>・無駄のチェック</li> <li>・活発な行動力</li> <li>・経費削減、公務員を減らす</li> <li>・公務員の給料削減</li> <li>・人口減なので職員も減らし、コンパクトにする</li> <li>・税金（ふるさとの税額を含む）の正しい使い方（ムダ使いが多い）</li> <li>・特別休暇日数の見直し5日→3日など、必要人件費、会計年度任用職員の定数厳選</li> <li>・入るより出すを考えて節約の必要性。人口減は進むと思うので</li> <li>・現市長に名誉挽回を</li> </ul>
地域課題の解決に向けたデジタル技術活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の創出、維持、マッチング。それに伴う人材育成</li> <li>・高齢の方々にスマホなどのインターネットの利用の仕方を教える機会を用意する</li> <li>・今後はデジタル無しでは移住者は少ない</li> <li>・人も少ないのだからデジタル活用すべきと思う</li> <li>・行政書類を電子決済化してほしい</li> <li>・一元化し課題抽出の効率化</li> <li>・黒潮町のように各家庭にデジタル化を</li> </ul>
外国人材の受け入れ支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護などの職種に人材をあてる</li> <li>・介護ヘルパーなど人員不測の病院へ求人</li> <li>・外国人の興味を引く事の充実化</li> <li>・求人を出しても誰も来ないので外国人でいいから来て欲しい</li> <li>・もっと家族の一員の様になれば。もっと良くなる</li> </ul>

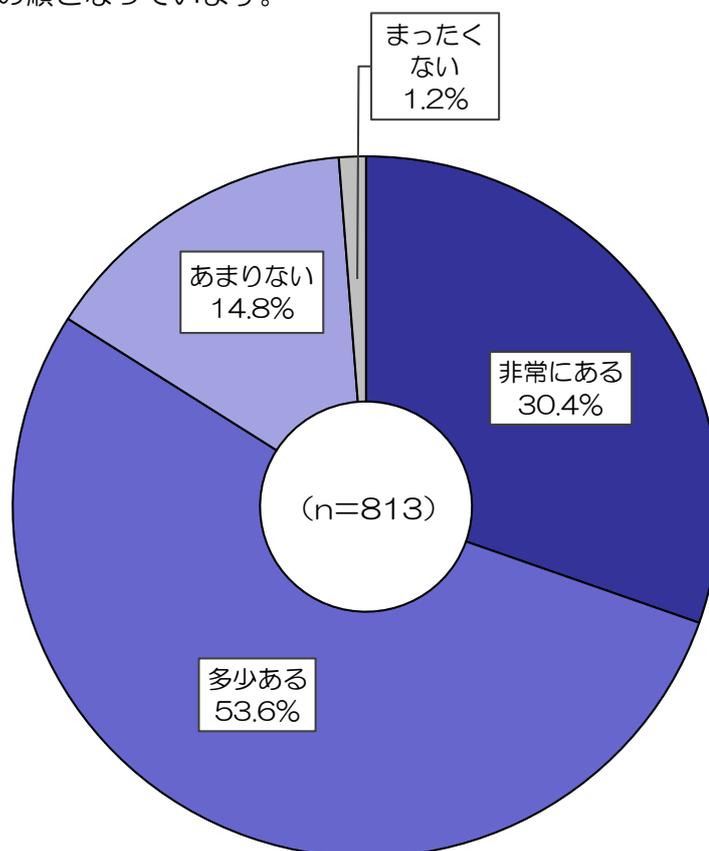
## ■その他の取り組み内容

その他（近隣市町村との連携）	四万十市単独でなく近隣市町村と共有した事業などの実施
その他（今後の市政運営）	四万十市姿勢運営の見える化を今以上に市民にする
その他（市議会議員）	現状どうかはわからないが、各課の荒さがしをするオンブズマンもどきの方や定数削減といいながら議員をしている方はあまりふさわしいとは思えない。本当に一生懸命になって市民のために協働する方を執行機関として育成していく術があればなどと考える
その他（田の保全維持管理）	アドバイザーを利用して四万十の米のブランド化。平野地、早期米、中山間ヒノヒカリに取り組み
その他（動物、犬猫支援）	殺さない
その他	道の悪さ。利用道でカーブミラーもなく困っている人々はたくさんいると思う お墓に行く途中の道がぼろぼろ
	過疎化による田舎の空家問題、相続人負担がかかる仕組みなど変えていただきたい
	高齢者世帯は生活が大変、もっと支援を
	政治家が悪いことをし過ぎる。悪いことをした政治家は市民権をはく奪
	安芸高田市の市町のように市長にもっとぐいぐい前に出てもらって四万十市をアピールしてもらいたい。SNS等で。議員報酬削減やムダな経費や資金の消費をなくす
	上記のようなことを行うからといって税金の増額を求めない
	何回町の道の同じ場所の舗装をするのか
県道、市道、歩歩道専用路がうすくなり全体に保全の見直しをしてほしい	
市のホームページが見づらい。欲しい情報にたどりつかない。PCに慣れた私でもそう感じるの見慣して欲しい。	
市役所の職員の教育ができる人、できない人、長期で休んでいる人、なんとかしてほしい。税金で仕事しているので一般の会社では考えられない。お給料、賞与、雇用面で恵まれすぎている。それなりの仕事をして欲しい。上役の人たちも年々お給料が上がっているなら指導方法を考えてほしい	

## (5) 地震及び防災対策について

【問 19】現在お住まいの地域で、地震災害の発生について不安を感じることがありますか。(〇は1つ)

現在お住まいの地域で、地震災害の発生について不安を感じることがあるかについてたずねたところ、「多少ある」が53.6%で最も多く、次いで「非常にある」(30.4%)、「あまりない」(14.8%)の順となっています。

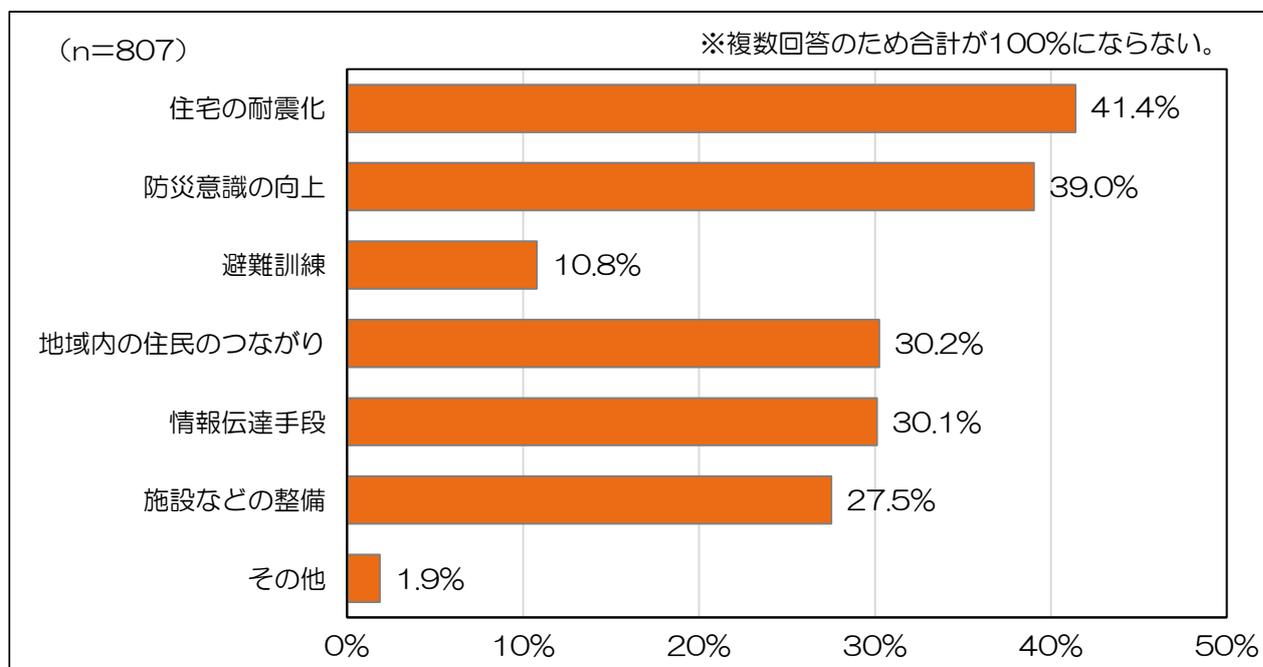


設問番号	項目	n	%
1	非常にある	247	30.4%
2	多少ある	436	53.6%
3	あまりない	120	14.8%
4	まったくない	10	1.2%
有効回答-計		813	100.0%
無回答・無効票		49	
総合計		862	

【問 20】地震や津波から命を守るため必要と感じることは何ですか。（〇は2つまで）

地震や津波から命を守るため必要と感じることについてたずねたところ、「住宅の耐震化」が41.4%で最も多く、次いで「防災意識の向上」（39.0%）、「地域内の住民のつながり」（30.2%）の順となっています。

その他の意見としては、「住宅近くの山などの防災対策」「他県とのつながり」「避難経路の確保」等です。



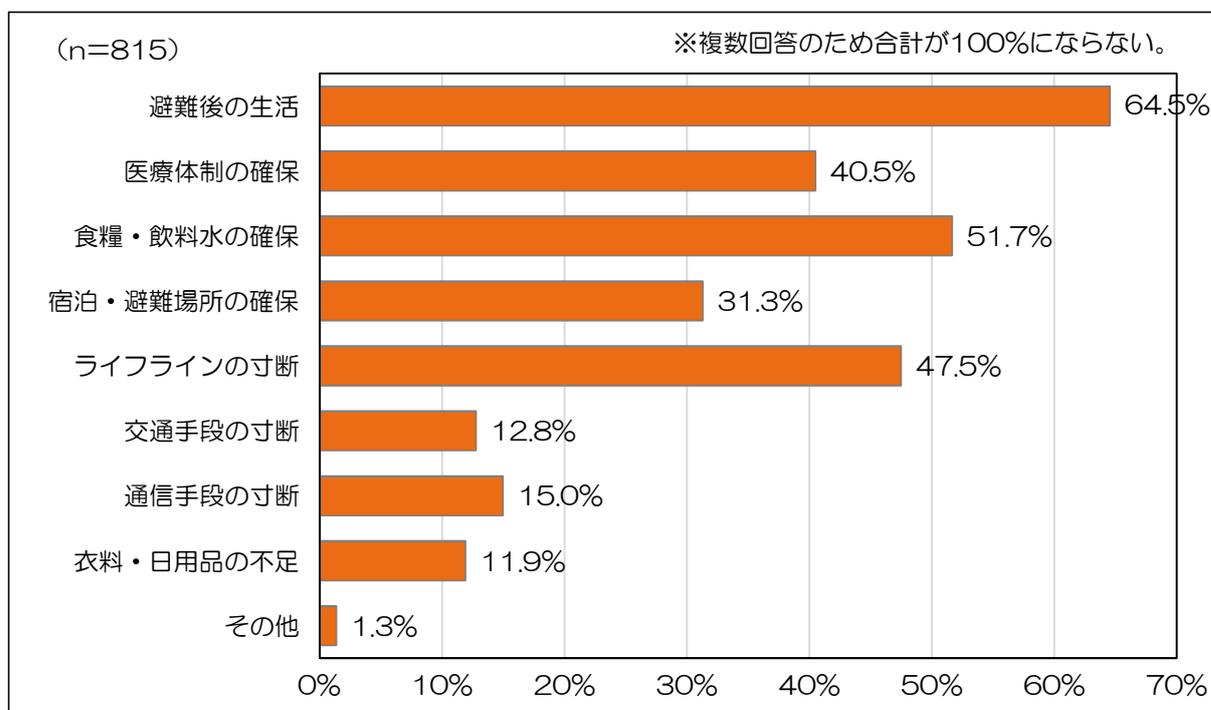
設問番号	項目	n	%
1	住宅の耐震化	334	41.4%
2	防災意識の向上	315	39.0%
3	避難訓練	87	10.8%
4	地域内の住民のつながり	244	30.2%
5	情報伝達手段	243	30.1%
6	施設などの整備	222	27.5%
7	その他	15	1.9%
計		1,460	180.9%
回答者数		807	100.0%
無回答・無効票		55	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 21】大地震発生の避難後に最も不安に感じることは何ですか。（〇は3つまで）

大地震発生の避難後に最も不安に感じることについてたずねたところ、「避難後の生活」が64.5%で最も多く、次いで「食糧・飲料水の確保」(51.7%)、「ライフラインの寸断」(47.5%)の順となっています。

その他の意見としては、「トイレ」「ペット」「避難先での人付き合い」等です。



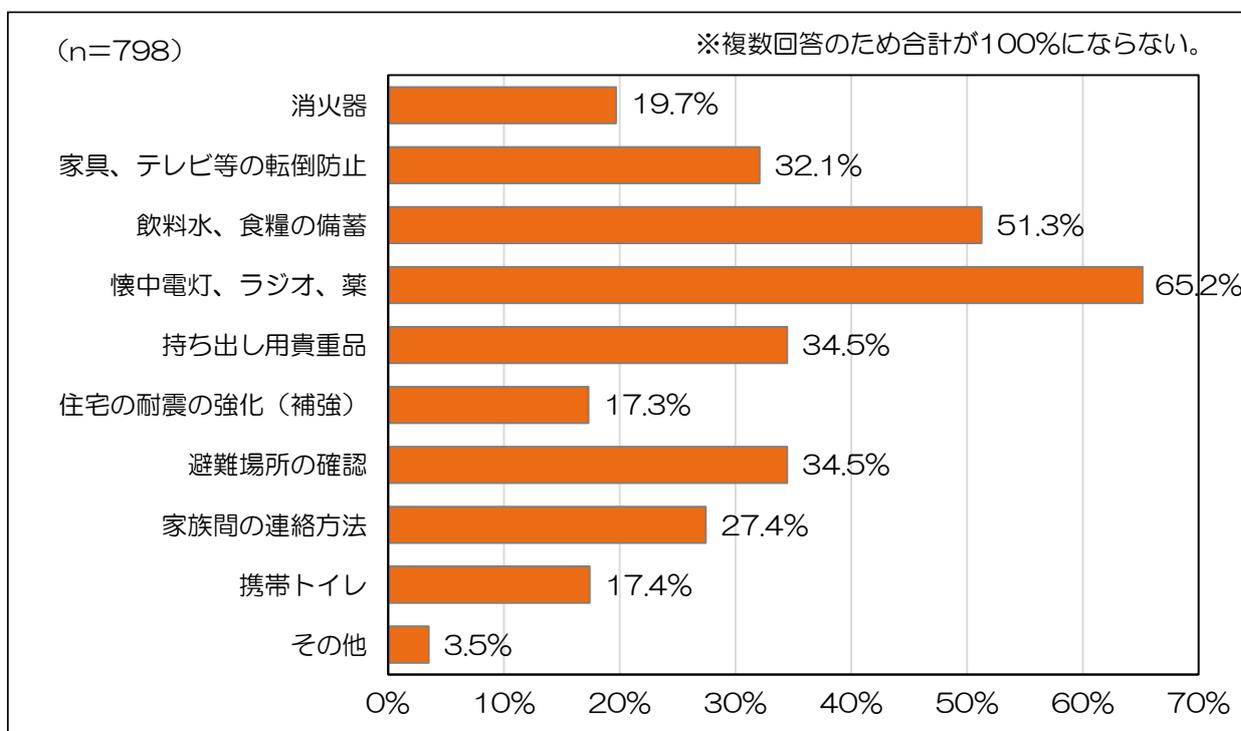
設問 番号	項目	n	%
1	避難後の生活	526	64.5%
2	医療体制の確保	330	40.5%
3	食糧・飲料水の確保	421	51.7%
4	宿泊・避難場所の確保	255	31.3%
5	ライフラインの寸断	387	47.5%
6	交通手段の寸断	104	12.8%
7	通信手段の寸断	122	15.0%
8	衣料・日用品の不足	97	11.9%
9	その他	11	1.3%
計		2,253	276.4%
回答者数		815	100.0%
無回答・無効票		47	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 22】大地震に備えて、家庭で対策していることは何ですか。（〇はいくつでも）

大地震に備えて、家庭で対策していることについてたずねたところ、「懐中電灯、ラジオ、薬」が65.2%で最も多く、次いで「飲料水、食糧の備蓄」（51.3%）、「持ち出し用貴重品」「避難場所の確認」（34.5%）の順となっています。

その他の意見としては、「移住準備」「何もしていない」等です。



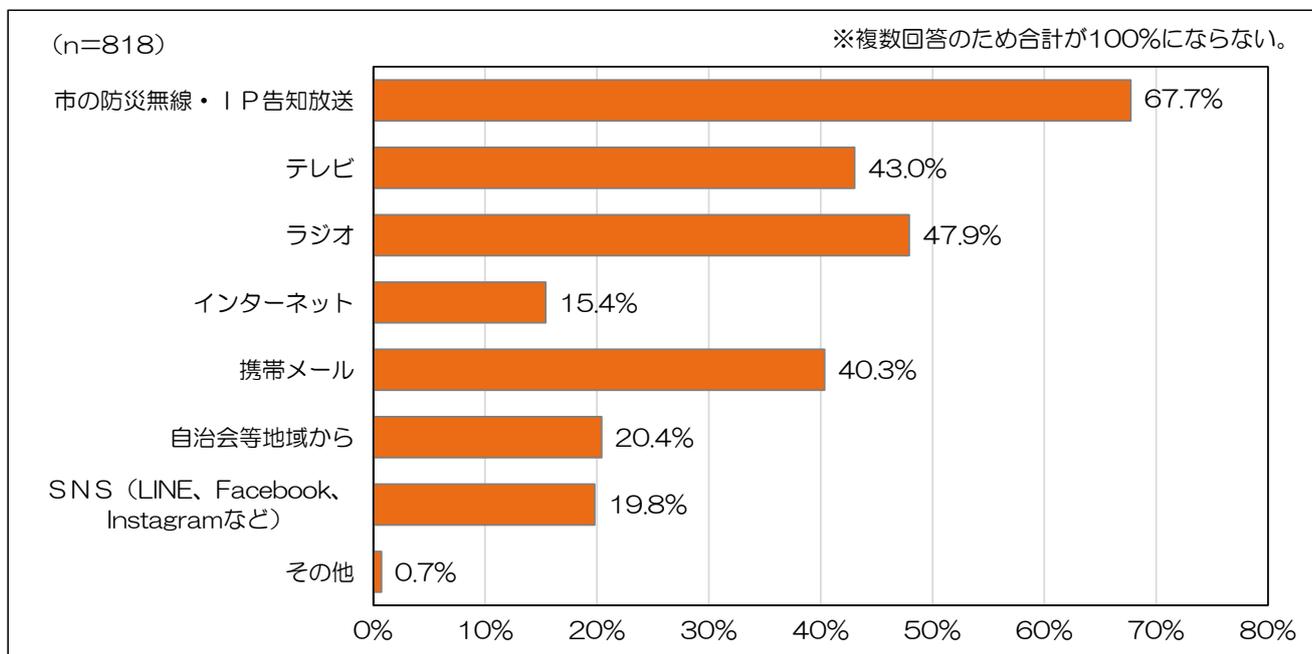
設問番号	項目	n	%
1	消火器	157	19.7%
2	家具、テレビ等の転倒防止	256	32.1%
3	飲料水、食糧の備蓄	409	51.3%
4	懐中電灯、ラジオ、薬	520	65.2%
5	持ち出し用貴重品	275	34.5%
6	住宅の耐震の強化（補強）	138	17.3%
7	避難場所の確認	275	34.5%
8	家族間の連絡方法	219	27.4%
9	携帯トイレ	139	17.4%
10	その他	28	3.5%
計		2,416	302.8%
回答者数		798	100.0%
無回答・無効票		64	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 23】 災害時には、どの情報が頼りになると思いますか。（〇は3つまで）

災害時の頼りになる情報についてたずねたところ、「市の防災無線・IP告知放送」が67.7%で最も多く、次いで「ラジオ」（47.9%）、「テレビ」（43.0%）の順となっています。

その他の意見としては、「防災無線は全然聞こえない」「わからない」等です。



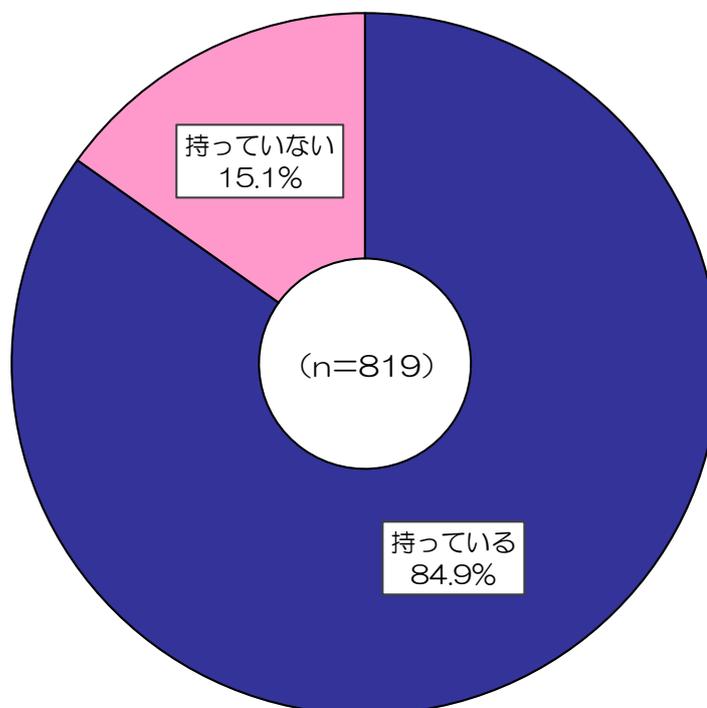
設問番号	項目	n	%
1	市の防災無線・IP告知放送	554	67.7%
2	テレビ	352	43.0%
3	ラジオ	392	47.9%
4	インターネット	126	15.4%
5	携帯メール	330	40.3%
6	自治会等地域から	167	20.4%
7	SNS (LINE、Facebook、Instagramなど)	162	19.8%
8	その他	6	0.7%
計		2,089	255.4%
回答者数		818	100.0%
無回答・無効票		44	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

## (6) デジタル化について

【問 24】 あなたは、スマートフォンを所有していますか。（〇は1つ）

スマートフォンの所持についてたずねたところ、「持っている」が84.9%で最も多く、次いで「持っていない」（15.1%）の順となっています。



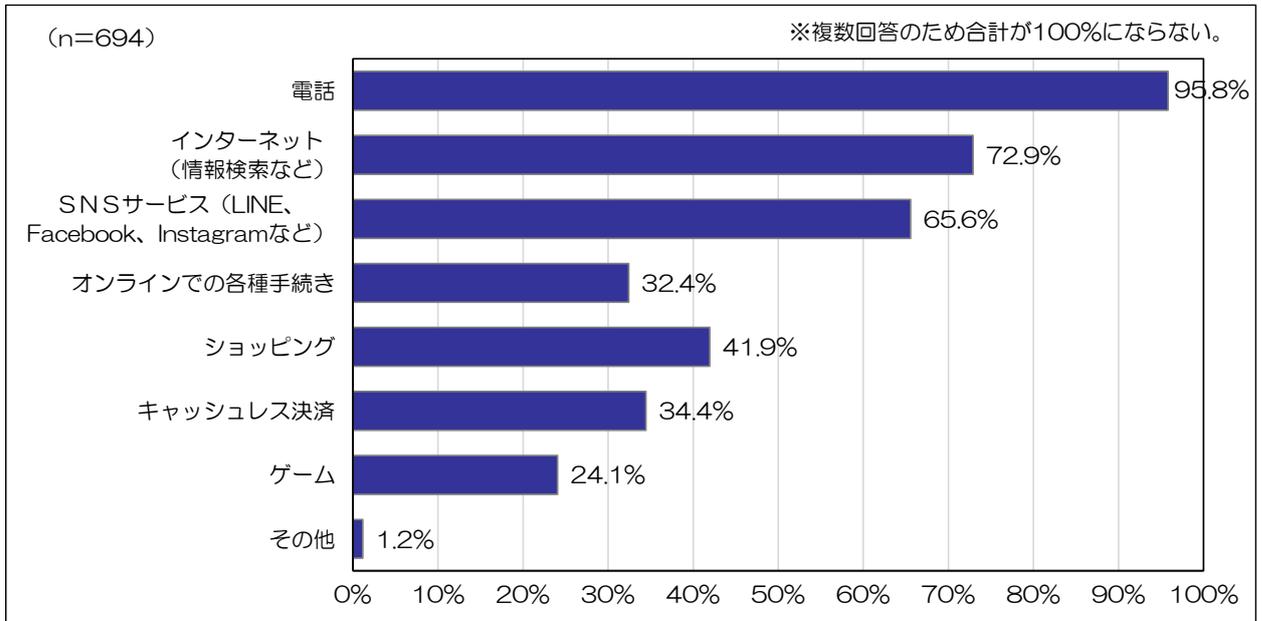
設問番号	項目	n	%
1	持っている	695	84.9%
2	持っていない	124	15.1%
有効回答-計		819	100.0%
無回答・無効票		43	
総合計		862	

【問 25】スマートフォンをどのようなことに利用していますか。（〇はいくつでも）

【問 24：スマートフォンの所持】で「持っている」と回答した人が対象

スマートフォンの利用についてたずねたところ、「電話」が 95.8%で最も多く、次いで「インターネット（情報検索など）」（72.9%）、「SNSサービス（LINE、Facebook、Instagram など）」（65.6%）の順となっています。

その他の意見としては、「資産運用の管理」「ドライブレコーダー」「学業」等です。



設問番号	項目	n	%
1	電話	665	95.8%
2	インターネット (情報検索など)	506	72.9%
3	SNSサービス (LINE、Facebook、Instagramなど)	455	65.6%
4	オンラインでの各種手続き	225	32.4%
5	ショッピング	291	41.9%
6	キャッシュレス決済	239	34.4%
7	ゲーム	167	24.1%
8	その他	8	1.2%
計		2,556	368.3%
回答者数		694	100.0%
無回答・無効票		1	
総合計		695	

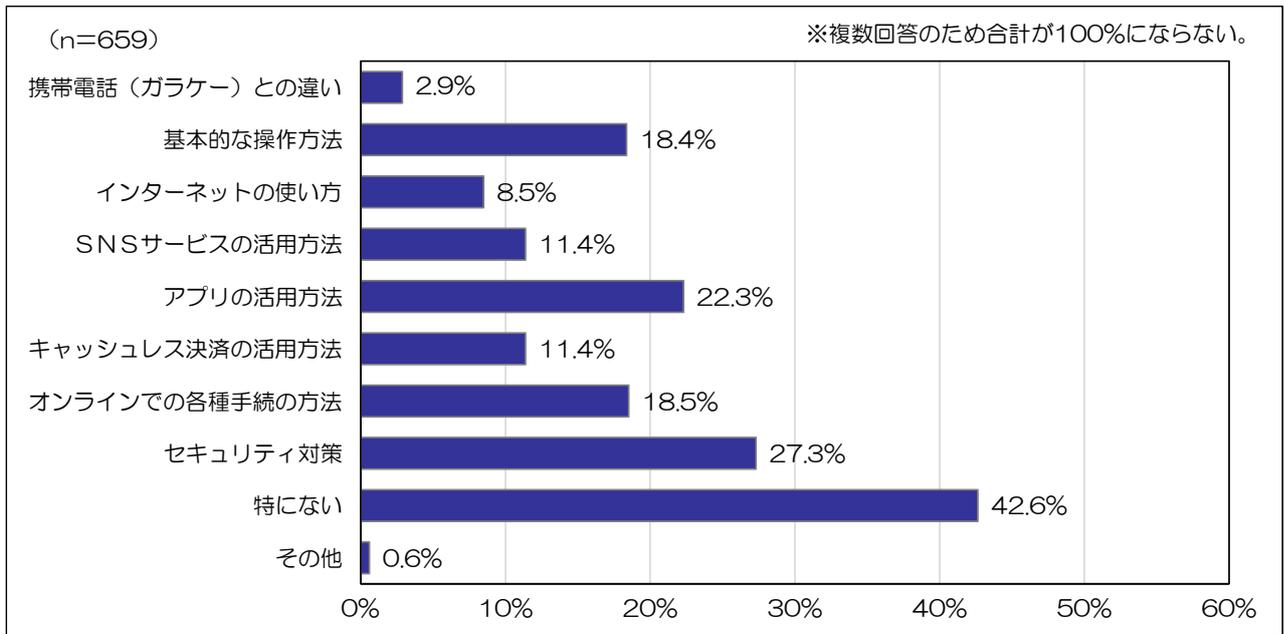
※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 26】スマートフォンについてもっと知りたいことはありますか。(〇はいくつでも)

【問 24：スマートフォンの所持】で「持っている」と回答した人が対象

スマートフォンについて知りたいことをたずねたところ、「特にない」が42.6%で最も多く、次いで「セキュリティ対策」(27.3%)、「アプリの活用方法」(22.3%)の順となっています。

その他の意見としては、「マルチウェア対策の進歩」「世界の情報」等です。



設問番号	項目	n	%
1	携帯電話（ガラケー）との違い	19	2.9%
2	基本的な操作方法	121	18.4%
3	インターネットの使い方	56	8.5%
4	SNSサービスの活用方法	75	11.4%
5	アプリの活用方法	147	22.3%
6	キャッシュレス決済の活用方法	75	11.4%
7	オンラインでの各種手続の方法	122	18.5%
8	セキュリティ対策	180	27.3%
9	特にない	281	42.6%
10	その他	4	0.6%
計		1,080	163.9%
回答者数		659	100.0%
無回答・無効票		36	
総合計		695	

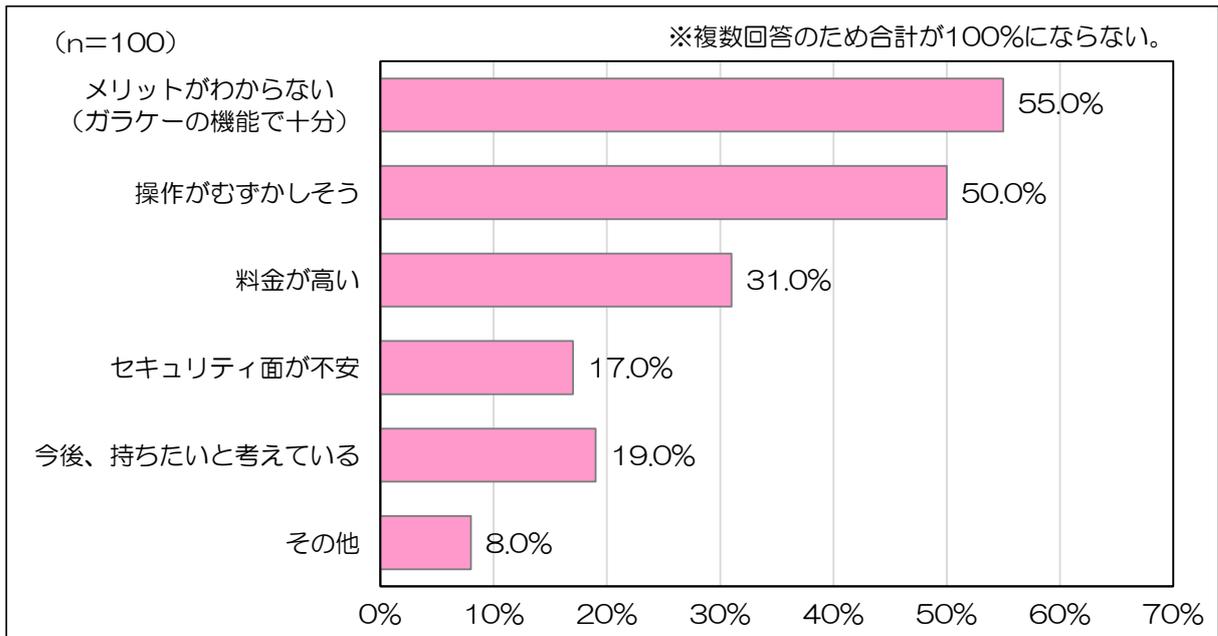
※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 27】スマートフォンをお持ちでない理由をお答えください。（〇はいくつでも）

【問 24：スマートフォンの所持】で「持っていない」と回答した人が対象

スマートフォンを持っていない理由についてたずねたところ、「メリットがわからない（ガラケーの機能で十分）」が 55.0%で最も多く、次いで「操作がむずかしそう」（50.0%）、「料金が高い」（31.0%）の順となっています。

その他の意見としては、「元々電子機器が苦手だから」「パソコンで十分だから」「必要と思わないから」等です。



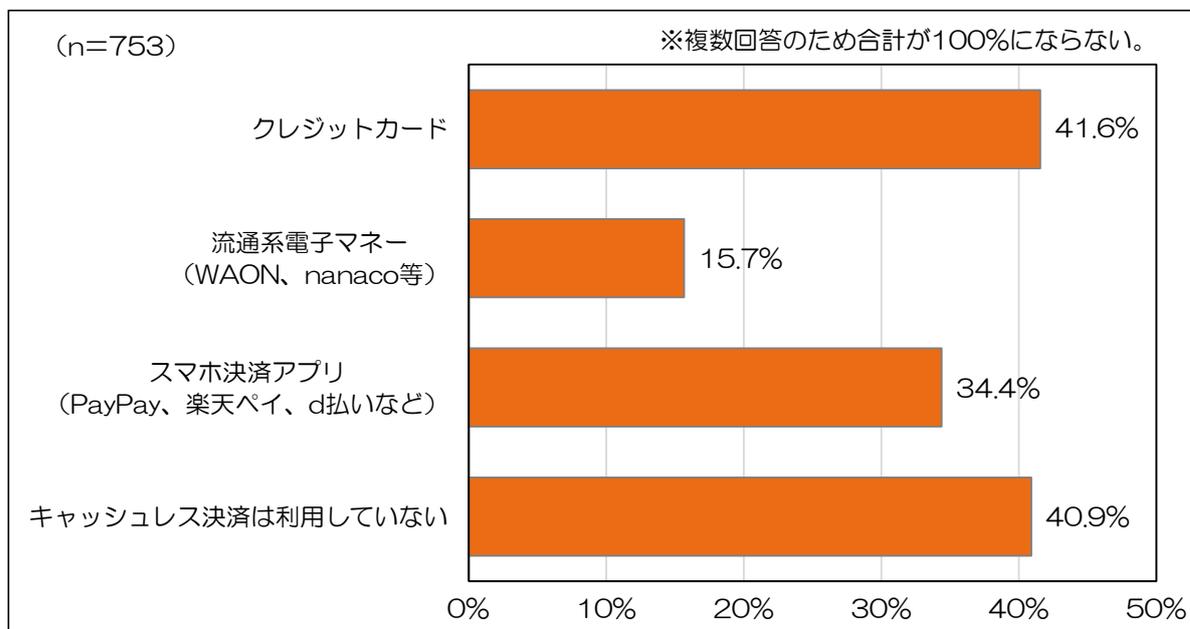
設問番号	項目	n	%
1	メリットがわからない (ガラケーの機能で十分)	55	55.0%
2	操作がむずかしそう	50	50.0%
3	料金が高い	31	31.0%
4	セキュリティ面が不安	17	17.0%
5	今後、持ちたいと考えている	19	19.0%
6	その他	8	8.0%
計		180	180.0%
回答者数		100	100.0%
無回答・無効票		24	
総合計		124	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 28】 普段、どのような方法でキャッシュレス決済を行っていますか。

(〇はいくつでも)

キャッシュレス決済についてたずねたところ、「クレジットカード」が41.6%で最も多く、次いで「キャッシュレス決済は利用していない」(40.9%)、「スマホ決済アプリ (PayPay、楽天ペイ、d払いなど)」(34.4%)の順となっています。

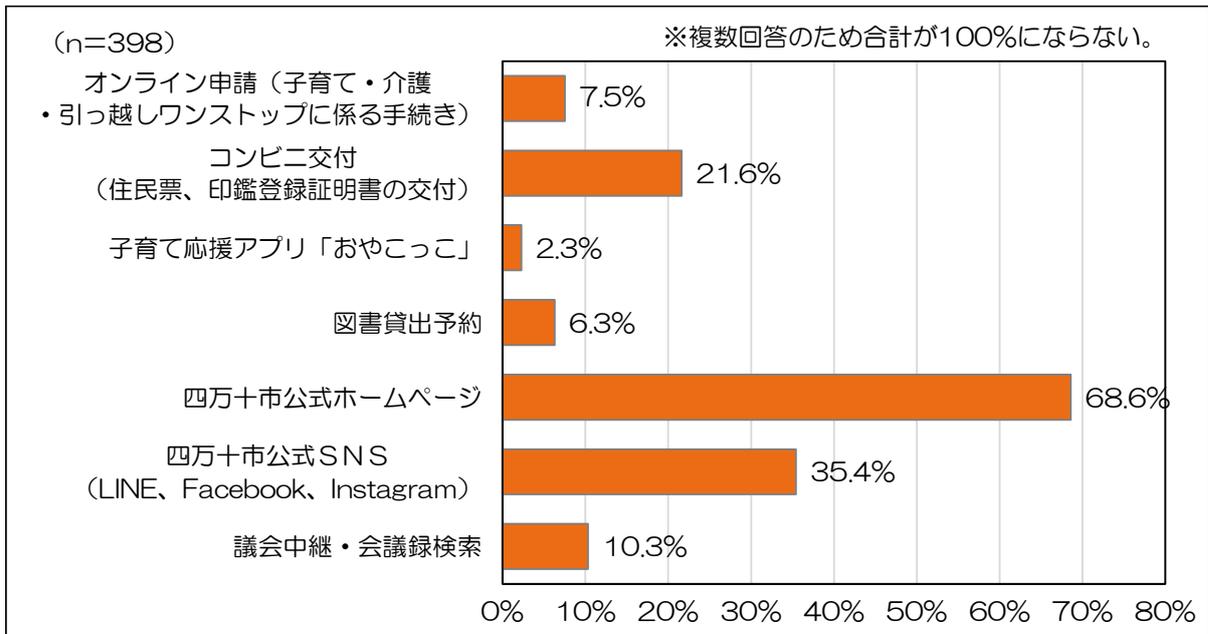


設問番号	項目	n	%
1	クレジットカード	313	41.6%
2	流通系電子マネー (WAON、nanaco等)	118	15.7%
3	スマホ決済アプリ (PayPay、楽天ペイ、d払いなど)	259	34.4%
4	キャッシュレス決済は利用していない	308	40.9%
計		998	132.5%
回答者数		753	100.0%
無回答・無効票		109	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

**【問 29】 四万十市のデジタル行政サービスについて、利用したことがあるものをお答えください。（〇はいくつでも）**

利用したことがある四万十市のデジタル行政サービスについてたずねたところ、「四万十市公式ホームページ」が68.6%で最も多く、次いで「四万十市公式SNS（LINE、Facebook、Instagram）」（35.4%）、「コンビニ交付（住民票、印鑑登録証明書の交付）」（21.6%）の順となっています。



設問番号	項目	n	%
1	オンライン申請 （子育て・介護・引っ越しワンストップに係る手続き）	30	7.5%
2	コンビニ交付 （住民票、印鑑登録証明書の交付）	86	21.6%
3	子育て応援アプリ「おやこっこ」	9	2.3%
4	図書貸出予約	25	6.3%
5	四万十市公式ホームページ	273	68.6%
6	四万十市公式SNS （LINE、Facebook、Instagram）	141	35.4%
7	議会中継・会議録検索	41	10.3%
計		605	152.0%
回答者数		398	100.0%
無回答・無効票		464	
総合計		862	

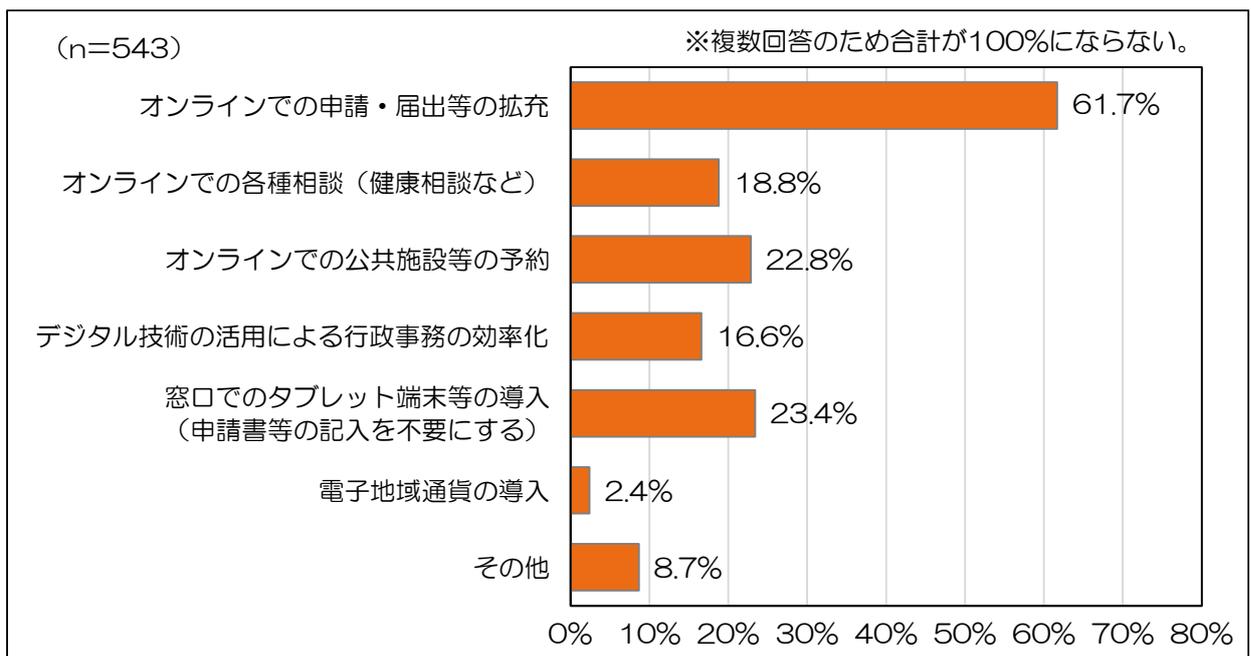
※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 30】 今後、四万十市でデジタル化を期待する手続きやサービスは何ですか。

(〇は2つまで)

今後デジタル化を期待する手続きやサービスについてたずねたところ、「オンラインでの申請・届出等の拡充」が61.7%で最も多く、次いで「窓口でのタブレット端末等の導入（申請書等の記入を不要にする）」（23.4%）、「オンラインでの公共施設等の予約」（22.8%）の順となっています。

その他の意見としては、「申請の24時間対応、休日対応」「選挙・投票」「Wi-Fiスポットの設置」等です。



設問番号	項目	n	%
1	オンラインでの申請・届出等の拡充	335	61.7%
2	オンラインでの各種相談（健康相談など）	102	18.8%
3	オンラインでの公共施設等の予約	124	22.8%
4	デジタル技術の活用による行政事務の効率化	90	16.6%
5	窓口でのタブレット端末等の導入（申請書等の記入を不要にする）	127	23.4%
6	電子地域通貨の導入	13	2.4%
7	その他	47	8.7%
計		838	154.3%
回答者数		543	100.0%
無回答・無効票		319	
総合計		862	

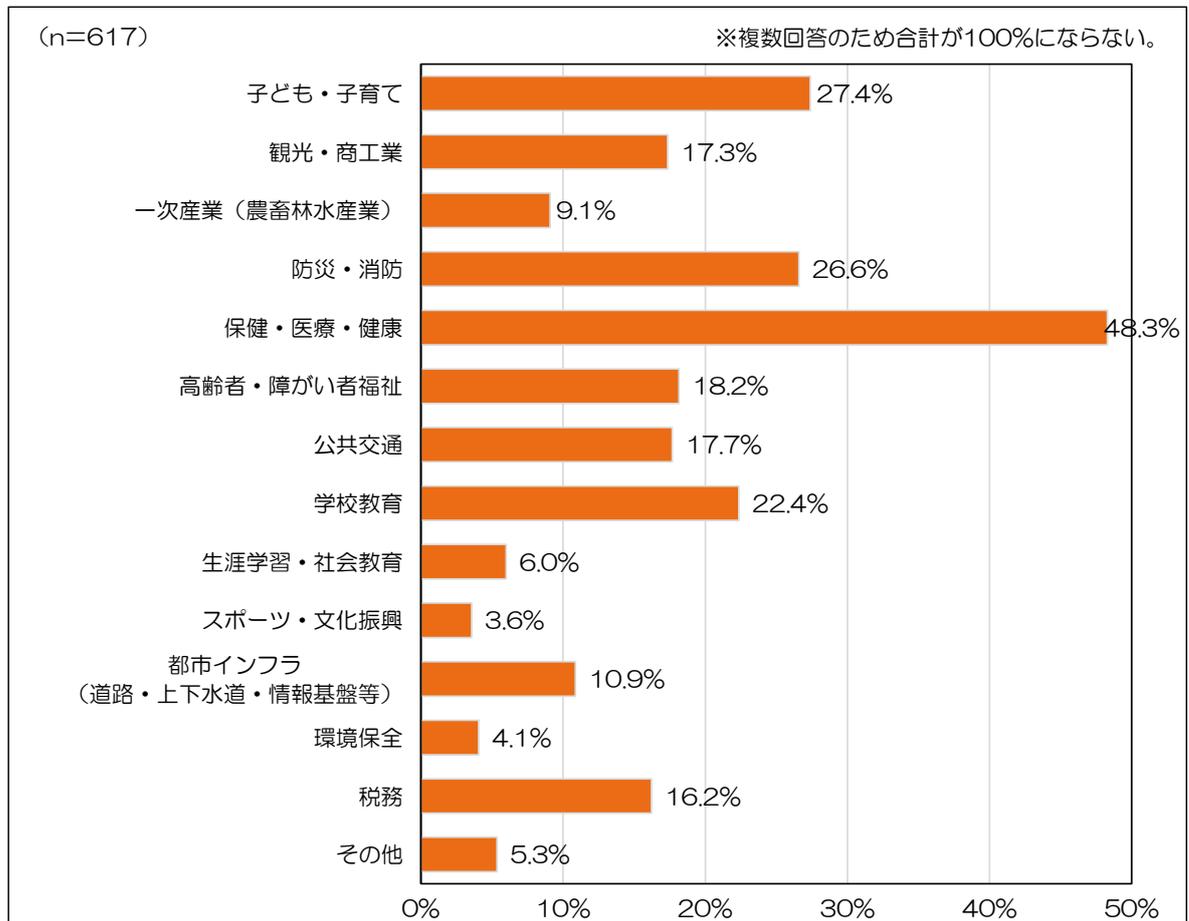
※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 31】今後、四万十市ではこういった分野でデジタル化を進めるべきとお考えですか。

(〇は3つまで)

今後デジタル化を進めるべき分野についてたずねたところ、「保健・医療・健康」が48.3%で最も多く、次いで「子ども・子育て」(27.4%)、「防災・消防」(26.6%)の順となっています。

その他の意見としては、「各種手続き」「雇用」「わからない」等です。



設問番号	項目	n	%	設問番号	項目	n	%
1	子ども・子育て	169	27.4%	8	学校教育	138	22.4%
2	観光・商工業	107	17.3%	9	生涯学習・社会教育	37	6.0%
3	一次産業（農畜林水産業）	56	9.1%	10	スポーツ・文化振興	22	3.6%
4	防災・消防	164	26.6%	11	都市インフラ（道路・上下水道・情報基盤等）	67	10.9%
5	保健・医療・健康	298	48.3%	12	環境保全	25	4.1%
6	高齢者・障がい者福祉	112	18.2%	13	税務	100	16.2%
7	公共交通	109	17.7%	14	その他	33	5.3%
計						1,437	232.9%
回答者数						617	100.0%
無回答・無効票						245	
総合計						862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 32】 今後、四万十市で取り組むべきとお考えのデジタル化の施策や事業があれば、  
ご自由にお答えください。（自由記述）

分類	内容
行政（サービス・税務）関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードに集約するなどして事務処理の簡素化。</li> <li>・広報のデジタル配布。全員では無く希望者のみ可能とするだけでも回覧配布の負担が減らせると思う。</li> <li>・四万十市アプリを導入して、アプリ内で手続きを可能にする。</li> <li>・市役所各課の活動状況を市民にわかりやすくして欲しい。</li> <li>・市議取り組み状況、活動状況が知りたい。</li> <li>・ホームページが見つらいので、見た目のよさと、使いやすさのバランスを考えてほしい。</li> <li>・オンラインでの申請・届出等の拡充。</li> <li>・入札のデジタル化。</li> <li>・各種申請、確定申告等窓口のデジタル化。</li> <li>・一次産業に係るデジタル化設備への補助金。</li> <li>・税金に関する情報提供。高齢化によって伴う財産分与や相続に関する相談、もしくは情報提供。</li> <li>・税金等のアプリ。</li> <li>・市役所に行かずに時間外でもデジタルで手続きができるようにしてほしい。</li> </ul>
保健・医療・健康関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の使用を高知県の健康手帳のアプリ対応が出来る様にして欲しい。</li> <li>・医療機関のデジタル予約。</li> <li>・健康アプリ。</li> <li>・健康相談アプリ。</li> <li>・特定健診の知らせから医療機関の予約まで、デジタルでできたら楽だと思う。</li> <li>・健康アプリを導入してほしい。</li> <li>・医療のオンライン化。</li> <li>・病院の受診歴、健康管理ができるアプリが欲しい。</li> </ul>
交通関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通等の交通系を集約化したアプリ（運転免許証の電子化）</li> <li>・まちバスの予約などスマホで出来ると便利。</li> <li>・運転免許証の書き換え。</li> <li>・まちバスをスマホで呼べる。</li> <li>・ダイヤ等がわかる公共交通のアプリ。</li> <li>・工事影響など混む可能性がある情報を発信。</li> </ul>
高齢者・障がい者福祉関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化は大いに結構だが高齢者にもやさしい環境も残してほしいもの。</li> <li>・高齢者にも優しいデジタル化。</li> <li>・デジタル化はいいですが、高齢者が安全、安心に使えるしくみを使って欲しい。</li> <li>・高齢者が多く、デジタルよりも人手の対応を。</li> <li>・高齢者はデジタル化についていけない。</li> <li>・高齢の為デジタル対応できない。</li> </ul>
子ども・子育て関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地なので保育園児からの学習する環境を整えて欲しい。</li> <li>・子供はいつ事故や発熱するかわからないので、医療機関とのスムーズな流れを作って欲しい。</li> <li>・子供を預ける施設を増やしてほしい。</li> <li>・小学3、4年からタブレット等を使った授業の導入やインターネットの知識の授業。</li> <li>・子供のSOSに関して素早く対処出来るようにしてほしい。</li> <li>・食事にありつけない場合は、最寄りの食堂や子供食堂でいつでも無料で提供できたり、時間外は自由に入出入り出来る安全な場所におにぎりや味噌汁の設置、相談員、世話役を置くなど経済的な困難や親の暴力などで行き場のない子の保護や支援、救助、相談に何より最優先で取り組んで、四万十市から子供の自殺者が一人もいない街であって欲しい。</li> <li>・保育所との連絡など。</li> </ul>

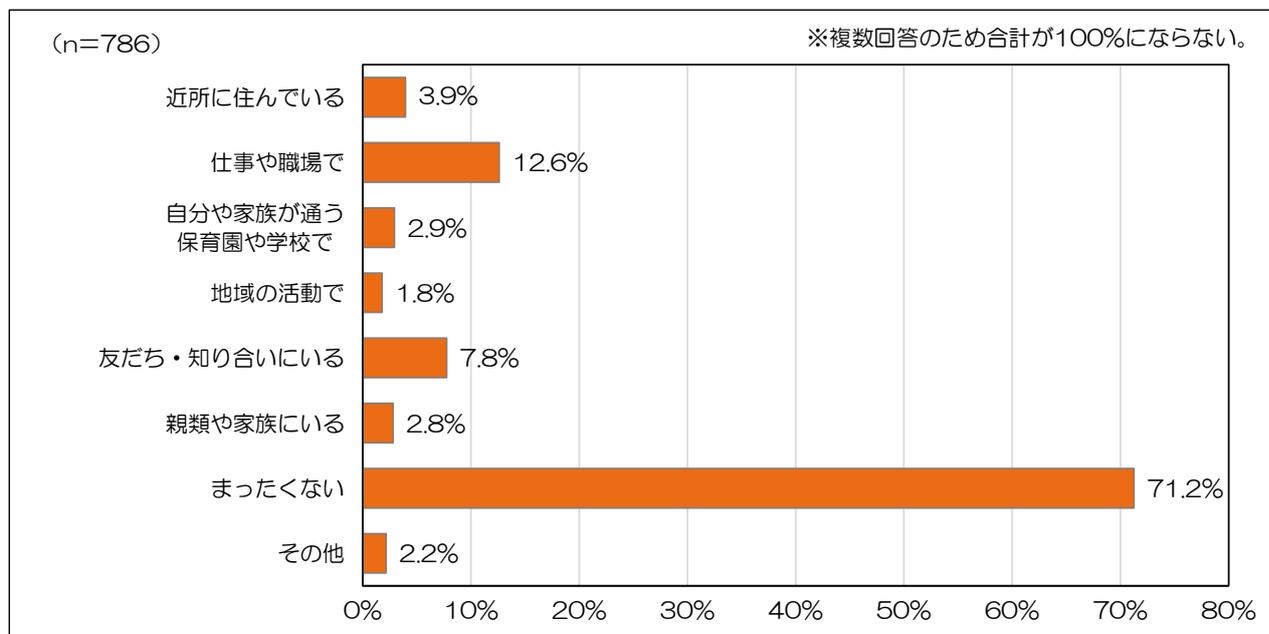
分類	内容
観光・商工業関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>市と市内の飲食店が協力して、HPなどSNSで紹介したり予約できるようなアプリ開発。</li> <li>観光や子育て（習いごと）等、ポイントバック。</li> <li>地産地消の充実。生産者さんの規格外により、スーパーなどに卸せなくても消費できるように必要な人たちにあげる。安く売るなどしてロスを減らす。</li> </ul>
キャッシュレス決済関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>税金や市民病院の支払いをキャッシュレス決済にして欲しい。</li> <li>地域商店で買い物でペイペイで支払えば20%還元されるような全国的に使える既存アプリを利用した施策。新たにアプリを作ったとしても使われず、お金だけかかって無駄になると思う。</li> </ul>
通信回線関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>町をWi-Fiでつなぐ。</li> <li>Wi-Fi環境の充実、IT企業の誘致。</li> </ul>
防災・消防関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>VRを使った災害体験などしたら防災意識が高まると思う。</li> </ul>
雇用関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用創出につながるデジタル事業の支援。</li> <li>人材バンクの確保に活用してほしい。</li> </ul>
国際交流関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人と日本人の情報交換場をアプリにて欲しい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化は便利よりも不安が勝って使いにくい。</li> <li>なるべくデジタル化に頼らず、お互いの顔の見える市政運営をしてほしい。</li> <li>私は50歳ですがデジタル化は難しくついていけない。</li> <li>必要以上にすすめなくてよい。</li> <li>デジタル化はいいのですが、私自身よく理解できていない。</li> <li>自身はデジタルは苦手なのでサポートが無いと難しい。</li> <li>機械化より人と人とのつながり。</li> <li>匿名で意見が出せるアプリ。</li> </ul>

## (7) 多文化共生社会について

【問 33】あなたは、外国人の方と身近に関わる機会がありますか。（〇はいくつでも）

外国人の方と身近に関わる機会についてたずねたところ、「まったくない」が71.2%で最も多く、次いで「仕事や職場で」（12.6%）、「友だち・知り合いにいる」（7.8%）の順となっています。

その他の意見としては、「飲食店で」「以前の職場で」「公園で」等です。



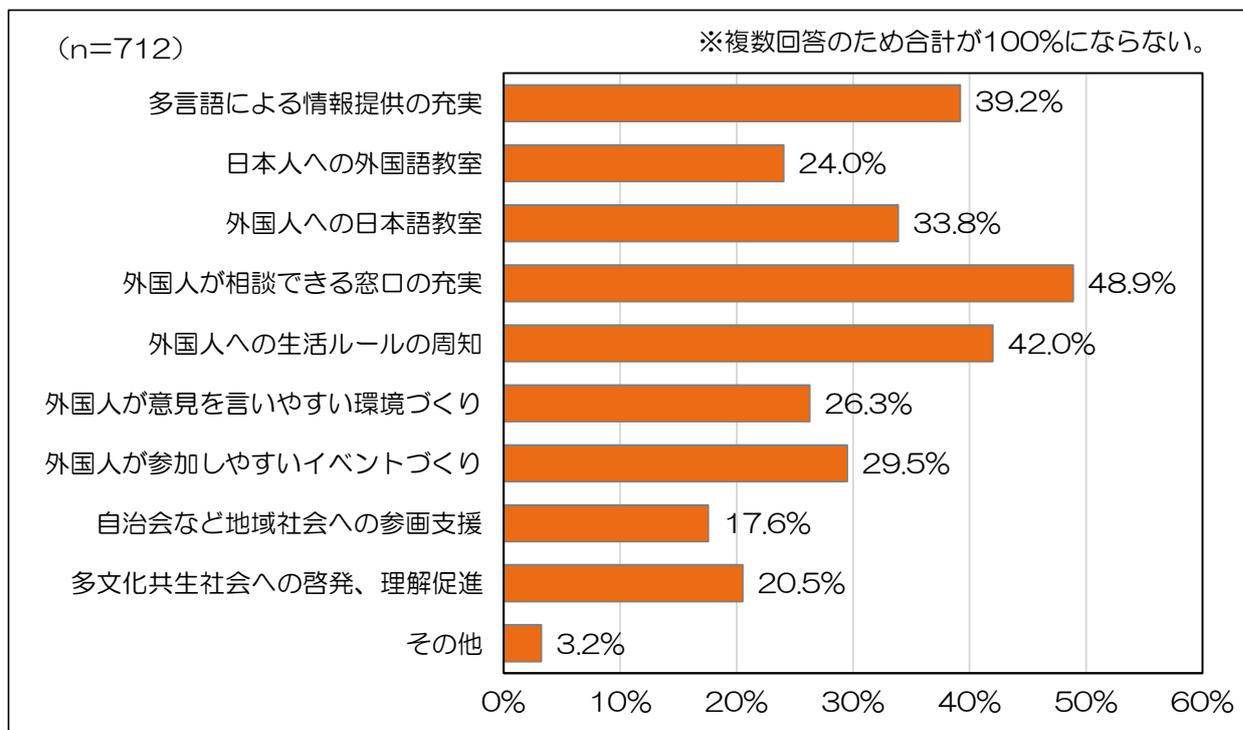
設問番号	項目	n	%
1	近所に住んでいる	31	3.9%
2	仕事や職場で	99	12.6%
3	自分や家族が通う保育園や学校で	23	2.9%
4	地域の活動で	14	1.8%
5	友だち・知り合いにいる	61	7.8%
6	親類や家族にいる	22	2.8%
7	まったくない	560	71.2%
8	その他	17	2.2%
計		827	105.2%
回答者数		786	100.0%
無回答・無効票		76	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 34】日本人と外国人が共に安心して暮らすためには、行政はどのようなことに取り組むべきと思いますか。（〇はいくつでも）

外国人の方と身近に関わる機会についてたずねたところ、「外国人が相談できる窓口の充実」が48.9%で最も多く、次いで「外国人への生活ルールの周知」（42.0%）、「多言語による情報提供の充実」（39.2%）の順となっています。

その他の意見としては、「外国人への住居促進」「外国語の表示」等です。



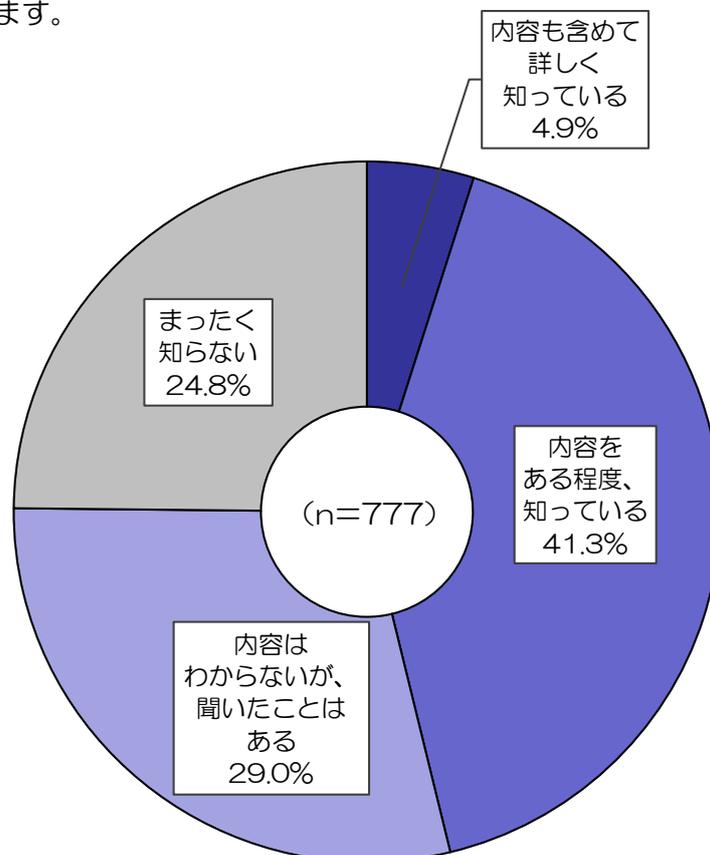
設問番号	項目	n	%
1	多言語による情報提供の充実	279	39.2%
2	日本人への外国語教室	171	24.0%
3	外国人への日本語教室	241	33.8%
4	外国人が相談できる窓口の充実	348	48.9%
5	外国人への生活ルールの周知	299	42.0%
6	外国人が意見を言いやすい環境づくり	187	26.3%
7	外国人が参加しやすいイベントづくり	210	29.5%
8	自治会など地域社会への参画支援	125	17.6%
9	多文化共生社会への啓発、理解促進	146	20.5%
10	その他	23	3.2%
計		2,029	285.0%
回答者数		712	100.0%
無回答・無効票		150	
総合計		862	

※複数回答のため合計が100%にならない。

## (8) SDGs（エスディージーズ）について

【問 35】あなたは、SDGsについて知っていますか。（〇は1つ）

SDGsについてたずねたところ、「内容をある程度、知っている」が41.3%で最も多く、次いで「内容はわからないが、聞いたことはある」（29.0%）、「まったく知らない」（24.8%）の順となっています。



設問番号	項目	n	%
1	内容も含めて詳しく知っている	38	4.9%
2	内容をある程度、知っている	321	41.3%
3	内容はわからないが、聞いたことはある	225	29.0%
4	まったく知らない	193	24.8%
有効回答-計		777	100.0%
無回答・無効票		85	
総合計		862	

※SDGs（エスディージーズ）：持続可能な開発目標

持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）は、2015年の国連サミットで採択された、2030年までに世界が達成を目指す17の国際目標です。

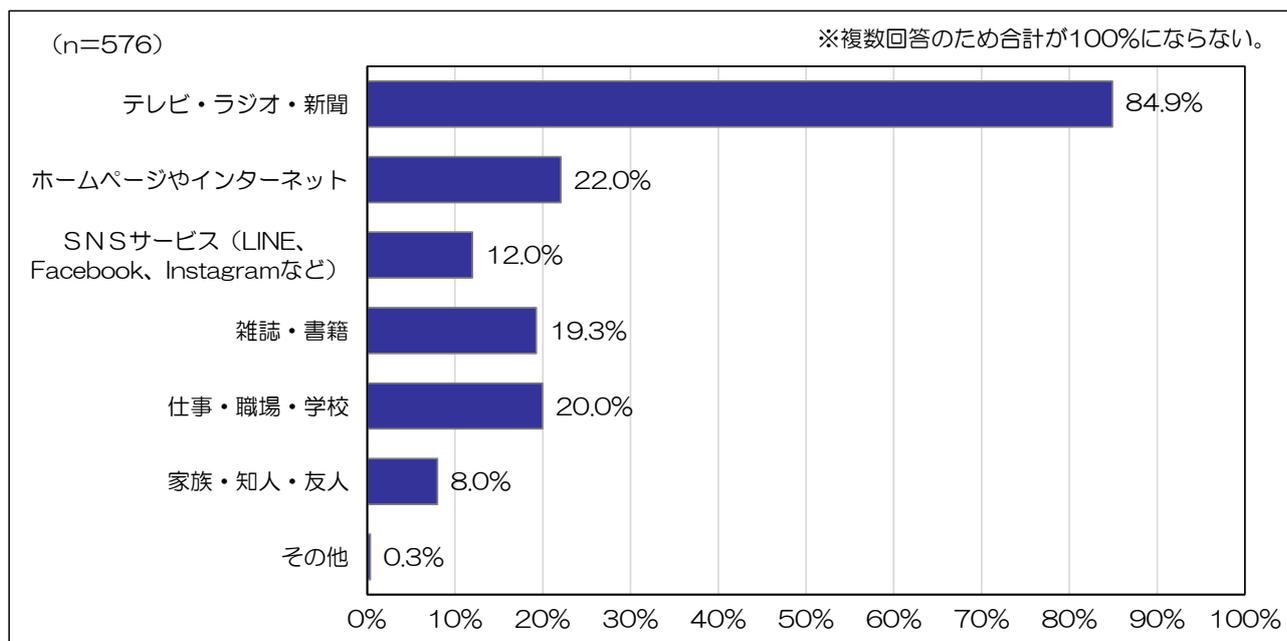
これらの目標には、貧困の撲滅、食糧の安定供給、全ての人々の健康と福祉の向上、質の高い教育の普及、男女平等の実現などが含まれます。これらの目標は、世界中の国々が協力して取り組むことで、2030年までの達成を目指しています。

【問 36】あなたは、SDGsを何で知りましたか。（〇はいくつでも）

【問 35：SDGsについて】で「内容も含めて詳しく知っている」「内容をある程度、知っている」「内容はわからないが、聞いたことはある」と回答した人が対象

SDGsを何で知ったかたずねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞」が84.9%で最も多く、次いで「ホームページやインターネット」（22.0%）、「仕事・職場・学校」（20.0%）の順となっています。

その他の意見としては、「青年会議所」等です。



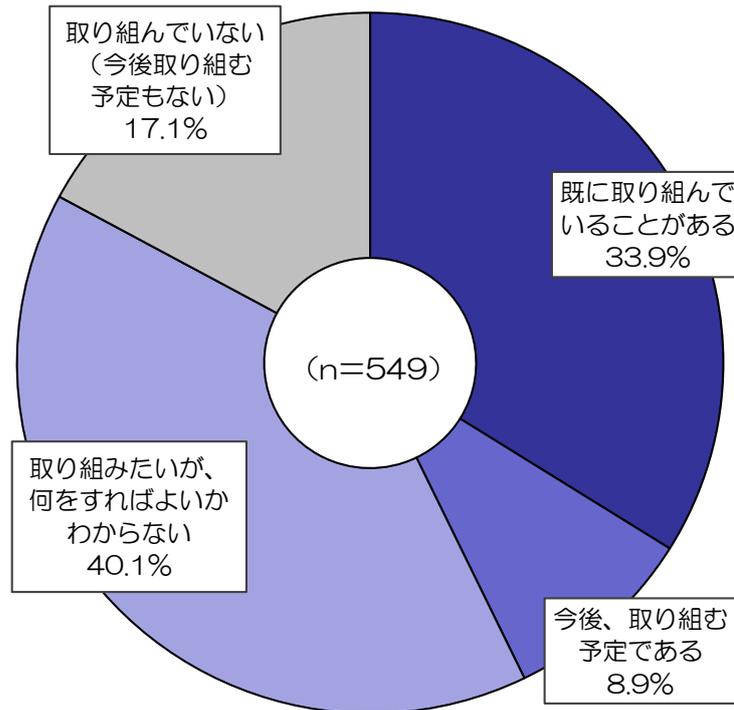
設問番号	項目	n	%
1	テレビ・ラジオ・新聞	489	84.9%
2	ホームページやインターネット	127	22.0%
3	SNSサービス (LINE、Facebook、Instagramなど)	69	12.0%
4	雑誌・書籍	111	19.3%
5	仕事・職場・学校	115	20.0%
6	家族・知人・友人	46	8.0%
7	その他	2	0.3%
計		959	166.5%
回答者数		576	100.0%
無回答・無効票		8	
総合計		584	

※複数回答のため合計が100%にならない。

【問 37】あなたは、SDGsを意識して取り組んでいることはありますか。(〇は1つ)

【問 35：SDGsについて】で「内容も含めて詳しく知っている」「内容をある程度、知っている」「内容はわからないが、聞いたことはある」と回答した人が対象

SDGsを意識して取り組んでいることについてたずねたところ、「取り組みたいが、何をすればよいかわからない」が40.1%で最も多く、次いで「既に取り組んでいることがある」(33.9%)、「取り組んでいない(今後取り組む予定もない)」(17.1%)の順となっています。



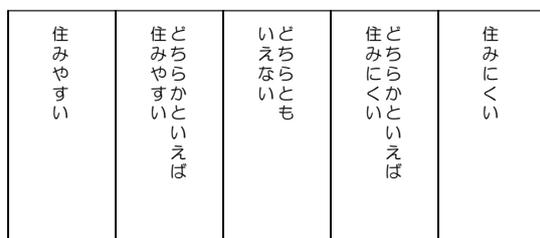
設問番号	項目	n	%
1	既に取り組んでいることがある	186	33.9%
2	今後、取り組む予定である	49	8.9%
3	取り組みたいが、何をすればよいかわからない	220	40.1%
4	取り組んでいない(今後取り組む予定もない)	94	17.1%
有効回答-計		549	100.0%
無回答・無効票		35	
総合計		584	

(9) 属性別クロス集計

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1】～【問7】と

(2) 四万十市での生活について

【問8：四万十市の住みやすさについて、感想をお答えください。】のクロス集計



※ 5.0%未満の表記は省略

凡例  回答数

性別	住みやすさの感想					回答数
	住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	
男性	24.6%	39.3%	25.7%	6.4%	2.0%	374 人
女性	22.4%	42.5%	26.6%	7.2%	1.3%	459 人
無回答		36.4%	54.5%	9.1%		11 人
年齢	10歳代		40.0%	60.0%		5 人
	20歳代	28.6%	42.9%	19.0%	7.1%	42 人
	30歳代	25.4%	41.8%	25.4%	6.0%	67 人
	40歳代	19.6%	45.4%	28.9%	5.1%	97 人
	50歳代	21.7%	38.4%	26.8%	8.7%	138 人
	60歳代	26.0%	40.6%	25.5%	5.7%	192 人
	70歳以上	22.0%	40.3%	27.5%	8.9%	305 人

住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい
-------	-------------------	----------------	-------------------	-------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例



回答数

	地区	評価					回答数
		住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	
お住まいの地区	中村地区	31.0%	40.1%	22.7%			242 人
	東山地区	22.2%	37.4%	30.3%	7.1%		99 人
	具同地区	24.7%	47.1%	20.7%	5.2%		174 人
	東中筋地区	7.4%	48.1%	29.6%	7.4%	7.4%	27 人
	中筋地区	15.8%	39.5%	26.3%	15.8%		38 人
	八束地区	15.6%	43.8%	34.4%	6.3%		32 人
	下田地区	22.2%	46.0%	20.6%	7.9%		63 人
	藤岡地区	30.0%	25.0%	40.0%	5.0%		20 人
	後川地区	7.9%	47.4%	36.8%	7.9%		38 人
	大川筋地区	22.2%	33.3%	22.2%	16.7%	5.6%	18 人
	富山地区	18.8%	18.8%	43.8%	6.3%	12.5%	16 人
	津大地区	24.0%	40.0%	28.0%	8.0%		25 人
	江川崎地区	10.0%	34.0%	40.0%	12.0%		50 人
	家族構成	ひとり暮らし	23.4%	37.1%	29.8%	7.3%	
夫婦のみ		20.7%	45.9%	23.4%	7.6%		290 人
親と子 (二世大家族)		23.8%	38.8%	28.3%	6.6%		361 人
親と子と孫 (三世大家族)		31.1%	40.0%	20.0%			45 人
その他		19.0%	38.1%	38.1%			21 人
居住年数	5年未満	38.5%	50.0%		7.7%		26 人
	5~10年未満	25.8%	45.2%	19.4%	6.5%		31 人
	10~20年未満	17.9%	47.8%	26.9%	6.0%		67 人
	20年以上	22.7%	39.8%	27.9%	7.7%		718 人

住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい
-------	-------------------	---------------	-------------------	-------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例



回答数

職業	回答数					
	住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	
農林畜産業	27.5%	30.0%	35.0%	5.0%	40 人	
水産業	60.0%	20.0%	20.0%		5 人	
会社員	18.2%	41.2%	29.1%	8.5%	165 人	
自営業	27.8%	43.0%	22.8%	6.3%	79 人	
公務員	30.2%	48.8%	16.3%		86 人	
団体職員	8.7%	65.2%	26.1%		23 人	
アルバイト・パート	25.6%	42.2%	21.1%	7.8%	90 人	
学生		37.5%	50.0%	12.5%	8 人	
家事専業	27.3%	42.4%	22.7%	6.1%	66 人	
無職	19.8%	37.1%	32.7%	8.1%	248 人	
その他	28.1%	37.5%	21.9%	9.4%	32 人	
勤務（就学）地	四万十市内	25.0%	42.5%	24.8%	5.5%	400 人
	宿毛市	22.5%	47.5%	22.5%	5.0%	40 人
	土佐清水市	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%	12 人
	黒潮町	15.4%	46.2%	26.9%	7.7%	26 人
	大月町	50.0%	50.0%			2 人
	三原村	66.7%		33.3%		3 人
	その他		36.4%	31.8%	27.3%	22 人

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(2) 四万十市での生活について

【問9：あなたは、これからも四万十市に住み続けたいと思いますか。】のクロス集計

に こ れ か ら も 現 在 の 地 区	地 区 に は 市 内 の 別 の	住 み た い は 市 外 に
-----------------------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例 

回答数

性別	属性	回答内容			回答数
		に こ れ か ら も 現 在 の 地 区	地 区 に は 市 内 の 別 の	住 み た い は 市 外 に	
性別	男性	82.6%	8.7%	8.7%	368 人
	女性	79.7%	7.8%	12.5%	448 人
	無回答	45.5%	36.4%	18.2%	11 人
年齢	10歳代	20.0%	40.0%	40.0%	5 人
	20歳代	38.1%	21.4%	40.5%	42 人
	30歳代	69.7%	13.6%	16.7%	66 人
	40歳代	75.0%	5.2%	19.8%	96 人
	50歳代	71.6%	13.4%	14.9%	134 人
	60歳代	84.8%	6.8%	8.4%	191 人
	70歳以上	92.5%	5.4%		295 人

に 住 み か ら も 続 け た い 地 区	地 区 い ず れ は 市 内 の 別 の 地 区	住 み た い は 市 外 に
----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------

※ 5.0%未満の表記は省略



回答数

区分	地区	現在地区に 住み続けたい	市内の別の 地区に住みたい	市外に 住みたい	回答数
お住まいの地区	中村地区	82.5%	6.4%	11.1%	234 人
	東山地区	76.8%	9.1%	14.1%	99 人
	具同地区	75.3%	11.2%	13.5%	170 人
	東中筋地区	76.9%	7.7%	15.4%	26 人
	中筋地区	85.3%	5.9%	8.8%	34 人
	八束地区	71.9%	18.8%	9.4%	32 人
	下田地区	80.6%	11.3%	8.1%	62 人
	藤岡地区	90.5%			21 人
	後川地区	87.2%		10.3%	39 人
	大川筋地区	61.1%	22.2%	16.7%	18 人
	富山地区	87.5%	12.5%		16 人
	津大地区	96.2%			26 人
	江川崎地区	85.4%	6.3%	8.3%	48 人
	家族構成	ひとり暮らし	76.5%	13.4%	10.1%
夫婦のみ		89.5%		6.3%	285 人
親と子 (二世大家族)		74.6%	10.7%	14.6%	355 人
親と子と孫 (三世大家族)		79.5%	6.8%	13.6%	44 人
その他		71.4%	14.3%	14.3%	21 人
居住年数	5年未満	53.8%	11.5%	34.6%	26 人
	5~10年未満	55.2%	20.7%	24.1%	29 人
	10~20年未満	56.9%	16.9%	26.2%	65 人
	20年以上	84.6%	7.4%	8.1%	706 人

これからは現在の地区に住み続けたい	いずれは市内の別の地区に住みたい	いずれは市外に住みたい
-------------------	------------------	-------------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例 

回答数

職業	回答数			
	これからは現在の地区に住み続けたい	いずれは市内の別の地区に住みたい	いずれは市外に住みたい	
農林畜産業	95.3%			43 人
水産業	80.0%	20.0%		5 人
会社員	73.1%	11.3%	15.6%	160 人
自営業	87.3%	5.1%	7.6%	79 人
公務員	72.1%	8.1%	19.8%	86 人
団体職員	72.7%	13.6%	13.6%	22 人
アルバイト・パート	72.7%	12.5%	14.8%	88 人
学生	12.5%	25.0%	62.5%	8 人
家事専業	85.9%	7.8%	6.3%	64 人
無職	89.0%	6.8%		237 人
その他	69.7%	12.1%	18.2%	33 人
勤務(就学)地				
四万十市内	79.3%	8.1%	12.6%	397 人
宿毛市	70.0%	12.5%	17.5%	40 人
土佐清水市	58.3%	25.0%	16.7%	12 人
黒潮町	52.0%	16.0%	32.0%	25 人
大月町	50.0%	50.0%		2 人
三原村	66.7%	33.3%		3 人
その他	45.5%	22.7%	31.8%	22 人

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (2) 四万十市での生活について  
 【問10：あなたにとって住みよさとは何ですか。】のクロス集計

恵まれた自然環境に いる	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	娯楽や文化施設に 恵まれている	医療・福祉施設が 整っている	子どもの教育が しやすい	買物の便利が良い	物価が安い	静かな生活ができる	人情が豊かである	情報が得やすい 新しい	その他
-----------------	---------	---------	---------	---------	--------------------	-------------------	-----------------	----------	-------	-----------	----------	----------------	-----

凡例



回答数

性別	年齢	住みよさの要因													回答数
		恵まれた自然環境に いる	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	娯楽や文化施設に 恵まれている	医療・福祉施設が 整っている	子どもの教育が しやすい	買物の便利が良い	物価が安い	静かな生活ができる	人情が豊かである	情報が得やすい 新しい	
男性	10歳代	41.1%	25.0%	30.1%	20.2%	6.2%	26.6%	8.3%	29.6%	10.5%	30.6%	15.1%		372 人	
	20歳代	39.1%	24.8%	35.3%	23.7%	35.0%	9.4%	36.6%	11.6%	26.8%	17.2%		448 人		
	30歳代	40.0%	30.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	10.0%	30.0%	20.0%		10 人	
女性	10歳代	80.0%	60.0%	20.0%	40.0%	60.0%	40.0%							5 人	
	20歳代	23.1%	41.0%	23.1%	33.3%	25.6%	35.9%	7.7%	33.3%	28.2%	17.9%	5.1%		39 人	
	30歳代	20.9%	35.8%	40.3%	6.0%	25.4%	7.5%	22.4%	31.3%	35.8%	20.9%	13.4%	11.9%	67 人	
	40歳代	35.5%	35.5%	34.4%	24.7%	10.8%	35.5%	19.4%	32.3%	8.6%	17.2%	12.9%		93 人	
	50歳代	26.7%	37.4%	30.5%	21.4%	6.9%	29.8%	13.0%	33.6%	16.0%	27.5%	12.2%		131 人	
	60歳代	41.1%	22.4%	37.5%	7.3%	25.5%	33.9%	5.2%	33.9%	9.4%	31.8%	16.7%		192 人	
	70歳以上	52.1%	12.8%	30.2%	17.4%	30.2%	33.1%	6.6%	33.8%	21.0%				305 人	

※ 複数回答のため、  
 合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

恵まれて いる	自然環境に る	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	恵まれて いる	娯楽や文化 施設に	整って いる	医療・福祉 施設が	しやすい	子どもの 教育が	買物の 便利が良い	物価が 安い	静かな 生活ができる	人情が 豊かである	情報が 得やすい	さまざま 新しい	その他
------------	------------	---------	---------	---------	---------	------------	--------------	-----------	--------------	------	-------------	--------------	-----------	---------------	--------------	-------------	-------------	-----

凡例

回答数

	地区	割合																		回答数
		恵まれて いる	自然環境に る	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	恵まれて いる	娯楽や文化 施設に	整って いる	医療・福祉 施設が	しやすい	子どもの 教育が	買物の 便利が良い	物価が 安い	静かな 生活ができる	人情が 豊かである	情報が 得やすい	さまざま 新しい	
お 住 ま い の 地 区	中村地区	35.0%	28.7%	36.7%	5.1%	21.5%	7.2%	33.8%	10.1%	38.0%	11.4%	21.9%	13.9%							237 人
	東山地区	34.0%	24.7%	35.1%	5.2%	28.9%	11.3%	27.8%	8.2%	38.1%	13.4%	27.8%	11.3%							97 人
	具同地区	33.5%	25.7%	31.7%		22.2%	6.6%	28.7%	12.0%	45.5%	11.4%	19.2%	13.8%							167 人
	東中筋地区	46.2%	7.7%	23.1%		19.2%	26.9%	7.7%	23.1%	19.2%	26.9%	15.4%								26 人
	中筋地区	52.8%	13.9%	22.2%		22.2%	5.6%	36.1%	19.4%	13.9%	44.4%	19.4%								36 人
	八束地区	40.6%	25.0%	31.3%		18.8%	6.3%	50.0%	31.3%	12.5%	28.1%	12.5%								32 人
	下田地区	57.1%	20.6%	38.1%		14.3%	25.4%	7.9%	22.2%	9.5%	42.9%	19.0%								63 人
	蕨岡地区	50.0%	20.0%	50.0%		10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	15.0%	15.0%	35.0%	15.0%	5.0%						20 人
	後川地区	36.8%	28.9%	39.5%		21.1%	28.9%	10.5%	5.3%	42.1%	26.3%									38 人
	大川筋地区	36.8%	26.3%	15.8%	5.3%	26.3%	5.3%	47.4%	21.1%	15.8%	5.3%	31.6%	15.8%	5.3%						19 人
	富山地区	43.8%	31.3%	18.8%		31.3%	6.3%	12.5%	6.3%	37.5%	25.0%	18.8%	18.8%							16 人
	津大地区	57.7%	30.8%	42.3%		15.4%	23.1%	30.8%	46.2%	23.1%										26 人
	江川崎地区	51.0%	19.6%	13.7%		25.5%	35.3%	5.9%	25.5%	7.8%	41.2%	33.3%								51 人
	家 族 構 成	ひとり暮らし	42.7%	20.2%	24.2%		22.6%	30.6%	30.6%	14.5%	32.3%	23.4%								124 人
夫婦のみ		45.6%	20.4%	35.1%		21.1%	5.3%	31.9%	32.6%	8.4%	31.6%	15.4%							285 人	
親と子 (二世大家族)		33.9%	29.4%	34.7%		23.4%	6.5%	33.1%	15.3%	34.2%	13.3%	24.0%	14.7%						354 人	
親と子と孫 (三世大家族)		46.5%	39.5%	23.3%		20.9%	9.3%	16.3%	14.0%	27.9%	30.2%	18.6%							43 人	
その他		33.3%	14.3%	42.9%		9.5%	14.3%	19.0%	9.5%	52.4%	19.0%	28.6%							21 人	
居 住 年 数	5年未満	28.0%	28.0%	24.0%	8.0%	24.0%	16.0%	36.0%	16.0%	48.0%	28.0%	12.0%	12.0%						25 人	
	5~10年未満	31.0%	27.6%	27.6%		20.7%	10.3%	24.1%	20.7%	41.4%	13.8%	20.7%	13.8%	6.9%					29 人	
	10~20年未満	25.8%	35.5%	27.4%		25.8%	9.7%	38.7%	21.0%	29.0%	22.6%	27.4%	9.7%						62 人	
	20年以上	41.9%	23.9%	33.8%		21.9%	30.5%	7.0%	32.9%	9.7%	28.9%	17.1%							712 人	

恵まれた自然環境に ある	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	恵まれた文化施設に ある	娯楽や文化施設に ある	整っている医療・福祉施設が ある	しやすい子どもの教育が ある	買物の便利が良い	物価が安い	静かな生活ができる	人情が豊かである	さまざまな新しい 情報が得やすい	その他
-----------------	---------	---------	---------	---------	-----------------	----------------	---------------------	-------------------	----------	-------	-----------	----------	---------------------	-----

凡例



回答数

職業	職業	割合														回答数
		恵まれた自然環境に ある	働く場所がある	居住環境が良い	住宅事情が良い	交通事情が良い	恵まれた文化施設に ある	娯楽や文化施設に ある	整っている医療・福祉施設が ある	しやすい子どもの教育が ある	買物の便利が良い	物価が安い	静かな生活ができる	人情が豊かである	さまざまな新しい 情報が得やすい	
職業	農林畜産業	48.8%	20.9%	34.9%	9.3%	25.6%	27.9%	9.3%	37.2%	25.6%						43 人
	水産業	75.0%	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	25.0%						4 人
	会社員	29.7%	41.8%	27.2%	25.3%	8.2%	26.6%	17.1%	31.6%	16.5%	22.2%	13.3%				158 人
	自営業	43.4%	32.9%	39.5%	14.5%	17.1%	27.6%	25.0%	21.1%	5.3%						76 人
	公務員	26.5%	33.7%	34.9%	31.3%	10.8%	32.5%	21.7%	38.6%	8.4%	19.3%	10.8%				83 人
	団体職員	13.0%	47.8%	26.1%	26.1%	8.7%	43.5%	17.4%	34.8%	13.0%	17.4%	8.7%				23 人
	アルバイト・パート	40.2%	29.9%	41.4%	21.8%	6.9%	32.2%	8.0%	36.8%	13.8%	24.1%	10.3%				87 人
	学生	62.5%	62.5%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%						8 人
	家事専業	53.8%	10.8%	36.9%	20.0%	41.5%	46.2%	9.2%	30.8%	23.1%						65 人
	無職	46.2%	6.9%	30.4%	5.7%	23.5%	32.8%	32.0%	10.1%	36.8%	17.4%					247 人
	その他	36.4%	36.4%	30.3%	15.2%	9.1%	36.4%	9.1%	27.3%	15.2%	21.2%	18.2%	6.1%			33 人
勤務（就学）地	四万十市内	35.5%	38.3%	33.4%	22.4%	6.4%	29.8%	13.0%	32.4%	12.8%	22.2%	15.1%			392 人	
	宿毛市	35.1%	21.6%	37.8%	16.2%	24.3%	10.8%	27.0%	10.8%	29.7%	10.8%	27.0%	16.2%		37 人	
	土佐清水市	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	16.7%	8.3%	33.3%	33.3%	8.3%	8.3%				12 人	
	黒潮町	25.0%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	20.8%	16.7%	37.5%	16.7%	16.7%	8.3%			24 人	
	大月町	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%					2 人	
	三原村	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%					3 人	
	その他	31.8%	40.9%	36.4%	22.7%	40.9%	9.1%	27.3%	27.3%	13.6%					22 人	

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(2) 四万十市での生活について

【問11：あなたは家族や親しい友人に、現在、お住いの地域に移住することをお勧めしますか。】のクロス集計

批判者						中立者		推奨者		
0点 (まったく勧めない)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (強く勧める)

凡例  回答数

性別	属性	回答割合 (%)										回答数		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
性別	男性	14.4%			11.7%	5.4%		34.8%		6.8%	9.8%	5.7%		368人
	女性	13.6%	5.0%		11.4%	5.0%		35.7%		6.8%	7.3%	8.6%		440人
	無回答	10.0%	10.0%			40.0%			30.0%			10.0%		10人
年齢	10歳代					60.0%				40.0%				5人
	20歳代	10.3%	7.7%		15.4%	5.1%		20.5%		7.7%	10.3%	15.4%	5.1%	39人
	30歳代	9.2%	6.2%		16.9%	6.2%		24.6%		13.8%	12.3%	6.2%		65人
	40歳代		5.4%	13.0%				31.5%		12.0%	13.0%	12.0%		92人
	50歳代	11.2%			9.0%	6.7%		38.8%		6.7%	7.5%	9.0%		134人
	60歳代	12.7%		5.8%	12.7%	5.3%		34.9%		5.3%	10.6%	7.9%		189人
	70歳以上	20.9%				10.8%			38.9%					296人

※ 5.0%未満の表記は省略

※ 5.0%未満の  
表記は省略

批判者						中立者		推奨者		
0点 (まったく勧めない)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (強く勧めます)

凡例

回答数

	地区	割合 (%)										回答数	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
お住まいの地区	中村地区	12.5%		11.2%	6.0%		33.6%		7.8%	9.5%	9.9%		232 人
	東山地区	14.0%		5.0%	15.0%		31.0%		7.0%	9.0%	9.0%		100 人
	具同地区	5.5%	6.1%	14.6%	5.5%		32.3%		10.4%	9.1%	8.5%		164 人
	東中筋地区	19.2%		7.7%			38.5%		11.5%	7.7%	11.5%		26 人
	中筋地区	17.1%		5.7%	14.3%		37.1%		5.7%	8.6%			35 人
	八束地区	12.9%		6.5%	9.7%	6.5%	45.2%			6.5%	6.5%		31 人
	下田地区	14.3%			14.3%		33.3%		7.9%	6.3%	9.5%		63 人
	藤岡地区	28.6%					38.1%			14.3%			21 人
	後川地区	18.4%		7.9%	5.3%		42.1%			10.5%	5.3%		38 人
	大川筋地区	44.4%					11.1%	5.6%	5.6%	22.2%		11.1%	18 人
	富山地区	26.7%					73.3%						15 人
	津大地区	16.0%	8.0%	16.0%	12.0%		36.0%						25 人
	江川崎地区	18.8%	6.3%		10.4%	8.3%	41.7%						48 人
家族構成	ひとり暮らし	23.9%			12.8%		29.1%		6.0%	7.7%	5.1%		117 人
	夫婦のみ	15.3%	6.6%		11.5%		35.8%			7.3%	7.3%		288 人
	親と子 (二世大家族)	9.5%	6.0%	11.7%	6.3%		37.0%		7.4%	9.2%	8.9%		349 人
	親と子と孫 (三世大家族)	11.9%		9.5%	9.5%		28.6%		16.7%	9.5%	7.1%		42 人
	その他	25.0%			20.0%		35.0%			5.0%	15.0%		20 人
居住年数	5年未満				26.9%	11.5%	15.4%		15.4%	11.5%	7.7%		26 人
	5~10年未満	11.1%			25.9%		25.9%		11.1%	11.1%			27 人
	10~20年未満	9.5%			11.1%		33.3%		9.5%	17.5%	11.1%		63 人
	20年以上	15.4%			11.6%		36.7%		6.0%	7.3%	6.8%		701 人

批判者						中立者		推奨者		
0点 (まったく勧めない)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (強く勧める)

凡例

回答数

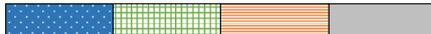
職業	割合 (%)										回答数
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
農林畜産業	12.5%	15.0%	5.0%		40.0%			15.0%	10.0%		40 人
水産業	40.0%				40.0%			20.0%			5 人
会社員	8.6%		14.7%	6.7%	33.7%		8.6%	8.0%	9.2%		163 人
自営業	20.0%	6.7%	10.7%	6.7%	34.7%			8.0%			75 人
公務員	7.5%	5.0%	31.3%		15.0%		13.8%	13.8%	6.3%		80 人
団体職員	9.1%		50.0%				9.1%	13.6%			22 人
アルバイト・パート	9.3%	8.1%	15.1%		31.4%		5.8%	11.6%	8.1%		86 人
学生	12.5%		50.0%				37.5%				8 人
家事専業	18.8%	7.8%	7.8%	14.1%	6.3%	25.0%		12.5%			64 人
無職	19.3%	6.6%	10.7%		39.3%			6.6%	5.3%		244 人
その他	23.3%		13.3%		36.7%			6.7%	13.3%		30 人
勤務(就学)地											
四万十市内	10.3%		11.6%	6.2%	36.2%		7.5%	9.6%	6.7%		387 人
宿毛市	5.9%	14.7%		29.4%		14.7%	14.7%	8.8%	5.9%		34 人
土佐清水市	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	33.3%		8.3%	8.3%	8.3%		12 人
黒潮町	11.5%	7.7%	7.7%	38.5%			11.5%	15.4%			26 人
大月町	50.0%						50.0%				2 人
三原村	33.3%			33.3%			33.3%				3 人
その他	18.2%		27.3%		9.1%	18.2%	13.6%	9.1%			22 人

※ 5.0%未満の表記は省略

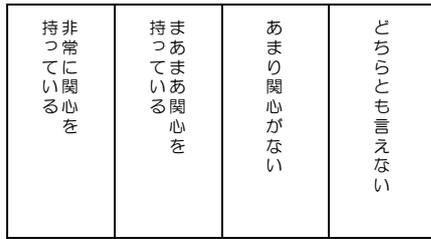
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (3) あなたと市政との関わりについて  
 【問13：あなたは、市政について関心をお持ちですか。】のクロス集計

非常に 持っている	まあまあ 関心を 持っている	あまり 関心がない	どちらとも 言えない
--------------	----------------------	--------------	---------------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例  回答数

性別	属性	関心レベル (%)				回答数
		非常に持っている	まあまあ関心を 持っている	あまり関心がない	どちらとも 言えない	
性別	男性	12.9%	50.3%	25.4%	11.4%	350 人
	女性	5.6%	49.7%	31.0%	13.8%	429 人
	無回答	20.0%	60.0%	20.0%		10 人
年齢	10歳代		25.0%	75.0%		4 人
	20歳代	10.3%	33.3%	51.3%	5.1%	39 人
	30歳代	6.3%	51.6%	32.8%	9.4%	64 人
	40歳代	10.5%	43.2%	40.0%	6.3%	95 人
	50歳代	5.2%	42.2%	39.3%	13.3%	135 人
	60歳代	9.5%	52.5%	22.9%	15.1%	179 人
	70歳以上	9.8%	55.6%	19.3%	15.3%	275 人



※ 5.0%未満の表記は省略

凡例

回答数

	非常に 持っている	まあまあ 持っている	あまり 関心がない	どちらとも 言えない	回答数	
お住まいの地区	中村地区	12.3%	50.2%	23.3%	14.1%	227 人
	東山地区		46.2%	36.3%	13.2%	91 人
	具同地区	8.0%	46.3%	37.7%	8.0%	162 人
	東中筋地区	11.1%	55.6%	18.5%	14.8%	27 人
	中筋地区	8.6%	54.3%	28.6%	8.6%	35 人
	八束地区		53.1%	37.5%	9.4%	32 人
	下田地区	6.8%	49.2%	28.8%	15.3%	59 人
	藤岡地区		73.7%	15.8%	10.5%	19 人
	後川地区	5.6%	50.0%	30.6%	13.9%	36 人
	大川筋地区	17.6%	41.2%	23.5%	17.6%	17 人
	富山地区	7.1%	28.6%	57.1%	7.1%	14 人
	津大地区	22.7%	59.1%	9.1%	9.1%	22 人
	江川崎地区		51.1%	19.1%	25.5%	47 人
	家族構成	ひとり暮らし	7.2%	52.3%	24.3%	16.2%
夫婦のみ		13.4%	52.5%	21.7%	12.3%	276 人
親と子 (二世大家族)		6.3%	46.1%	36.3%	11.3%	336 人
親と子と孫 (三世大家族)			58.1%	18.6%	20.9%	43 人
その他		5.0%	35.0%	50.0%	10.0%	20 人
居住年数	5年未満	15.4%	38.5%	42.3%		26 人
	5~10年未満	6.7%	40.0%	50.0%		30 人
	10~20年未満	11.5%	44.3%	36.1%	8.2%	61 人
	20年以上	8.2%	50.9%	27.0%	13.9%	670 人

非常に 持っている	まあまあ 持っている	あまり 関心がない	どちらとも 言えない
--------------	---------------	--------------	---------------

※ 5.0%未満の表記は省略



回答数

職業	興味レベル				回答数	
	非常に 持っている	まあまあ 持っている	あまり 関心がない	どちらとも 言えない		
農林畜産業	12.2%	51.2%	24.4%	12.2%	41 人	
水産業	20.0%	40.0%	40.0%		5 人	
会社員	6.3%	41.1%	41.8%	10.8%	158 人	
自営業	11.8%	51.5%	16.2%	20.6%	68 人	
公務員	15.5%	52.4%	29.8%		84 人	
団体職員	13.0%	47.8%	30.4%	8.7%	23 人	
アルバイト・パート	5.8%	41.9%	38.4%	14.0%	86 人	
学生		14.3%	85.7%		7 人	
家事専業			56.5%	19.4%	19.4%	62 人
無職	8.1%	55.6%	23.8%	12.6%	223 人	
その他	6.7%	50.0%	13.3%	30.0%	30 人	
勤務（就学）地	四万十市内	9.7%	45.4%	31.1%	13.8%	383 人
	宿毛市	13.5%	43.2%	35.1%	8.1%	37 人
	土佐清水市	16.7%	33.3%	41.7%	8.3%	12 人
	黒潮町	8.3%	54.2%	33.3%		24 人
	大月町		50.0%	50.0%		2 人
	三原村		66.7%	33.3%		3 人
	その他		36.4%	59.1%		22 人

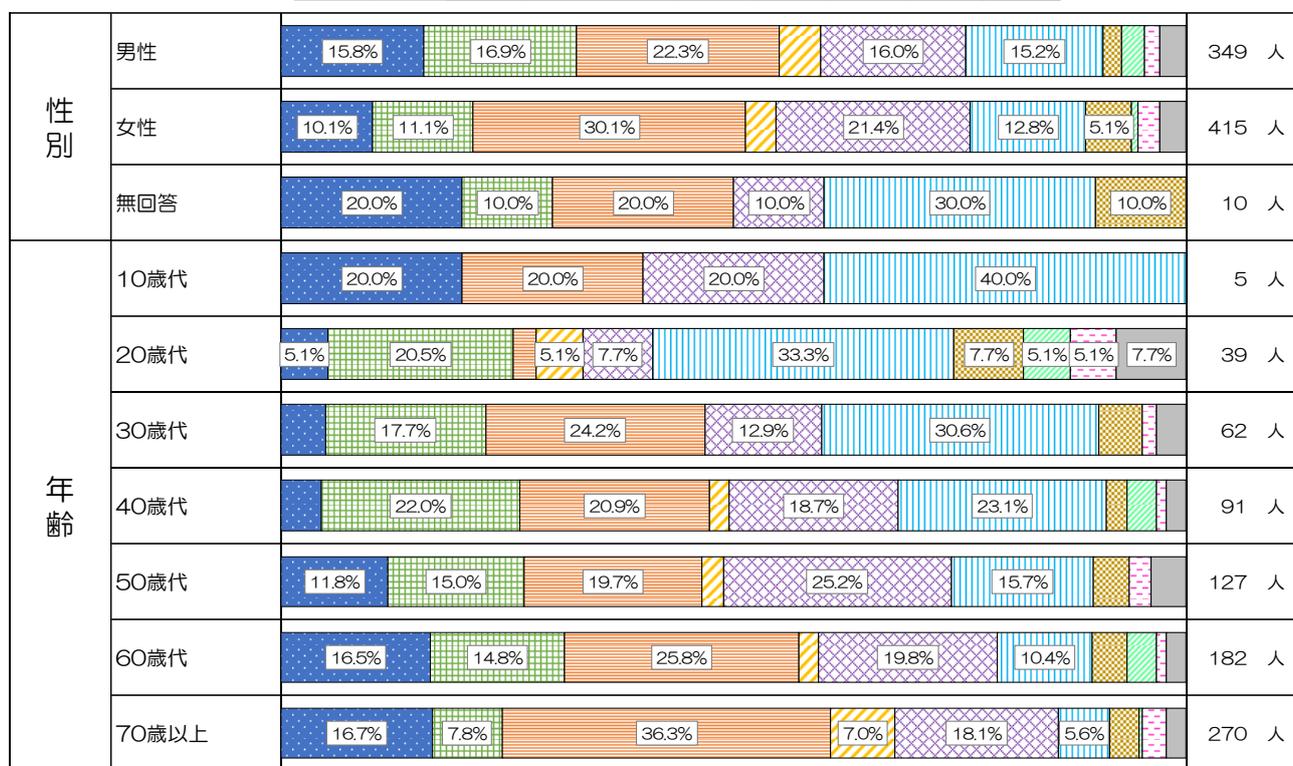
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(3) あなたと市政との関わりについて

【問15：あなたは、広報「しまんと」にどのような情報を掲載してほしいですか。】の  
クロス集計

・市の主要 施策の動き	・市の補助金 ・助成事業の 情報	身近な地域 の情報	国、県、他 市町村の 情報	暮らしに関 する各種手 続きの方法	イベント等 催しの情報	防災情報	人物を紹介 する内容	歴史・文化 など 教養的 内容	その他
----------------	------------------------	--------------	---------------------	-------------------------	----------------	------	---------------	--------------------------	-----

凡例  回答数



※ 5.0%未満の表記は省略

※ 5.0%未満の表記は省略

・市の主要事業の動き	・市の補助金の情報	身近な地域の情報	情報、国、県、他市町村の情報	暮らしに関する各種手続きの方法	イベント等催しの情報	防災情報	人物を紹介する内容	歴史・文化的な内容	その他
------------	-----------	----------	----------------	-----------------	------------	------	-----------	-----------	-----

凡例

回答数

お住まいの地区	地区名	回答内容の割合 (%)										回答数
		市の主要事業の動き	市の補助金の情報	身近な地域の情報	情報、国、県、他市町村の情報	暮らしに関する各種手続きの方法	イベント等催しの情報	防災情報	人物を紹介する内容	歴史・文化的な内容	その他	
お住まいの地区	中村地区	13.7%	11.5%	20.4%	20.4%	16.4%	5.3%					226 人
	東山地区	17.4%	27.2%	20.7%	16.3%	6.5%						92 人
	具同地区	11.0%	14.9%	24.0%	14.9%	19.5%	5.8%					154 人
	東中筋地区	16.0%	16.0%	20.0%	20.0%	16.0%	12.0%					25 人
	中筋地区	17.1%	11.4%	28.6%	5.7%	20.0%	14.3%					35 人
	八束地区	6.7%	30.0%	36.7%	10.0%	6.7%						30 人
	下田地区	18.2%	7.3%	30.9%	25.5%	5.5%						55 人
	藤岡地区	25.0%	15.0%	25.0%	5.0%	25.0%	5.0%					20 人
	後川地区	8.8%	11.8%	41.2%	17.6%	11.8%						34 人
	大川筋地区	11.8%	11.8%	29.4%	5.9%	23.5%	11.8%	5.9%				17 人
	富山地区	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%	28.6%	7.1%					14 人
	津大地区	30.4%	13.0%	34.8%	8.7%	8.7%						23 人
	江川崎地区	16.7%	10.4%	43.8%	6.3%	16.7%						48 人
家族構成	ひとり暮らし	15.9%	15.0%	25.7%	7.1%	13.3%	12.4%	5.3%				113 人
	夫婦のみ	15.8%	13.9%	30.5%	20.7%	7.5%					266 人	
	親と子 (二世大家族)	9.9%	12.3%	23.8%	19.9%	20.2%					332 人	
	親と子と孫 (三世大家族)	15.4%	17.9%	25.6%	5.1%	12.8%	12.8%	5.1%	5.1%		39 人	
	その他	19.0%	19.0%	19.0%	19.0%	14.3%	14.3%				21 人	
居住年数	5年未満	11.5%	19.2%	11.5%	11.5%	30.8%	7.7%				26 人	
	5~10年未満	21.4%	25.0%	7.1%	28.6%	7.1%	7.1%				28 人	
	10~20年未満	6.9%	13.8%	27.6%	10.3%	25.9%	6.9%				58 人	
	20年以上	13.9%	13.0%	27.1%	20.3%	11.8%					660 人	

・市の主要施策	・市の補助金 ・助成事業の情報	身近な地域の情報	国、県、他市町村の情報	暮らしに関する 各種手続きの方法	イベント等催しの情報	防災情報	人物を紹介する内容	歴史・文化など 教養的内容	その他
---------	--------------------	----------	-------------	---------------------	------------	------	-----------	------------------	-----

凡例

回答数

職業	市主要施策	補助金・助成事業	地域情報	国県市町村情報	暮らし・手続き	イベント	防災	人物紹介	歴史・文化	その他	回答数
農林畜産業	17.9%	25.6%	28.2%	17.9%	5.1%						39 人
水産業	33.3%	66.7%									3 人
会社員	9.1%	17.5%	20.1%	20.8%	21.4%						154 人
自営業	14.7%	14.7%	27.9%	11.8%	8.8%	11.8%					68 人
公務員	8.3%	11.9%	14.3%	14.3%	29.8%			6.0%			84 人
団体職員		38.1%	23.8%	23.8%	9.5%						21 人
アルバイト・パート	6.9%	18.4%	23.0%	21.8%	16.1%						87 人
学生	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%						8 人
家事専業	13.6%	39.0%	30.5%	8.5%	5.1%						59 人
無職	18.0%	8.1%	32.9%	6.8%	17.1%	8.1%					222 人
その他	17.9%	17.9%	28.6%	17.9%	7.1%						28 人
勤務（就学）地											
四万十市内	11.3%	17.9%	22.2%	17.9%	16.6%						379 人
宿毛市	8.3%	11.1%	13.9%	22.2%	30.6%	8.3%					36 人
土佐清水市	8.3%	16.7%	16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%				12 人
黒潮町	14.3%	28.6%	9.5%	19.0%	9.5%						21 人
大月町		50.0%	50.0%								2 人
三原村		50.0%	50.0%								2 人
その他	13.6%	13.6%	22.7%	22.7%	18.2%						22 人

※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(3) あなたと市政との関わりについて

【問16：あなたは、市政に対して不満やわからないことがあるときはどうしていますか。】のクロス集計

区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴ファックス、広聴メールを利用する	何もしない	その他
---------	------------	--------------	-----------------	--------------------	-------	-----

凡例

回答数

性別	回答内容						回答数		
	区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴ファックス、広聴メールを利用する	何もしない			
男性	15.2%		24.4%		15.2%	37.4%	361 人		
女性	9.0%		18.6%		14.7%	48.4%	442 人		
無回答			20.0%			80.0%	10 人		
年齢	10歳代					60.0%	40.0%	5 人	
	20歳代		15.4%		20.5%		51.3%	7.7%	39 人
	30歳代		21.9%		10.9%		56.3%		64 人
	40歳代	6.5%		17.2%		20.4%		50.5%	93 人
	50歳代	7.4%		17.6%		17.6%		52.2%	136 人
	60歳代	12.2%	6.9%	20.1%		12.7%		43.9%	189 人
	70歳以上	18.7%		25.3%		13.8%		33.9%	289 人

※ 5.0%未満の表記は省略

※ 5.0%未満の表記は省略

区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴ファックス、広聴メールを利用する	何もしない	その他
---------	------------	--------------	-----------------	--------------------	-------	-----

凡例

回答数

	回答内容						回答数	
	区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴ファックス、広聴メールを利用する	何もしない		
お住まいの地区	中村地区	8.1%	23.4%	16.2%		40.9%	6.0%	235 人
	東山地区	8.2%	19.6%	14.4%		50.5%		97 人
	具同地区	6.6%	21.7%	17.5%		45.8%		166 人
	東中筋地区	18.5%	7.4%	22.2%	7.4%		44.4%	27 人
	中筋地区	16.2%	21.6%	21.6%		40.5%		37 人
	八束地区	6.3%	25.0%	6.3%		59.4%		32 人
	下田地区	20.7%	15.5%	17.2%		39.7%		58 人
	藤岡地区	23.8%	14.3%	9.5%		42.9%		21 人
	後川地区	16.2%	27.0%	10.8%		45.9%		37 人
	大川筋地区	10.5%	10.5%	21.1%		52.6%	5.3%	19 人
	富山地区	23.1%	7.7%	15.4%		53.8%		13 人
	津大地区	17.4%	21.7%	21.7%		34.8%		23 人
	江川崎地区	23.4%	6.4%	10.6%	17.0%		34.0%	47 人
	家族構成	ひとり暮らし	17.9%	23.9%	11.1%		42.7%	
夫婦のみ		12.6%	5.9%	22.4%	14.7%	40.2%		286 人
親と子 （二世大家族）		9.0%	19.5%	16.6%		46.6%		343 人
親と子と孫 （三世大家族）		11.6%	16.3%	18.6%		44.2%	9.3%	43 人
その他		9.5%	19.0%	9.5%		57.1%		21 人
居住年数	5年未満	7.7%	30.8%	19.2%		42.3%		26 人
	5～10年未満	6.7%	13.3%	13.3%		60.0%		30 人
	10～20年未満	11.3%	12.9%	17.7%		50.0%	8.1%	62 人
	20年以上	12.1%	21.5%	14.7%		43.0%		693 人

区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴メールアドレス、広聴メールを利用する	何もしない	その他
---------	------------	--------------	-----------------	----------------------	-------	-----

凡例

回答数

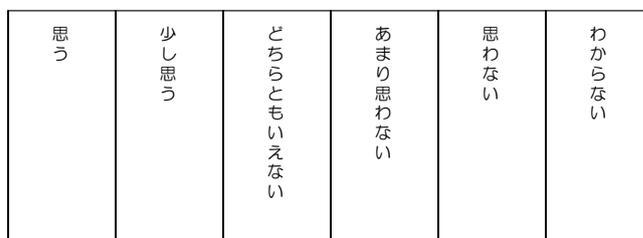
職業	職業別						回答数	
	区長に相談する	市議会議員に相談する	市役所（担当課）に出向く	市役所に電話もしくは手紙を書く	広聴メールアドレス、広聴メールを利用する	何もしない		
職業	農林畜産業	23.1%	5.1%	28.2%	10.3%	30.8%	39 人	
	水産業			60.0%		40.0%	5 人	
	会社員	8.7%	14.3%	13.7%		55.9%	161 人	
	自営業	10.8%	10.8%	20.3%	17.6%	33.8%	5.4%	74 人
	公務員	6.0%	19.0%	19.0%		45.2%	6.0%	84 人
	団体職員		13.6%	13.6%		68.2%	22 人	
	アルバイト・パート	5.7%	25.0%	19.3%		47.7%	88 人	
	学生			12.5%		62.5%	25.0%	8 人
	家事専業	17.7%		22.6%	17.7%	35.5%	62 人	
	無職	16.0%		23.9%	13.4%	38.7%	238 人	
	その他	13.3%		20.0%	6.7%	46.7%	10.0%	30 人
勤務（就学）地	四万十市内	8.9%		21.2%	15.8%	45.7%	392 人	
	宿毛市	8.1%		21.6%	8.1%	56.8%	37 人	
	土佐清水市	8.3%		16.7%		66.7%	8.3%	12 人
	黒潮町			12.5%		70.8%	8.3%	24 人
	大月町			50.0%		50.0%	2 人	
	三原村			100.0%			3 人	
	その他	9.1%		9.1%	22.7%	31.8%	22.7%	22 人

※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(3) あなたと市政との関わりについて

【問17：現在の四万十市は、住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。】のクロス集計



凡例

回答数

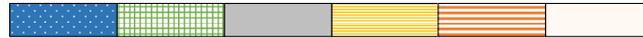
性別	回答内容						回答数	
	思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない		
男性	6.1%	16.0%	31.1%	21.8%	15.7%	9.4%	363 人	
女性	14.3%	24.5%	26.3%	8.7%	22.3%		449 人	
無回答	10.0%	40.0%	10.0%	40.0%			10 人	
年齢	10歳代	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%		5 人	
	20歳代	10.3%	15.4%	28.2%	10.3%	15.4%	20.5%	39 人
	30歳代	15.2%	34.8%	30.3%	10.6%	9.1%	66 人	
	40歳代	15.8%	33.7%	22.1%	12.6%	13.7%	95 人	
	50歳代	11.1%	23.0%	29.6%	11.9%	20.0%	135 人	
	60歳代	16.4%	28.0%	25.4%	12.7%	13.2%	189 人	
	70歳以上	6.8%	14.9%	25.1%	23.4%	10.5%	19.3%	295 人

※ 5.0%未満の表記は省略

※ 5.0%未満の表記は省略

思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない
----	------	-----------	---------	------	-------

凡例

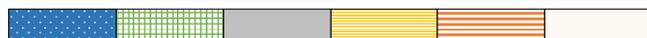


回答数

	回答内容						回答数	
	思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない		
お住まいの地区	中村地区	5.5%	16.0%	24.8%	26.5%	13.4%	13.9%	238 人
	東山地区	6.3%	8.3%	28.1%	24.0%	11.5%	21.9%	96 人
	具同地区		13.3%	32.5%	24.1%	12.0%	14.5%	166 人
	東中筋地区		18.5%	22.2%	18.5%	18.5%	22.2%	27 人
	中筋地区	7.9%	10.5%	28.9%	26.3%	13.2%	13.2%	38 人
	八束地区	6.3%	15.6%	28.1%	21.9%		25.0%	32 人
	下田地区	5.0%	15.0%	25.0%	31.7%	11.7%	11.7%	60 人
	藤岡地区	9.5%	19.0%	14.3%	23.8%		28.6%	21 人
	後川地区		10.8%	29.7%	18.9%	13.5%	27.0%	37 人
	大川筋地区		10.5%	26.3%	21.1%	15.8%	26.3%	19 人
	富山地区	7.1%	14.3%	14.3%	28.6%	7.1%	28.6%	14 人
	津大地区	13.0%	26.1%	17.4%	21.7%		21.7%	23 人
	江川崎地区		26.0%	34.0%	18.0%	12.0%	8.0%	50 人
	家族構成	ひとり暮らし	10.6%	17.9%	21.1%	26.8%	8.9%	14.6%
夫婦のみ			14.7%	26.0%	26.3%	11.6%	16.8%	285 人
親と子 (二世大家族)			13.5%	30.5%	22.7%	12.9%	16.4%	348 人
親と子と孫 (三世大家族)			20.9%	27.9%	25.6%	11.6%	14.0%	43 人
その他				33.3%	19.0%	9.5%	33.3%	21 人
居住年数	5年未満	15.4%	19.2%	34.6%	19.2%	7.7%		26 人
	5~10年未満		19.4%	38.7%	9.7%	22.6%	6.5%	31 人
	10~20年未満		11.1%	28.6%	28.6%	11.1%	20.6%	63 人
	20年以上	5.0%	14.6%	26.5%	25.0%	11.6%	17.4%	701 人

思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない
----	------	-----------	---------	------	-------

凡例



回答数

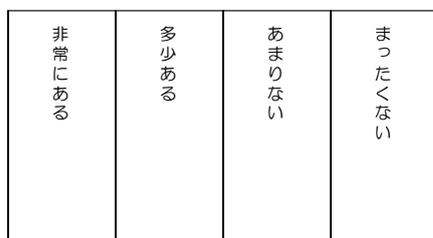
	職業						回答数	
	思う	少し思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない		
職業	農林畜産業	7.3%	22.0%	22.0%	22.0%	22.0%	41 人	
	水産業	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	5 人	
	会社員	11.2%	26.7%	32.9%	13.7%	12.4%	161 人	
	自営業	8.0%	20.0%	29.3%	18.7%	14.7%	9.3%	75 人
	公務員	19.0%	36.9%	20.2%	6.0%	14.3%	84 人	
	団体職員	17.4%	26.1%	17.4%	13.0%	26.1%	23 人	
	アルバイト・パート	18.0%	27.0%	21.3%	10.1%	19.1%	89 人	
	学生	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	8 人	
	家事専業	7.9%	9.5%	27.0%	14.3%	12.7%	28.6%	63 人
	無職	13.3%	26.7%	25.8%	13.3%	16.7%	240 人	
	その他	9.4%	9.4%	18.8%	40.6%	9.4%	12.5%	32 人
勤務（就学）地	四万十市内	5.3%	16.8%	27.2%	25.2%	10.7%	14.8%	393 人
	宿毛市	12.8%	30.8%	28.2%	10.3%	17.9%	39 人	
	土佐清水市		50.0%	25.0%	16.7%	8.3%	12 人	
	黒潮町	16.0%	24.0%	24.0%	20.0%	12.0%	25 人	
	大月町		50.0%	50.0%			2 人	
	三原村		33.3%	33.3%	33.3%		3 人	
	その他	18.2%	36.4%	22.7%	9.1%	13.6%	22 人	

※ 5.0%未満の表記は省略

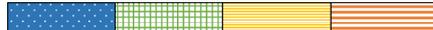
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(5) 地震及び防災対策について

【問19：現在お住まいの地域で、地震災害の発生について不安を感じることがあります  
か。】のクロス集計



※ 5.0%未満の表記は省略

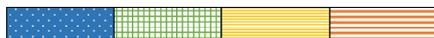
凡例  回答数

性別	回答内容			回答数	
	非常に ある	多少 ある	あまり ない		
男性	26.0%	54.2%	18.1%	354 人	
女性	34.1%	53.0%	12.0%	443 人	
無回答	40.0%	60.0%		10 人	
年齢	10歳代	40.0%	40.0%	20.0%	5 人
	20歳代	26.3%	52.6%	21.1%	38 人
	30歳代	34.9%	60.3%		63 人
	40歳代	34.7%	51.6%	11.6%	95 人
	50歳代	35.8%	52.2%	11.2%	134 人
	60歳代	29.4%	55.1%	14.4%	187 人
	70歳以上	26.8%	53.0%	18.5%	287 人

非常に ある	多少 ある	あまり ない	ま った く な い
-----------	----------	-----------	------------------------

※ 5.0%未満の表記は省略

凡例

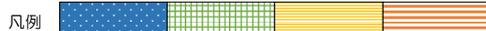


回答数

	お住まいの地区	割合				回答数
		非常に ある	多少 ある	あまり ない	ま った く な い	
お 住 ま い の 地 区	中村地区	26.2%	57.8%	14.3%		237 人
	東山地区	31.9%	53.2%	14.9%		94 人
	具同地区	31.1%	51.6%	16.1%		161 人
	東中筋地区	30.8%	42.3%	26.9%		26 人
	中筋地区	27.8%	61.1%	8.3%		36 人
	八束地区	29.0%	51.6%	19.4%		31 人
	下田地区	49.2%	34.4%	14.8%		61 人
	藤岡地区	40.0%	45.0%	10.0%	5.0%	20 人
	後川地区	37.8%	59.5%			37 人
	大川筋地区	17.6%	64.7%	17.6%		17 人
	富山地区	42.9%	57.1%			14 人
	津大地区	25.0%	54.2%	20.8%		24 人
	江川崎地区	21.3%	63.8%	14.9%		47 人
	家 族 構 成	ひとり暮らし	26.3%	49.2%	22.0%	
夫婦のみ		32.3%	51.1%	15.6%		282 人
親と子 (二世大家族)		30.2%	57.3%	11.3%		344 人
親と子と孫 (三世大家族)		37.5%	50.0%	12.5%		40 人
その他		28.6%	61.9%	9.5%		21 人
居 住 年 数	5年未満	30.8%	50.0%	19.2%		26 人
	5~10年未満	48.3%	31.0%	20.7%		29 人
	10~20年未満	28.6%	50.8%	17.5%		63 人
	20年以上	29.8%	55.0%	14.0%		687 人

非常に ある	多少 ある	あまり ない	ま った く な い
-----------	----------	-----------	------------------------

※ 5.0%未満の表記は省略



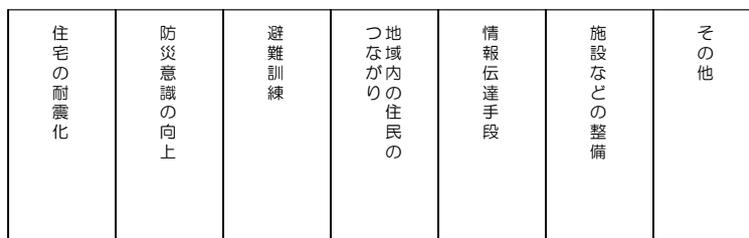
回答数

職業	職業	割合			回答数
		非常に ある	多少 ある	あまり ない	
職業	農林畜産業	32.5%	55.0%	12.5%	40 人
	水産業	20.0%	60.0%	20.0%	5 人
	会社員	33.1%	55.2%	11.0%	154 人
	自営業	26.3%	55.3%	18.4%	76 人
	公務員	32.1%	50.0%	17.9%	84 人
	団体職員	43.5%	47.8%	8.7%	23 人
	アルバイト・パート	24.4%	57.0%	16.3%	86 人
	学生	37.5%	50.0%	12.5%	8 人
	家事専業	42.4%	52.5%		59 人
	無職	25.7%	54.0%	18.6%	237 人
	その他	43.8%	46.9%	6.3%	32 人
勤務(就学)地	四万十市内	32.9%	52.2%	13.9%	389 人
	宿毛市	22.2%	66.7%	11.1%	36 人
	土佐清水市	36.4%	54.5%	9.1%	11 人
	黒潮町	24.0%	60.0%	16.0%	25 人
	大月町		100.0%		1 人
	三原村	33.3%	33.3%	33.3%	3 人
	その他	31.8%	54.5%	13.6%	22 人

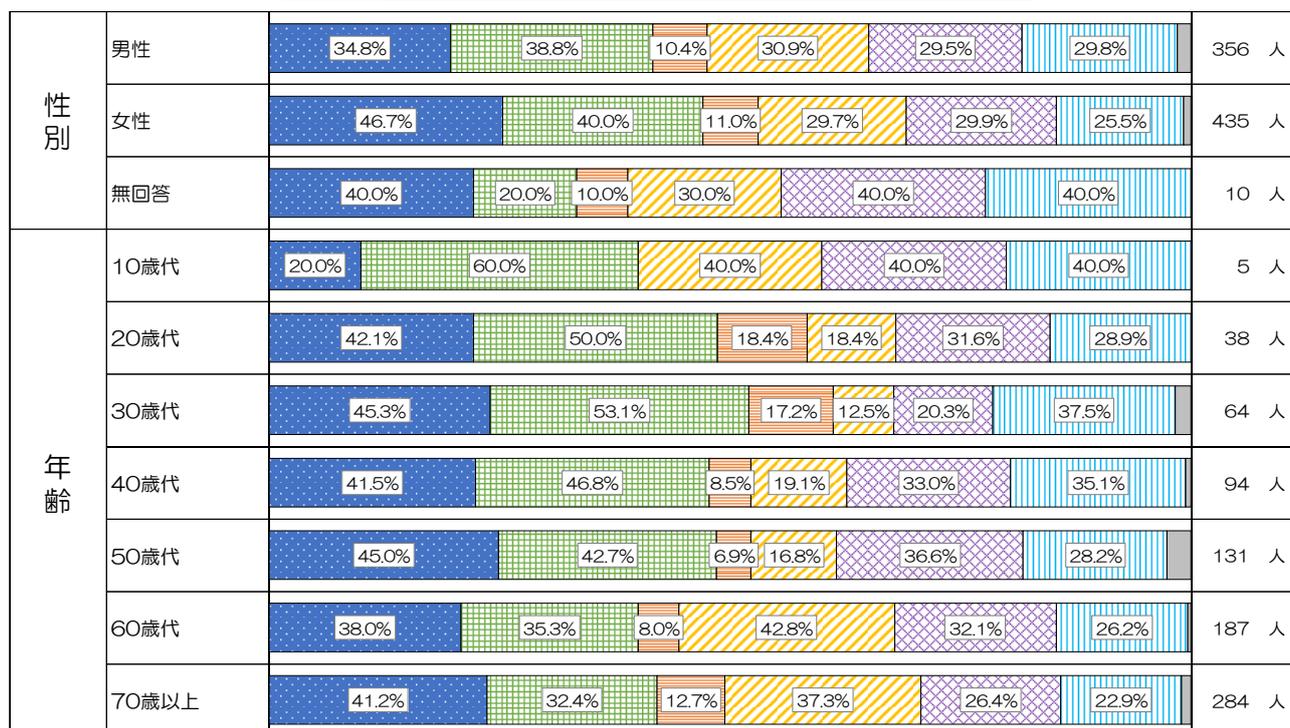
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(5) 地震及び防災対策について

【問20：地震や津波から命を守るため必要と感じることは何ですか。】のクロス集計



凡例  回答数



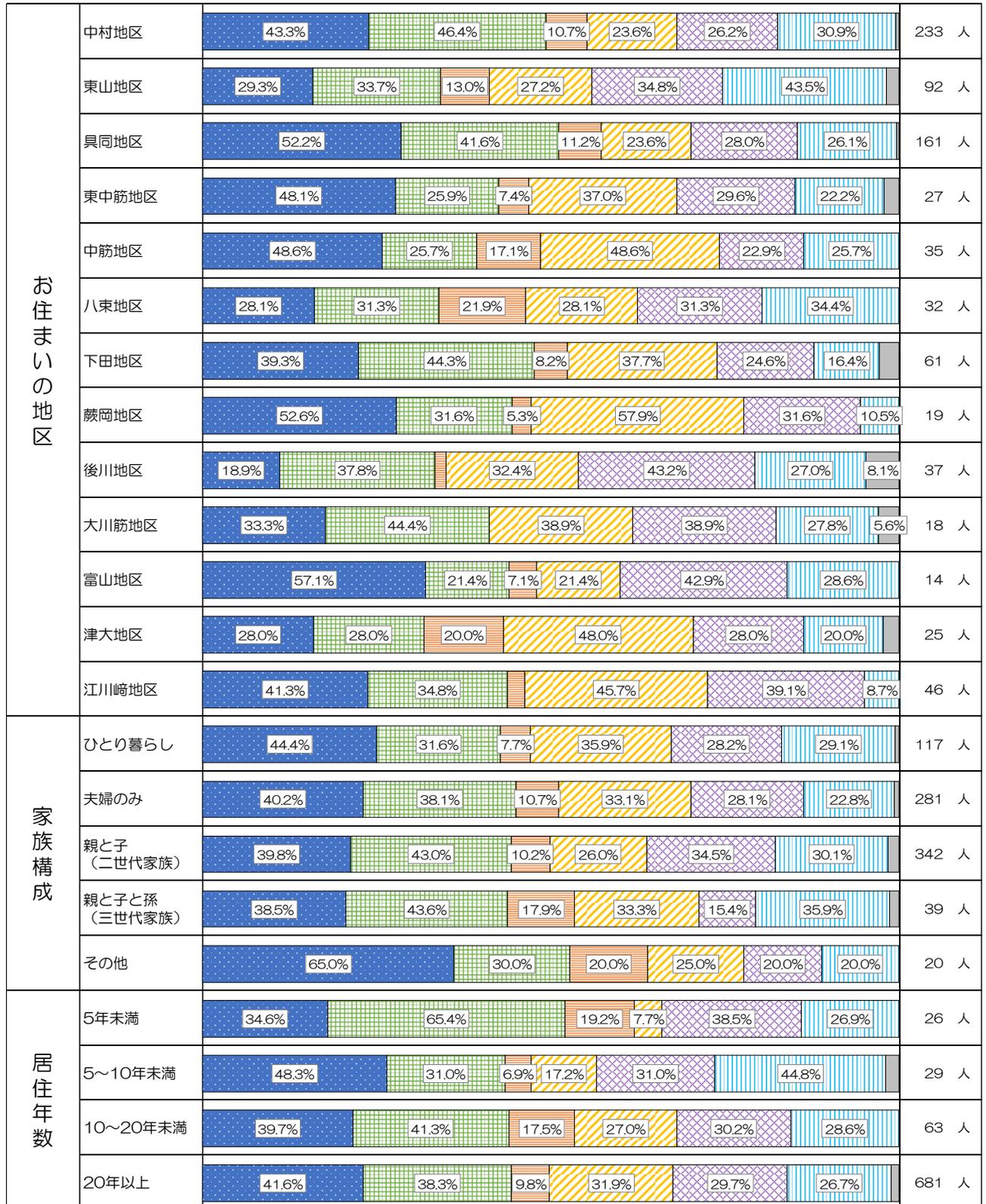
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

住宅の耐震化	防災意識の向上	避難訓練	地域内の住民の つながり	情報伝達手段	施設などの整備	その他
--------	---------	------	-----------------	--------	---------	-----

凡例

回答数



住宅の耐震化	防災意識の向上	避難訓練	つなごう地域の住民の	情報伝達手段	施設などの整備	その他
--------	---------	------	------------	--------	---------	-----

凡例



回答数

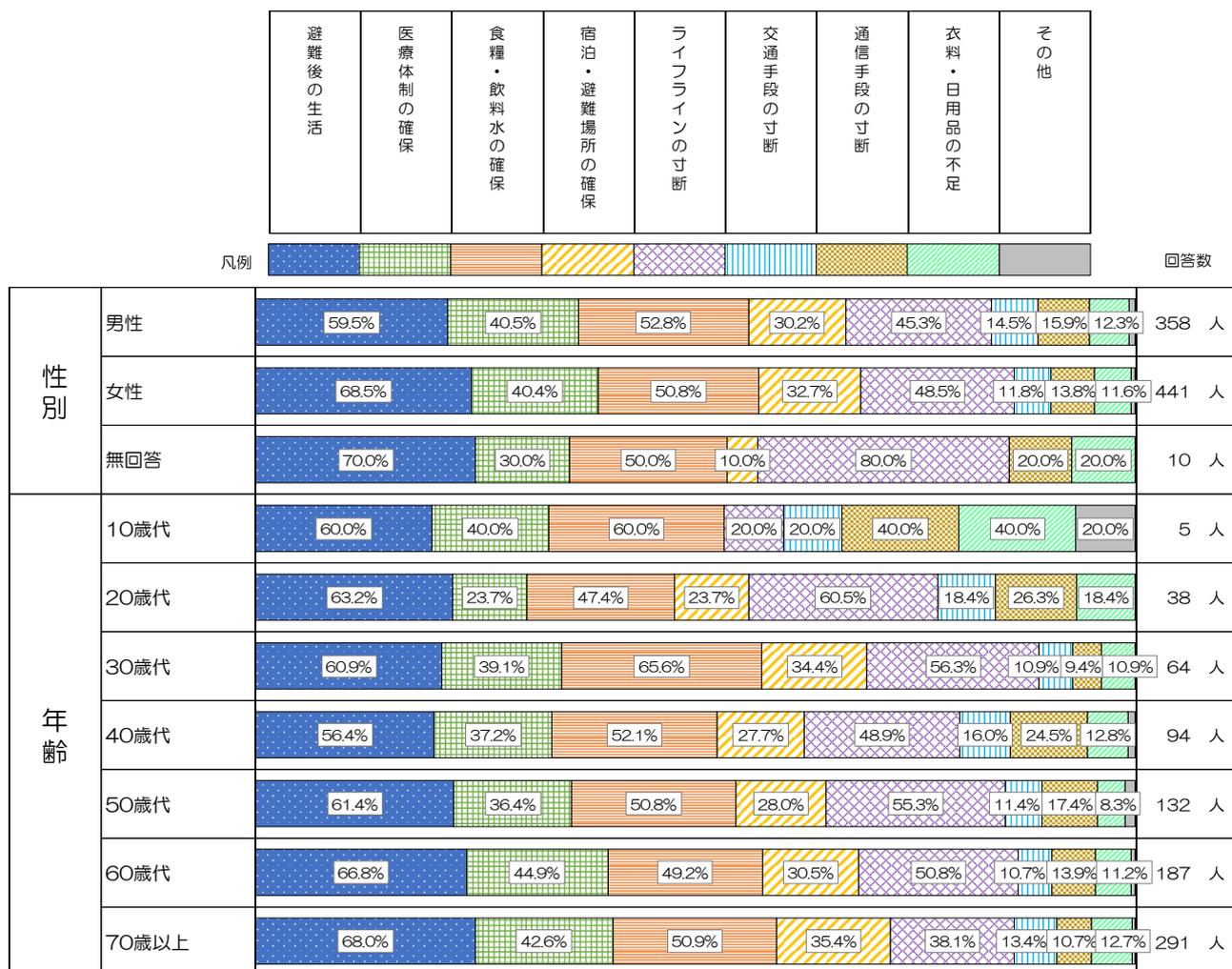
職業	職業	割合 (%)							回答数
		住宅の耐震化	防災意識の向上	避難訓練	つなごう地域の住民の	情報伝達手段	施設などの整備	その他	
職業	農林畜産業	34.1%	41.5%	14.6%	36.6%	31.7%	14.6%	41 人	
	水産業	20.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%		5 人	
	会社員	41.2%	37.3%	9.8%	16.3%	41.2%	33.3%	153 人	
	自営業	40.0%	40.0%	9.3%	37.3%	24.0%	22.7%	75 人	
	公務員	45.2%	53.6%	14.3%	21.4%	21.4%	32.1%	84 人	
	団体職員	34.8%	39.1%	17.4%	39.1%	39.1%	8.7%	23 人	
	アルバイト・パート	43.5%	42.4%	9.4%	29.4%	25.9%	28.2%	85 人	
	学生	25.0%	62.5%		37.5%	37.5%	37.5%	8 人	
	家事専業	51.7%	31.7%	5.0%	35.0%	33.3%	23.3%	60 人	
	無職	41.0%	33.8%	10.7%	40.2%	26.9%	25.6%	234 人	
	その他	29.0%	41.9%	22.6%	25.8%	32.3%	25.8%	31 人	
勤務(就学)地	四万十市内	40.6%	40.6%	10.3%	26.4%	31.5%	28.9%	387 人	
	宿毛市	44.4%	55.6%	19.4%	11.1%	33.3%	25.0%	36 人	
	土佐清水市	41.7%	50.0%	16.7%	8.3%	25.0%	25.0%	12 人	
	黒潮町	37.5%	50.0%	25.0%	20.8%	37.5%	8.3%	24 人	
	大月町	100.0%	100.0%					1 人	
	三原村	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%		3 人	
	その他	27.3%	45.5%	9.1%	36.4%	40.9%	31.8%	22 人	

※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(5) 地震及び防災対策について

【問21：大地震発生時の避難後に最も不安に感じることは何ですか。】のクロス集計



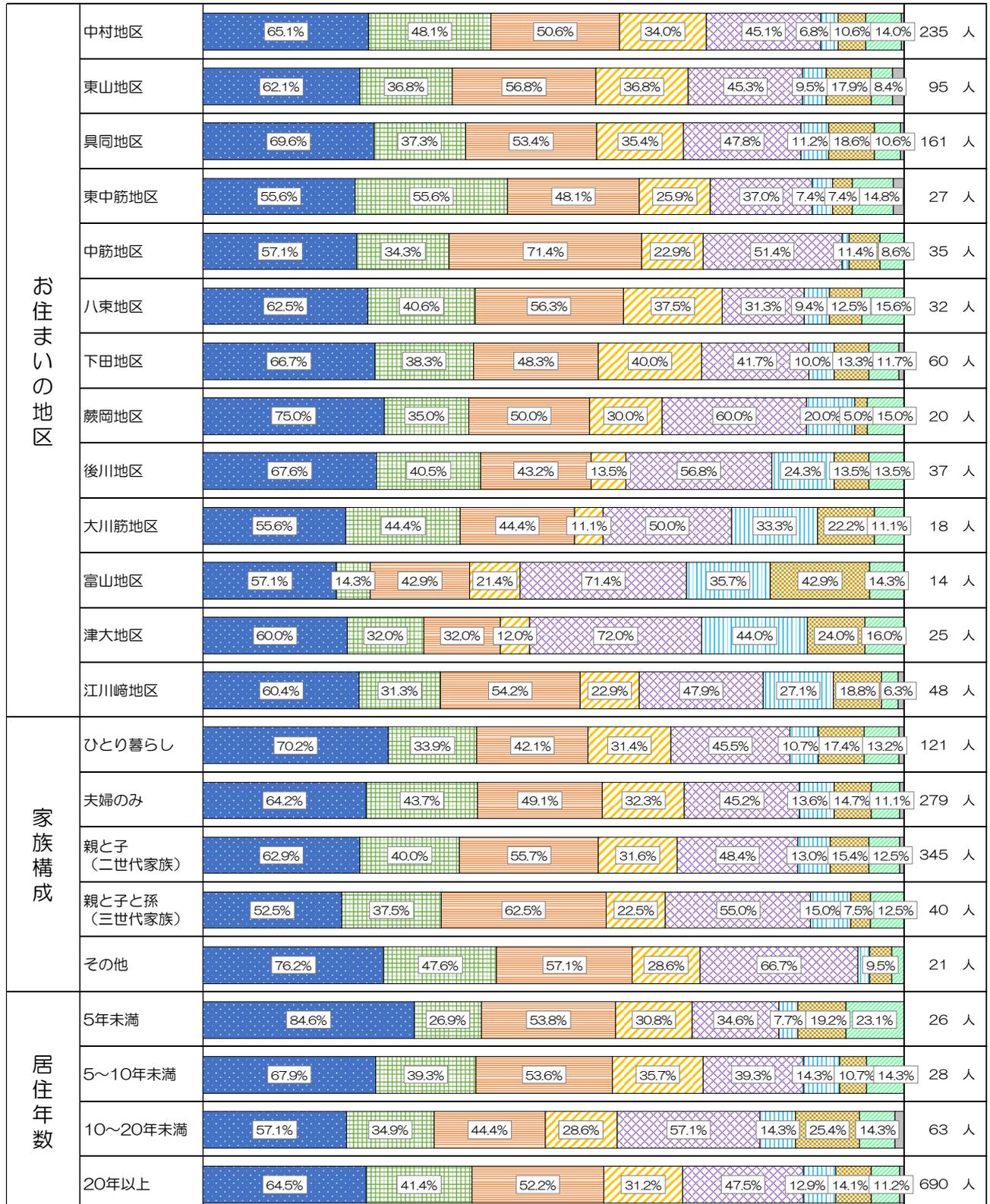
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

避難後の生活	医療体制の確保	食糧・飲料水の確保	宿泊・避難場所の確保	ライフラインの寸断	交通手段の寸断	通信手段の寸断	衣料・日用品の不足	その他
--------	---------	-----------	------------	-----------	---------	---------	-----------	-----

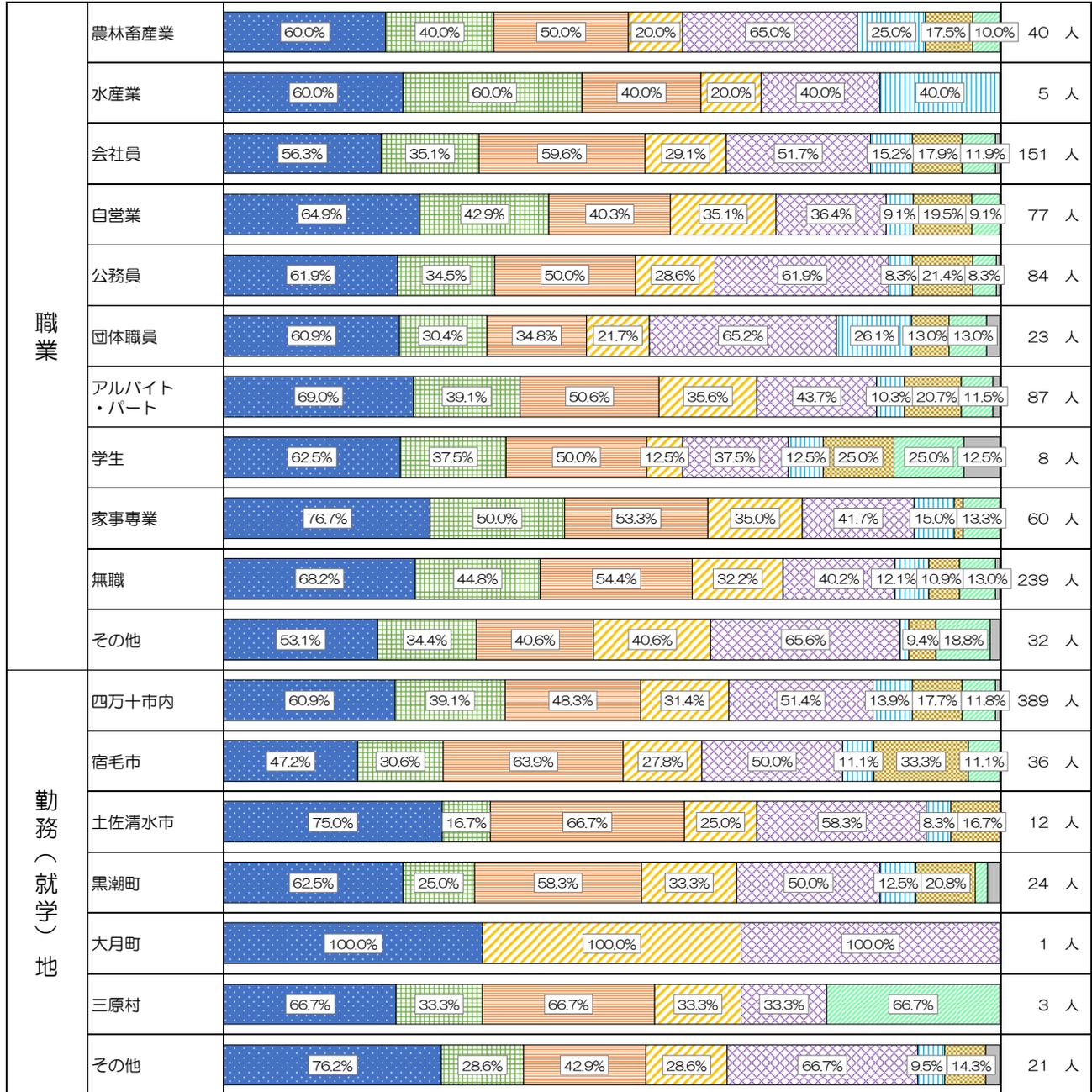
凡例

回答数



避難後の生活	医療体制の確保	食糧・飲料水の確保	宿泊・避難場所の確保	ライフラインの寸断	交通手段の寸断	通信手段の寸断	衣料・日用品の不足	その他
--------	---------	-----------	------------	-----------	---------	---------	-----------	-----

凡例  回答数

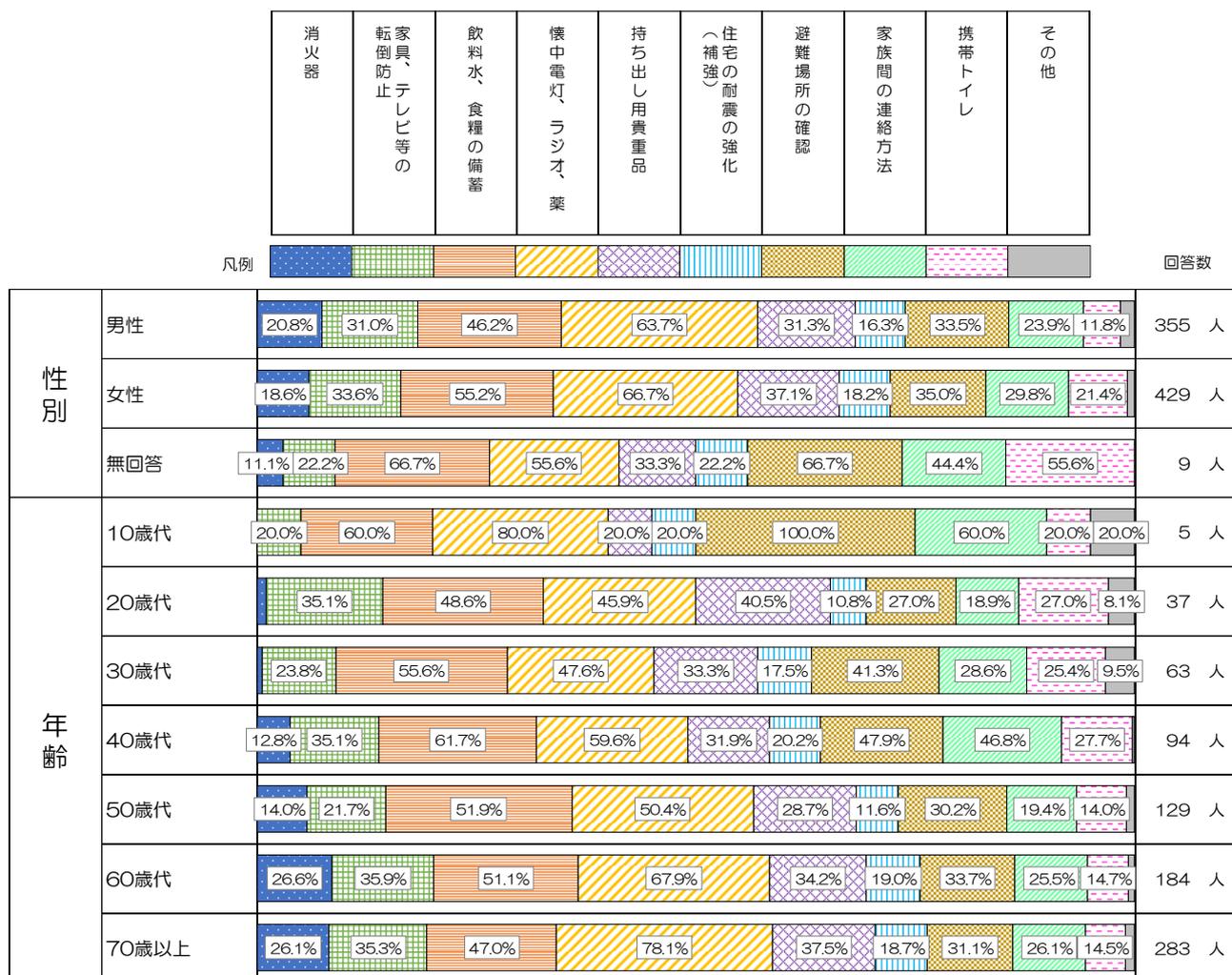


※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(5) 地震及び防災対策について

【問22：大地震に備えて、家庭で対策していることは何ですか。】のクロス集計



※ 複数回答のため、合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

消火器	家具、テレビ等の 転倒防止	飲料水、食糧の備蓄	懐中電灯、ラジオ、薬	持ち出し用貴重品	(住宅の耐震の強化 補強)	避難場所の確認	家族間の連絡方法	携帯トイレ	その他
-----	------------------	-----------	------------	----------	------------------	---------	----------	-------	-----

凡例

回答数

	地区	対策										回答数	
		消火器	家具、テレビ等の 転倒防止	飲料水、食糧の備蓄	懐中電灯、ラジオ、薬	持ち出し用貴重品	(住宅の耐震の強化 補強)	避難場所の確認	家族間の連絡方法	携帯トイレ	その他		
お住まいの地区	中村地区	16.7%	29.5%	56.8%		61.5%	35.5%	13.2%	38.0%	25.6%	18.8%	234 人	
	東山地区	13.8%	30.9%	55.3%		59.6%	37.2%	16.0%	37.2%	33.0%	19.1%	94 人	
	具同地区	16.6%	36.9%	55.4%		62.4%	40.8%	18.5%	31.8%	26.1%	19.1%	5.7%	157 人
	東中筋地区	14.8%	25.9%	44.4%		74.1%	29.6%	22.2%	18.5%	25.9%	18.5%	27 人	
	中筋地区	33.3%	27.8%	44.4%		69.4%	22.2%	11.1%	36.1%	33.3%	19.4%	36 人	
	八束地区	37.5%	25.0%	43.8%		56.3%	40.6%	21.9%	40.6%	25.0%	9.4%	32 人	
	下田地区	18.3%	38.3%	50.0%		68.3%	35.0%	30.0%	56.7%	36.7%	25.0%	5.0%	60 人
	藤岡地区	21.1%	15.8%	31.6%		63.2%	26.3%	21.1%	15.8%	15.8%	15.8%	5.3%	19 人
	後川地区	13.9%	36.1%	47.2%		69.4%	41.7%	19.4%	19.4%	22.2%	13.9%	36 人	
	大川筋地区	12.5%	31.3%	62.5%		68.8%	25.0%	18.8%	12.5%	25.0%	12.5%	6.3%	16 人
	富山地区	30.8%	7.7%	30.8%		61.5%	7.7%	46.2%	30.8%	30.8%		13 人	
	津大地区	41.7%	41.7%	45.8%		75.0%	16.7%	16.7%	20.8%	8.3%		24 人	
	江川崎地区	29.5%	43.2%	34.1%		88.6%	27.3%	15.9%	29.5%	25.0%	9.1%	44 人	
	家族構成	ひとり暮らし	15.7%	24.3%	40.9%		63.5%	32.2%	13.0%	27.0%	20.0%	15.7%	8.7%
夫婦のみ		23.4%	38.1%	54.3%		70.5%	38.5%	19.4%	28.4%	23.0%	15.5%	278 人	
親と子 (二世大家族)		18.4%	30.9%	52.8%		61.7%	32.3%	18.1%	40.7%	32.3%	20.2%	337 人	
親と子と孫 (三世大家族)		10.3%	23.1%	59.0%		64.1%	25.6%	17.9%	46.2%	38.5%	15.4%	39 人	
その他		19.0%	38.1%	38.1%		71.4%	33.3%		38.1%	23.8%	19.0%	21 人	
居住年数	5年未満		42.3%	53.8%		53.8%	38.5%	7.7%	42.3%	11.5%	19.2%	26 人	
	5~10年未満		37.9%	58.6%		69.0%	31.0%	13.8%	27.6%	48.3%	27.6%	6.9%	29 人
	10~20年未満	8.1%	27.4%	62.9%		46.8%	35.5%	17.7%	46.8%	37.1%	29.0%	8.1%	62 人
	20年以上	22.0%	32.2%	49.9%		67.2%	34.3%	17.7%	33.5%	26.3%	15.9%	674 人	

消火器	家具、テレビ等の転倒防止	飲料水、食糧の備蓄	懐中電灯、ラジオ、薬	持ち出し用貴重品	住宅の耐震の強化（補強）	避難場所の確認	家族間の連絡方法	携帯トイレ	その他
-----	--------------	-----------	------------	----------	--------------	---------	----------	-------	-----

凡例

回答数

職業	消火器	家具、テレビ等の転倒防止	飲料水、食糧の備蓄	懐中電灯、ラジオ、薬	持ち出し用貴重品	住宅の耐震の強化（補強）	避難場所の確認	家族間の連絡方法	携帯トイレ	その他	回答数
農林畜産業	30.8%	48.7%	56.4%	74.4%	28.2%	30.8%	25.6%	12.8%	5.1%	39 人	
水産業	75.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%		4 人	
会社員	12.4%	24.8%	51.6%	53.6%	30.1%	11.8%	37.3%	29.4%	15.7%	153 人	
自営業	22.2%	34.7%	38.9%	72.2%	38.9%	16.7%	34.7%	29.2%	15.3%	72 人	
公務員	10.7%	35.7%	61.9%	51.2%	42.9%	21.4%	42.9%	26.2%	27.4%	84 人	
団体職員	21.7%	26.1%	47.8%	56.5%	21.7%	26.1%	34.8%	17.4%	8.7%	23 人	
アルバイト・パート	19.5%	28.7%	46.0%	55.2%	28.7%	16.1%	34.5%	31.0%	16.1%	87 人	
学生	25.0%	62.5%	62.5%	37.5%	12.5%	62.5%	50.0%	12.5%	12.5%	8 人	
家事専業	29.8%	49.1%	61.4%	84.2%	40.4%	17.5%	28.1%	38.6%	24.6%	57 人	
無職	22.3%	28.3%	47.6%	73.4%	33.0%	15.5%	31.8%	24.9%	17.2%	233 人	
その他	12.9%	35.5%	58.1%	67.7%	41.9%	32.3%	32.3%	25.8%	19.4%	31 人	
勤務（就学）地											
四万十市内	18.3%	31.3%	52.0%	60.1%	32.1%	20.1%	37.3%	25.3%	16.2%	383 人	
宿毛市	8.3%	33.3%	61.1%	50.0%	44.4%	11.1%	41.7%	30.6%	22.2%	36 人	
土佐清水市	16.7%	25.0%	58.3%	50.0%	25.0%	25.0%	16.7%	16.7%	16.7%	12 人	
黒潮町	8.0%	40.0%	36.0%	56.0%	40.0%	8.0%	24.0%	44.0%	36.0%	25 人	
大月町		100.0%					100.0%			1 人	
三原村		66.7%	33.3%	33.3%	33.3%		66.7%	33.3%		3 人	
その他	18.2%	18.2%	50.0%	63.6%	45.5%	9.1%	40.9%	45.5%	9.1%	22 人	

※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(5) 地震及び防災対策について

【問23：災害時には、どの情報が頼りになると思いますか。】のクロス集計

市の防災無線放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など） FNS（LINE、 nasc、 tabrak、 m	その他
----------	-----	-----	---------	-------	----------	-------------------------------------------	-----

凡例  回答数

性別	属性	情報源							回答数
		市の防災無線放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など） FNS（LINE、 nasc、 tabrak、 m	
性別	男性	63.1%	44.4%	52.2%	17.9%	40.2%	19.6%	19.3%	358 人
	女性	71.6%	42.1%	43.7%	13.5%	40.1%	21.4%	20.0%	444 人
	無回答	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	30.0%	10.0%	30.0%	10 人
年齢	10歳代	80.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	60.0%	5 人
	20歳代	55.3%	34.2%	39.5%	39.5%	21.1%	10.5%	50.0%	38 人
	30歳代	63.5%	28.6%	44.4%	30.2%	25.4%	14.3%	46.0%	63 人
	40歳代	58.9%	36.8%	44.2%	32.6%	28.4%	10.5%	29.5%	95 人
	50歳代	62.1%	31.1%	38.6%	20.5%	42.4%	15.9%	28.8%	132 人
	60歳代	72.9%	41.5%	54.3%	11.7%	45.7%	21.8%	15.4%	188 人
	70歳以上	72.0%	56.0%	51.2%		45.4%	27.0%	5.5%	293 人

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

市の防災無線 ・IP告知放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など INS SABLON E、 INSTA GORA M	その他
-------------------	-----	-----	---------	-------	----------	-------------------------------------------------	-----

凡例

回答数

	市の防災無線 ・IP告知放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など INS SABLON E、 INSTA GORA M	その他	回答数
お住まいの地区	中村地区	63.7%	39.2%	48.1%	19.4%	39.7%	21.5%	21.1%	237 人
	東山地区	55.8%	37.9%	56.8%	17.9%	27.4%	15.8%	27.4%	95 人
	具同地区	64.0%	39.1%	46.0%	16.8%	41.6%	23.6%	26.1%	161 人
	東中筋地区	70.4%	55.6%	51.9%	11.1%	29.6%	11.1%	29.6%	27 人
	中筋地区	78.4%	35.1%	32.4%	5.4%	56.8%	21.6%	18.9%	37 人
	八束地区	65.6%	46.9%	59.4%	12.5%	46.9%	9.4%	9.4%	32 人
	下田地区	75.0%	45.0%	56.7%	13.3%	41.7%	20.0%	13.3%	60 人
	藤岡地区	78.9%	68.4%	31.6%	47.4%	15.8%	10.5%		19 人
	後川地区	67.6%	43.2%	54.1%	18.9%	40.5%	10.8%	13.5%	37 人
	大川筋地区	77.8%	44.4%	44.4%	22.2%	38.9%	22.2%	27.8%	18 人
	富山地区	71.4%	57.1%	35.7%	7.1%	57.1%	7.1%		14 人
	津大地区	84.0%	64.0%	32.0%	48.0%	28.0%	8.0%		25 人
	江川崎地区	87.8%	51.0%	38.8%	12.2%	38.8%	34.7%	6.1%	49 人
	家族構成	ひとり暮らし	62.0%	42.1%	49.6%	9.9%	45.5%	25.6%	16.5%
夫婦のみ		67.0%	54.3%	51.1%	13.5%	41.8%	18.1%	14.2%	282 人
親と子 (二世世代家族)		70.1%	35.7%	44.1%	19.4%	38.8%	19.4%	25.8%	345 人
親と子と孫 (三世世代家族)		75.0%	32.5%	42.5%	17.5%	30.0%	22.5%	20.0%	40 人
その他		52.4%	33.3%	61.9%	9.5%	33.3%	28.6%	23.8%	21 人
居住年数	5年未満	61.5%	23.1%	26.9%	46.2%	26.9%	15.4%	53.8%	26 人
	5~10年未満	39.3%	39.3%	53.6%	32.1%	28.6%	17.9%	32.1%	28 人
	10~20年未満	57.1%	30.2%	50.8%	20.6%	33.3%	17.5%	44.4%	63 人
	20年以上	70.0%	45.0%	47.9%	13.3%	41.7%	20.9%	16.0%	693 人

市の防災無線 ・IP告知放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など FNS S(LINE、 Insta stagram	その他
-------------------	-----	-----	---------	-------	----------	------------------------------------------	-----

凡例

回答数

職業	職業	情報源							回答数
		市の防災無線 ・IP告知放送	テレビ	ラジオ	インターネット	携帯メール	自治会等地域から	など FNS S(LINE、 Insta stagram	
職業	農林畜産業	90.2%	58.5%	36.6%	43.9%	24.4%			41 人
	水産業	80.0%	20.0%	80.0%	20.0%	20.0%	60.0%		5 人
	会社員	58.4%	33.8%	43.5%	26.0%	37.7%	13.0%	32.5%	154 人
	自営業	59.7%	49.4%	50.6%	9.1%	44.2%	28.6%	10.4%	77 人
	公務員	65.5%	34.5%	26.2%	32.1%	34.5%	11.9%	47.6%	84 人
	団体職員	59.1%	40.9%	59.1%	9.1%	36.4%	18.2%	31.8%	22 人
	アルバイト ・パート	66.7%	35.6%	54.0%	18.4%	41.4%	16.1%	24.1%	87 人
	学生	87.5%	12.5%	37.5%	37.5%	25.0%	25.0%	37.5%	8 人
	家事専業	80.0%	46.7%	43.3%	6.7%	41.7%	25.0%	10.0%	60 人
	無職	71.7%	49.6%	54.2%	7.5%	40.8%	25.8%	8.3%	240 人
	その他	59.4%	43.8%	62.5%	18.8%	50.0%	12.5%	18.8%	32 人
勤務(就学)地	四万十市内	63.4%	39.9%	45.8%	20.2%	40.4%	17.1%	26.1%	391 人
	宿毛市	58.3%	33.3%	33.3%	30.6%	41.7%	25.0%	33.3%	36 人
	土佐清水市	66.7%	16.7%	50.0%	8.3%	41.7%	8.3%	41.7%	12 人
	黒潮町	66.7%	20.8%	41.7%	29.2%	25.0%	29.2%	29.2%	24 人
	大月町	100.0%	100.0%	100.0%					1 人
	三原村	66.7%	66.7%	100.0%				33.3%	3 人
	その他	68.2%	31.8%	45.5%	27.3%	40.9%	13.6%	31.8%	22 人

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (6) デジタル化について  
 【問24：あなたは、スマートフォンを所有していますか。】のクロス集計

スマートフォンを 持っている	スマートフォンを 持っていない
-------------------	--------------------

※ 0.0%の表記は省略

凡例 

回答数

性別	属性	スマートフォン所有状況		回答数
		持っている	持っていない	
性別	男性	83.1%	16.9%	360 人
	女性	86.0%	14.0%	443 人
	無回答	90.0%	10.0%	10 人
年齢	10歳代	100.0%	0.0%	5 人
	20歳代	100.0%	0.0%	38 人
	30歳代	100.0%	0.0%	64 人
	40歳代	97.9%	2.1%	95 人
	50歳代	99.2%	0.8%	133 人
	60歳代	88.8%	11.2%	187 人
	70歳以上	65.9%	34.1%	293 人

スマートフォンを 持っている	スマートフォンを 持っていない
-------------------	--------------------

※ 0.0%の表記は省略

凡例 

回答数

区分	項目	持っている (%)	持っていない (%)	回答数
お住まいの地区	中村地区	86.4%	13.6%	236 人
	東山地区	86.2%	13.8%	94 人
	具同地区	84.8%	15.2%	164 人
	東中筋地区	92.6%	7.4%	27 人
	中筋地区	78.4%	21.6%	37 人
	八束地区	78.1%	21.9%	32 人
	下田地区	82.3%	17.7%	62 人
	蕨岡地区	77.8%	22.2%	18 人
	後川地区	91.7%	8.3%	36 人
	大川筋地区	83.3%	16.7%	18 人
	富山地区	73.3%	26.7%	15 人
	津大地区	80.0%	20.0%	25 人
	江川崎地区	85.4%	14.6%	48 人
	家族構成	ひとり暮らし	80.0%	20.0%
夫婦のみ		79.6%	20.4%	284 人
親と子 (二世代家族)		91.0%	9.0%	346 人
親と子と孫 (三世代家族)		85.0%	15.0%	40 人
その他		85.0%	15.0%	20 人
居住年数	5年未満	100.0%	0.0%	26 人
	5~10年未満	89.7%	10.3%	29 人
	10~20年未満	95.2%	4.8%	63 人
	20年以上	83.1%	16.9%	693 人

スマートフォンを 持っている	スマートフォンを 持っていない
-------------------	--------------------

※ 0.0%の表記は省略

凡例  

回答数

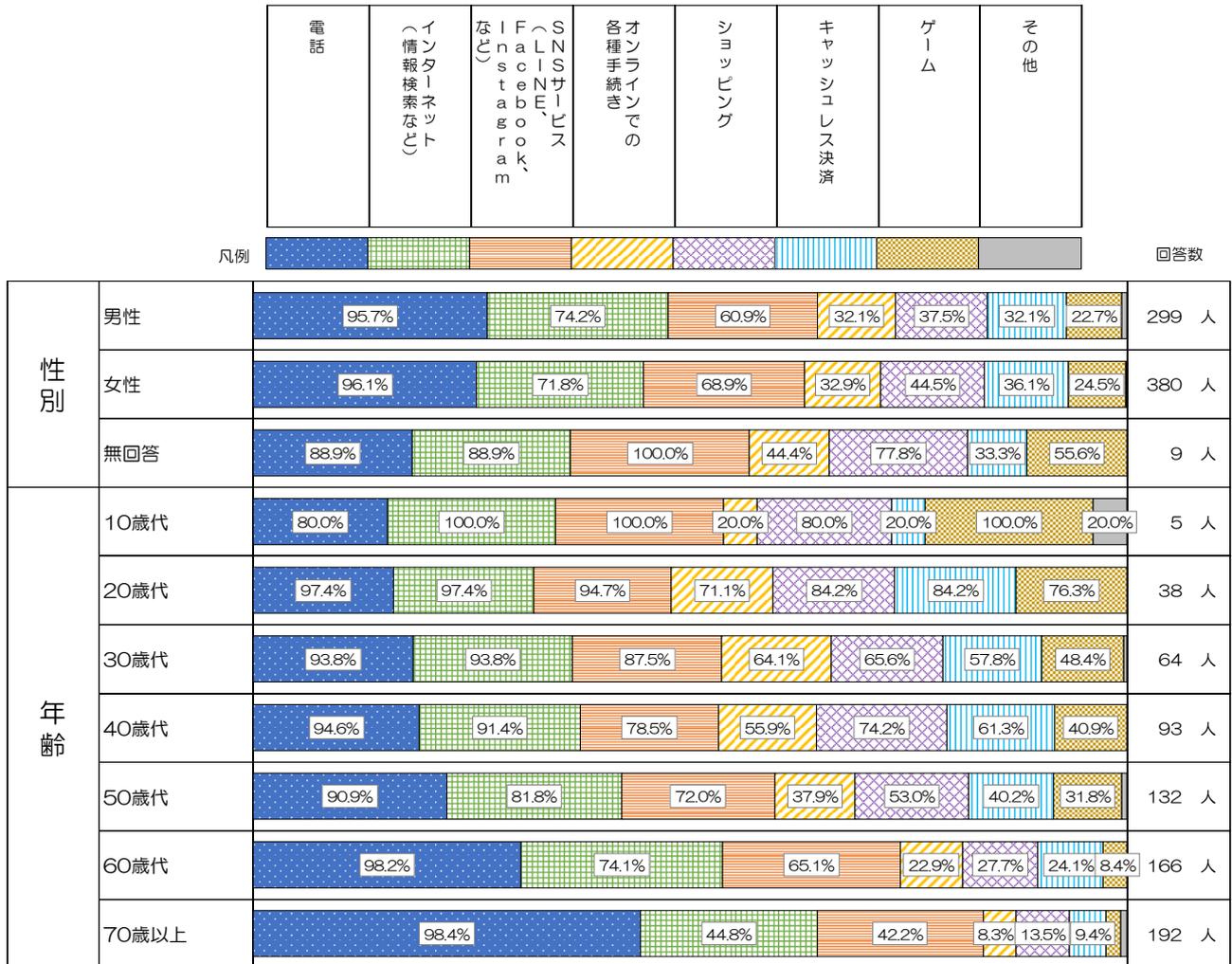
			回答数	
職業	農林畜産業	70.7%	29.3%	41 人
	水産業	100.0%		5 人
	会社員	95.5%	4.5%	156 人
	自営業	81.6%	18.4%	76 人
	公務員	100.0%		84 人
	団体職員	95.7%	4.3%	23 人
	アルバイト・パート	96.5%	3.5%	86 人
	学生	100.0%		8 人
	家事専業	81.4%	18.6%	59 人
	無職	71.2%	28.8%	243 人
	その他	87.1%	12.9%	31 人
勤務（就学）地	四万十市内	91.8%	8.2%	389 人
	宿毛市	100.0%		37 人
	土佐清水市	91.7%	8.3%	12 人
	黒潮町	100.0%		25 人
	大月町	100.0%		1 人
	三原村	66.7%	33.3%	3 人
	その他	95.5%	4.5%	22 人

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(6) デジタル化について

【問25：スマートフォンをどのようなことに利用していますか。】のクロス集計

※【問24：スマートフォンの所持】で「持っている」と回答した人が対象



※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

電話	インターネット (情報検索など)	SNSサービス (LINE、 Facebook、 Instagram など)	オンラインでの 各種手続き	ショッピング	キャッシュレス決済	ゲーム	その他
----	---------------------	----------------------------------------------------	------------------	--------	-----------	-----	-----

凡例

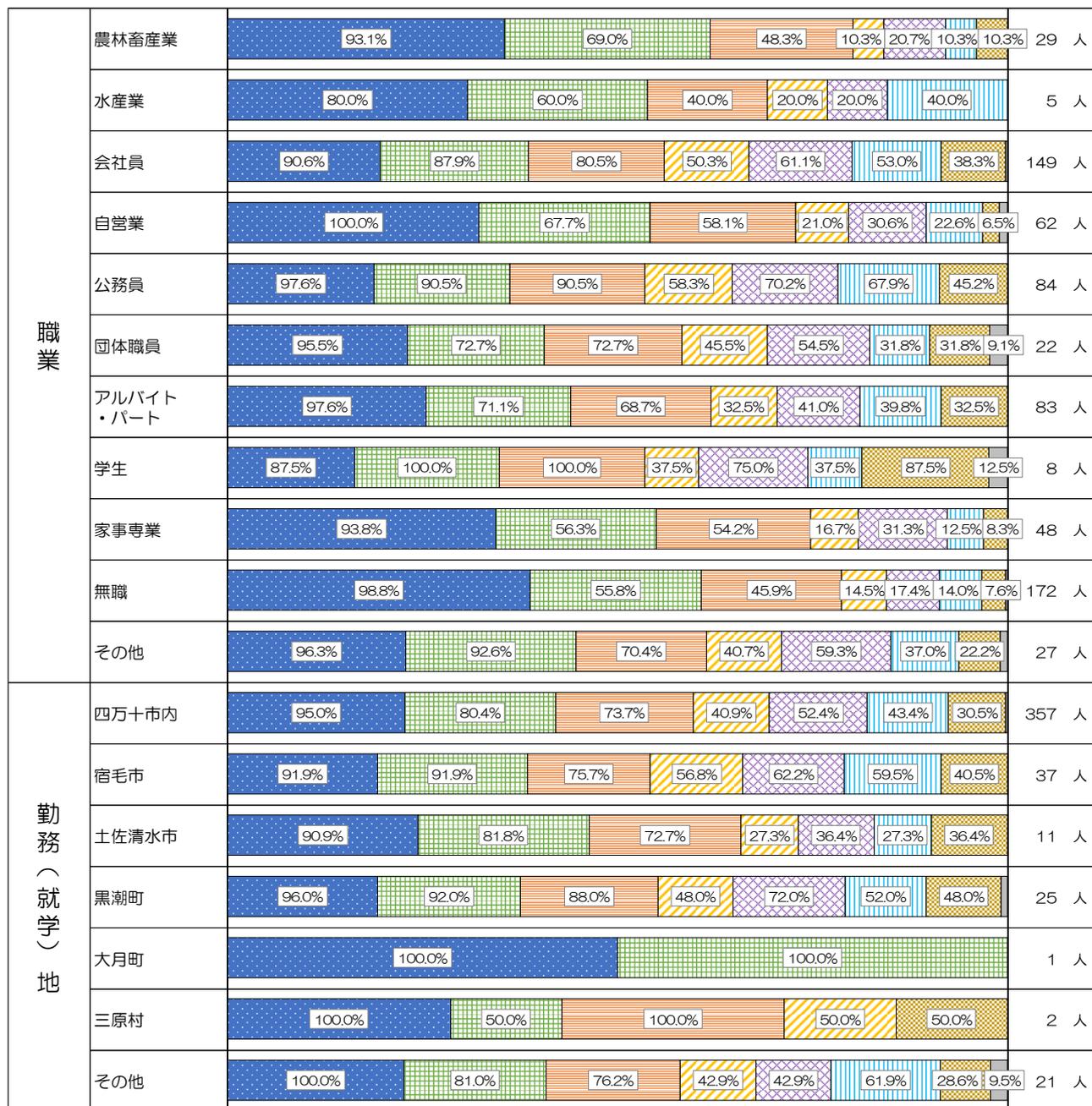


回答数

区分	地区/属性	電話	インターネット	SNSサービス	オンラインでの各種手続き	ショッピング	キャッシュレス決済	ゲーム	その他	回答数
お住まいの地区	中村地区	97.1%	76.0%	69.6%	33.3%	43.1%	38.7%	26.0%	204 人	
	東山地区	93.8%	76.5%	72.8%	39.5%	46.9%	38.3%	28.4%	81 人	
	具岡地区	94.2%	79.9%	67.6%	40.3%	48.2%	39.6%	30.2%	139 人	
	東中筋地区	100.0%	68.0%	52.0%	40.0%	44.0%	40.0%	24.0%	25 人	
	中筋地区	96.6%	62.1%	69.0%	27.6%	41.4%	20.7%	10.3%	29 人	
	八束地区	96.0%	64.0%	48.0%	24.0%	36.0%	40.0%	16.0%	25 人	
	下田地区	98.0%	70.0%	60.0%	24.0%	42.0%	30.0%	18.0%	50 人	
	藤岡地区	92.9%	64.3%	57.1%	35.7%	42.9%	21.4%	35.7%	14 人	
	後川地区	90.9%	57.6%	66.7%	24.2%	39.4%	24.2%	15.2%	33 人	
	大川筋地区	100.0%	80.0%	60.0%	33.3%	40.0%	33.3%	33.3%	15 人	
	富山地区	100.0%	45.5%	45.5%	27.3%	27.3%	18.2%	18.2%	11 人	
	津大地区	95.0%	75.0%	65.0%	20.0%	25.0%	20.0%	15.0%	20 人	
	江川崎地区	95.1%	68.3%	61.0%	19.5%	22.0%	22.0%	14.6%	41 人	
	家族構成	ひとり暮らし	94.8%	55.2%	56.3%	26.0%	33.3%	26.0%	21.9%	96 人
夫婦のみ		97.8%	68.9%	56.9%	23.6%	30.2%	26.7%	12.0%	225 人	
親と子 (二世大家族)		94.0%	81.3%	74.6%	39.0%	50.8%	42.2%	32.1%	315 人	
親と子と孫 (三世大家族)		100.0%	91.2%	82.4%	55.9%	67.6%	44.1%	32.4%	34 人	
その他		100.0%	52.9%	52.9%	29.4%	35.3%	29.4%	35.3%	17 人	
居住年数	5年未満	96.2%	96.2%	92.3%	69.2%	69.2%	65.4%	50.0%	26 人	
	5~10年未満	96.2%	80.8%	84.6%	46.2%	69.2%	53.8%	42.3%	26 人	
	10~20年未満	95.0%	86.7%	88.3%	50.0%	63.3%	56.7%	41.7%	60 人	
	20年以上	95.8%	70.3%	61.7%	28.5%	37.4%	30.1%	20.2%	575 人	

電話	インターネット (情報検索など)	SNSサービス (LINE、Facebook、Instagram など)	オンラインでの 各種手続き	ショッピング	キャッシュレス決済	ゲーム	その他
----	---------------------	--------------------------------------------	------------------	--------	-----------	-----	-----

凡例  回答数

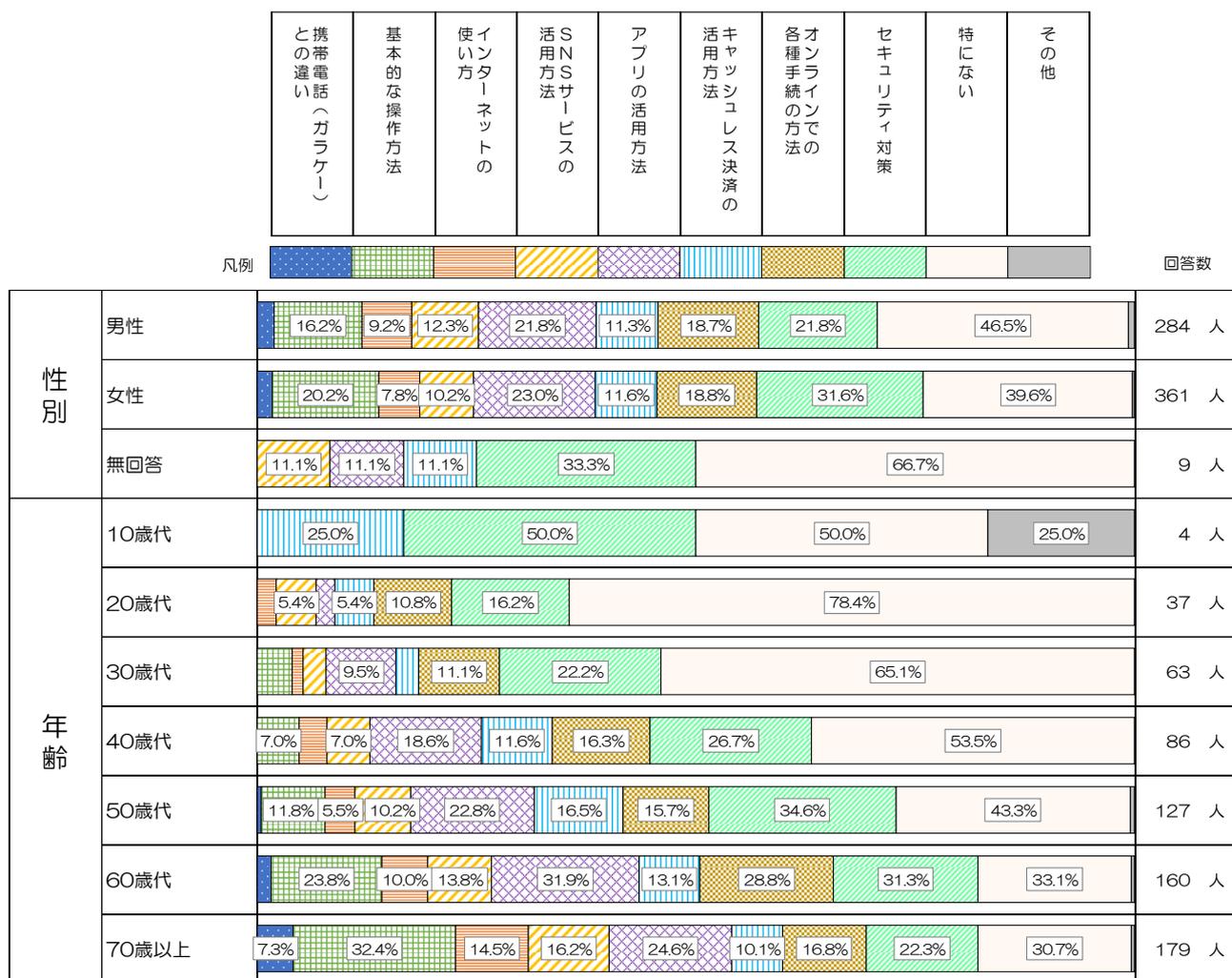


※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (6) デジタル化について

【問26：スマートフォンについてもっと知りたいことはありますか。】のクロス集計

※【問24：スマートフォンの所持】で「持っている」と回答した人が対象



※ 複数回答のため、合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

と携帯電話（ガラケー） の違い	基本的な 操作方法	イン ター ネ ッ ト の 使 い 方	S N S サ ー ビ ス の 活 用 方 法	ア プ リ の 活 用 方 法	キ ャ ッ シ ュ レ ス 決 済 の 活 用 方 法	オ ン ラ イ ン で の 各 種 手 続 の 方 法	セ キ ユ リ テ ィ 対 策	特 に な い	そ の 他
--------------------	--------------	---------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------	------------------	-------------

凡例

回答数

お 住 ま い の 地 区	中村地区	15.9%	7.2%	9.7%	20.0%	12.3%	21.5%	26.2%	46.2%	195 人	
	東山地区	7.9%	9.2%	13.2%	27.6%	14.5%	15.8%	30.3%	47.4%	76 人	
	具同地区	14.4%	6.8%	7.6%	19.7%	5.3%	13.6%	22.7%	51.5%	132 人	
	東中筋地区	8.3%	8.3%	12.5%	20.8%	20.8%	20.8%	37.5%	41.7%	24 人	
	中筋地区	14.8%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	18.5%	25.9%	29.6%	27 人	
	八束地区	28.0%	12.0%	12.0%	28.0%	8.0%	16.0%	32.0%	32.0%	25 人	
	下田地区	6.7%	26.7%	11.1%	17.8%	22.2%	13.3%	15.6%	28.9%	35.6%	45 人
	静岡地区	35.7%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	35.7%	14 人	
	後川地区	32.3%	16.1%	16.1%	19.4%	9.7%	12.9%	12.9%	38.7%	31 人	
	大川筋地区	20.0%	13.3%	6.7%	33.3%	13.3%	46.7%	13.3%	40.0%	15 人	
	富山地区	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	36.4%	45.5%	45.5%	45.5%	11 人	
	津大地区	26.3%	5.3%	21.1%	26.3%	15.8%	21.1%	42.1%	31.6%	19 人	
	江川崎地区	30.8%	10.3%	12.8%	25.6%	17.9%	23.1%	48.7%	23.1%	39 人	
	家 族 構 成	ひとり暮らし	27.0%	12.4%	11.2%	19.1%	6.7%	16.9%	21.3%	40.4%	89 人
夫婦のみ		19.2%	10.7%	11.7%	26.2%	12.1%	20.1%	24.3%	38.8%	214 人	
親と子 (二世大家族)		15.2%	6.3%	12.3%	20.9%	12.6%	17.2%	31.5%	45.7%	302 人	
親と子と孫 (三世大家族)		16.1%	6.5%	25.8%	16.1%	32.3%	25.8%	41.9%	41.9%	31 人	
その他		5.9%	17.6%	11.8%	5.9%	29.4%	52.9%	52.9%	52.9%	17 人	
居 住 年 数	5年未満	19.2%	26.9%	61.5%	61.5%	61.5%	61.5%	61.5%	61.5%	26 人	
	5~10年未満	16.7%	20.8%	16.7%	29.2%	8.3%	8.3%	41.7%	25.0%	24 人	
	10~20年未満	5.3%	5.3%	14.0%	19.3%	8.8%	17.5%	26.3%	54.4%	57 人	
	20年以上	20.3%	8.4%	11.4%	23.3%	12.3%	19.0%	26.9%	41.8%	546 人	

と携帯電話（カラケー）の 違い	基本的な操作方法	インターネットの 使い方	SNSサービスの 活用方法	アプリの活用方法	キャッシュレス決済の 活用方法	オンラインでの 各種手続の方法	セキュリティ対策	特 に な い	そ の 他
--------------------	----------	-----------------	------------------	----------	--------------------	--------------------	----------	------------------	-------------

凡例

回答数

職業	と携帯電話（カラケー）の 違い	基本的な操作方法	インターネットの 使い方	SNSサービスの 活用方法	アプリの活用方法	キャッシュレス決済の 活用方法	オンラインでの 各種手続の方法	セキュリティ対策	特 に な い	そ の 他	回答数
農林畜産業	28.6%	10.7%	10.7%	35.7%	17.9%	32.1%	35.7%	28.6%			28 人
水産業	20.0%	20.0%		40.0%			40.0%				5 人
会社員	8.5%	5.0%	7.8%	22.7%	9.2%	16.3%	29.1%	52.5%			141 人
自営業	18.2%	9.1%	14.5%	16.4%	16.4%	29.1%	43.6%				55 人
公務員	6.0%	10.8%	20.5%	13.3%	18.1%	21.7%	54.2%				83 人
団体職員			9.5%	14.3%		28.6%	52.4%				21 人
アルバイト・パート	17.5%	5.0%	10.0%	22.5%	12.5%	22.5%	27.5%	42.5%			80 人
学生	14.3%		42.9%			57.1%			14.3%		7 人
家事専業	37.0%	17.4%	13.0%	26.1%	6.5%	10.9%	30.4%	26.1%			46 人
無職	6.7%	30.7%	14.1%	16.0%	23.9%	13.5%	20.9%	27.0%	33.1%		163 人
その他	11.5%	7.7%	23.1%	19.2%	26.9%	19.2%	46.2%		7.7%		26 人
勤務（就学）地											
四万十市内	12.6%	6.2%	9.1%	20.5%	10.6%	17.3%	27.0%	49.0%			341 人
宿毛市	8.3%	5.6%	19.4%	5.6%	19.4%	30.6%	47.2%				36 人
土佐清水市	20.0%		30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	50.0%				10 人
黒潮町	12.0%	8.0%	16.0%	16.0%	28.0%	12.0%	56.0%				25 人
大月町			100.0%			100.0%					1 人
三原村	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%		2 人
その他	5.0%	10.0%	25.0%	20.0%	20.0%	40.0%	35.0%		5.0%		20 人

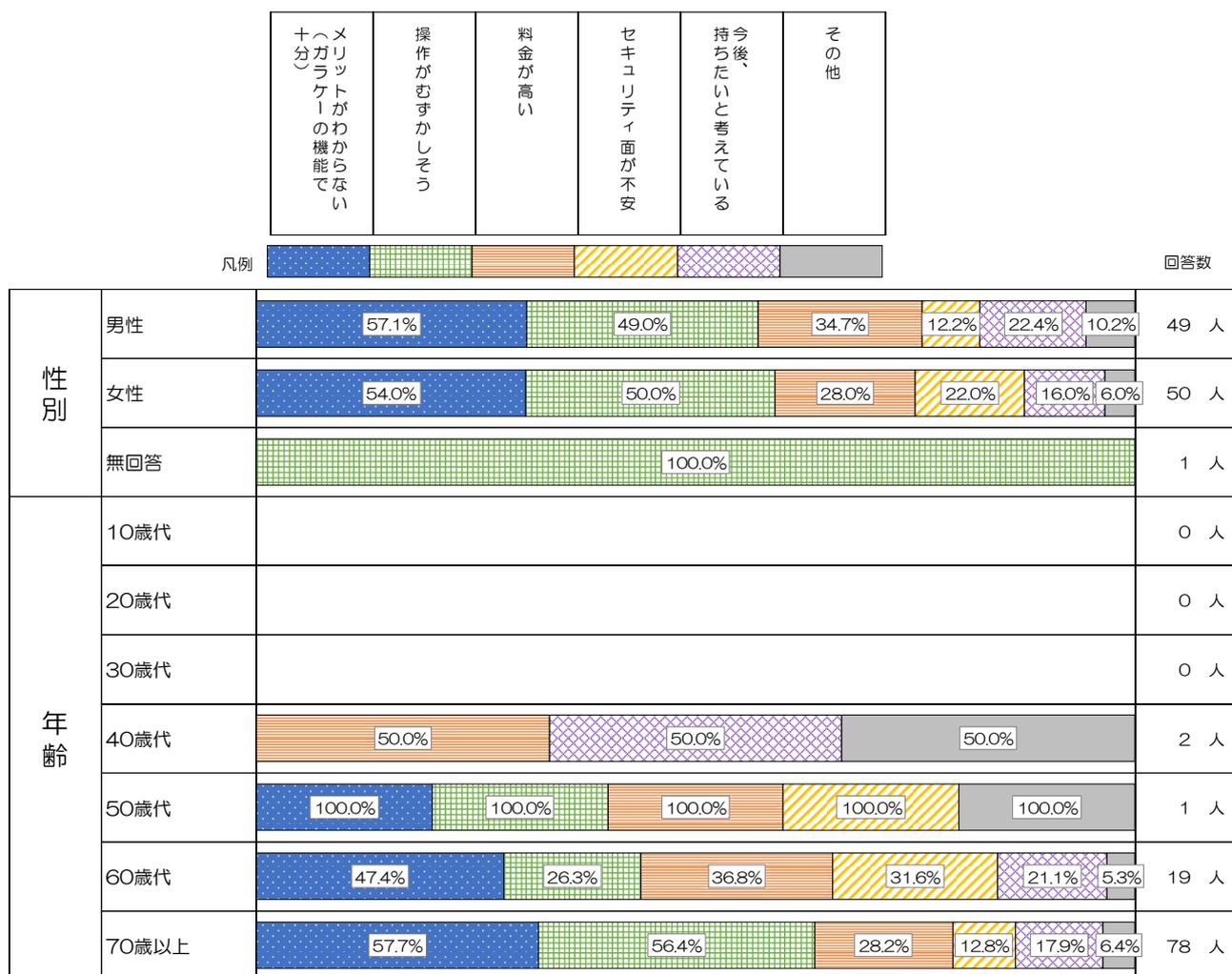
※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(6) デジタル化について

【問27：スマートフォンをお持ちでない理由をお答えください。】のクロス集計

※【問24：スマートフォンの所持】で「持っていない」と回答した人が対象



※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

その他	今後、 持ちたいと 考えている	セキュリ ティ面が 不安	料金が 高い	操作が むずかし そう	メリッ トがわか らない (十分)
-----	-----------------------	--------------------	-----------	-------------------	----------------------------

凡例



回答数

	地区	理由						回答数
		その他	今後、 持ちたいと 考えている	セキュリ ティ面が 不安	料金が 高い	操作が むずかし そう	メリッ トがわか らない (十分)	
お住 まい の 地 区	中村地区	8.0%	20.0%	20.0%	24.0%	44.0%	64.0%	25 人
	東山地区	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	60.0%	60.0%	10 人
	具同地区	9.1%	31.8%	18.2%	40.9%	54.5%	50.0%	22 人
	東中筋地区				50.0%	50.0%	50.0%	2 人
	中筋地区				25.0%	50.0%	50.0%	8 人
	八束地区	16.7%			33.3%	16.7%	33.3%	6 人
	下田地区	12.5%	12.5%		50.0%	62.5%	50.0%	8 人
	蕨岡地区	33.3%				100.0%		3 人
	後川地区				33.3%	66.7%	66.7%	3 人
	大川筋地区				50.0%	50.0%	50.0%	2 人
	富山地区				100.0%			1 人
	津大地区	25.0%			50.0%	75.0%	50.0%	4 人
	江川崎地区	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	66.7%	50.0%	6 人
	家 族 構 成	ひとり暮らし	16.7%	22.2%	11.1%	11.1%	27.8%	61.1%
夫婦のみ		6.1%	26.5%	20.4%	30.6%	57.1%	59.2%	49 人
親と子 (二世 代家 族)		16.7%	12.5%	41.7%	50.0%	50.0%	50.0%	24 人
親と子 と孫 (三世 代家 族)		20.0%		60.0%	80.0%	20.0%	20.0%	5 人
その他		50.0%				50.0%	50.0%	2 人
居 住 年 数	5年未 満							0 人
	5~10 年未 満				50.0%	50.0%	100.0%	2 人
	10~20 年未 満					50.0%	50.0%	2 人
	20年 以上	8.4%	17.9%	16.8%	30.5%	50.5%	55.8%	95 人

その他	今後、 持ちたいと 考えている	セキュリティ面が不安	料金が 高い	操作が むずかし そう	メリッ トがわ からな い (ガラ ケーの 機能で 十分)
-----	-----------------------	------------	-----------	-------------------	----------------------------------------------------



回答数

職業	農林畜産業	水産業	会社員	自営業	公務員	団体職員	アルバイト・パート	学生	家事専業	無職	その他	勤務(就学)地	四万十市内	宿毛市	土佐清水市	黒潮町	大月町	三原村	その他	回答数	
	44.4%		42.9%	55.6%		100.0%	66.7%		44.4%	63.2%	33.3%		56.0%		100.0%				100.0%		9人
			14.3%				33.3%		66.7%	54.4%	33.3%										0人
			42.9%				66.7%		66.7%	31.6%	33.3%										7人
									22.2%	10.5%	11.1%										9人
									22.2%	15.8%	22.2%										0人
									11.1%	5.3%	11.1%										1人
																					3人
																					0人
																					9人
																					57人
																					3人
																					25人
																					0人
																					1人
																					0人
																					0人
																					1人
																					1人

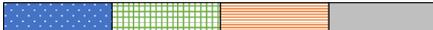
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (6) デジタル化について

【問28：普段、どのような方法でキャッシュレス決済を行っていますか。】の  
 クロス集計

クレジットカード	n（W AON、 anaco 等） 流通系電子マネー	（P ayP ay、 day、 払いなど） スマホ決済アプリ	利用して いない キャッシュ レス決済は
----------	----------------------------------------	-----------------------------------------------	-------------------------------

※ 複数回答のため、  
 合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

凡例  回答数

性別	男性	38.8%	11.0%	34.6%	42.7%	335 人
	女性	44.1%	19.3%	33.9%	39.6%	404 人
無回答	30.0%	30.0%	40.0%	40.0%	10 人	
年齢	10歳代	60.0%			40.0%	5 人
	20歳代	60.5%	23.7%	76.3%	5.3%	38 人
	30歳代	57.8%	12.5%	62.5%	23.4%	64 人
	40歳代	51.1%	22.3%	63.8%	19.1%	94 人
	50歳代	58.5%	26.9%	46.2%	20.0%	130 人
	60歳代	39.2%	20.5%	25.6%	42.6%	176 人
	70歳以上	24.2%	8.6%		69.3%	244 人

クレジット カード	流通系電子マネー (nanaco等)	スマホ決済アプリ (PayPay、楽天ペイ、d払いなど)	キャッシュレス決済は 利用していない
--------------	-----------------------	---------------------------------	-----------------------

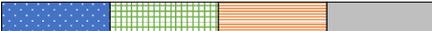
※複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※5.0%未満の表記は省略

凡例  回答数

属性	項目	クレジット カード	流通系電子マネー (nanaco等)	スマホ決済アプリ (PayPay、楽天ペイ、d払いなど)	キャッシュレス決済は 利用していない	回答数
お住まいの地区	中村地区	47.2%	21.8%	38.4%	32.9%	216 人
	東山地区	47.2%	13.5%	40.4%	34.8%	89 人
	具同地区	40.0%	14.8%	38.7%	40.6%	155 人
	東中筋地区	45.8%	16.7%	33.3%	37.5%	24 人
	中筋地区	48.5%	24.2%	21.2%	36.4%	33 人
	八束地区	51.9%	18.5%	29.6%	40.7%	27 人
	下田地区	31.6%	14.0%	28.1%	49.1%	57 人
	藤岡地区	27.8%	22.2%	22.2%	55.6%	18 人
	後川地区	41.2%	23.5%	50.0%		34 人
	大川筋地区	12.5%	18.8%	43.8%	50.0%	16 人
	富山地区	9.1%	9.1%	27.3%	72.7%	11 人
	津大地区	41.7%	8.3%	25.0%	45.8%	24 人
	江川崎地区	32.6%	25.6%	58.1%		43 人
	家族構成	ひとり暮らし	31.3%	14.1%	28.3%	51.5%
夫婦のみ		42.2%	12.8%	24.8%	44.6%	258 人
親と子 (二世大家族)		43.3%	17.6%	41.8%	35.2%	335 人
親と子と孫 (三世大家族)		60.0%	28.6%	60.0%	17.1%	35 人
その他		31.6%	10.5%	26.3%	63.2%	19 人
居住年数	5年未満	72.0%	28.0%	64.0%	8.0%	25 人
	5~10年未満	51.9%	25.9%	55.6%	29.6%	27 人
	10~20年未満	43.5%	14.5%	53.2%	24.2%	62 人
	20年以上	39.9%	14.8%	30.6%	44.2%	634 人

クレジットカード	流通系電子マネー (WALON、nanaco等)	スマホ決済アプリ (PayPay、d払いなど)	キャッシュレス決済は 利用していない
----------	-----------------------------	----------------------------	-----------------------

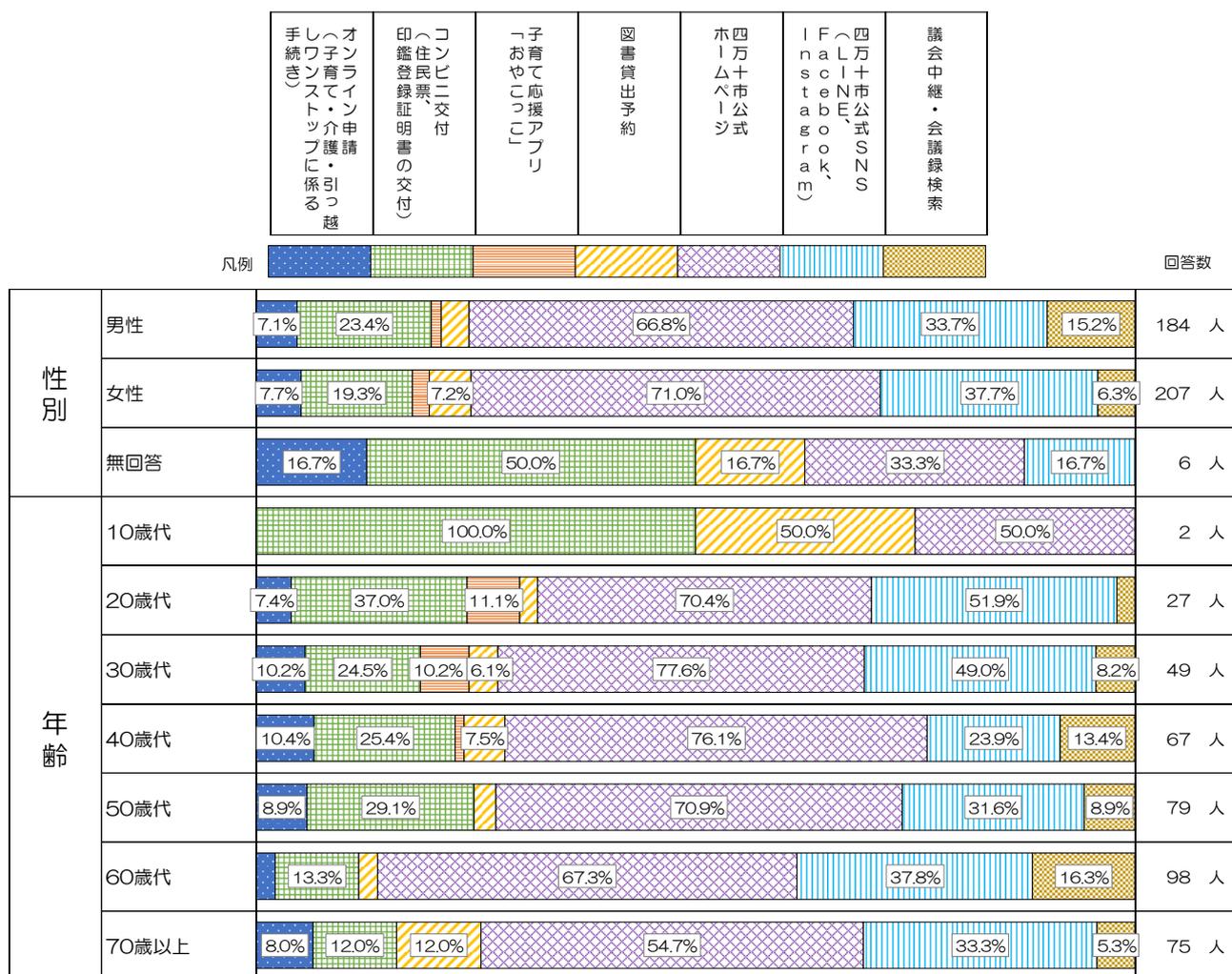
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

凡例  回答数

職業	職業	決済方法				回答数
		クレジットカード	流通系電子マネー	スマホ決済アプリ	キャッシュレス決済は利用していない	
職業	農林畜産業	32.4%	8.1%	18.9%	54.1%	37 人
	水産業	20.0%		40.0%	60.0%	5 人
	会社員	57.1%	18.8%	52.6%	20.8%	154 人
	自営業	43.8%	15.6%	25.0%	40.6%	64 人
	公務員	67.9%	28.6%	70.2%	9.5%	84 人
	団体職員	63.6%	9.1%	45.5%	22.7%	22 人
	アルバイト・パート	34.5%	19.0%	41.7%	34.5%	84 人
	学生	25.0%	25.0%	50.0%	37.5%	8 人
	家事専業	28.8%	9.6%	11.5%	69.2%	52 人
	無職	25.7%	11.0%	12.4%	62.9%	210 人
	その他	40.7%	14.8%	44.4%	37.0%	27 人
勤務(就学)地	四万十市内	51.2%	18.3%	45.6%	27.0%	371 人
	宿毛市	61.1%	22.2%	63.9%	11.1%	36 人
	土佐清水市	33.3%	25.0%	41.7%	41.7%	12 人
	黒潮町	58.3%	20.8%	62.5%	16.7%	24 人
	大月町			100.0%		1 人
	三原村	33.3%			66.7%	3 人
	その他	33.3%	23.8%	52.4%	38.1%	21 人

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (6) デジタル化について

【問29：四万十市のデジタル行政サービスについて、利用したことがあるものをお答えください。】のクロス集計



※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

手続(き) し(ワ) ン(ス) ト(ツ) ッ(プ) に(係) 引(つ) 越(越)	オン ライ ン申 請・ 介 護に 係 る	印 鑑 登 録 証 明 書 の 交 付 ( 住 民 票、 コ ン ビ ニ 交 付)	「子 育 て 応 援 ア プ リ  お や こ っ こ」	図 書 貸 出 予 約	四 万 十 市 公 式 ホ ム ペ ー ジ	四 万 十 市 公 式 F a c e b o o k ( L i n e S N S	議 会 中 継・ 会 議 録 検 索
---------------------------------------------------------------	-------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	----------------------------	-----------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

凡例

回答数

区分	地区/属性	7.4%	21.5%	9.9%	66.9%	42.1%	12.4%	回答数		
お住まいの地区	中村地区	7.4%	21.5%	9.9%	66.9%	42.1%	12.4%	121 人		
	東山地区	7.3%	16.4%		67.3%	43.6%		55 人		
	具同地区	8.0%	23.9%	8.0%	68.2%	33.0%	8.0%	88 人		
	東中筋地区	9.1%			90.9%	45.5%	18.2%	11 人		
	中筋地区	11.8%	23.5%	5.9%	64.7%	29.4%	11.8%	17 人		
	八東地区		22.2%		77.8%	44.4%		9 人		
	下田地区	10.7%	21.4%		67.9%	32.1%	14.3%	28 人		
	藤岡地区	12.5%	12.5%		75.0%	50.0%	25.0%	8 人		
	後川地区	5.6%	5.6%	11.1%	72.2%	16.7%	11.1%	18 人		
	大川筋地区	22.2%			66.7%	11.1%	33.3%	22.2%	22.2%	9 人
	富山地区	33.3%			100.0%				3 人	
	津大地区	8.3%	33.3%		83.3%	16.7%	25.0%		12 人	
	江川崎地区		23.5%		70.6%		17.6%		17 人	
	家族構成	ひとり暮らし		31.7%		56.1%	31.7%	9.8%	41 人	
夫婦のみ		7.3%	15.4%	7.3%	66.7%	41.5%	10.6%	123 人		
親と子 (二世家族)		6.4%	23.8%	6.4%	74.3%	32.2%	9.9%	202 人		
親と子と孫 (三世家族)		25.0%	20.8%		50.0%	41.7%	12.5%	24 人		
その他			16.7%	16.7%	66.7%	33.3%		6 人		
居住年数	5年未満	9.1%	40.9%	18.2%	68.2%	36.4%		22 人		
	5~10年未満	5.6%	27.8%		72.2%	38.9%	5.6%	18 人		
	10~20年未満	13.2%	26.3%	5.3%	10.5%	60.5%	36.8%	5.3%	38 人	
	20年以上	7.0%	19.6%	5.4%	69.3%	35.4%	11.1%	316 人		

議会中継・会議録検索	四万十市公式SNS (LINE、Facebook、Instagram)	四万十市公式ホームページ	図書貸出予約	子育て応援アプリ「おやこっこ」	コンビニ交付 (住民票印鑑登録証明書の交付)	オンライン申請 (子育て・介護・引っ越しワンストップに係る手続き)
------------	----------------------------------------	--------------	--------	-----------------	---------------------------	--------------------------------------

凡例



回答数

職業	農林畜産業	水産業	会社員	自営業	公務員	団体職員	アルバイト・パート	学生	家事専業	無職	その他
	6.3%	25.0%	68.8%	25.0%	12.5%						
		100.0%									
	8.9%	24.8%	5.9%	65.3%	32.7%	5.9%					
		21.9%	6.3%	65.6%	31.3%	12.5%					
	7.5%	22.4%		77.6%	46.3%	17.9%					
	14.3%	14.3%	7.1%	92.9%	42.9%	14.3%					
	7.8%	21.6%	5.9%	66.7%	43.1%	5.9%					
		50.0%	25.0%	75.0%	25.0%						
	14.3%	19.0%	76.2%	23.8%							
	7.5%	14.9%	62.7%	34.3%	13.4%						
	10.0%	30.0%	5.0%	10.0%	60.0%	30.0%	5.0%				
勤務(就学)地	四万十市内	宿毛市	土佐清水市	黒潮町	大月町	三原村	その他				
	6.8%	23.4%	71.1%	37.9%	11.5%						
	7.4%	11.1%	7.4%	66.7%	37.0%						
	33.3%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%						
	13.3%	46.7%	6.7%	6.7%	73.3%	46.7%	6.7%				
		50.0%	50.0%								
	6.7%	26.7%	20.0%	60.0%	26.7%						

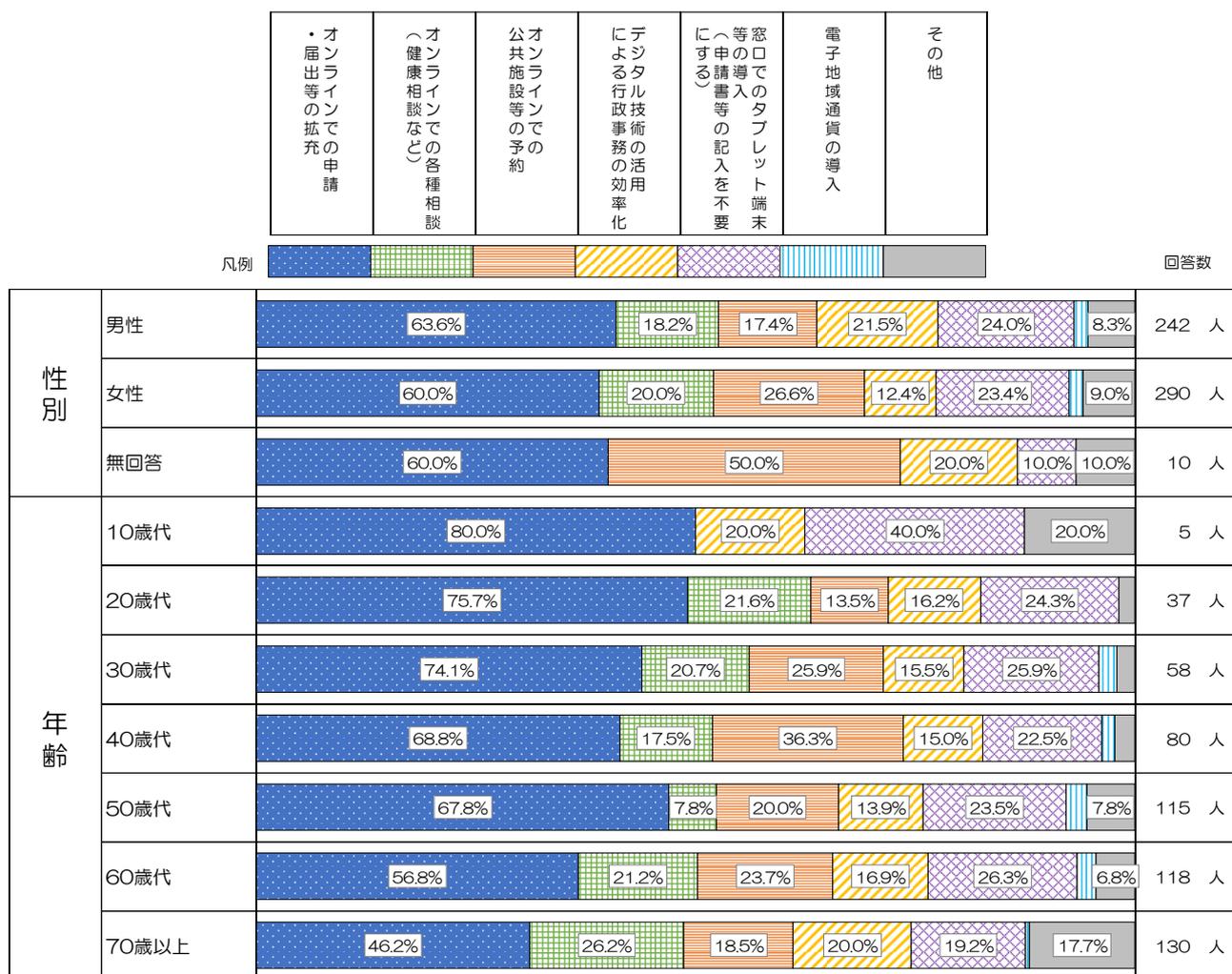
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(6) デジタル化について

【問30：今後、四万十市でデジタル化を期待する手続きやサービスは何ですか。】

のクロス集計



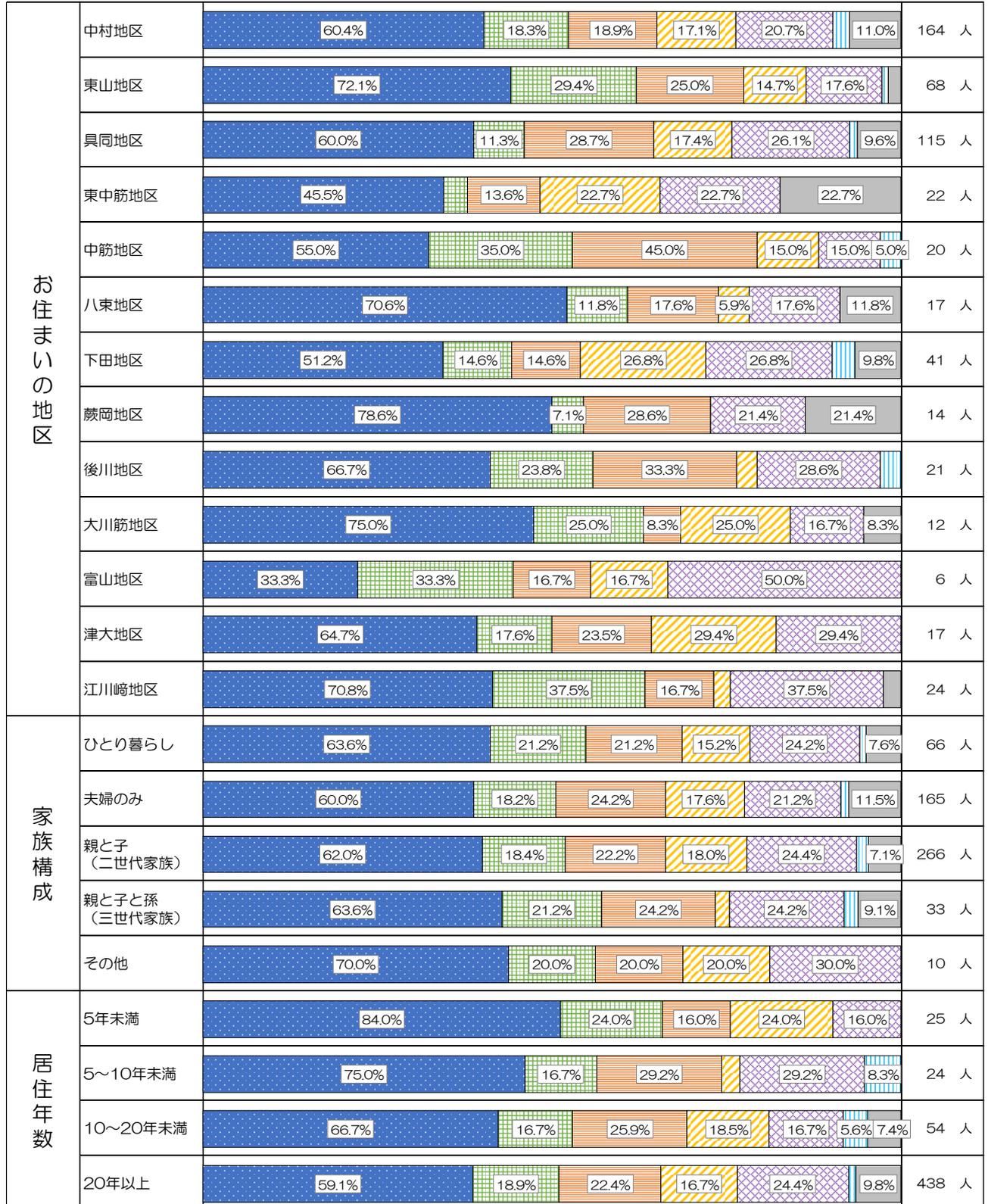
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

オンラインでの申請 ・届出等の拡充	オンラインでの各種相談 (健康相談など)	オンラインでの 公共施設等の予約	デジタル技術の活用 による行政事務の効率化	窓口でのタブレット端末 等への導入 (申請書等の記入を不要 にする)	電子地域通貨の導入	その他
----------------------	-------------------------	---------------------	--------------------------	---------------------------------------------	-----------	-----

凡例

回答数



・オンラインでの申請 ・届出等の拡充	オンラインでの各種相談 (健康相談など)	オンラインでの 公共施設等の予約	デジタル技術の活用 による行政事務の効率化	窓口でのタブレット端末 等の導入 (申請書の記入を不要にする)	電子地域通貨の導入	その他
-----------------------	-------------------------	---------------------	--------------------------	---------------------------------------	-----------	-----

凡例



回答数

職業	職業	回答内容							回答数
		・オンラインでの申請 ・届出等の拡充	オンラインでの各種相談 (健康相談など)	オンラインでの 公共施設等の予約	デジタル技術の活用 による行政事務の効率化	窓口でのタブレット端末 等の導入 (申請書の記入を不要にする)	電子地域通貨の導入	その他	
職業	農林畜産業	76.2%	23.8%	14.3%	19.0%	23.8%	9.5%	21人	
	水産業	100.0%	50.0%					2人	
	会社員	72.5%	16.8%	27.5%	11.5%	22.9%		131人	
	自営業	43.6%	15.4%	20.5%	17.9%	20.5%	20.5%	39人	
	公務員	74.1%	17.3%	22.2%	14.8%	19.8%		81人	
	団体職員	78.9%	10.5%	31.6%	21.1%	10.5%	10.5%	19人	
	アルバイト・パート	55.2%	17.9%	14.9%	23.9%	41.8%	7.5%	67人	
	学生	62.5%		25.0%		50.0%	12.5%	8人	
	家事専業	46.4%	32.1%	35.7%	10.7%	21.4%	7.1%	28人	
	無職	51.2%	19.0%	20.7%	17.4%	19.8%	14.9%	121人	
	その他	52.2%	30.4%	30.4%	21.7%	17.4%	13.0%	23人	
勤務(就学)地	四万十市内	66.0%	16.2%	23.2%	18.5%	24.6%	6.7%	297人	
	宿毛市	75.0%	34.4%	18.8%	9.4%	21.9%		32人	
	土佐清水市	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	11人	
	黒潮町	70.0%	20.0%	25.0%	10.0%	15.0%	15.0%	20人	
	大月町	100.0%		100.0%				1人	
	三原村	66.7%				66.7%		3人	
	その他	61.1%	11.1%	5.6%	22.2%	33.3%	11.1%	18人	

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (6) デジタル化について

【問31：今後、四万十市ではどういった分野でデジタル化を進めるべきとお考えですか。】のクロス集計

子ども・子育て	観光・商工業	一次産業 (農畜林水産業)	防災・消防	保健・医療・健康	高齢者・障がい者福祉	公共交通	学校教育	生涯学習・社会教育	スポーツ・文化振興	都市インフラ (道路・上下水道 ・情報基盤等)	環境保全	税務	その他
---------	--------	------------------	-------	----------	------------	------	------	-----------	-----------	-------------------------------	------	----	-----

凡例  回答数

性別	年齢	分野													回答数
		子ども・子育て	観光・商工業	一次産業 (農畜林水産業)	防災・消防	保健・医療・健康	高齢者・障がい者福祉	公共交通	学校教育	生涯学習・社会教育	スポーツ・文化振興	都市インフラ (道路・上下水道 ・情報基盤等)	環境保全	税務	
性別	男性	26.3%	20.0%	9.8%	29.1%	44.9%	19.6%	15.8%	21.1%	6.0%	5.6%	14.0%	14.7%	5.6%	285 人
	女性	28.4%	14.4%	8.4%	25.0%	51.3%	16.6%	18.8%	23.4%	6.3%	7.8%	17.8%	5.3%	320 人	
	無回答	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	55.6%	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	9 人	
年齢	10歳代	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	5 人	
	20歳代	35.1%	13.5%	18.9%	48.6%	16.2%	29.7%	27.0%	13.5%	27.0%	5.4%	37 人			
	30歳代	50.0%	21.0%	22.6%	50.0%	8.1%	11.3%	30.6%	25.8%	62 人					
	40歳代	35.4%	25.6%	12.2%	14.6%	42.7%	17.1%	30.5%	7.3%	6.1%	12.2%	8.5%	19.5%	82 人	
	50歳代	26.7%	12.1%	9.5%	25.9%	46.6%	11.2%	21.6%	19.0%	6.0%	13.8%	20.7%	116 人		
	60歳代	21.9%	19.2%	11.0%	33.6%	52.1%	17.1%	12.3%	23.3%	8.2%	8.9%	5.5%	19.2%	146 人	
	70歳以上	18.0%	14.4%	9.6%	30.5%	50.3%	34.1%	19.2%	16.2%	6.0%	11.4%	9.6%	167 人		

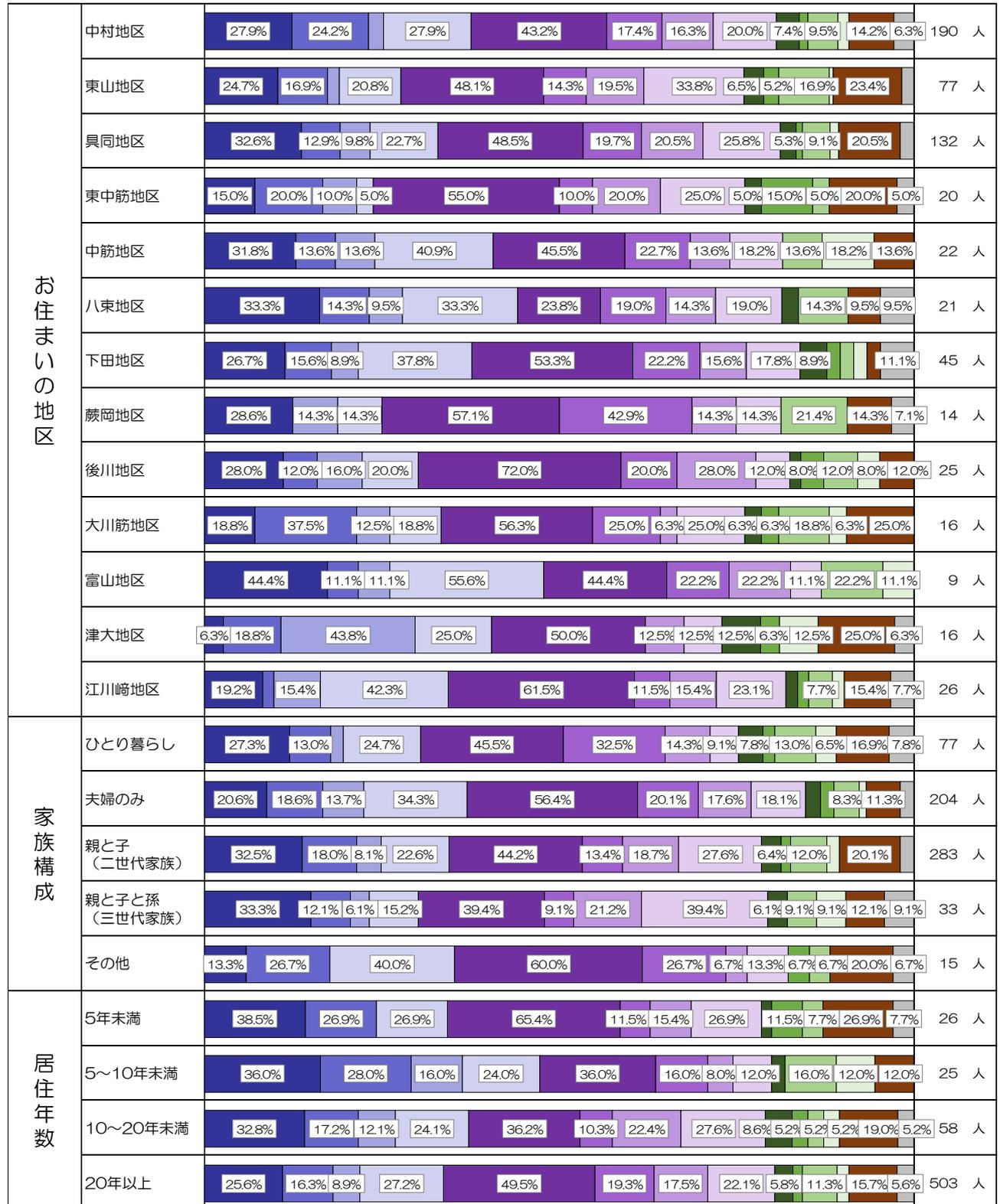
※ 複数回答のため、  
 合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

子ども・子育て	観光・商工業	(一次産業 農畜林水産業)	防災・消防	保健・医療・健康	高齢者・障がい者福祉	公共交通	学校教育	生涯学習・社会教育	スポーツ・文化振興	(道路・上下水道 情報基盤等)	都市インフラ	環境保全	税務	その他
---------	--------	------------------	-------	----------	------------	------	------	-----------	-----------	--------------------	--------	------	----	-----

凡例

回答数



子ども・子育て	観光・商工業	(一次産業 農畜林水産業)	防災・消防	保健・医療・健康	高齢者・障がい者福祉	公共交通	学校教育	生涯学習・社会教育	スポーツ・文化振興	(道路・上下水道 情報基盤等)	都市インフラ	環境保全	税務	その他
---------	--------	------------------	-------	----------	------------	------	------	-----------	-----------	--------------------	--------	------	----	-----

凡例

回答数

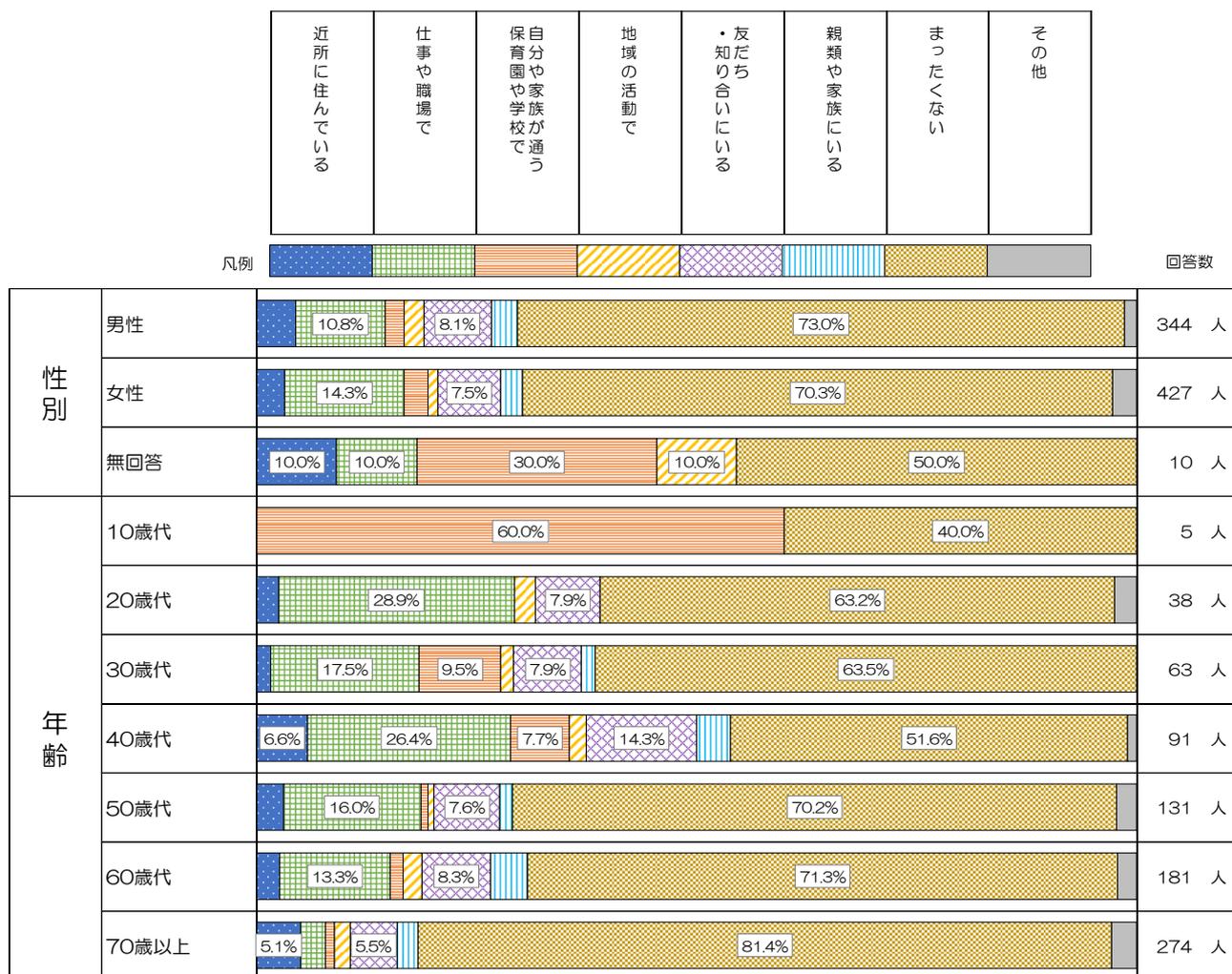
職業	職業	職業														回答数
		子ども・子育て	観光・商工業	(一次産業 農畜林水産業)	防災・消防	保健・医療・健康	高齢者・障がい者福祉	公共交通	学校教育	生涯学習・社会教育	スポーツ・文化振興	(道路・上下水道 情報基盤等)	都市インフラ	環境保全	税務	
職業	農林畜産業	8.3%	8.3%	45.8%	29.2%	66.7%	12.5%	8.3%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%				24 人
	水産業			100.0%	66.7%	33.3%	100.0%									3 人
	会社員	29.2%	16.0%	6.3%	21.5%	50.0%	11.8%	20.8%	22.2%	6.9%	15.3%	22.9%				144 人
	自営業	17.5%	29.8%	12.3%	33.3%	38.6%	21.1%	12.3%	14.0%	5.3%	5.3%	12.3%	5.3%	5.3%	8.8%	57 人
	公務員	46.3%	17.5%	10.0%	23.8%	38.8%	10.0%	18.8%	35.0%	6.3%	6.3%	27.5%	3.8%			80 人
	団体職員	26.3%	15.8%	26.3%	26.3%	42.1%	31.6%	21.1%	5.3%	10.5%	10.5%	10.5%	21.1%			19 人
	アルバイト・パート	36.2%	17.4%	5.8%	24.6%	50.7%	11.6%	8.7%	29.0%	7.2%	8.7%	14.5%				69 人
	学生	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%					8 人
	家事専業	20.6%	14.7%	32.4%	50.0%	32.4%	17.6%	26.5%	8.8%	8.8%	5.9%					34 人
	無職	20.3%	14.2%	6.8%	29.1%	51.4%	27.0%	22.3%	14.2%	5.4%	7.4%	5.4%	10.1%	10.8%		148 人
	その他	28.0%	24.0%	36.0%	60.0%	8.0%	8.0%	36.0%	20.0%	28.0%	8.0%					25 人
勤務(就学)地	四万十市内	31.7%	19.8%	11.3%	24.1%	48.5%	13.7%	15.2%	24.7%	5.8%	11.9%	18.3%			328 人	
	宿毛市	40.0%	11.4%	40.0%	31.4%	14.3%	25.7%	31.4%	8.6%	22.9%					35 人	
	土佐清水市	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	36.4%	9.1%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	45.5%			11 人	
	黒潮町	28.6%	19.0%	23.8%	33.3%	14.3%	19.0%	19.0%	9.5%	9.5%	14.3%	14.3%			21 人	
	大月町	100.0%			100.0%			100.0%							1 人	
	三原村	66.7%			33.3%			66.7%				33.3%			3 人	
	その他	9.5%	9.5%	14.3%	38.1%	57.1%	14.3%	14.3%	19.0%	9.5%	19.0%	9.5%	9.5%		21 人	

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(7) 多文化共生社会について

【問33：あなたは、外国人の方と身近に関わる機会がありますか。】のクロス集計



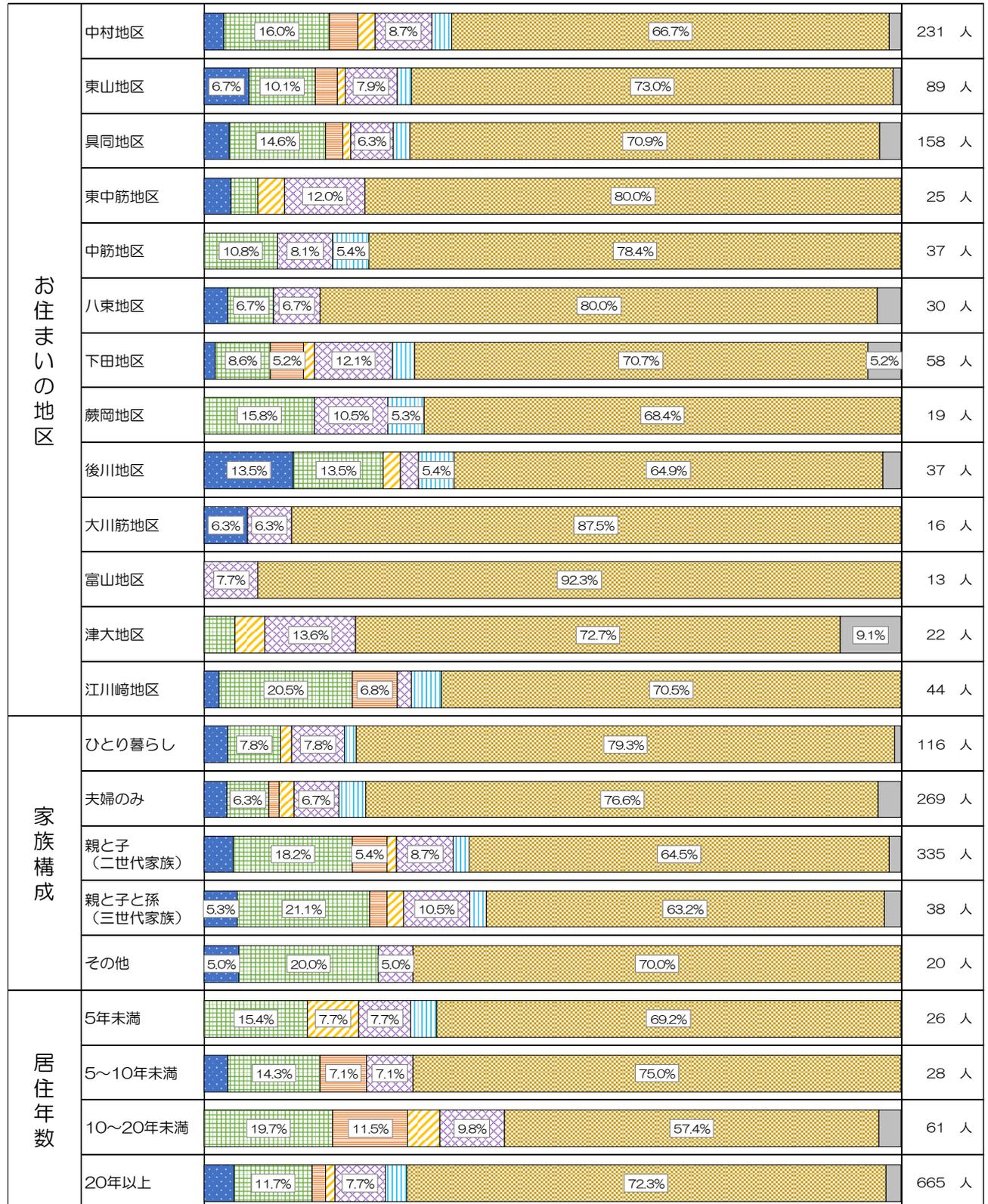
※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

近所に住んでいる	仕事や職場で	自分や家族が通う 保育園や学校で	地域の活動で	・友だち 知り合いに いる	親類や家族に いる	まったく ない	その他
----------	--------	---------------------	--------	---------------------	--------------	------------	-----

凡例

回答数



近所に住んでいる	仕事や職場で	自分や家族が通う 保育園や学校で	地域の活動で	・友だち 知り合いにいる	親類や家族にいる	まったくない	その他
----------	--------	---------------------	--------	-----------------	----------	--------	-----

凡例



回答数

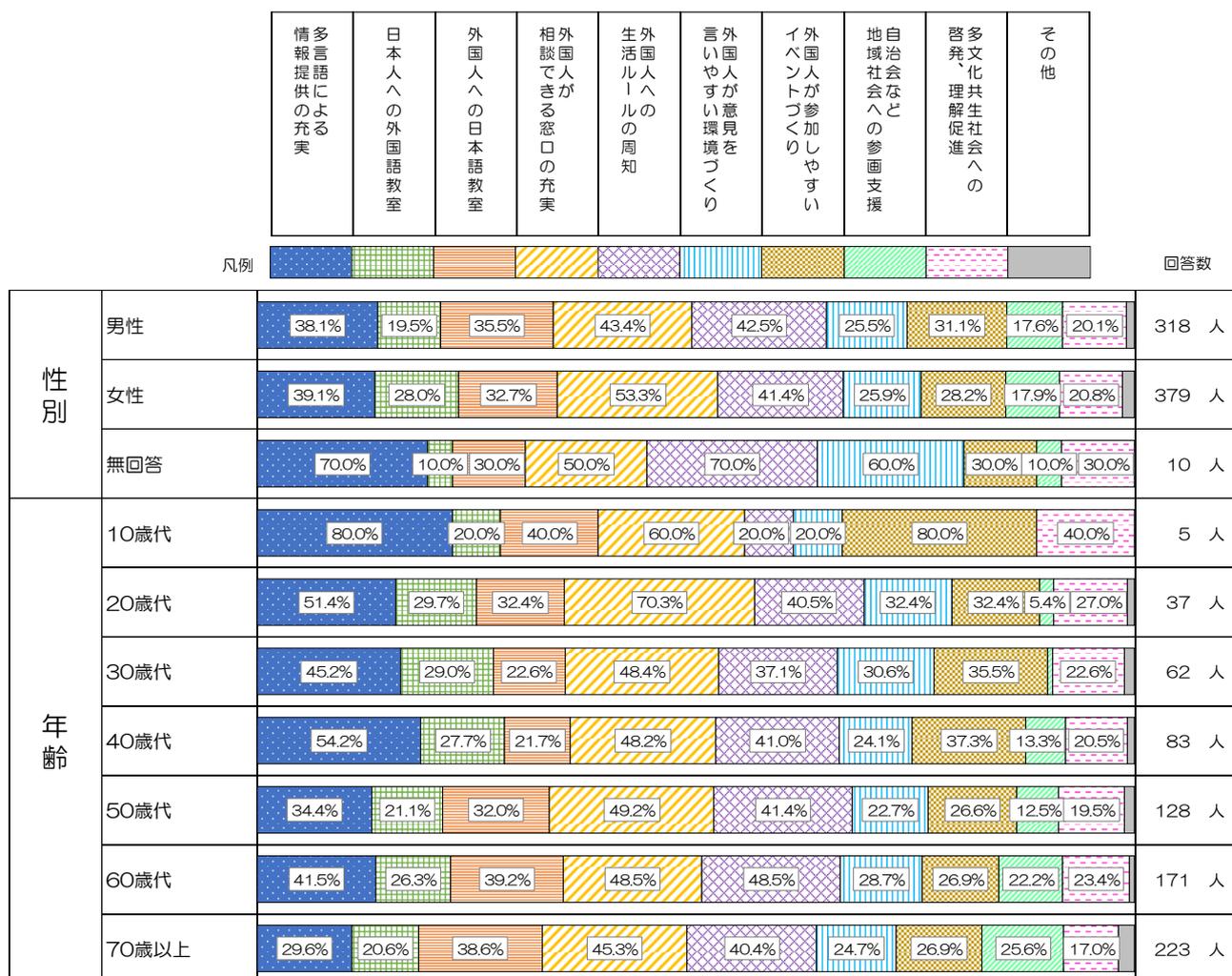
職業	職業別								回答数	
	近所に住んでいる	仕事や職場で	自分や家族が通う 保育園や学校で	地域の活動で	・友だち 知り合いにいる	親類や家族にいる	まったくない	その他		
職業	農林畜産業	7.9%					81.6%	5.3%	38 人	
	水産業		25.0%				50.0%	25.0%	4 人	
	会社員		17.1%			11.2%		67.8%	152 人	
	自営業	7.0%	15.5%			15.5%		62.0%	71 人	
	公務員		37.3%		6.0%	9.6%		54.2%	83 人	
	団体職員		14.3%			9.5%		66.7%	21 人	
	アルバイト・パート	5.9%	24.7%			8.2%		57.6%	85 人	
	学生			37.5%				62.5%	8 人	
	家事専業		6.7%	5.0%	5.0%			75.0%	60 人	
	無職							86.3%	227 人	
	その他	6.9%	10.3%			10.3%		10.3%	65.5%	6.9%
勤務（就学）地	四万十市内		17.8%			10.0%		63.3%	371 人	
	宿毛市	5.4%	21.6%		5.4%	16.2%		59.5%	37 人	
	土佐清水市		41.7%					58.3%	12 人	
	黒潮町		37.5%			8.3%		62.5%	24 人	
	大月町							100.0%	2 人	
	三原村		33.3%					66.7%	3 人	
	その他	13.6%				18.2%		63.6%	22 人	

※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と

(7) 多文化共生社会について

【問34：日本人と外国人が共に安心して暮らすためには、行政はどのようなことに取り組むべきと思いますか。】のクロス集計



※ 複数回答のため、合計が100%にならない  
 ※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

情多 報言 提供 の充 実	日 本 人 へ の 外 国 語 教 室	外 国 人 へ の 日 本 語 教 室	外 国 人 が 相 談 で き る 窓 口 の 充 実	外 国 人 へ の 生 活 ル ー ル の 周 知	外 国 人 が 意 見 を 言 い や す い 環 境 づ く り	外 国 人 が 参 加 し や す い イ ベ ン ト づ く り	自 治 社 会 な ど 地 域 社 会 へ の 参 画 支 援	多 文 化 共 生 社 会 へ の 啓 発 、 理 解 促 進	そ の 他
---------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-------------

凡例

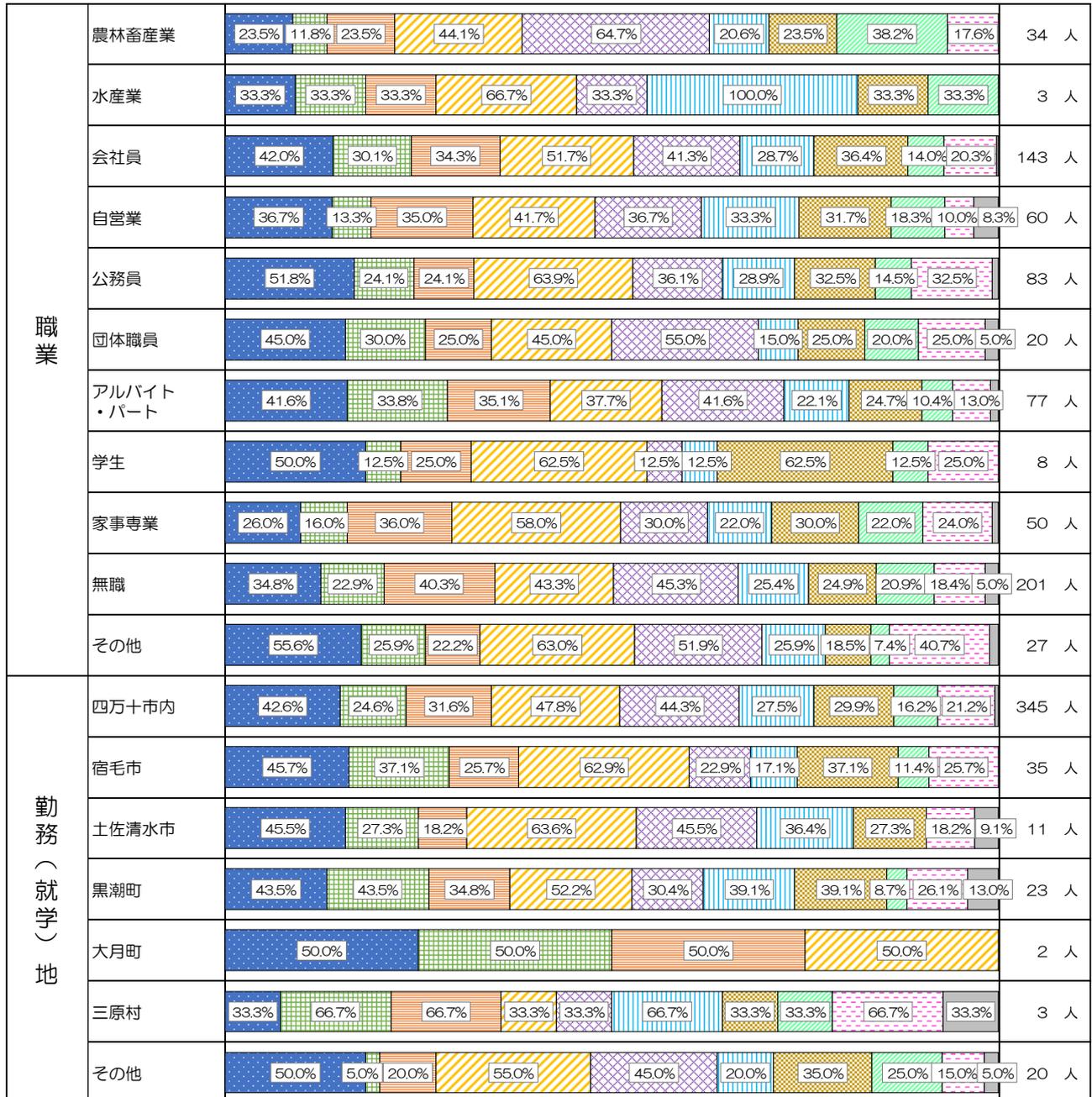
回答数

お 住 ま い の 地 区	中村地区	39.0%	24.3%	36.2%	48.6%	40.5%	26.2%	31.9%	14.8%	20.5%	210 人	
	東山地区	40.5%	19.0%	29.8%	45.2%	46.4%	27.4%	31.0%	11.9%	22.6%	84 人	
	具同地区	45.1%	26.4%	36.1%	51.4%	36.8%	29.9%	30.6%	17.4%	23.6%	144 人	
	東中筋地区	16.7%	20.8%	29.2%	37.5%	50.0%	8.3%	20.8%	25.0%	8.3%	12.5%	24 人
	中筋地区	39.4%	21.2%	36.4%	54.5%	27.3%	15.2%	15.2%	24.2%	18.2%	33 人	
	八束地区	20.8%	29.2%	29.2%	37.5%	41.7%	16.7%	25.0%	16.7%	25.0%	24 人	
	下田地区	38.2%	32.7%	36.4%	56.4%	52.7%	30.9%	30.9%	21.8%	18.2%	55 人	
	藤岡地区	37.5%	31.3%	31.3%	37.5%	31.3%	18.8%	37.5%	18.8%	18.8%	16 人	
	後川地区	34.4%	18.8%	28.1%	46.9%	31.3%	25.0%	40.6%	15.6%	12.5%	6.3%	32 人
	大川筋地区	43.8%	18.8%	25.0%	43.8%	56.3%	43.8%	37.5%	12.5%	18.8%	6.3%	16 人
	富山地区	44.4%	22.2%	22.2%	22.2%	66.7%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	9 人	
	津大地区	50.0%	20.0%	20.0%	65.0%	55.0%	25.0%	20.0%	40.0%	35.0%	20 人	
	江川崎地区	35.9%	23.1%	43.6%	53.8%	48.7%	28.2%	23.1%	23.1%	17.9%	39 人	
家 族 構 成	ひとり暮らし	36.7%	23.5%	34.7%	42.9%	45.9%	25.5%	27.6%	20.4%	11.2%	98 人	
	夫婦のみ	35.0%	24.6%	38.8%	44.2%	46.7%	25.8%	27.5%	23.3%	20.8%	240 人	
	親子 (二世代家族)	44.7%	23.2%	29.6%	52.4%	40.2%	26.4%	32.2%	13.8%	23.8%	311 人	
	親子と孫 (三世代家族)	30.0%	30.0%	32.5%	62.5%	32.5%	27.5%	22.5%	12.5%	22.5%	7.5%	40 人
	その他	35.3%	17.6%	35.3%	52.9%	23.5%	29.4%	29.4%	5.9%	5.9%	17 人	
居 住 年 数	5年未満	34.6%	30.8%	34.6%	65.4%	42.3%	30.8%	26.9%	15.4%	30.8%	7.7%	26 人
	5~10年未満	53.6%	25.0%	28.6%	50.0%	46.4%	28.6%	32.1%	10.7%	28.6%	7.1%	28 人
	10~20年未満	44.1%	33.9%	23.7%	49.2%	37.3%	39.0%	37.3%	8.5%	27.1%	59 人	
	20年以上	38.3%	22.8%	35.1%	48.2%	42.5%	24.5%	28.5%	19.1%	19.1%	593 人	

多言語による 情報提供の充実	日本人への 外国語教室	外国人への 日本語教室	外国人が 相談できる 窓口の充実	外国人への 生活ルールの 周知	外国人が 意見やすい 環境づくり	外国人が 参加しやすい イベントづくり	自治会など 地域社会への 参画支援	多文化共生 社会への 啓発、理解 促進	その他
-------------------	----------------	----------------	------------------------	-----------------------	------------------------	---------------------------	-------------------------	------------------------------	-----

凡例

回答数

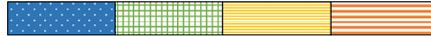


※ 複数回答のため、  
合計が 100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (8) SDGs（エスディーゼーズ）について  
 【問35：あなたは、SDGsについて知っていますか。】のクロス集計

詳しくも知 っている	内容をある 程度、 知 っている	内容はわ からない が、 聞いたこ とはある	ま ったく 知 ら な い
---------------	---------------------------	------------------------------------	------------------------------

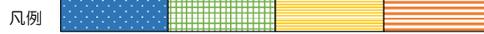
※ 0.0%の表記は省略

凡例  回答数

性別	属性	回答内容				回答数
		詳しくも知 っている	内容をある 程度、 知 っている	内容はわ からない が、 聞いたこ とはある	ま ったく 知 ら な い	
性別	男性	5.6%	39.3%	27.6%	27.6%	341 人
	女性	4.3%	42.8%	30.4%	22.6%	421 人
	無回答	10.0%	60.0%	10.0%	20.0%	10 人
年齢	10歳代	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	5 人
	20歳代	13.2%	57.9%	23.7%	5.3%	38 人
	30歳代	1.6%	63.5%	23.8%	11.1%	63 人
	40歳代	10.8%	59.1%	22.6%	7.5%	93 人
	50歳代	6.9%	52.7%	30.5%	9.9%	131 人
	60歳代	4.4%	43.2%	31.7%	20.8%	183 人
	70歳以上	1.5%	19.9%	31.0%	47.5%	261 人

詳しくも知っている	内容はある程度、知っている	内容はわからないが、聞いたことはある	まったく知らない
-----------	---------------	--------------------	----------

※ 0.0%の表記は省略

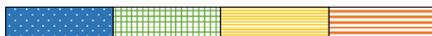


区分	項目	4.0%	28.0%	20.0%	44.0%	回答数
お住まいの地区	中村地区	4.0%	48.0%	26.2%	21.8%	225 人
	東山地区	6.7%	47.2%	24.7%	21.3%	89 人
	具同地区	6.9%	43.4%	28.3%	21.4%	159 人
	東中筋地区	8.0%	28.0%	20.0%	44.0%	25 人
	中筋地区	11.1%	27.8%	36.1%	25.0%	36 人
	八束地区	3.2%	32.3%	29.0%	35.5%	31 人
	下田地区	5.1%	39.0%	32.2%	23.7%	59 人
	藤岡地区		30.0%	40.0%	30.0%	20 人
	後川地区	2.9%	29.4%	41.2%	26.5%	34 人
	大川筋地区	5.9%	52.9%	17.6%	23.5%	17 人
	富山地区		25.0%	33.3%	41.7%	12 人
	津大地区		40.9%	27.3%	31.8%	22 人
	江川崎地区		29.3%	41.5%	29.3%	41 人
	家族構成	ひとり暮らし	7.4%	31.5%	31.5%	29.6%
夫婦のみ		4.6%	38.8%	27.0%	29.7%	263 人
親と子 (二世大家族)		4.7%	47.8%	29.8%	17.7%	339 人
親と子と孫 (三世大家族)			46.2%	25.6%	28.2%	39 人
その他		5.0%	20.0%	45.0%	30.0%	20 人
居住年数	5年未満	26.9%	42.3%	30.8%		26 人
	5～10年未満	7.1%	60.7%	10.7%	21.4%	28 人
	10～20年未満	11.3%	61.3%	21.0%	6.5%	62 人
	20年以上	3.2%	38.6%	30.7%	27.5%	655 人

詳しく知っている	内容を知っている程度、	内容はわからないが、聞いたことはある	まったく知らない
----------	-------------	--------------------	----------

※ 0.0%の表記は省略

凡例



回答数

職業	職業	回答内容				回答数
		1 (Blue with dots)	2 (Green with grid)	3 (Yellow with dots)	4 (Orange with stripes)	
職業	農林畜産業	0.0%	40.5%	29.7%	29.7%	37 人
	水産業	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	4 人
	会社員	5.3%	53.3%	27.6%	13.8%	152 人
	自営業	5.8%	31.9%	31.9%	30.4%	69 人
	公務員	10.7%	66.7%	15.5%	7.1%	84 人
	団体職員	9.5%	57.1%	23.8%	9.5%	21 人
	アルバイト・パート	3.5%	39.5%	39.5%	17.4%	86 人
	学生	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	8 人
	家事専業	3.5%	22.8%	35.1%	38.6%	57 人
	無職	1.3%	30.0%	30.0%	38.6%	223 人
	その他	14.3%	46.4%	28.6%	10.7%	28 人
勤務(就学)地	四万十市内	7.0%	47.8%	29.3%	15.9%	372 人
	宿毛市	8.1%	43.2%	32.4%	16.2%	37 人
	土佐清水市	8.3%	50.0%	16.7%	25.0%	12 人
	黒潮町	4.2%	58.3%	20.8%	16.7%	24 人
	大月町	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	2 人
	三原村	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	3 人
	その他	0.0%	59.1%	27.3%	13.6%	22 人

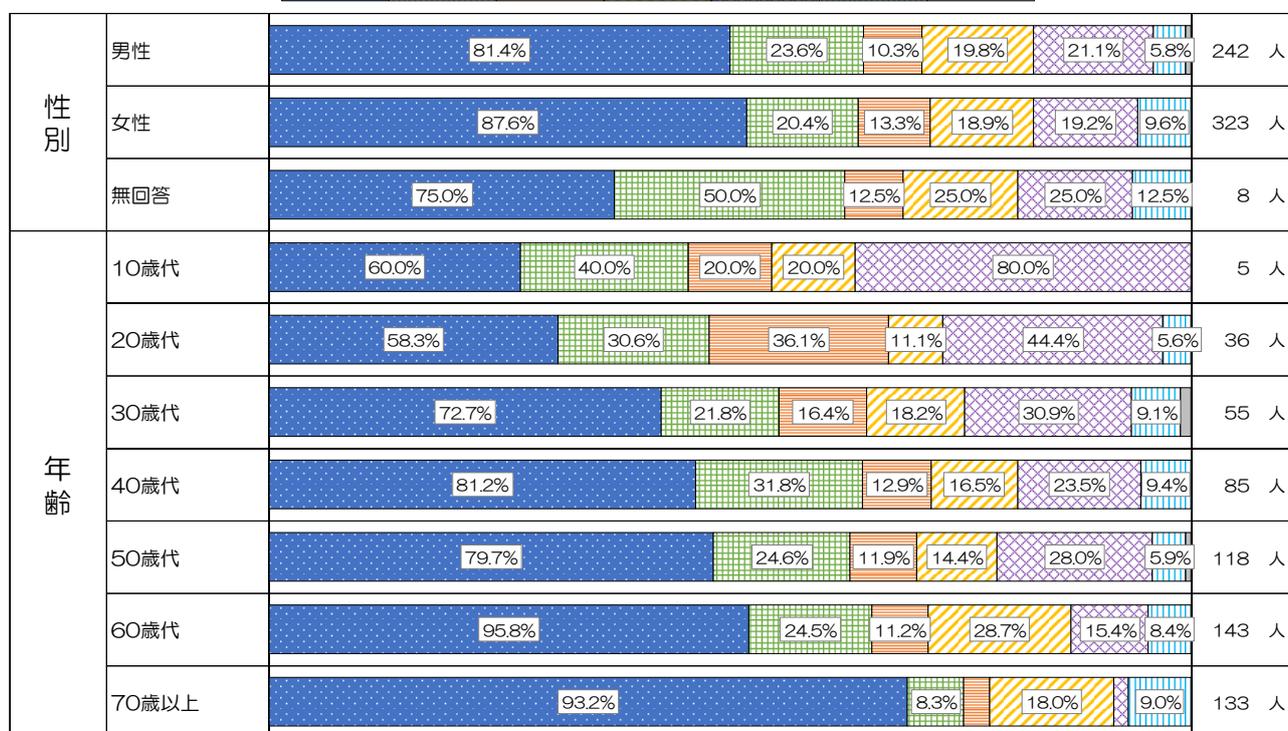
(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (8) SDGs（エスディーゼーズ）について

【問36：あなたは、SDGsを何で知りましたか。】のクロス集計

※【問35：SDGsについて】で「内容も含めて詳しく知っている」「内容をある程度、知っている」「内容はわからないが、聞いたことはある」と回答した人が対象

テレビ・ラジオ・新聞	ホーム タム ページ や ネット	INS t a g r a k 、 F a c t s t a b l e 、 な ど	S N S サ ー ビ ス （ L I N E 、 E 、 等）	雑 誌 ・ 書 籍	仕 事 ・ 職 場 ・ 学 校	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人	そ の 他
------------	------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-------------

凡例  回答数

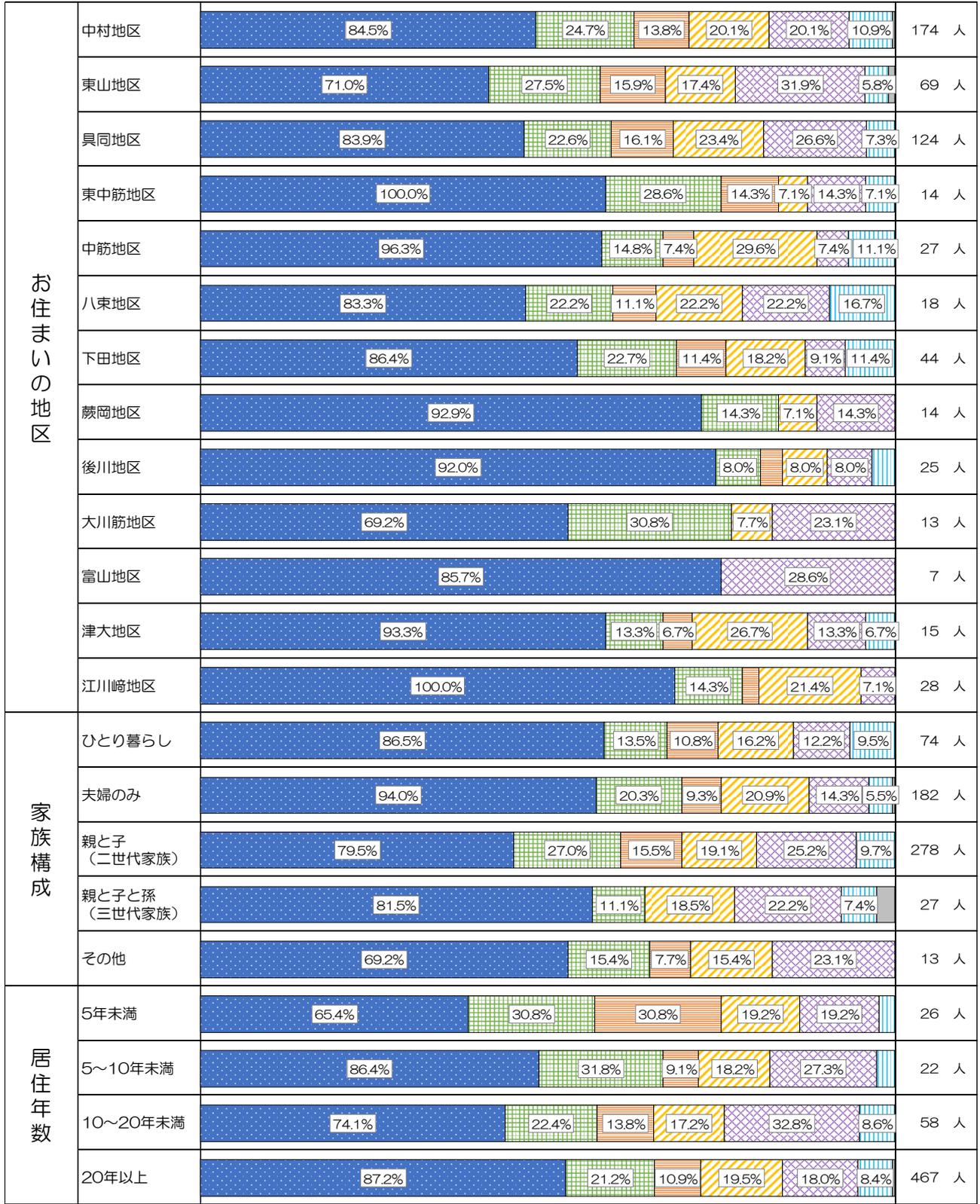


※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

※複数回答のため、  
合計が100%に  
ならない  
※5.0%未満の  
表記は省略

テレビ・ラジオ・新聞	ホームページや インターネット	Instagram、 LINE、Facebook など	SNSサービス	雑誌・書籍	仕事・職場・学校	家族・知人・友人	その他
------------	--------------------	-----------------------------------	---------	-------	----------	----------	-----

凡例  回答数



テレビ・ラジオ・新聞	ホーム タム ページ や ネット	INS ta gra m ( な ど)	S N S サ ー ビ ス ( L I N E 、 F a c e b o o k 、 I n s t a g r a m など)	雑誌・書籍	仕事・職場・学校	家族・知人・友人	その他
------------	------------------------------	---------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	----------	----------	-----

凡例



回答数

職業	職業	割合 (%)							回答数
		仕事・職場・学校	INSstagramなど	雑誌・書籍	ホームタムページやネット	SNSサービス	家族・知人・友人	テレビ・ラジオ・新聞	
職業	農林畜産業	100.0%	16.0%	8.0%	12.0%	8.0%			25 人
	水産業	100.0%							2 人
	会社員	81.7%	25.2%	16.0%	14.5%	26.7%	7.6%		131 人
	自営業	89.4%	19.1%	10.6%	23.4%	10.6%	8.5%		47 人
	公務員	74.4%	43.6%	21.8%	23.1%	53.8%	6.4%		78 人
	団体職員	73.7%	15.8%	15.8%	21.1%	36.8%	10.5%	5.3%	19 人
	アルバイト・パート	84.1%	17.4%	10.1%	18.8%	11.6%	8.7%		69 人
	学生	50.0%	62.5%	37.5%	12.5%	62.5%			8 人
	家事専業	97.1%	11.8%	5.9%	20.6%	14.7%			34 人
	無職	91.8%	10.4%		20.1%		9.0%		134 人
	その他	76.0%	36.0%	16.0%	28.0%	16.0%	8.0%		25 人
勤務(就学)地	四万十市内	83.9%	25.5%	13.2%	17.7%	23.2%	7.4%		310 人
	宿毛市	70.0%	20.0%	23.3%	20.0%	40.0%			30 人
	土佐清水市	55.6%	33.3%	11.1%	33.3%	66.7%			9 人
	黒潮町	75.0%	45.0%	30.0%	30.0%	45.0%	10.0%		20 人
	大月町	100.0%				100.0%			1 人
	三原村	100.0%		100.0%	50.0%	100.0%	50.0%		2 人
	その他	68.4%	47.4%	21.1%	21.1%	31.6%	5.3%		19 人

※ 複数回答のため、  
合計が100%にならない  
※ 5.0%未満の表記は省略

(1) あなたご自身に関することについて（回答者の属性）【問1～7】と  
 (8) SDGs（エスディーゼーズ）について

【問37：あなたは、SDGsを意識して取り組んでいることはありますか。】

のクロス集計

※【問35：SDGsについて】で「内容も含めて詳しく知っている」「内容をある程度、知っている」「内容はわからないが、聞いたことはある」と回答した人が対象

こ 既 と が 取 り 組 ん で い る	予 今 後 、 取 り 組 む	わ 何 を 取 り 組 み た い ば い が 、 か	予 取 り 組 ん で い な い （ 今 後 も 取 り 組 む な い ）
-----------------------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 0.0%の表記は省略

凡例

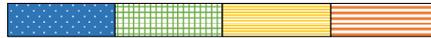
回答数

性別	属性	回答割合				回答数
		既に取 り組 んで い る	今 後 、 取 り 組 む	何 を 取 り 組 み た い ば い が 、 か	取 り 組 ん で い な い （ 今 後 も 取 り 組 む な い ）	
性別	男性	29.6%	12.2%	36.5%	21.7%	230 人
	女性	37.3%	6.8%	42.5%	13.3%	308 人
	無回答	37.5%	0.0%	37.5%	25.0%	8 人
年齢	10歳代	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	5 人
	20歳代	27.8%	11.1%	47.2%	13.9%	36 人
	30歳代	29.6%	18.5%	40.7%	11.1%	54 人
	40歳代	35.7%	10.7%	39.3%	14.3%	84 人
	50歳代	45.6%	6.1%	28.9%	19.3%	114 人
	60歳代	39.8%	6.8%	41.4%	12.0%	133 人
	70歳以上	19.7%	8.2%	45.9%	26.2%	122 人

既に取組んでいる	今後、取組む予定である	取組みたいが、わからない	取組んでいない(今後取組む予定もない)
----------	-------------	--------------	---------------------

※ 0.0%の表記は省略

凡例

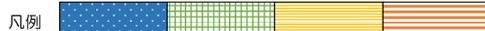


回答数

区分	地区/属性	既に取組んでいる	今後、取組む予定である	取組みたいが、わからない	取組んでいない(今後取組む予定もない)	回答数
お住まいの地区	中村地区	35.1%	9.4%	38.6%	17.0%	171 人
	東山地区	42.4%	9.1%	39.4%	9.1%	66 人
	具同地区	36.2%	12.1%	33.6%	18.1%	116 人
	東中筋地区	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%	14 人
	中筋地区	23.1%	3.8%	53.8%	19.2%	26 人
	八束地区	21.1%	21.1%	42.1%	15.8%	19 人
	下田地区	31.7%	9.8%	48.8%	9.8%	41 人
	蕨岡地区	41.7%		41.7%	16.7%	12 人
	後川地区	9.1%	4.5%	45.5%	40.9%	22 人
	大川筋地区	53.8%	7.7%	23.1%	15.4%	13 人
	富山地区	33.3%		50.0%	16.7%	6 人
	津大地区	35.7%		57.1%	7.1%	14 人
	江川崎地区	28.0%		52.0%	20.0%	25 人
	家族構成	ひとり暮らし	32.9%	7.1%	44.3%	15.7%
夫婦のみ		35.9%	7.6%	37.6%	18.8%	170 人
親と子 (二世世代家族)		34.9%	10.0%	38.7%	16.4%	269 人
親と子と孫 (三世世代家族)		18.5%	7.4%	59.3%	14.8%	27 人
その他		18.2%	18.2%	36.4%	27.3%	11 人
居住年数	5年未満	34.6%	11.5%	34.6%	19.2%	26 人
	5~10年未満	28.6%	19.0%	23.8%	28.6%	21 人
	10~20年未満	35.7%	5.4%	48.2%	10.7%	56 人
	20年以上	33.6%	8.8%	40.2%	17.4%	443 人

既に取組んでいる	今後、取組む予定である	取組む必要はないが、何か取組むべきか	取組んでいない（今後取組む予定もない）
----------	-------------	--------------------	---------------------

※ 0.0%の表記は省略



回答数

職業	既に取り組んでいる	今後、取組む予定である	取組む必要はないが、何か取組むべきか	取組んでいない（今後取組む予定もない）	回答数
農林畜産業	28.6%	9.5%	47.6%	14.3%	21 人
水産業	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2 人
会社員	35.4%	10.2%	44.1%	10.2%	127 人
自営業	32.6%	4.7%	39.5%	23.3%	43 人
公務員	44.7%	13.2%	28.9%	13.2%	76 人
団体職員	57.9%	0.0%	21.1%	21.1%	19 人
アルバイト・パート	23.9%	11.9%	44.8%	19.4%	67 人
学生	12.5%	0.0%	62.5%	25.0%	8 人
家事専業	24.2%	3.0%	48.5%	24.2%	33 人
無職	31.5%	8.1%	38.7%	21.8%	124 人
その他	40.0%	8.0%	40.0%	12.0%	25 人
勤務（就学）地					
四万十市内	33.8%	10.1%	39.9%	16.2%	296 人
宿毛市	45.2%	6.5%	45.2%	3.2%	31 人
土佐清水市	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	8 人
黒潮町	35.0%	25.0%	20.0%	20.0%	20 人
大月町	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1 人
三原村	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	2 人
その他	36.8%	0.0%	52.6%	10.5%	19 人

### 3. 四万十市のまちづくりに関する自由意見

今後の四万十市のまちづくりに関するご意見等がありましたらご記入ください。

192 人の方にご意見をいただきました。

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
1	複合施設に期待しているが、市民が利用しやすく、楽しめるものにして欲しい。幡多には映画館も無く娯楽に乏しいと思う。もっと楽しめるイベントやコンサートがあればいいと思う。	女性	60歳代	中筋地区	無職
2	中村地区内にスーパーが無いので高齢者が買い物に苦労している。特に街中に大型でなくても近くで買い物が出るように、ある程度商品が揃っている店がほしい。	男性	70歳代以上	大川筋地区	無職
3	期待していない。四万十市は税金が高すぎて住みにくいと思う。	男性	50歳代	具同地区	アルバイト・パート
4	私はフジの近くだが、フジから遠い方は買い物に困っている。マルナカのははなんとかならないか。大きくなくてもいいので、せめて魚と野菜など。知り合いが大変そう。小さいお店には申し訳ないが、一か所で買いたいと言っている。	女性	70歳代以上	中村地区	無職
5	頑張ってください。	男性	70歳代以上	具同地区	無職
6	四万十市政に従事されている皆様（市議会一同様）により一層の期待をしている。四万十市職員皆様と共にがんばっていききたい。	女性	60歳代	中村地区	会社員
7	四万十市に限らず、老人と空き家ばかり多くなるようなご時世になった。市の運営も目立つようなものを市の中心部にだけ作って大金を投入しているような感じがするが、もう少し地道なきめ細かい目配りをしてことを進めてもらいたいと思う。	女性	70歳代以上	東山地区	無職
8	子ども・高齢者に対して重点的に支援していると思うが、若者に対してはもう少し目を向けて支援してほしい。働いてはいても物価高の影響や税金の支払いなどで困窮している人はたくさんいると思う。20年ほど住んでいる町なので、住み慣れてはいるがもう少し発展してくれたらと思う。若者が減っていく中でなかなか難しいと思うが。どうかこれ以上交通の面でも不便にならず、市民が安心して医療福祉サービスが受けられるようになってほしい。今も大切だが、未来のことを楽しく考えられるような四万十市であってほしい。	女性	20歳代	中村地区	その他
9	住民ニーズに合った行政を行って欲しい。行政がやっていることがわからないので、わかるような手立てを考えてほしい。総合計画や実施計画が絵に描いた餅にならないように。計画作りに力を入れその実現に向けては力を抜く、このようなことが無いように。	女性	60歳代	中村地区	アルバイト・パート
10	コンパクトシティ。	男性	50歳代	東山地区	団体職員
11	人口増加を考え企業誘致や公共料金の減額、子育てに対するの援助を充実すれば若い世代が増えるのではないかと。早急に考えるべきである。このままでは四万十市も三万人を切るのは時間の問題である。	男性	50歳代	具同地区	会社員
12	人口減少対策。	男性	40歳代	中村地区	会社員
13	公共交通（オンデマンドバス）の充実に向けて、さらに研究してほしい。	男性	70歳代以上	中村地区	自営業
14	保育の充実を望む。働くために保育所へ子供を預けたいが、入所できず仕事に復帰できない人が周りに何人もいる。	女性	60歳代	具同地区	その他
15	障害のある子を育てる家庭への手当てが少なすぎる。支援の必要な子ども家族と一緒に幸せに暮らし、育ていける地域にして欲しい。家庭で育てるためにはお金が必要なのに手当てが少なすぎて子供の時間を犠牲にして働きに出なければならず、子育ての意味が見えなくなってくることもある。	女性	30歳代	具同地区	公務員
16	四万十市の人口はどんどん減っている。かと言って具同や古津賀などは新築のアパート家が連ち人は増えている。旧市街地やほんの5km離れた田舎は若い人が減り、お年寄りばかりになり、小さな商店はなくなり、どんどん不便になっている。学校も市内に統合され子供たちの声が無くなりさみしい限りである。企業誘致やイベントを行い人をどんどん集める工夫をして欲しい。田舎の土地を安く受け渡し、人の流れを作ってほしい。働く場所が増えれば都会に行かず、地元に残る人が出て人口流出が減り、結婚し子供が少しでも増えていくのではないかと。まずは若い人も中高年も働く所が無いといけなと思う。また、デジタル化もいいが、苦手な人も多い・出来ない人も多いことを忘れないで欲しい。市役所だけでなく、スーパーやドラッグストア、病院などに目安箱のような、市民の声を聞ける場所を設置してはどうか。スーパーには『お客様の声』を聞く場所があり、返答してくれる。市議会議員さんに会う機会が少ないので今回のように声を上げる機会はないかと。どうか。どうか。どうか。（市のホームページにはよくわからない。）市民の声と回答をできる範囲で広報に乗せてくれるといつも同じような内容の広報も見ることが出来る。四万十市を良くしていきたい気持ち、参加している気になる。	女性	50歳代	中村地区	無職
17	市内に借家を借りて一人住まいをしているが、もうすぐ定年になり、年金では家賃を払って生活をしていけないので安い家賃の所に引っ越しを考えて移住者の家を見ていたのだが、市内～市内にはタメだという事を聞いた。それってどうかなと思う。このままだと定年後は四万十市から出ていくと思う。年金の少ない年寄りの一人暮らしも多い。四万十市も考えてほしい。	男性	60歳代	中村地区	会社員
18	歴史・文化・自然や景観を守り、後世へと残していくことを市民と共に意見を出し合い、尊重してほしい。市が一部の意見のみで動かぬよう、お願いしたい。もっと市民のために税金を使って欲しい。公平よろしくお願いしたい。ふるさと納税が全国に送られて使い道を指定されているが、市側が勝手な判断で他に使うのは許せない。もっときちんとした行政を行って欲しい。	女性	70歳代以上	下田地区	会社員
19	商店街や病院などに不満がある。いい医者がいない、大きな病院は高知市内までいかないといけないう時がある。車を運転しないのでとても不便である。都会から移住して10年目だが物価も高いのと駐車場も高いので給食に対して生活がギリギリである。将来高齢者になった時に不安な面は交通手段である。夜21時をすぎてもバスを200円で市内を回れるようにしてほしい。	女性	50歳代	中村地区	会社員
20	今後デジタル化やIT化などが進められると思われるが、高齢者にとってオンライン化やアプリ使用に対して不安があるし、自信が無い。広報などでオンライン方法等説明や使用方法などの手引きがあればよいと思う。	女性	70歳代以上	中村地区	無職

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
21	もし、災害・火災などで、後始末をする場合、人材を頼まなければならないが、高齢者が多く、人件費がいる。年金生活になると、頼めなくなる。ボランティアの人たちが来てくれれば幸いたが。	女性	70歳代以上	東中筋地区	自営業
22	高齢者が免許を返納しても病院や買い物に行ける公共交通を充実させ安く活用できるようにしてほしい。	男性	50歳代	藤岡地区	会社員
23	このようなアンケートを取る以上は何か反映できるようにしていただきたい。	女性	40歳代	中村地区	公務員
24	高齢者ですので率先して何もできない。他人に迷惑をかけないで生活していきたい気持ちでいる。	女性	70歳代以上	具岡地区	無職
25	アンケートの字が小さくて読みづらい。	女性	70歳代以上	東山地区	家事専業
26	マルナカ跡地はどうなるのか、街の中に幽霊屋敷みたいになっている。何とかしていただきたい。街の中の道をもう少しきれいにしてほしい。	女性	70歳代以上	中村地区	自営業
27	子供たちへ胸を張って進められる町へ。大人も笑顔で過ごせる町へ。他の町から「来たい」と思ってもらえる町へ。チャレンジあるのみ。	女性	30歳代	具岡地区	その他
28	1.赤鉄橋を早期に新しく架橋してほしい。(強く希望) 2.有岡地区にある四万十看護学院は存続してほしい。 3.国道56号線を中村方面へ車で通行中、いつも危険を感じるのは楠島の四国解体工業を過ぎてから具岡のサカタ四万十事業所間へアピンカーブ道路である。この区間を早期に改良してほしい。	男性	70歳代以上	中筋地区	無職
29	区長制度の見直し：高齢や持病のため区長ができない問題。なり手がいない問題。なったらやたらと文句を言われるのでやりたくない問題。	女性	40歳代	中村地区	自営業
30	この年の暮れにこの様なアンケートを行う事、市民に寄り添ってないのではないのか。しかも37問全てに答える時間も気力もない。	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効
31	子育てしてほしい街づくりをしてほしい。出産、子育て費用などを定期的に活用してほしい。	男性	30歳代	具岡地区	会社員
32	老人が住みやすくしてほしい。	男性	70歳代以上	八束地区	無職
33	高齢者にアンケートをしてもあまり意味が無い。公園の設備についてもっと考えて造ってもらいたい。現在の状態をみていると雨がたまって困る。	男性	70歳代以上	具岡地区	無職
34	小さな川の美化。	女性	60歳代	東中筋地区	アルバイト ・パート
35	移住を促進して市民を増やす。	男性	70歳代以上	中村地区	アルバイト ・パート
36	高齢者にわかりやすく指導してくれることを願う。年齢70歳を過ぎて自宅介護しているものにとって	女性	70歳代以上	東山地区	家事専業
37	「田舎だから仕方ない。」じゃなく、「ここがよかった」と思いたい。	女性	60歳代	中村地区	アルバイト ・パート
38	40年後川地区で生活しているが、生活環境が良くなったと全く思わない。一方市内に出ると同じ場所を何度も道路整備したり、税金はすべて市内の為に使われていると思っている。四万十川観光に力を入れたいなら道路交通の整備をしてからにして欲しい。台風や大雨の時は橋は水没するし、山道を走ろうものなら、谷からの水や落石にて命の危険を感じながら通勤している。もっと税金の用途を考えてほしい。	女性	40歳代	後川地区	会社員
39	家庭環境があまりよくない20代の知人が一人暮らしをしたいが給与が低く一人暮らしができない。県外へ行きたいがその費用を貯めることも困難なようである。知人は市営施設に勤務している。転職してきた後輩が給与が低い為市民税が払えない、市営施設で働いているのに恥ずかしいとおっしゃっていたそうである。最近求人を見つけたが、ボーナスもなく給与の額に驚いた。公務員ではないにしろ、市営施設には市の基準となってほしいと思った。生活環境の利便性などの充実も大切だが、自立した生活ができ、余裕のある生活が一番大切だと考える。余裕のある生活ができれば、自然に結婚や子育てにも前向きになり、人口の減少や地域の活性化など様々なことにもつながると思う。私自身も一度、県外に出てから四万十市へ帰ってきたが、また県外へ移住することを視野に考えている。県外から帰省する若者が給与や職の少なさを理由に四万十市へ帰ってこれない、自立したいのに自立ができない、環境で無くなることを願っている。	女性	30歳代	中村地区	会社員
40	安心して生活が出来る環境づくり。(防犯)	男性	60歳代	具岡地区	会社員
41	期待していない。	男性	50歳代	東山地区	会社員
42	四万十市でも人手不足なのか。若者が一人でも多く四万十市に残ってそれなりの生活が出来る方法はないものか。自分の家から仕事に行ける幸せな若者が多くなる四万十市であって欲しい。	女性	70歳代以上	後川地区	家事専業
43	江川崎から中村までの道路整備。ほとんど買い物など行く気にならない。江川崎に歯科の誘致をお願いしたい。	女性	60歳代	江川崎地区	会社員
44	狭い道路を広げてもらいたい。(高齢者の交通事故が多い)	男性	70歳代以上	具岡地区	無職
45	四万十市全体で話題性が少ないように感じる。市民にも必要だとは思いますが、積極的に取り組むイベント等を増やし、若い職員が動きやすい環境を作るのは市長を先頭に市幹部の動きであるように思う。	男性	70歳代以上	中村地区	無職
46	このアンケートの質問は答えにくいことが多い気がする。質問の仕方自体気になった。	女性	50歳代	中村地区	無職
47	まちづくりに直接関係はないが、四万十川の支流はきれいな川が多くあるが、本流は清流には程遠い川底など生活排水などで汚れている。地球温暖化や沸騰化が言われている中、近年四万十川の水量の減少が多くみられることがある。今後50年100年を考えた時、水不足が起こる可能性又は熱体制の大洪水が起こる可能性が大きいと考えられる。生活、農業水や災害の減少のために今こそダム建設を必要があると考えられる。(議論してほしい)	男性	70歳代以上	中村地区	アルバイト ・パート
48	墓参りに行くたびに道中の道の悪さやカーブミラーの無さが気になる。安全性が無いと思う。上まで登ってみたい。現場をまず見学してほしい。大事な家族のいる場所なので。	男性	30歳代	中村地区	会社員
49	台湾カエデやイチヨウの木を多量に植え、観光地を作る。(人工的)例)西土佐地区などで四万十川(自然だけでなく)多くの人々が来て移住者も増え、人口も増えるのでは。	女性	60歳代	江川崎地区	アルバイト ・パート

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
50	とりあえず、有名な人に頼む。税金を使うのではなく、物事を考えてから取り組んでほしい。特に市のホームページや観光事業（Vチューバー）のことだが、対費用効果をきちんと数字で出して、胆略的でなく、戦略的に取り組んでいただきたい。一般企業では当たり前の「フィードバック」をしっかりと、長期的に検討していただきたい。失敗が悪いわけではなく、「改善」を続けてほしい。特にホームページは一度作ったら終わりではなく育てるものなので、「改善」していただきたい。19日着で12月25日提出は回答するまでに短すぎると思う。本気で集めたいなら、平日1週間は回答に必要なのでその点は加味していただきたい。	女性	40歳代	具同地区	自営業
51	役所の窓口の対応を改善してほしい。	男性	60歳代	中村地区	公務員
52	これからも美しい町づくりをめざし頑張ってください。出来れば、側溝の草刈を定期的には出来ないものか。資源ごみのルールをもう一度住民にはっきり知らせ、他の地区に持ち込まないようにしていただきたい。	女性	70歳代以上	中村地区	家事専業
53	天神橋アーケードを（何かの時には大型車とか）アーケード特区のようにしてイベント事（クリスマスとかゴールデンウィーク）の飾りつけをしてはどうか。交通規制にしばられないでできないものか。	女性	50歳代	中村地区	自営業
54	移住で人口を増やそうとしているが、UターンばかりでなくIターンも推進してもらいたいし、若い人たちにいくらかお金を支給しても高校を卒業して都会に出て行ってしまえば人口の増加にはならないと思う。まず、働く所を確保しなければ。	女性	60歳代	静岡地区	アルバイト・パート
55	市長を変えたらよいのではないか。	男性	50歳代	中村地区	自営業
56	日本で一番賃金が安いし、物価が高いし住みづらいと思う。	男性	50歳代	具同地区	水産業
57	毎日歩いているが車がスピードを出している。車がいろんなところにとまっている。歩く時に危ない。何とかしてほしい。	男性	70歳代以上	中村地区	無職
58	建物（耐震）の必要性、いすれ発生する南海地震に各地区でどんな被害が出るのか避難場所まで訓練しておく、防災の意識を高めるため、最低3日間の非常食を備蓄。（自治体で全世帯に配布する）	男性	70歳代以上	具同地区	会社員
59	高知県西部の中心都市として集客のあるまちづくり、四万十川や小京都として特徴のある街づくり、若者が農業や林業で食べていけるようにすれば、山間部の人口定着になると思う。	男性	70歳代以上	中村地区	アルバイト・パート
60	西土佐に歯科医院を誘導してほしい。	男性	60歳代	無回答・無効	自営業
61	今のような市政であれば地区は無くなると思うので早く手立てを。	男性	70歳代以上	津大地区	農林畜産業
62	今後おとすれる縮小化社会に向けた取り組みがなされていない。自然環境の象徴と言われる四万十川はすでにSDGsを実践している。「コンクリートから心のかさかへ」と言われて久しいが、幸せを実感できるのはお金よりも心の満足度の方が大きい。よって、文化、スポーツ、などお金に換算できない、大切なものを大切にしなければならない。移住も観光も市民もすべてそこに注視している時代となっている。「まちづくり」とは未来への希望のメッセージである。	男性	70歳代以上	東中筋地区	会社員
63	Iターン、Uターン、外国人、人手不足を補うためいろいろな形で人口増加することを考えるのも大切だが、一番はここで生まれ育った人がここに住み着くことだと思う。Iターン、Uターン、外国人には空き家を安く貸すと聞いたが、地元の人は借りられない。人が出ていくのを防がないと、今まで納税していない人にくぼるだけで終わり。あくまでもよその人はよその人。住み着く人は少ないと思う。補助が無ければすぐどこかに行く。	女性	50歳代	東山地区	会社員
64	近い将来必ず来るといわれている、地震、津波に対しての目に見えた迅速な安全対策を考え住民に示してほしい。今回市長の失策（下田中間問題）に対しては深く反省し、皆が納得のいく対策を一日も早く示してほしい。	女性	70歳代以上	下田地区	無職
65	四万十市の市内中心街は建物も狭く、道路も狭い。また歩道もなく、だんだんとさびれていく状態。まずは道路の拡張から始めて、時間をかけつつ取り組んでいく方がよいと思う。	男性	60歳代	中村地区	無職
66	市町村の美化。	女性	30歳代	中村地区	無職
67	空き家の有効活用。	男性	60歳代	中村地区	無職
68	四万十市は病院や生活に必要な施設が身近にあり生活がしやすい。いい所だと思うが、地震の事を考えると子供に住むことをすすめることができない。住んでいるところは新しい住宅で人とのつながりも薄く、何かと不安を感じる。	女性	60歳代	東山地区	公務員
69	若者が残るような活気がある町にしてほしい。	男性	50歳代	東山地区	会社員
70	西土佐から中村までの国道を対向車がすれ違い出来る幅にしてほしい。大きな市外病院に通院が必要な時には交通支援を。例えばげんみん病院、宇和島市立病院。第一次産業で生活できるだけの対策や支援を。四万十川を守ってほしい。	女性	60歳代	江川崎地区	無職
71	高速道路の早期開通。ハブ山開発の再検討。魅力ある街づくりにし、人口の増加、減少を防ぐ。大企業の誘致を行い地元にて就職できる場所があれば。	男性	60歳代	下田地区	自営業
72	どこの町でも同じと思うが、親が子へ、子が孫へと人のことを思うやさしい心をつたえていく、真心を伝えていくべきだと思う。助け合いの心をつくっていけば良い町作りにつながっていくと思う。	男性	60歳代	中村地区	無職
73	下田の看護学校の様な失敗は避けてもらいたい。	男性	60歳代	中村地区	無職
74	これ以上子供が減らない市にしてほしい。	男性	70歳代以上	江川崎地区	農林畜産業
75	商店街の活用について、子ども食堂を作り生産者さんの規格外の物や（安く仕入れる）趣味で作っている沢山出来過ぎた野菜などを分けてもらう。仕事を引退した人や料理が得意な人、料理を習いたい人、年配の人と若い人たちのコミュニケーション。食堂だけでなく、学童保育も兼ねる。宿題とかするスペースを作る。誰でも気軽に入ってこれる入りやすい場所。年配の人達のたまり場。おいしい漬物の作り方を習いたい。	女性	50歳代	中村地区	会社員
76	老若男女（子供から高齢者）が自由に集まれるサロンのような場所があればよいと思う。	女性	70歳代以上	中村地区	無職
77	①買い物難民が増加すると思う。せめて天神橋アーケードのスーパーの復活を切望する。車でいけない人がもっと増えると思う。②道路（市内）の白線標識が消えかかっている場所が多いと思う。一度見て回ってほしい。	女性	60歳代	中村地区	家事専業
78	・雨の日など子どもたちが室内であそべる場所が少ないので、あれば助かると雨の日思っている。 ・交通の事だが、道路がところどころでガタガタで運転しづらい。一時停止しない車が多すぎて子どもたちがビックリして転んだところを見たことがあるので、もっと呼びかけ、講習など、お願いしたい。	女性	20歳代	中村地区	会社員

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
79	小京都と言われるに相応しい落ち着いた街（まち）づくりが大切だと思う。それ以上に誰にでも優しい街、人づくりが重要だと思う。外観よりもむしろ心優しい四万十市民でありたいと思っている。	男性	70歳代以上	中村地区	自営業
80	これから愛する四万十市が持続可能な市であることを期待している。	女性	60歳代	中村地区	会社員
81	道路の整備、メンテ（道沿の草刈り等）いくら新しい舗装になっても、やりとばし、後のメンテ不足の為にだめになったり、道幅が狭くなったりするので、もっと手を入れてほしい。	男性	60歳代	大川筋地区	会社員
82	未来ある子供たちの中には家庭の環境が厳しく、学校で使用するものを買うこと、保護者負担のある行事、（宿泊学習、修学旅行）に参加することすらさびしい家庭もある。そういった子供たちへの対応をしっかりとってもらいたい。全額免除にしている市町村もあるようだが、四万十市はそうではない。市議会へどうでもいい質問をされて、それについて調査が二度ほど職場に来ていた。駐車場の利用、インフルエンザでの欠席者の調査等、聞くのはいいが調べる側はとても大変。何のために聞いているのかもわからないがとりあえず答えている。それを知ることの根拠などを示していただかないと、こちらでも大変。（教育現場で働いている者からの意見）看護大学もなぜあの入試前のタイミングで中止にしたのか、市は市民の意見に振り回され過ぎるところがあると思う。入試を受ける予定だった子供たちが本当にかわいそう。なぜ下田だけ学校を残そうとするのか。他の地域の学校は統合には100%同意は無い中、仕方なく統合しているのに、下田の意見は何故そんなに丁寧に聞いているのか、統合を経験しているものとしては、下田だけがなぜか特別扱いされているように感じる。子供を使つての署名活動や、大人が小さなことでいつまでももめている姿を見るのがはずかしい。	女性	20歳代	大川筋地区	公務員
83	目先ばかりの社会になっている。開発、発展もいいが、もっと過去の現実も掘り起こし、飛んでいるような社会にならないことを望む。市政が停滞している。このことについてもっと取り組み、成果がある様望む。（一番は人口減、移住にたよっても移住元が現になる。代り映えはない）	男性	70歳代以上	後川地区	自営業
84	四万十市内の古き建物を保護しないでこわしてしまつて味のない町中になっている。高齢者に対して住みにくい近域。市内の回りにすんでいる団地の者にとっては買い物難民になっている。交通の便。	女性	70歳代以上	東山地区	無職
85	四万十市には働く場所がないと若者が帰つてこない。住みやすい町づくりをする為には働く場の確保が欲しい。議員さんの人数も多いと思うが、実際に活動して変化していることがあるのか。住民は値上がりばかりで住みにくいと話している。他市は子育て支援として取り組んだり、積極性を感じる。まず、身近なことで支援できることを取り組んでいただきたいと思う。	女性	60歳代	下田地区	アルバイト・パート
86	「まちづくり」は「人づくり」から始まるように思う。私たちの住むこの四万十市をますます好きになる事。子供たちに小さい時から伝統文化なり、大人と共にボランティア活動を含め関わって行くことが大事。「僕が、私が四万十市を良くしていきたい！」というエネルギーのある職員を市役所が採用すべき。学校の先生も、地域と子供がもっと好きでないとダメだと思う。	男性	60歳代	中村地区	自営業
87	大きすぎず小さすぎないまちを目指したい。	男性	40歳代	中村地区	会社員
88	一人一人の意見を聞く。相談、意見ポストを各所に置く。	女性	70歳代以上	八束地区	アルバイト・パート
89	公園のトイレがとにかく汚い。（すべての公園）公園に子どもを連れて行こうと思つても、トイレが汚いことでやめることも多い。トイレの改修工事をしてほしい。窪川の緑林公園のトイレを参考にしてもらつても良いと思う。あれだけ汚いトイレではダメだと思う。改修工事もしくは建て替えをよろしくお願ひします。	女性	40歳代	東中筋地区	家事専業
90	仕事、雇用が増えるようにしてほしい。	男性	50歳代	中村地区	会社員
91	今回の質問はレベルが高くて解答ができない部分が多い。	女性	70歳代以上	下田地区	無職
92	住民の意見を聞き、反映すること。	男性	70歳代以上	富山地区	無職
93	設問が街部中心である。山間部に住む者には答えづらい。これでは多くの意見を集約できないのではないかと。山間部でも心豊かに、物心両面での支援があればいい。	女性	70歳代以上	津大地区	農林畜産業
94	全国的に有名な四万十川があるのでそれをアピールできる様な企画をたてて観光客を誘致出来ればいかなと思う。	女性	70歳代以上	具同地区	自営業
95	災害のときの為なマンホールトイレをいくつか作ってもらいたい。	女性	60歳代	東山地区	自営業
96	入田地区、第一種住宅地の一部に上水道の無い場所がある。早急に対策を講じて欲しい。	女性	60歳代	具同地区	自営業
97	人口増加の取組。移住等も重要だが、大学や専門学校の誘致は大切だと思う。諦めずに取り組んで欲しい。	男性	60歳代	中村地区	無職
98	観光振興と自然環境の保全について。四万十市では佐田の沈下橋が一番観光客が来ていると思う。三里の沈下橋付近も遊覧船、サーフボード、カヌーなどで観光客が増えているが、道路網整備が遅れている事と三里の石才工場が有り、美観、騒音、粉塵、道路の汚れ、特に粉塵で健康被害が懸念される。雨の日は車で通ると泥まみれになる。晴れの日も車で通ると埃まみれになる。歩いて行く気がしない。3月末で今の石材掘り場が終わる。4月から新しい場所を掘るようになるのか。県に要望してなんとか市民、観光客としては未来の四万十市の為になんとかならないか一番懸念している。	男性	70歳代以上	後川地区	無職
99	若い人達の出会いの場を充実してほしい。できれば行政が結婚等に介入してもよいと思うし、今後は人口を増やす努力をしてもらいたい。市の職員は出来る限り地域の人と交流をすべきだと思う。毎週とまでは無理は言えないが、地域の行事に参加すべきだと思う。公務員という立場にありながら、一人として生活をしていかなければならず、沢山の苦労もあると思いますが、市から給料をもらっているという自覚を持ち、四万十市のまちづくりに各地域において協力とリーダーシップをお願いしたい。	男性	60歳代	津大地区	農林畜産業
100	アンケートを取つても何も変わらない。生活（仕事）が安定している人しか普通に生活することが出来ない。障がい児を育てる事、母子家庭である事、相談したところで行政で決まっている事なので、一言で終わらせられる。何の問題も解決しない。	女性	50歳代	具同地区	アルバイト・パート

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
101	・何十年も務めて、会社を退職した後の再就職先があるか、今から心配している。 ・ペットを飼っている人は多いのに、動物病院が圧倒的に足りない。（外部から来てもらったり出来ないものか） ・眼科や耳鼻科もいつも混み合っていて時間がかかり、不満である。（医療機関の充実も、暮らしやすいまちづくりには必要なのではと思う）	女性	50歳代	中村地区	会社員
102	アニメ世代がこれからSNSなどで情報を知るには、アニメが理解しやすい。四万十市のPRもアニメ、市役所からのお知らせもアニメを取り入れたら見る機会も増え、伝わってくるかと思う。考えてみてほしい。	男性	30歳代	具同地区	無職
103	プレミアム付き商品券はとてもありがたかった。欲を言えば11月の2回目1人あたりをもう少し制限してほしい。	女性	50歳代	具同地区	会社員
104	男子学生や男性は時折挑発する声を発して不快な気持ちになり、もう少し静かになってほしいと思う。	男性	40歳代	具同地区	アルバイト・パート
105	自然豊かな所なので四万十川保全を強く望む。その為には、山の健全化、そして日本で一番遠い田舎としてアピールし、地域活性化を計る。	女性	50歳代	八束地区	公務員
106	どこへ行くにも遠い。交通の便が良くなれば、もう少し住みやすい。給与などの職業も全国に比べ低いと感じる。	女性	40歳代	具同地区	公務員
107	デジタル自体を利用出来ないのでは答えられない。	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効
108	市長にもっと元気になってもらいたい。活力ある態度や四万十市を元気にしようという気持ちをもっと前面に出してもらいたい。	女性	40歳代	具同地区	団体職員
109	四万十市の町は家がなくなれば駐車場になる様だが具同の方は家が増えている。これからは町づくりに力を入れていけば良いのではないかと。外国の方が来てくださった時には皆様と一緒に暮らしの方が良いのでは。	男性	70歳代以上	具同地区	無職
110	設問量に対して返信期限が短い様に思う。12月下旬の一年で一番忙しい時期に送られるのも困る。12月、3月をさけて行ってほしい。	女性	40歳代	後川地区	水産業
111	無駄な税金使わない。公民館古かったか。看護大学の件どうなる。	女性	70歳代以上	中村地区	無職
112	市街中心地がさびれてきている。個人商店が次々と閉店。商業の活性化。学校教育の充実、レベルアップ。教育費（高校含む）の無償化。市内循環バスの整備。	女性	60歳代	中村地区	自営業
113	・側溝のつまりが目立ち、大雨の時道路に水があられている。 ・防災無線の不具合が多い。	女性	70歳代以上	江川崎地区	家事専業
114	四万十市も老人県となり若い世代に夢がもてるデジタル使用の収入増に期待出来る政策、年寄ばかりの意見では前に進まない。もっともっと若いリーダーが必要だと思う。失敗しても立ち直る若いエネルギーがそれぞれので分野にも不可欠である。	女性	70歳代以上	大川筋地区	自営業
115	西土佐村の時には生活しやすいところだったが、四万十市になりだんだんと色々な面で生活がしにくくなって来ている。これから生活しやすい四万十市にしてもらいたいと思っている。	男性	60歳代	江川崎地区	無職
116	現在使われていない宅地、建物の売買を促進し、新しい家族世帯が住みつける様支援してもらいたい。	男性	30歳代	東山地区	団体職員
117	農業委員会がどれだけの権限があるのか分からないが、田畑を宅地に変更する場合時間がかかりすぎているように思われる。もっと迅速な対応によって1軒の家が建ち、2軒目の家が建ちながら人口減少の歯止めになるのではないだろうか。	女性	60歳代	江川崎地区	無職
118	・市議会議員を削減してほしい ・保育所、学校の統合を行うといい ・市民病院はいらさない ・地域のことは地域に任せる。行政に頼らないで地域づくりをしていくべき ・子育てや福祉など必要以上の支援を見直すべき	男性	50歳代	中村地区	公務員
119	まちづくりは地味で身の丈にあった現実的な判断をして、現状維持の状態を永く続けていけるよう、派手な夢は持たず持たず、ゆっくりと取り組んだらどうか。	男性	70歳代以上	中村地区	家事専業
120	桜まつりのように秋にもなにかイベントごとがあればと思う。桜の時期はもちろんだが、秋の為松公園も見所はたくさんある。あの美しい紅葉を市民のみならずによりたくさんの人に知って欲しい。せっかく新しい遊具や駐車場もあるので春だけでなく季節、気候のよい秋にも皆がたのしみにして集えるようなことがあったらいいのになと思う。電子地域通貨はいいと思った。先日のプレミアム付商品券もとても良かった。買い物がつたのしみになる。電子地域通貨のカードでシャリーンとお買い物とかかっこいい。ハード面の導入が大変そうだが、夢のある話と思う。	女性	50歳代	中筋地区	会社員
121	・犬、ねこのフン尿に悩まされているので早急に対応してほしい。 ・信号の前の車の停止位置が危ない所がある。改善してほしい。	女性	50歳代	中村地区	公務員
122	市民が住みやすい環境づくりに期待している。バランス良くお願いしたい。	男性	50歳代	具同地区	会社員
123	アンケート等回答期限に余裕をもう少しもたせて下されば助かる。	女性	40歳代	東山地区	無回答 ・無効
124	他の市（高知市・土佐市他）では大駐車場や避難所、公園を市が安全な場所に確保しているの四万十市も確保してほしい。	男性	50歳代	具同地区	その他
125	保育園の合併や下田の学校など周囲の意見を聞かず結局四万十市民以外への利益になっていると話を聞いた事がある。もっと周りの意見を聞くべきだと思う。	男性	30歳代	東中筋地区	会社員
126	四万十市は高知市や南国市に比べると意見が県に通りにくいということは、市議や市長施策が弱いという一面があると思う。利益面の%だけでなくもう少し側面を変えてアタックしてほしい。新幹線は幡多駅を作ってもらえるよう頑張してほしい。幡多・高幡でタグをくんで誘致してほしい。	女性	40歳代	具同地区	会社員
127	人口減少が著しい日本で政府は人口を減らす施策を行っている状況で今後も人口は減り続けるのは容易に想像ができる。議員についても外的な質問や世の中を変えようとする動きがないため、今後もより良くなっていきようがない。そこで、市として本気で人口増加のための施策を積極的に進めたい町、移住して来たい町にする必要があると思う。明石市のような町づくりが他の市町村に影響を与え日本を良くする。その動きがない以上、穴の開いた船に乗っている気分である。	女性	30歳代	下田地区	団体職員

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
128	市役所が土曜日の半日だけでも開いていたら助かる。休みを取らないと市役所に行けない。	男性	50歳代	中筋地区	会社員
129	防災無線をもう少し聞き取りやすく出来たらと思う。難しいのだろうか。企業誘致などは情報の精査をもっと確実にもっと深くしないと大学誘致の二の舞になると思う。実現性の乏しい事業（ワサビなど）からは手を引くべきだと思う。	男性	60歳代	中村地区	自営業
130	子育てしやすい子どもが暮らしやすい環境を作らないと未来はないと思う。	女性	30歳代	中村地区	公務員
131	私達、アナログ時代で過ごした者は、どんどん進むデジタル化にとまどう事ばかりである。職業人でPCを使っていた私でもそうなので、まして電話はガラケー、PCを使っていない者にとってデジタル社会に馴染むことが難しい事が多いと思われる。私も後期高齢者となり、夫と死別後何処へ誰に話し、相談したらいいのか、と思う事が多々ある。市役所窓口へTELし担当課で対応頂く事も多々ある。高齢者にとって対応窓口が開設されると嬉しい。もう一つは、人口減をこれ以上防ぐ事が最優先されるべきだと思う。この事に力を入れ、若い人達が四万十市に多く残り、就職→結婚→子ども増があってこそ他の全ての事の始まりと思っている。我々高齢者もその事を最優先にと。	女性	70歳代以上	具同地区	自営業
132	高齢者もいろいろ参加したいし、役に立てる事もあると思う。しかし、スマホがうまく使えないため、情報を得るのが難しい事が多い。例えば、市のホームページを見るにはどうすればよいのかさえわからない人もけっこういる。デジタル化に向け、スマホの利用はますます多くなると思う。市の各種手続きの方法など基本的な操作方法を高齢者向けの教室があれば助かると思う。（スマホ販売店ではそういった事までなかなか教えてもらえない）	女性	70歳代以上	中村地区	無職
133	市民皆が笑顔で豊かに楽しく生活できる市政を期待している。	女性	50歳代	東山地区	会社員
134	中山間を見捨てないでほしい。道を広くしてほしい。	女性	70歳代以上	富山地区	アルバイト・パート
135	防災無線が何と言っているのかわからない（東町1〜3丁目）大事な時に（災害など）聞こえないのでは何の為に防災無線なのか。災害が起きてからでは遅いと思う。	男性	40歳代	中村地区	会社員
136	デジタル化に対応しにくい。	女性	70歳代以上	中筋地区	無職
137	私は今、高校3年生で受験期だった。その時に感じていたことが、四万十市には勉強をする場所が少ないということである。図書館があると19時までしか開いていない。夏休み期間限定で21時まで開館する。図書館に代わる場所を設ける等してくれたら助かる。	男性	10歳代	中村地区	学生
138	10,20,30年後の人口減、人数を想定した事業計画を立て、住民に周知してほしい。集落活動の維持や健全な農地維持が困難になってくる。	男性	60歳代	江川崎地区	農林畜産業
139	健康増進につながるような、例えば市民プールの隣に温泉施設（サウナ付）を併設するとか、安並運動公園を気軽に利用できるようにする。	男性	60歳代	中筋地区	会社員
140	税金の無駄遣いはやめてほしい。（下田の学校）空家の再利用。田・畑の再利用。	女性	70歳代以上	中村地区	アルバイト・パート
141	これから人口減少が続く過程において小学校、中学校の再編成を至急決断すべきであり、すぐ実行すべきである。	男性	70歳代以上	東山地区	自営業
142	高知空港を利用する時に、今は自家用車で行っているが今後は公共交通を利用したい。高知市までの良い移動手段があればいい。観光客に対して、楽しめるサービスももっとあればいい。四万十川のアクティビティ等を計画しては、"星野リゾート"などの取り組みはすごいと思う。	女性	60歳代	中村地区	無職
143	空家の把握をし、使えるようであれば環境を整えておく。	女性	50歳代	東山地区	公務員
144	・市民との意見交換の場を、地域ごとに設ける ・防災無線の活用 ・区長会の活用	男性	70歳代以上	江川崎地区	農林畜産業
145	福祉（生活保護）の方に対しきちんと調査し、支給し税金の無駄遣いをなくしてほしい。仕事柄、必要のない人やパチンコ、酒、タバコで浪費している方をよく見る。その分、福祉・子育てに活用してほしい。	女性	40歳代	中筋地区	会社員
146	年寄りがキャッシュレスの時代をどううまく生活していけるか。何でもインターネットとかスマホである。苦手な人間はどうしたらいいか。	女性	60歳代	東山地区	自営業
147	土日の夜になると市役所の駐車場がいっぱいになるので杉病院を解体、もしくは文化センターの跡地に市営駐車場などを作って欲しい。板ノ川地区の道路は、日当たり等を良くしてほしい。	男性	20歳代	大川筋地区	その他
148	・行政側からの情報発信がもっと必要ではないか。 ・お金をかけるまちづくり（道路整備等）も必要だが、お金をかけないまちづくり（市民の意識向上等）をもっと推進すべきではないか。	男性	60歳代	中村地区	自営業
149	右山に出来た文化ホールについて、賃借料があまりにも高すぎる。市民の憩いの場であり、皆様が気軽に娯楽をできる様にしてほしい。	男性	70歳代以上	大川筋地区	自営業
150	市の職員を四万十市外から多く採用して外からの風を求めるべき。	女性	70歳代以上	東山地区	無職
151	1.将来的に市の人口が減少する。その状況に合わせて過大投資にならないように計画的なまちづくりが必要。（あれもこれも今必要との判断で施設整備などしないように。取捨選択の上、必要な所に重点投資を） 2.人口が減る各集落の中小河川が荒廃している。管理されていない。草木が多くなり、災害を心配する。	男性	60歳代	具同地区	団体職員
152	安並のようにスポーツ出来る所が多いほど、色々助かる。	男性	40歳代	東中筋地区	会社員
153	・道路歩道の清掃、草刈り。町全体が美しいとはいえない。 ・最近外国人のお遍路さんをよくみかけます。（観光を兼ねたサイクリングで）休憩所、宿泊所をもっと整備してほしいと思う。	男性	70歳代以上	東山地区	自営業
154	設問が多く、最後まで回答するのが大変だった。	男性	50歳代	中村地区	公務員
155	平等に何事も行う。（一部のみに利益のある行政をしない）	女性	60歳代	中筋地区	無職
156	意見ではないが、困りごとの相談をした時、適切な相談場所を教えてくださいと本当に助かりました。ありがとうございました。	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効	無回答 ・無効

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
157	少子高齢化と言って30年、地域は老うばかり。若い人はいない。地域コミュニティはさびれ、部落は無くなる。老人は施設へ行く、ますますさびれ、老人もいなくなる。一人でも老人でも暮らせる地域を作る。移住者は古くからの地域のおこないをこわす。移住者も選別が必要。	男性	70歳代以上	下田地区	無職
158	子供が雨の日でも遊べる屋内施設があったらいいなと思う。佐川にできたおもちゃ美術館のような。	女性	30歳代	中村地区	会社員
159	子供達が安心して遊べる場所が少ない。昔は市営プール等があり、夏休みなど長い休みには毎日通っていた。友達を作る場にもなった。公園はやたらと多いが、家の中でゲームをやる子供が増え、外に出て公園で無言でゲームをする姿を見る事が多い。ゲームがダメだとは思わないが、もう少し体を使って遊べる場所が必要だと感じる。観光に力を入れる事も必要だが、まずは地元の子供達の事を考えるべきではないだろうか。	女性	50歳代	中村地区	アルバイト・パート
160	中村の町の中に駐車場がないので買物が出来ない。(美容院、散髪店など困る)	女性	70歳代以上	東中筋地区	無職
161	避難タワーのメンテナンスをしてほしい。スロープの外灯も切れていて、ついていない。点検はどの頻度でしているのか明確に知りたい。避難路の整備をしてほしい。	女性	40歳代	下田地区	無職
162	観光スポットやグルメなど四万十川以外に集客できるものがあれば活性化するのにと思う。	女性	50歳代	富山地区	会社員
163	四万十市は、今現在はそれなりに住みやすいし、自然にあふれ大きな不満もなく住んでいて良い市だと思っている。しかし、今後はどう考えてもどんどん人口が減っていくのでさびれて来るのは避けられないと思う。その中でインフラの維持や学校教育等を考えるとコンパクトシティ化を前提とした幡多地域全体の連携が必要だと思う。更に、雇用が無いともっと人口が流出してしまうので、県外の企業の誘致や、地元企業が雇用を増やせるようにする施策、産んで育てることへの予算配分が必要かと考える。	女性	30歳代	中村地区	アルバイト・パート
164	一般市民の意見を聞いて(議会だけでなく固執的)市民の参加できる場所をつくってほしい。	女性	50歳代	中村地区	会社員
165	アンケートの締切がいささか急かと思う。返答範囲も広くて、無作為に送っても返答は少ないのでは。アリバイ的に感じる。世代ごとの課題を吟味して、ターゲットを絞って協力してもらった方がいいと思う。	女性	40歳代	中村地区	家事専業
166	学校誘致や西土佐の方ばかりにお金をかけず中村にも娯楽施設や遊ぶ所を作ればもっと住みやすくなると思う。(若者が出て行かずに住み続けてくれる事を見つけて欲しい)無駄な所にお金をかけないで欲しい。	男性	20歳代	中村地区	会社員
167	イベントなどを増やしてほしい。	女性	20歳代	東山地区	アルバイト・パート
168	街の違法駐停車の取り締まり。子供が通学するのに危ない。きれいな街。ペットの害の防止。	男性	60歳代	中村地区	無職
169	旧下田中などのような無駄な出費をなくし、住民が豊かさを実感できるような町づくりをお願いしたい。	女性	60歳代	具同地区	公務員
170	市民の声を聞ける市政をお願いしたい。	男性	40歳代	藤岡地区	会社員
171	人も温かく、自然も美しい四万十市で暮らせることは、市役所はじめ、行政あつてのことで感謝している。下田地区の旧下田中学校の件だが、ほんの一部の反対派が、全体の意見の如く運動を行っていることで、他の保護者、地域の方は不愉快な気分になっている。ニュースや新聞で報道されるたびに自分もいい気分はしない。選挙あつての市議会、市長であると思うので、市民は行政の監視はしながらも、ある程度お任せするのが民主主義というものだと思う。その中で、何も分からず署名活動をする子どもたち、子どもたちをダシにして反対運動をする大人。見ていて虚しくなるばかりである。来年度、統合が完了すると思うので、収束する問題であると思うが、下田地区が、下田小学校・中学校が、賛成派反対派で二分化されたことは知っていただければと思う。	男性	20歳代	東山地区	公務員
172	うちの間近に山があり、雨の次の日は特に落ち葉がすごい量飛んできて、雨樋に落ち葉が詰まって困っている。伐採してほしい。	女性	40歳代	中村地区	アルバイト・パート
173	高齢者が益々増えていくので、高齢者の移動を助けてほしい。四万十川を守る事。街中の空き家対策を考えて欲しい。	女性	60歳代	中村地区	家事専業
174	結果からどう改善するのか、とても改善する気があると思えない質問ばかり。この質問は結果から何をどう分析して活かすのか。議会質問なども拝見しているが議会も執行部も市政諦めていないか。いろいろな市町村を見たが3万人程の街でここまで何も考えないまちは逆に珍しいくらい無策で無意欲のまち(行政)と感じる。どこも生き残りに血眼である。	男性	40歳代	東中筋地区	公務員
175	公共交通の充実。イベント等の機会を増やすことで、幡多地域圏外の人に沢山来てもらう機会を増やし、それを経済効果につなげ、四万十市(幡多地域)の生活を維持していく。	男性	40歳代	中筋地区	会社員
176	住民税が高すぎる。	女性	20歳代	具同地区	会社員
177	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要な所に予算をさいて、税金の無駄のない活用をして頂きたい。</li> <li>・まだ活用しきれない地域の魅力を引き出し、適正に発信し、市街の人が四万十市にたくさん来れるように、もっとイベントなどをたくさん計画して人を集めるようにしてほしい。</li> <li>・雨の日など、室内で子どもが遊べる場がほとんど無いのでそういった場を増やしてほしい。子育て世代が活用できる施設をぜひ作って欲しい。</li> <li>・商業施設も撤退する企業が増えている。歯止めをかけて、新たな企業の誘致を促してほしい。</li> <li>・人口減少の対策、移住者を増やす為の大胆なアピール活動が必要。</li> </ul>	女性	40歳代	具同地区	公務員
178	四万十市大好きです。応援してます。これからも、賑やかで元気な、楽しい、住みやすい、明るい四万十市になるように祈っています。	男性	20歳代	東山地区	公務員
179	特になし。	男性	40歳代	具同地区	公務員
180	新食肉センターを早く建てて欲しい。	男性	40歳代	中村地区	公務員

No.	意見の内容	性別	年齢	居住地	職業
181	健康作り、娯楽など市民が気軽に無料で利用できる公共施設があったらよい。	女性	60歳代	中筋地区	無職
182	わからない。	女性	50歳代	具同地区	家事専業
183	ハザードマップを見直していただき、いま自分の住んでいる場所が、津波、地震、土砂、洪水など、どれくらいの危険があるのかを確認したい。休日や祝日を利用し、四万十市全体での災害避難訓練の実施。ただ放送をするのではなく、避難場所への誘導なども。四万十市民病院の若手医師の確保。	女性	30歳代	東山地区	公務員
184	成長発展を目指すのではなく、あるものを維持し、分かち合い、魅力的な生活環境の福祉のまちづくり。主たる生産分野の一次産業の労働環境を魅力的にし、販路を拡大し、輸送等のコスト削減の工夫をする。四万十川の水資源をもっと活用する。アオノリが採れなくなって残念！植林をすすめ、長期的な森林資源の確保と治水、環境保全。近隣町村の日常的消費地としての役割を維持充実。宿毛には工業団地があり、土佐清水には漁業がある。四万十市には何があるのだろうか。	女性	60歳代	具同地区	無職
185	リバーガイドのインストラクターが、人材不足であるとよく聞く。公務員でも四万十市の産業復興等に寄与できるのであれば、ある程度副業を認定すべきである。（産業復興に限り）全国的にそのような動きは活発であり、少子高齢化で働き手が少なくなる一方で、人手不足で困る産業に寄与できるようなルール作りを行ってほしい。	男性	30歳代	下田地区	公務員
186	若者が地域に残って働ける、生活しやすい、子育てしやすい環境にしていかなければ、高齢者を支援することができない。福祉施設は数多くできたが、そこに働く人がいない。働いていても職員の高齢化が進んでいる。福祉医療職員の育成、もしくは県外からの雇用促進。	女性	40歳代	八東地区	その他
187	災害時の避難所開設のメールは必要だが、避難所が閉まる時のメールは緊急ではないので不要。睡眠の妨げになり、健康上良くないと思う。	女性	40歳代	具同地区	公務員
188	四万十市は住みやすいと思っているが、子供や自分の病院は、西土佐に住んでいる私達は地元の病院や中村の病院へ行きたいところだが、距離があるのと、医師不足で近隣の愛媛の病院へ行くことが多いと思う。特に、小児科は西土佐にはないし、診療所では診てもらえない。医療に関しては西土佐地区は住みやすいとは言えないところが現状だと思う。	女性	40歳代	江川崎地区	アルバイト・パート
189	24時間子供食堂の開放。居場所や食事の提供、勉強の支援や心のケア、遊びや交流の場である施設を設け、四万十市が子供育成に全力を注ぎ安心、安全な地域であって欲しい。子供食堂は単なる名称で一般の方も利用出来るようにすることで、いっそう活気が出るのではないだろうか。	男性	50歳代	中村地区	無職
190	市職員を減らし、民間企業へ委託を増やす。浮いた財源を他の自治体からの学習費や新しい設備の建設費に使う。	男性	50歳代	具同地区	会社員
192	四万十市を誇りに思うこと、住んでいて良かったと思うこと、こういう風にしたいと希望が持てること、そんなまちづくりを期待している。田舎だから出来て、都会では出来づらい、そんなところにPointを置いて特色ある、輝く、一歩前に進むような取り組みを。	男性	60歳代	津大地区	農林畜産業

以上